

宮代町

障がい福祉に関するアンケート

地域福祉に関するアンケート

結果報告書

令和5年3月

宮代町

目 次

第1章 障がい福祉に関するアンケート 結果報告	1
1-1 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の対象及びサンプル数	3
(3) 調査方法及び調査実施期間	3
(4) 回収状況	3
(5) 分析・表示について	3
1-2 調査の結果	5
① あなたご自身について	5
問1 調査票記入者	5
問2 性別	7
問3 年齢	8
問4 障がいの種別	9
② 生活の場について	20
問5 現在の生活環境	20
問6 今後の居住地についての意向	25
問7 今後の暮らし方についての意向	26
③ サービスの利用について	27
問8 サービスの利用状況及び今後の利用意向	27
問9 現在のサービスの利用状況及び今後の利用意向	28
問10 福祉サービスや制度についての情報の入手先	60
問11 福祉サービスや制度についての必要な情報	62
④ 保育・教育について	64
問12 通園・通学の状況	64
⑤ 仕事について	68
問13 現在の就労状況	68
問14 今後の就労意向	74
問15 就労する上で必要と思う条件	78
⑥ 経済状況について	80
問16 主な収入	80
問17 公的年金や手当の受給状況	82
⑦ 外出について	86
問18 外出の頻度	86
問19 外出できない理由	90
⑧ 悩みごとや相談について	92
問20 障がいを受け入れるまでの過程で苦しんだこと	92
問21 現在の悩みごと	94
問22 悩みや困ったことの相談先	96
問23 相談をしやすくするために必要だと思うこと	98
問24 成年後見制度について	100
⑨ 地域生活について	101
問25 宮代町の住みやすさ	101
問26 隣近所との付き合いの程度	102
問27 地域の人に支えられていると思うか	103
問28 障がいがある人への理解を深めるために必要なこと	104

問 29	最近 1 年間の地域活動への参加状況及び参加意向	106
問 30	積極的な地域活動への参加のために必要と思うこと	110
問 31	今後、ボランティアに頼みたい支援内容	112
問 32	この 1 年間に障がいがあるために差別を受けたり嫌な思いをした経験	114
問 33	障害者差別解消法の認知状況	115
⑩	防犯・防災時の備えについて	116
問 34	災害時において心配なこと	116
問 35	避難所での生活において心配なこと	118
問 36	緊急時の消防署や警察への通報について	120
問 37	災害情報や緊急連絡のために必要な通信方法	121
問 38	災害時要援護者支援制度の利用状況	122
⑪	希望・要望について	124
問 39	障がいのある人への支援に関して、今後力を入れるべきだと思うこと	124
1-3	ヒアリング調査	127
	「そうだん」をつなげる	127
	「すむ」をつづける 「くらす」をささえる	128
	「ともにまなぶ」をすすめる	129
	「はたらく」をひろげる	130
	「防犯・防災」の対策	130
	障害者虐待防止法、障害者差別解消法について	131
	その他	132
第 2 章	地域福祉計画策定のためのアンケート結果報告	133
2-1	調査の概要	135
(1)	調査の目的	135
(2)	調査の対象及びサンプル数	135
(3)	調査方法及び調査実施期間	135
(4)	回収状況	135
(5)	分析・表示について	135
2-2	調査の結果	137
①	あなたご自身について	137
問 1	年齢	137
問 2	性別	137
問 3	住んでいる学区	138
問 4	居住年数	140
問 5	職業	141
問 6	世帯構成	143
②	地域のつながりについて	144
問 7	地域のつながりを深める上で重要な機会	144
問 8	毎日の暮らしで感じている不安	146
問 9	相談相手	148
問 10	近所の人にしてもらいたいこと	150
問 11	地域で問題と感じていること	152
問 12	地域活動への参加状況	154
問 13	地域活動への参加意向	162
③	地域での助け合い、支え合いについて	163
問 14	地域で住民同士がお互いに助け合える範囲	163
問 15	近所付き合いの程度	164
問 16	近所付き合いについての考え	165
問 17	困っている家庭があった場合に必要と考えられること	166

問 18 困っている家庭があった場合に実際に手助けできると思うこと	168
④ ボランティア活動について	170
問 19 ボランティア活動への参加経験	170
問 20 今後参加したいボランティア活動	177
⑤ 地域での防災について	179
問 21 防災に対する日ごろの取り組み、災害などの緊急時の対応	179
問 22 個人の情報を地域で共有する必要性	184
問 23 災害時に住民同士が協力し合うために必要なこと	185
問 24 見守りや災害時の安否確認等をする支援体制	187
⑥ 福祉のまちづくりについて	188
問 25 「福祉サービス」に関する情報の入手先	188
問 26 成年後見制度について	190
問 27 ボランティアなどの助け合い、支え合い活動を活発にしていくために大切なこと	191
問 28 生活が困窮したときに利用したいサービス	193
問 29 効果的な地域福祉を推進していくために重要なこと	195
問 30 これからも宮代町に住み続けたい気持ちはあるか	197
⑦ 民生委員・児童委員について	198
問 31 民生委員・児童委員を知っているか	198
⑧ 宮代町社会福祉協議会について	200
問 32 社会福祉協議会のサービスを知っているか	200
問 33 社会福祉協議会の事業を知っているか	202
第 3 章 資料編	205
障がい福祉に関するアンケート調査 調査票	207
地域福祉に関するアンケート調査 調査票	239

第1章
障がい福祉に関するアンケート
結果報告

1-1 調査の概要

(1) 調査の目的

宮代町では、障がいのある方の福祉に関する施策の推進と、自立と地域生活の支援を計画的に実施するため、計画策定の準備をしています。

その一環として、計画づくりの重要な基礎資料とすることを目的として、障がいのある方の生活の状況やご意見、お考えなどを伺うアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の対象及びサンプル数

町内在住の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者を調査対象としました。

調査対象者	配布対象者数	備考
身体障害者手帳所持者 療育手帳所持者 精神障害者保健福祉手帳所持者 指定難病医療受給者	1,531 人	

※指定難病医療受給者は保健所の管轄となることからサービス利用実績より把握

(3) 調査方法及び調査実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査実施期間	令和4年11月16日～11月30日

(4) 回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率(%)
身体障害者手帳所持者 療育手帳所持者 精神障害者保健福祉手帳所持者 指定難病医療受給者	1,531 人	812 人	53.04%

(5) 分析・表示について

- 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
- 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
- 報告書中の文章やグラフにおいて、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合があります。

1-1 調査の概要

- グラフの（n：〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- クロス集計表の上段は実数、下段は合計に対する割合を表しています。
- クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。

1-2 調査の結果

① あなたご自身について

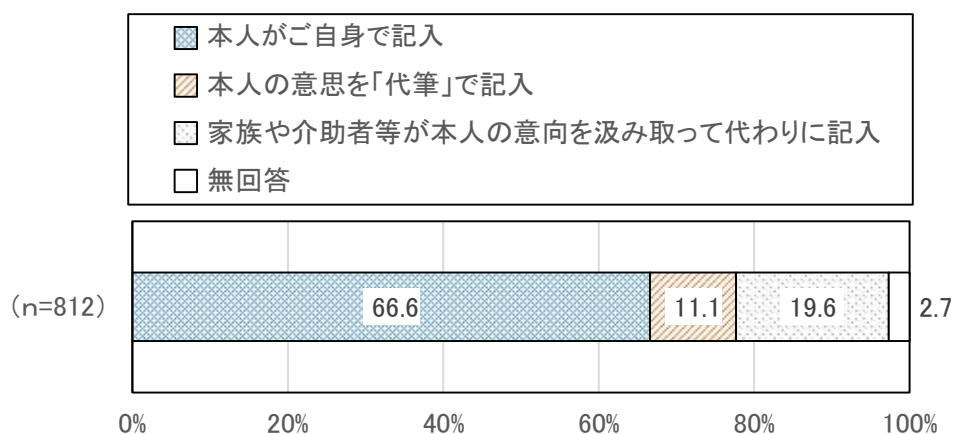
問1 調査票記入者

問1 この調査票を記入された人はどなたですか。(1つに〇)

障がい者全体では、「本人がご自身で記入」が66.6%、「家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入」が19.6%、「本人の意思を「代筆」で記入」が11.1%となっています。

障がい別に「本人」の回答割合をみると、身体障がい者では70.3%、知的障がい者では23.9%、精神障がい者では75.2%、指定難病医療受給者では69.6%となっています。知的障がい者では「家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入」の回答が57.8%と、本人の23.9%を33.9ポイント上回っています。

■調査票記入者



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	本人がご自身で記入	本人の意思を「代筆」で記入	家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入	無回答
全体		812	541	90	159	22
		100.0	66.6	11.1	19.6	2.7
年齢別	0~17歳	35	7	4	23	1
		100.0	20.0	11.4	65.7	2.9
	18~39歳	75	44	9	21	1
		100.0	58.7	12.0	28.0	1.3
	40~64歳	216	142	22	48	4
		100.0	65.7	10.2	22.2	1.9
65~74歳		134	96	18	18	2
		100.0	71.6	13.4	13.4	1.5
	75歳以上	281	191	36	48	6
	100.0	68.0	12.8	17.1	2.1	
障がい種別	身体障がい	437	307	50	71	9
		100.0	70.3	11.4	16.2	2.1
	知的障がい	109	26	17	63	3
		100.0	23.9	15.6	57.8	2.8
	精神障がい	145	109	13	23	-
	100.0	75.2	9.0	15.9	-	
指定難病医療受給者	56	39	8	9	-	
	100.0	69.6	14.3	16.1	-	

1-2 調査の結果

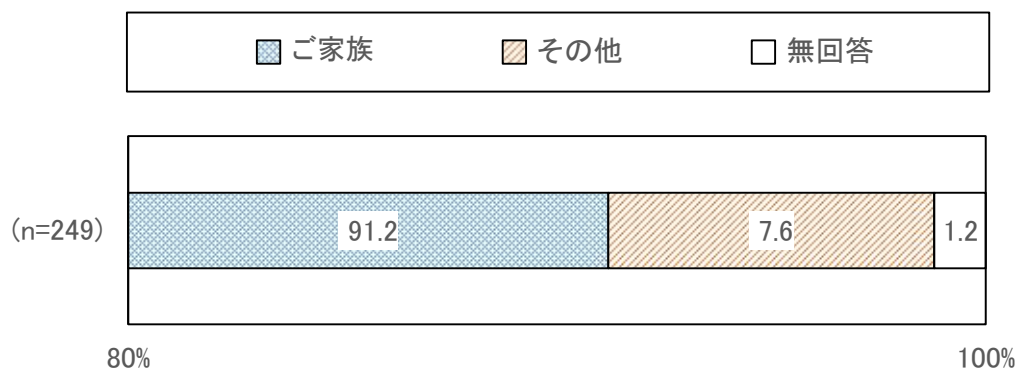
問1で「2. 本人の意思を「代筆」で記入」または「3. 家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入」と答えた人におたずねします。

問1-1 記入された方とご本人との関係について、あてはまる方に○をしてください。

障がい者全体では、「ご家族」が91.2%、「その他」が7.6%となっています。

障がい別に「ご家族」の割合をみると、身体障がい者では91.7%、知的障がい者では95.0%、精神障がい者では86.1%となっており、精神障がい者で「その他」の回答が13.9%と他の障害と比べて多くなっています。

■調査票記入者と本人との関係



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	ご家族	その他	無回答
全体		249 100.0	227 91.2	19 7.6	3 1.2
年齢別	0~17歳	27 100.0	27 100.0	-	-
	18~39歳	30 100.0	30 100.0	-	-
	40~64歳	70 100.0	62 88.6	8 11.4	-
	65~74歳	36 100.0	31 86.1	5 13.9	-
	75歳以上	84 100.0	75 89.3	6 7.1	3 3.6
障がい別	身体障がい	121 100.0	111 91.7	9 7.4	1 0.8
	知的障がい	80 100.0	76 95.0	4 5.0	-
	精神障がい	36 100.0	31 86.1	5 13.9	-
	指定難病医療 受給者	17 100.0	17 100.0	-	-

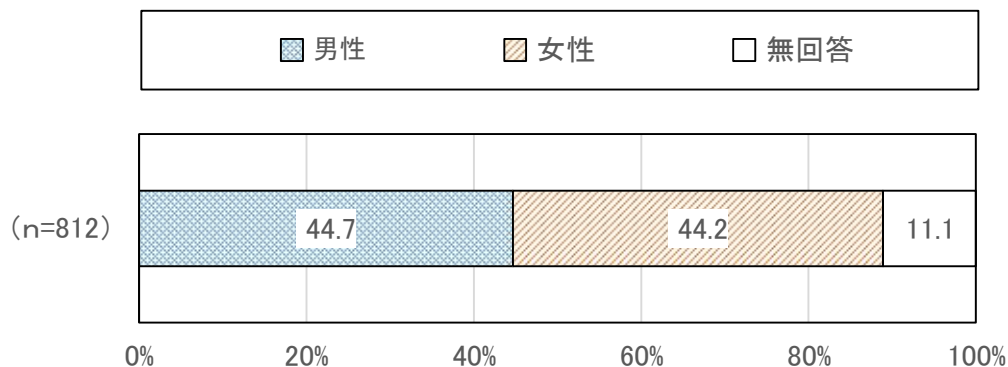
問2 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

障がい者全体では、「男性」が44.7%、「女性」が44.2%で男性が女性をわずかに上回っています。

障がい別に性別の割合をみると、精神障がい者を除く各障がいにおいて、「男性」が「女性」の割合を上回っています。

■性別



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	男性	女性	無回答
全体		812	363	359	90
		100.0	44.7	44.2	11.1
年齢別	0~17歳	35	22	12	1
		100.0	62.9	34.3	2.9
	18~39歳	75	33	42	-
		100.0	44.0	56.0	-
	40~64歳	216	102	109	5
		100.0	47.2	50.5	2.3
障がい種別	65~74歳	134	77	54	3
		100.0	57.5	40.3	2.2
	75歳以上	281	128	139	14
		100.0	45.6	49.5	5.0
	身体障がい	437	207	191	39
		100.0	47.4	43.7	8.9
障がい種別	知的障がい	109	55	52	2
		100.0	50.5	47.7	1.8
	精神障がい	145	62	68	15
		100.0	42.8	46.9	10.3
指定難病医療受給者	56	25	20	11	
	100.0	44.6	35.7	19.6	

1-2 調査の結果

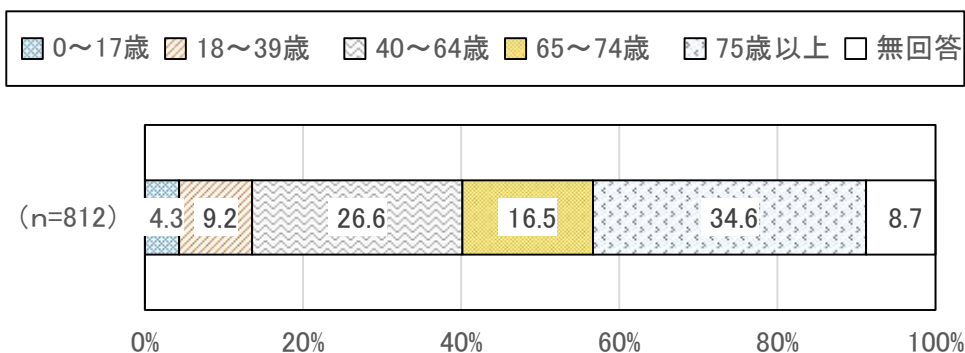
問3 年齢

問3 令和4年11月1日現在の、あなたの年齢はいくつですか。(1つに○)

障がい者全体では、「75歳以上」(34.6%)が最も多く、次いで「40～64歳」(26.6%)、「65～74歳」(16.5%)、「18～39歳」(9.2%)、「0～17歳」(4.3%)となっています。65歳以上が全体の51.1%と半数を超えています。

障がい別に年齢構成の割合をみると、「身体障がい」は75歳以上、「知的障がい」と「精神障がい」は40～64歳、「指定難病医療受給者」は75歳以上割合が最も多くなっています。

■年齢



■年齢別クロス集計

	合計	0～17歳	18～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
全体	812	35	75	216	134	281	71
	100.0	4.3	9.2	26.6	16.5	34.6	8.7
身体障がい	437	4	11	84	104	204	30
	100.0	0.9	2.5	19.2	23.8	46.7	6.9
知的障がい	109	26	34	40	5	2	2
	100.0	23.9	31.2	36.7	4.6	1.8	1.8
精神障がい	145	13	27	73	13	6	13
	100.0	9.0	18.6	50.3	9.0	4.1	9.0
指定難病医療受給者	56	-	-	14	11	25	6
	100.0	-	-	25.0	19.6	44.6	10.7

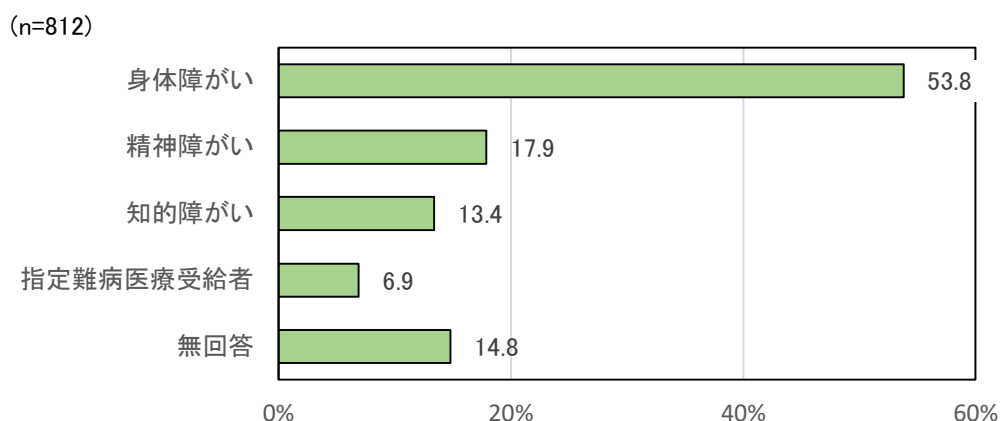
問4 障がいの種別

問4 あなたにはどのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「身体障がい」(53.8%)が最も多く、次いで「精神障がい」(17.9%)、「知的障がい」(13.4%)、「指定難病医療受給者」(6.9%)となっています。

年齢別に障がいの割合をみると、「40～64歳」、「65～74歳」、「75歳以上」は身体障がい者が最も多く、「0～17歳」、「18～39歳」は知的障がい者が最も多くなっています。

■障がいの状況



■年齢別クロス集計

	合計	身体障がい	知的障がい	精神障がい	指定難病医療受給者	無回答
全体	812	437	109	145	56	120
	100.0	53.8	13.4	17.9	6.9	14.8
0～17歳	35	4	26	13	-	-
	100.0	11.4	74.3	37.1	-	-
18～39歳	75	11	34	27	-	8
	100.0	14.7	45.3	36.0	-	
40～64歳	216	84	40	73	14	29
	100.0	38.9	18.5	33.8	6.5	13.4
65～74歳	134	104	5	13	11	10
	100.0	77.6	3.7	9.7	8.2	7.5
75歳以上	281	204	2	6	25	50
	100.0	72.6	0.7	2.1	8.9	17.8

1-2 調査の結果

問4で「1. 身体障がい」と答えた人におたずねします。

問4-1(1) あなたにはどの障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

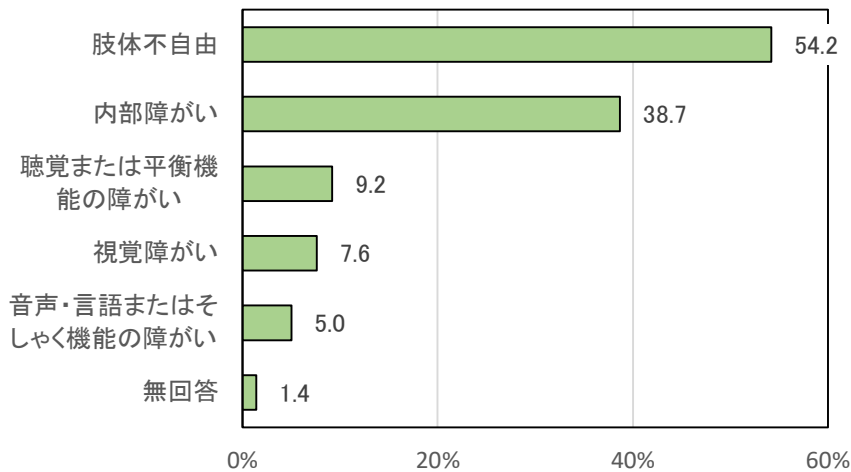
身体障がいがある方の障がいの状況は、「肢体不自由」(54.2%)が最も多く、次いで「内部障がい」(38.7%)、「聴覚または平衡機能の障がい」(9.2%)、「視覚障がい」(7.6%)、「音声・言語またはそしゃく機能の障がい」(5.0%)となっています。

また、肢体不自由の部位では、「下肢(脚)」(83.1%)が最も多く、次いで「上肢(手・腕)」(38.8%)、「体幹(手・腕を除く上半身)」(15.2%)、「脳原性運動機能障害(上肢機能障害)」(5.5%)、「脳原性運動機能障害(移動機能障害)」(5.1%)の順となっています。

内部障がいの部位では、「心臓」(52.1%)が最も多く、次いで「じん臓」(24.9%)、「ぼうこうまたは直腸」(17.8%)、「呼吸器」(7.1%)、「小腸」「肝臓」(1.8%)、「免疫」(1.2%)となっています。

■身体障がいの状況

(n=437)

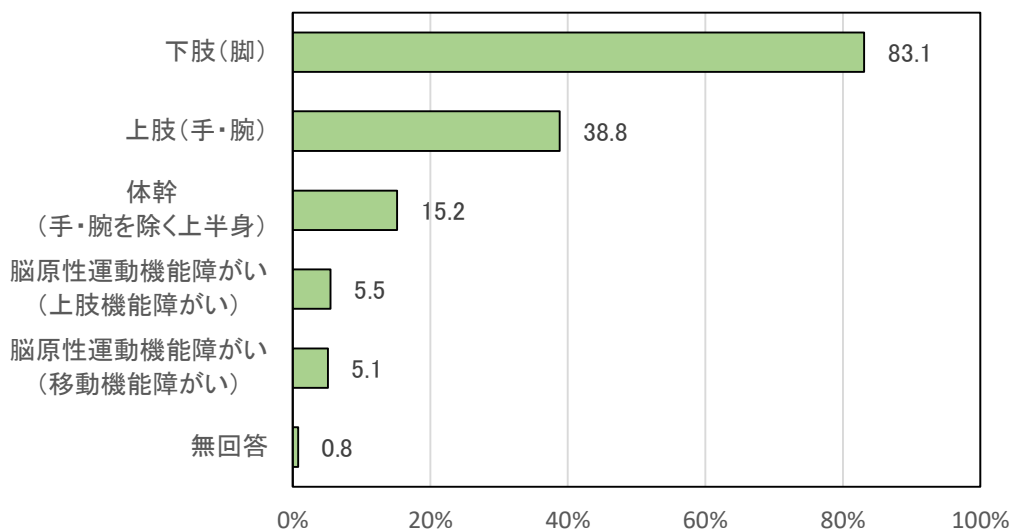


■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	肢体不自由	内部障がい	視覚障がい	聴覚または平衡機能の障がい	音声・言語またはそしゃく機能の障がい	無回答
全体		437 100.0	237 54.2	169 38.7	33 7.6	40 9.2	22 5.0	6 1.4
年齢別	0~17歳	4 100.0	3 75.0	2 50.0	-	-	-	-
	18~39歳	11 100.0	6 54.5	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-
	40~64歳	84 100.0	49 58.3	32 38.1	10 11.9	4 4.8	8 9.5	1 1.2
	65~74歳	104 100.0	57 54.8	40 38.5	7 6.7	7 6.7	8 7.7	1 1.0
	75歳以上	204 100.0	105 51.5	82 40.2	14 6.9	23 11.3	5 2.5	4 2.0
障がい種別	身体障がい	437 100.0	237 54.2	169 38.7	33 7.6	40 9.2	22 5.0	6 1.4
	知的障がい	16 100.0	14 87.5	-	2 12.5	5 31.3	1 6.3	-
	精神障がい	7 100.0	4 57.1	3 42.9	-	2 28.6	-	-
	指定難病医療受給者	17 100.0	11 64.7	8 47.1	2 11.8	1 5.9	2 11.8	-

■ 肢体不自由の部位（あてはまるものすべてに○）

(n=237)



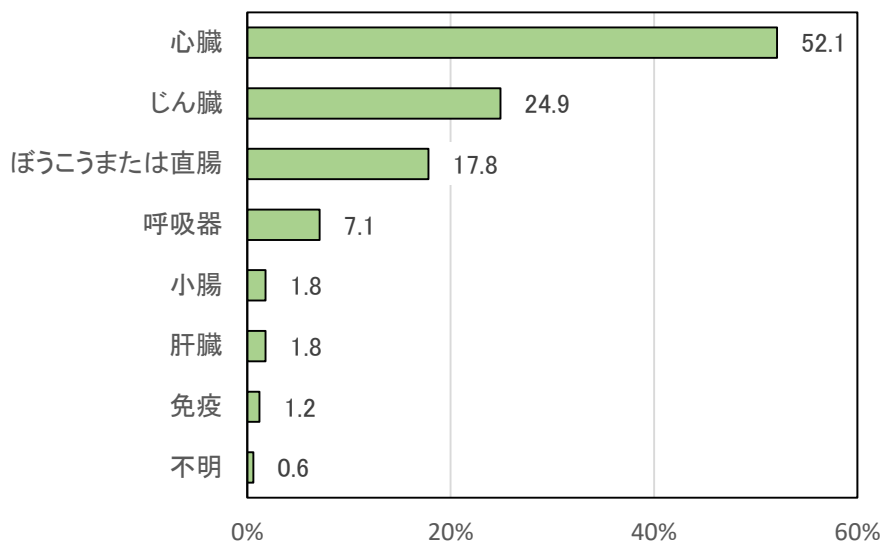
■ 年齢別・障がい別クロス集計

		合計	上肢 (手・腕)	下肢(脚)	体幹(手・ 腕を除く上 半身)	脳原性運動 機能障がい (上肢機能 障がい)	脳原性運動 機能障がい (移動機能 障がい)	無回答
全体		237 100.0	92 38.8	197 83.1	36 15.2	13 5.5	12 5.1	2 0.8
年齢別	0~17歳	3 100.0	3 100.0	3 100.0	2 66.7	- -	- -	- -
	18~39歳	6 100.0	3 50.0	4 66.7	1 16.7	- -	- -	1 16.7
	40~64歳	49 100.0	3 6.1	4 8.2	1 2.0	- -	- -	1 2.0
	65~74歳	57 100.0	22 38.6	44 77.2	8 14.0	4 7.0	5 8.8	- -
	75歳以上	105 100.0	36 34.3	88 83.8	12 11.4	4 3.8	3 2.9	- -
障がい種別	身体障がい	237 100.0	92 38.8	197 83.1	36 15.2	13 5.5	12 5.1	2 0.8
	知的障がい	14 100.0	6 42.9	12 85.7	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	4 100.0	- -	- -	- -	- -
	指定難病医療 受給者	11 100.0	2 18.2	7 63.6	4 36.4	1 9.1	5 45.5	- -

1-2 調査の結果

■内部障がい部位（あてはまるものすべてに○）

(n=169)



■年齢別・障がい別クロス集計

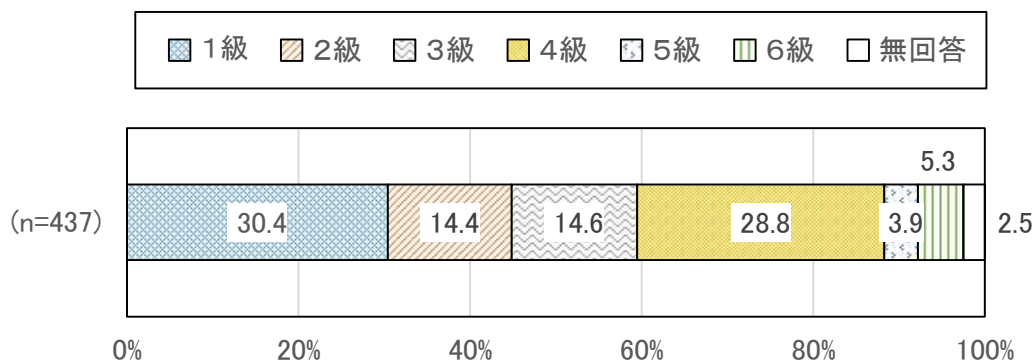
		合計	心臓	じん臓	呼吸器	ぼうこうま または直腸	小腸	免疫	肝臓	無回答
全体		169 100.0	88 52.1	42 24.9	12 7.1	30 17.8	3 1.8	2 1.2	3 1.8	1 0.6
年 令 別	0~17歳	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-
	18~39歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-
	40~64歳	32 100.0	12 37.5	11 34.4	1 3.1	7 21.9	2 6.3	1 3.1	1 3.1	-
	65~74歳	40 100.0	16 40.0	14 35.0	4 10.0	7 17.5	-	-	-	1 2.5
	75歳以上	82 100.0	49 59.8	15 18.3	6 7.3	16 19.5	1 1.2	-	2 2.4	-
障 が い 種 別	身体障がい	169 100.0	88 52.1	42 24.9	12 7.1	30 17.8	3 1.8	2 1.2	3 1.8	1 0.6
	知的障がい	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神障がい	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-
	指定難病医療 受給者	8 100.0	5 62.5	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-

問4-1 (2) 「身体障害者手帳」の等級はどれですか。(1つに〇)

身体障害者手帳の等級をみると、「1級」(30.4%)が最も多く、次いで「4級」が28.8%、「3級」が14.6%、「2級」が14.4%、「6級」が5.3%、「5級」が3.9%となっています。

年齢別に身体障害者手帳の等級割合をみると、75歳以上は「4級」が、その他の年代はいずれも「1級」の割合が最も多くなっています。

■身体障害者手帳の等級



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
全体		437 100.0	133 30.4	63 14.4	64 14.6	126 28.8	17 3.9	23 5.3	11 2.5
年齢別	0~17歳	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
	18~39歳	11 100.0	4 36.4	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	- -	1 9.1
	40~64歳	84 100.0	39 46.4	14 16.7	7 8.3	14 16.7	3 3.6	3 3.6	4 4.8
	65~74歳	104 100.0	29 27.9	18 17.3	22 21.2	25 24.0	3 2.9	5 4.8	2 1.9
	75歳以上	204 100.0	50 24.5	25 12.3	28 13.7	77 37.7	7 3.4	14 6.9	3 1.5
障がい種別	身体障がい	437 100.0	133 30.4	63 14.4	64 14.6	126 28.8	17 3.9	23 5.3	11 2.5
	知的障がい	16 100.0	4 25.0	7 43.8	1 6.3	2 12.5	2 12.5	- -	- -
	精神障がい	7 100.0	- -	3 42.9	- -	2 28.6	- -	1 14.3	1 14.3
	指定難病医療受給者	17 100.0	7 41.2	5 29.4	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	- -

1-2 調査の結果

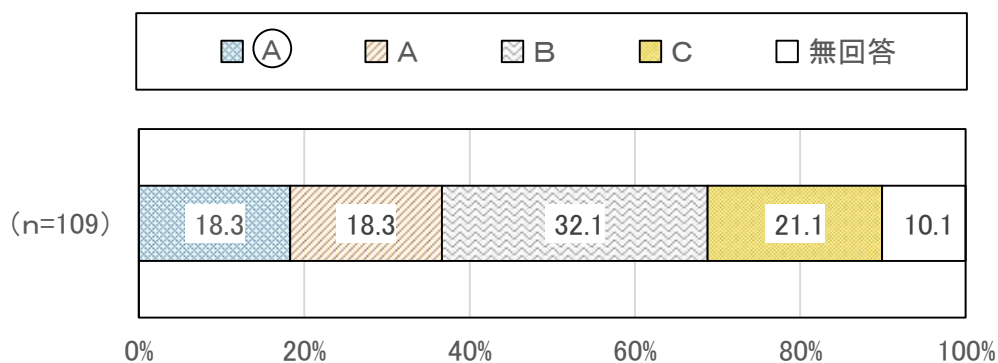
問4で「2. 知的障がい」と答えた人におたずねします。

問4-2 「療育手帳（みどりの手帳）」の等級はどれですか。（1つに○）

療育手帳の等級をみると、「**Ⓐ**」と「A」がともに18.3%、「B」が32.1%、「C」が21.1%となっています。

年齢別に療育手帳の等級割合をみると、0～17歳は「C」、18～39歳と40～64歳は「B」の割合が最も多くなっています。

■療育手帳の等級



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	Ⓐ	A	B	C	無回答
全体		109	20	20	35	23	11
		100.0	18.3	18.3	32.1	21.1	10.1
年齢別	0～17歳	26	3	3	6	13	1
		100.0	11.5	11.5	23.1	50.0	3.8
	18～39歳	34	8	7	11	8	-
		100.0	23.5	20.6	32.4	23.5	-
	40～64歳	40	9	9	16	2	4
		100.0	22.5	22.5	40.0	5.0	10.0
	5	-	1	1	-	3	
	100.0	-	20.0	20.0	-	60.0	
	2	-	-	1	-	1	
	100.0	-	-	50.0	-	50.0	
障がい種別	身体障がい	16	5	2	6	2	1
		100.0	31.3	12.5	37.5	12.5	6.3
	知的障がい	109	20	20	35	23	11
		100.0	18.3	18.3	32.1	21.1	10.1
	精神障がい	14	-	1	4	4	5
	100.0	-	7.1	28.6	28.6	35.7	
	2	-	-	1	-	1	
	100.0	-	-	50.0	-	50.0	

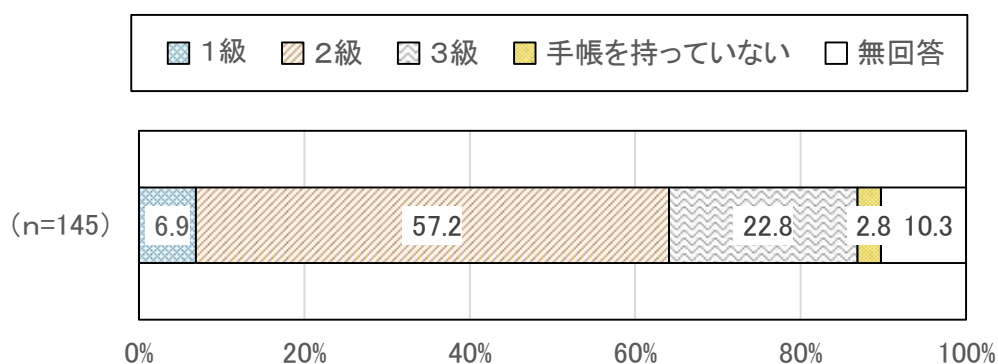
問4で「3. 精神障がい」と答えた人におたずねします。

問4-3 (1) 「精神障害者手帳」の等級はどれですか。(1つに〇)

精神障害者手帳の等級別にみると「1級」が6.9%、「2級」が57.2%、「3級」が22.8%となっています。

年齢別に精神障害者手帳の等級割合をみると、18～39歳では「3級」が、その他の年代では「2級」の割合が最も多くなっています。

■精神障害者手帳の等級



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	1級	2級	3級	手帳を持っていない	無回答
全体		145	10	83	33	4	15
		100.0	6.9	57.2	22.8	2.8	10.3
年齢別	0～17歳	13	-	5	1	3	4
		100.0	-	38.5	7.7	23.1	30.8
	18～39歳	27	2	11	12	-	2
		100.0	7.4	40.7	44.4	-	15.4
	40～64歳	73	4	50	14	-	5
		100.0	10.0	125.0	35.0	-	12.5
65～74歳	13	2	7	2	1	1	
	100.0	15.4	53.8	15.4	7.7	7.7	
75歳以上	6	2	3	-	-	1	
	100.0	33.3	50.0	-	-	16.7	
障がい種別	身体障がい	7	-	4	1	-	2
		100.0	-	57.1	14.3	-	28.6
	知的障がい	14	1	5	1	3	4
		100.0	7.1	35.7	7.1	21.4	28.6
精神障がい	145	10	83	33	4	15	
	100.0	6.9	57.2	22.8	2.8	10.3	
指定難病医療受給者	2	-	-	1	-	1	
	100.0	-	-	50.0	-	50.0	

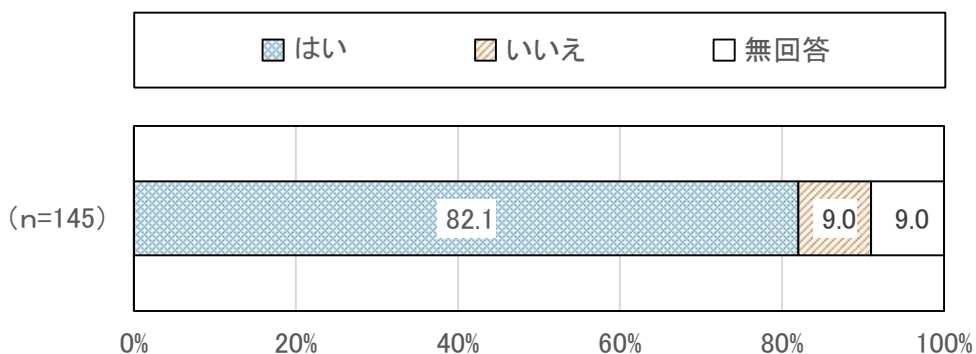
1-2 調査の結果

問4-3 (2) 「自立支援医療受給者証」をお持ちですか。(1つに○)

精神障がいがある方の自立支援医療受給者証の所持状況をみると、「はい」が82.1%、「いいえ」が9.0%となっています。

年齢別に自立支援医療受給者証の所持割合をみると、0~17歳以外の年齢は「はい」の割合が「いいえ」の割合を大幅に上回っています。

■自立支援医療受給者証の所持状況



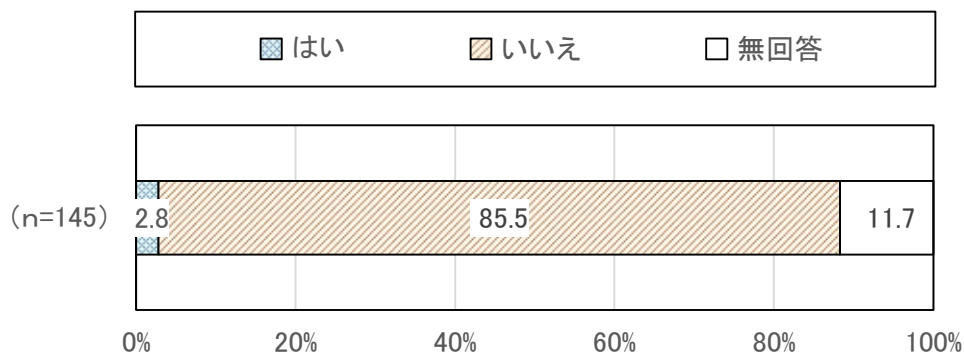
■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		145 100.0	119 82.1	13 9.0	13 9.0
年齢別	0~17歳	13 100.0	6 46.2	4 30.8	3 23.1
	18~39歳	27 100.0	20 74.1	4 14.8	3 11.1
	40~64歳	73 100.0	66 90.4	4 5.5	3 4.1
	65~74歳	13 100.0	12 92.3	-	1 7.7
	75歳以上	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7
障がい種別	身体障がい	7 100.0	6 85.7	1 14.3	-
	知的障がい	14 100.0	7 50.0	3 21.4	4 28.6
	精神障がい	145 100.0	119 82.1	13 9.0	13 9.0
	指定難病医療受給者	2 100.0	2 100.0	-	-

問4-3 (3) これまで高次脳機能障がいとして診断されたことはありますか。
(1つに○)

精神障がいがある方の高次脳機能障がいの診断状況をみると、「はい」が2.8%となっています。

■高次脳機能障がいの診断状況



■年齢別・障がい別クロス集計

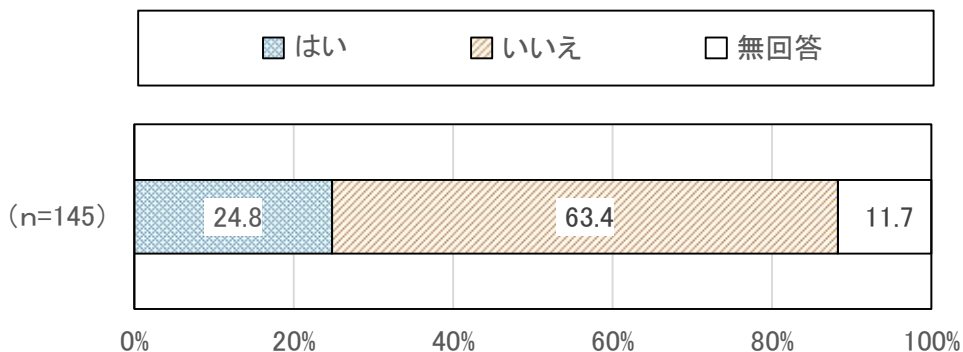
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		145 100.0	4 2.8	124 85.5	17 11.7
年齢別	0~17歳	13 100.0	- -	9 69.2	4 30.8
	18~39歳	27 100.0	1 3.7	24 88.9	2 7.4
	40~64歳	73 100.0	3 4.1	62 84.9	8 11.0
	65~74歳	13 100.0	- -	12 92.3	1 7.7
	75歳以上	6 100.0	- -	6 100.0	- -
障がい種別	身体障がい	7 100.0	2 28.6	5 71.4	- -
	知的障がい	14 100.0	- -	9 64.3	5 35.7
	精神障がい	145 100.0	4 2.8	124 85.5	17 11.7
	指定難病医療受給者	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -

1-2 調査の結果

問 4-3 (4) これまで発達障がいとして診断されたことはありますか。
(1つに○)

精神障がいがある方の発達障がいの診断状況を見ると、「はい」が24.8%となっています。

■発達障がいの診断状況



■年齢別・障がい別クロス集計

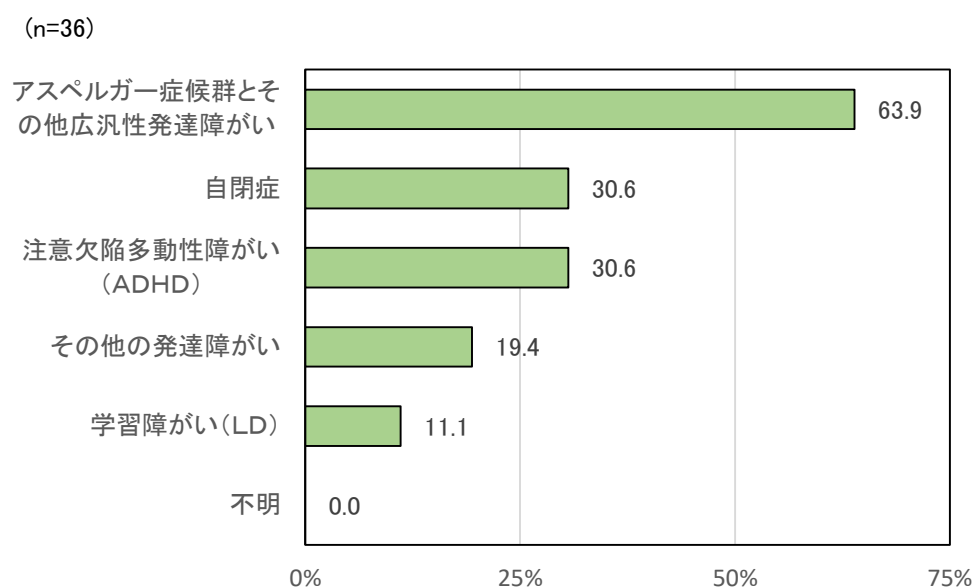
		合計	はい	いいえ	無回答
全体		145 100.0	36 24.8	92 63.4	17 11.7
年齢別	0~17歳	13 100.0	10 76.9	- -	3 23.1
	18~39歳	27 100.0	10 37.0	14 51.9	3 11.1
	40~64歳	73 100.0	9 12.3	56 76.7	8 11.0
	65~74歳	13 100.0	2 15.4	11 84.6	- -
	75歳以上	6 100.0	- -	5 83.3	1 16.7
	障がい種別	身体障がい	7 100.0	- -	7 100.0
知的障がい		14 100.0	8 57.1	3 21.4	3 21.4
精神障がい		145 100.0	36 24.8	92 63.4	17 11.7
指定難病医療受給者		2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -

問4-3（4）で「1. はい」と答えた人におたずねします。

問4-3（5） どのような診断を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

精神障がいがある方で発達障がいの診断を受けている方の診断内容をみると、「アスペルガー症候群とその他広汎性発達障がい」（63.9%）が最も多く、次いで「自閉症」「注意欠陥多動性障がい（ADHD）」（30.6%）、「その他の発達障がい」（19.4%）、「学習障がい（LD）」（11.1%）の順となっています。

■発達障がいの診断内容



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	自閉症	アスペルガー症候群とその他広汎性発達障がい	学習障がい (LD)	注意欠陥多動性障がい (ADHD)	その他の発達障がい	無回答
全体		36 100.0	11 30.6	23 63.9	4 11.1	11 30.6	7 19.4	-
年齢別	0~17歳	10 100.0	6 60.0	5 50.0	-	3 30.0	1 10.0	-
	18~39歳	10 100.0	2 20.0	9 90.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	-
	40~64歳	9 100.0	2 22.2	6 66.7	1 11.1	4 44.4	3 33.3	-
	65~74歳	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	75歳以上	-	-	-	-	-	-	-
	障がい種別	身体障がい	-	-	-	-	-	-
知的障がい	8 100.0	5 62.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	
精神障がい	36 100.0	11 30.6	23 63.9	4 11.1	11 30.6	7 19.4	-	
指定難病医療受給者	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	

② 生活の場について

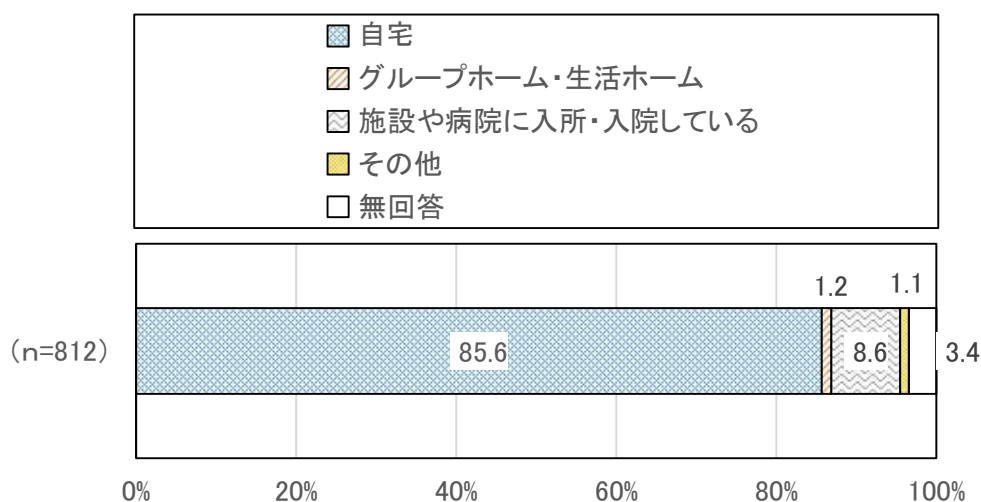
問5 現在の生活環境

問5 あなたの現在の生活環境はどれですか。(1つに○)

障がい者全体では、「自宅」が85.6%で回答者のほとんどを占めています。自宅以外では「グループホーム・生活ホーム」が1.2%、「施設や病院に入所・入院している」が8.6%となっています。

障がい別にかかわらず「自宅」が最も多くなっていますが、知的障がい者には「病院や施設に入所・入院している」の人が11.0%みられます。

■現在の生活環境



■年齢別・障がい別クロス集計

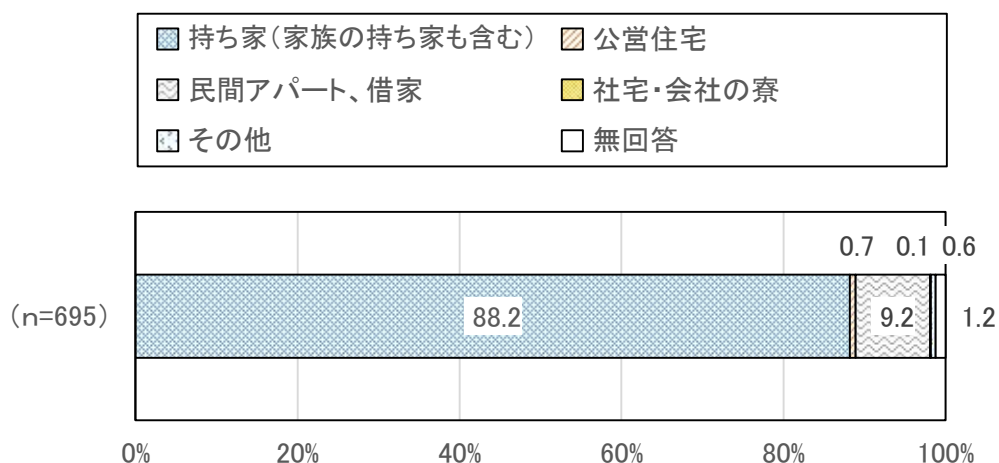
		合計	自宅	グループホーム・生活ホーム	施設や病院に入所・入院している	その他	無回答
全体		812 100.0	695 85.6	10 1.2	70 8.6	9 1.1	28 3.4
年齢別	0~17歳	35 100.0	32 91.4	- -	- -	1 2.9	2 5.7
	18~39歳	75 100.0	66 88.0	4 5.3	2 2.7	- -	3 4.0
	40~64歳	216 100.0	178 82.4	3 1.4	28 13.0	3 1.4	4 1.9
	65~74歳	134 100.0	116 86.6	2 1.5	12 9.0	1 0.7	3 2.2
	75歳以上	281 100.0	240 85.4	1 0.4	28 10.0	3 1.1	9 3.2
障がい種別	身体障がい	437 100.0	378 86.5	4 0.9	43 9.8	2 0.5	10 2.3
	知的障がい	109 100.0	86 78.9	6 5.5	12 11.0	2 1.8	3 2.8
	精神障がい	145 100.0	125 86.2	3 2.1	8 5.5	7 4.8	2 1.4
	指定難病医療受給者	56 100.0	50 89.3	- -	4 7.1	- -	2 3.6

問5で「1. 自宅」と答えた人におたずねします。

問5-1 (1) あなたは今、どこで暮らしていますか。(1つに〇)

自宅と回答した方の今暮らしている場所をみると、「持ち家（家族の持ち家も含む）」が88.2%と約9割を占め、「持ち家」以外では、「公営住宅」が0.7%、「民間アパート、借家」が9.2%などとなっています。

■暮らしている場所



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	持ち家(家族の持ち家も含む)	公営住宅	民間アパート、借家	社宅・会社の寮	その他	無回答
全体		695 100.0	613 88.2	5 0.7	64 9.2	1 0.1	4 0.6	8 1.2
年齢別	0~17歳	32 100.0	28 87.5	-	4 12.5	-	-	-
	18~39歳	66 100.0	59 89.4	-	7 10.6	-	-	-
	40~64歳	178 100.0	141 79.2	5 2.8	29 16.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6
	65~74歳	116 100.0	97 83.6	-	16 13.8	-	-	3 2.6
	75歳以上	240 100.0	229 95.4	-	5 2.1	-	3 1.3	3 1.3
障がい種別	身体障がい	378 100.0	340 89.9	3 0.8	25 6.6	1 0.3	2 0.5	7 1.9
	知的障がい	86 100.0	74 86.0	-	11 12.8	-	-	1 1.2
	精神障がい	125 100.0	96 76.8	3 2.4	26 20.8	-	-	-
	指定難病医療受給者	50 100.0	46 92.0	1 2.0	3 6.0	-	-	-

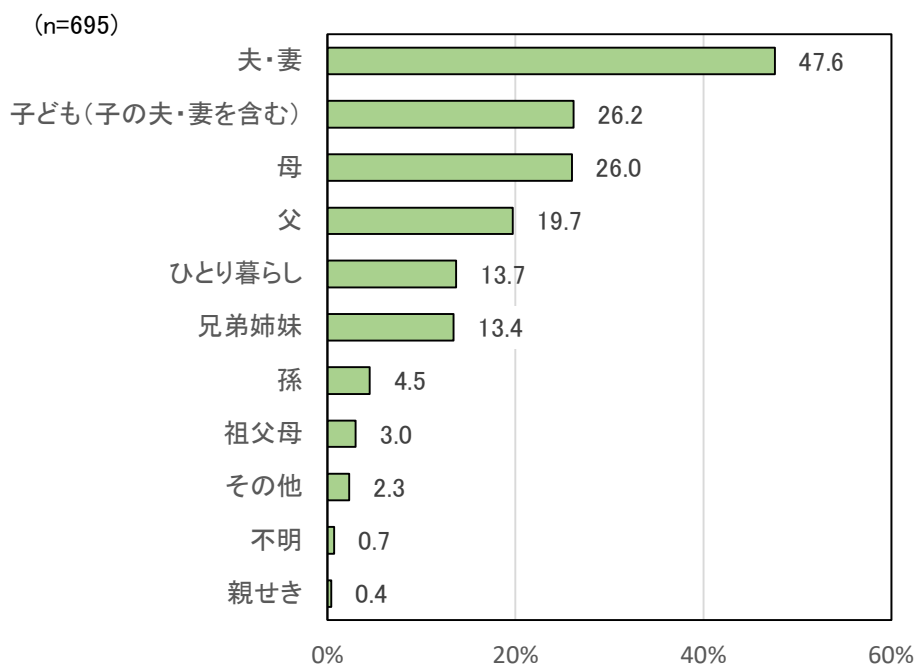
1-2 調査の結果

問5-1 (2) あなたといっしょに住んでいる人は誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

いっしょに住んでいる人をみると、「夫、妻」(47.6%)が最も多く、次いで「子ども(子の夫・妻を含む)」(26.2%)、「母」(26.0%)、「父」(19.7%)、「兄弟姉妹」(13.4%)となっています。一方で「ひとり暮らし」は13.7%となっています。

障がい別にみると、身体障がい者は「夫・妻」の割合が多く、知的障がい者と精神障がい者は「父」及び「母」の割合が多くなっています。

■いっしょに住んでいる人



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	夫・妻	父	母	子ども (子の夫・ 妻を含む)	兄弟姉妹
全体		695 100.0	331 47.6	137 19.7	181 26.0	182 26.2	93 13.4
年 令 別	0~17歳	32 100.0	- -	27 84.4	31 96.9	- -	23 71.9
	18~39歳	66 100.0	4 6.1	46 69.7	58 87.9	3 4.5	26 39.4
	40~64歳	178 100.0	61 34.3	46 25.8	68 38.2	43 24.2	32 18.0
	65~74歳	116 100.0	83 71.6	4 3.4	5 4.3	33 28.4	2 1.7
	75歳以上	240 100.0	147 61.3	1 0.4	3 1.3	84 35.0	5 2.1
	障 が い 種 別	身体障がい	378 100.0	231 61.1	24 6.3	36 9.5	126 33.3
	知的障がい	86 100.0	1 1.2	63 73.3	79 91.9	3 3.5	48 55.8
	精神障がい	125 100.0	25 20.0	47 37.6	61 48.8	21 16.8	29 23.2
	指定難病医療 受給者	50 100.0	32 64.0	6 12.0	11 22.0	11 22.0	3 6.0

		祖父母	孫	親せき	ひとり 暮らし	その他	無回答
全体		21 3.0	31 4.5	3 0.4	95 13.7	16 2.3	5 0.7
年 令 別	0~17歳	6 18.8	- -	- -	- -	- -	- -
	18~39歳	9 13.6	1 1.5	1 1.5	2 3.0	3 4.5	- -
	40~64歳	3 1.7	- -	2 1.1	30 16.9	4 2.2	- -
	65~74歳	- -	8 6.9	- -	19 16.4	4 3.4	1 0.9
	75歳以上	- -	19 7.9	- -	38 15.8	5 2.1	4 1.7
	障 が い 種 別	身体障がい	3 0.8	25 6.6	- -	53 14.0	7 1.9
	知的障がい	13 15.1	- -	- -	1 1.2	3 3.5	- -
	精神障がい	3 2.4	1 0.8	2 1.6	24 19.2	5 4.0	- -
	指定難病医療 受給者	1 2.0	1 2.0	- -	4 8.0	1 2.0	- -

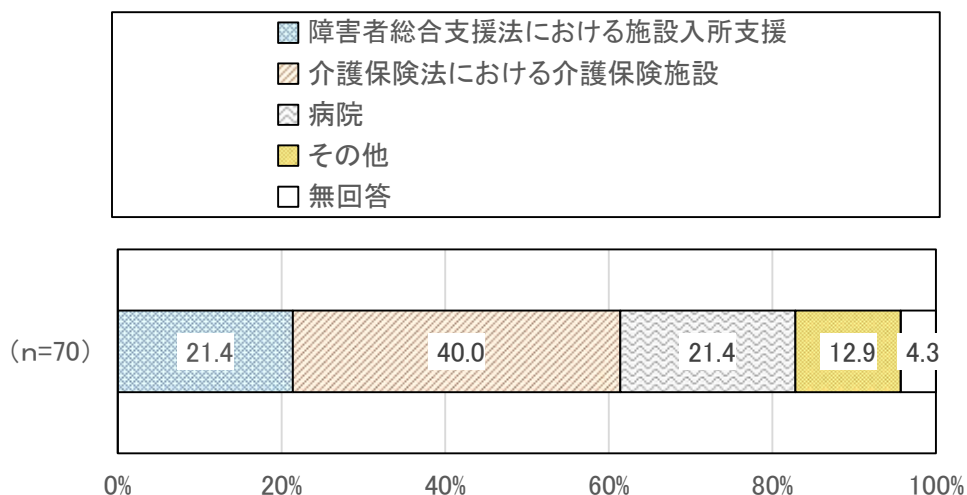
1-2 調査の結果

問5で「3. 施設や病院に入所・入院している」と答えた人におたずねします。

問5-2 あなたが今、利用している施設はどれですか。(1つに○)

施設や病院に入院・入所している人の利用している施設をみると、「介護保険法における介護保険施設」(40.0%)が最も多く、次いで「障害者総合支援法における施設入所支援」(21.4%)、「病院」(21.4%)となっています。

■利用している施設



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	障害者総合支援法における施設入所支援	介護保険法における介護保険施設	病院	その他	無回答
全体		70	15	28	15	9	3
		100.0	21.4	40.0	21.4	12.9	4.3
年齢別	0~17歳	-	-	-	-	-	-
	18~39歳	2	-	-	1	-	1
		100.0	-	-	50.0	-	50.0
	40~64歳	28	12	6	6	4	-
		100.0	42.9	21.4	21.4	14.3	-
65~74歳	12	3	2	3	3	1	
	100.0	25.0	16.7	25.0	25.0	8.3	
	75歳以上	28	-	20	5	2	1
	100.0	-	71.4	17.9	7.1	3.6	
障がい種別	身体障がい	43	5	22	10	5	1
		100.0	11.6	51.2	23.3	11.6	2.3
	知的障がい	12	10	-	1	-	1
		100.0	83.3	-	8.3	-	8.3
	精神障がい	8	1	1	5	1	-
	100.0	12.5	12.5	62.5	12.5	-	
指定難病医療受給者	4	1	1	1	-	1	
	100.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	

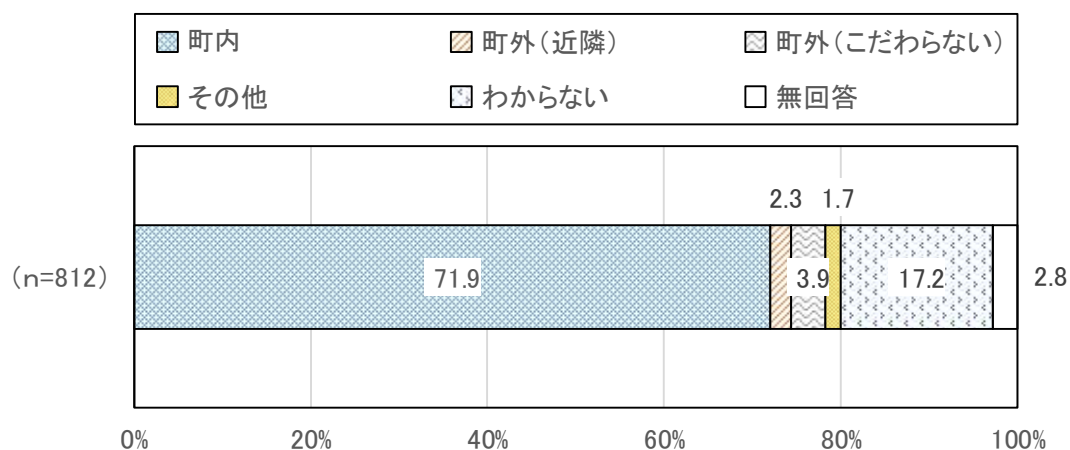
問6 今後の居住地についての意向

問6 あなたは今後（10年以内で）、どこに住みたいですか。（1つに〇）

障がい者全体では、「町内」（71.9%）が最も多く、「町外（こだわらない）」（3.9%）、
「町外（近隣）」（2.3%）は少数となっています。

障がい別にみると、精神障がい者の「町内」の割合は57.9%と、身体障がい者の78.9%
と比較して約20ポイント少なくなっています。

■今後住みたい場所



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	町内	町外(近隣)	町外(こだわらない)	その他	わからない	無回答
全体		812 100.0	584 71.9	19 2.3	32 3.9	14 1.7	140 17.2	23 2.8
年齢別	0~17歳	32 100.0	28 87.5	-	4 12.5	-	-	-
	18~39歳	66 100.0	59 89.4	-	7 10.6	-	-	-
	40~64歳	178 100.0	141 79.2	5 2.8	29 16.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6
	65~74歳	134 100.0	110 82.1	1 0.7	3 2.2	1 0.7	18 13.4	1 0.7
	75歳以上	281 100.0	223 79.4	1 0.4	5 1.8	3 1.1	37 13.2	12 4.3
障がい種別	身体障がい	437 100.0	345 78.9	4 0.9	12 2.7	2 0.5	65 14.9	9 2.1
	知的障がい	109 100.0	67 61.5	8 7.3	4 3.7	4 3.7	20 18.3	6 5.5
	精神障がい	145 100.0	84 57.9	9 6.2	9 6.2	6 4.1	37 25.5	-
	指定難病医療受給者	56 100.0	41 73.2	-	2 3.6	1 1.8	11 19.6	1 1.8

1-2 調査の結果

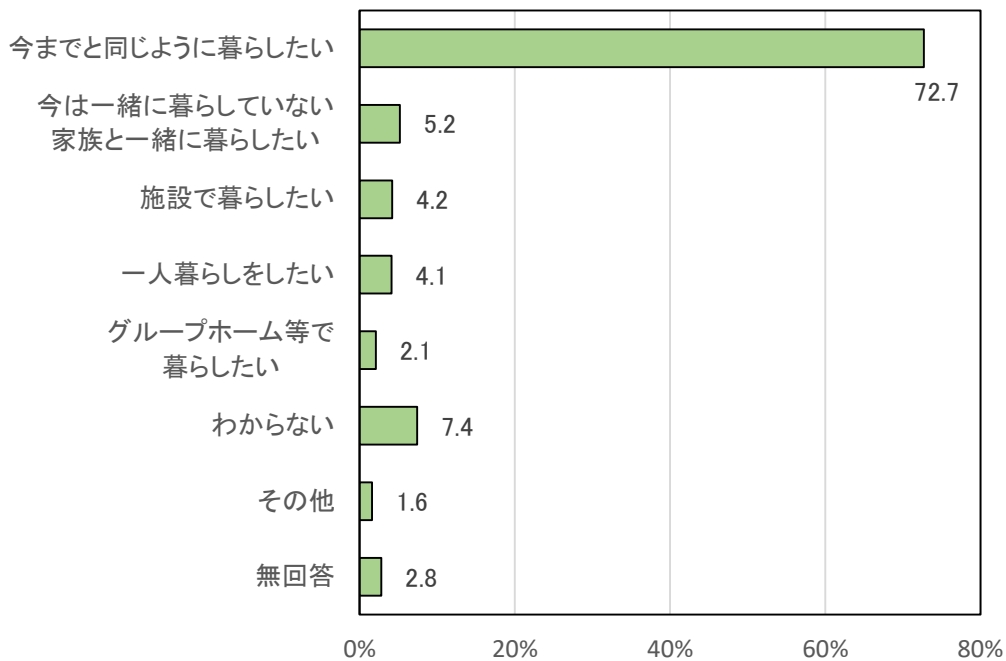
問7 今後の暮らし方についての意向

問7 あなたはどのような暮らし方をしたいですか。(1つに○)

障がい者全体では、「今までと同じように暮らしたい」(72.7%)が最も多くなっています。また、「今は一緒に暮らしていない家族と一緒に暮らしたい」が5.2%、「施設で暮らしたい」が4.2%、「一人暮らしをしたい」が4.1%、「グループホーム等で暮らしたい」が2.1%となっています。

■希望する暮らし方

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	今までと同じように暮らしたい	一人暮らしをしたい	今は一緒に暮らしていない家族と一緒に暮らしたい	グループホーム等で暮らしたい	施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		812	590	33	42	17	34	13	60	23
		100.0	72.7	4.1	5.2	2.1	4.2	1.6	7.4	2.8
年齢別	0~17歳	35	28	-	-	2	-	-	4	1
		100.0	80.0	-	-	5.7	-	-	11.4	2.9
	18~39歳	75	43	8	7	6	1	2	7	1
		100.0	57.3	10.7	9.3	8.0	1.3	2.7	9.3	1.3
	40~64歳	216	139	14	13	5	13	6	20	6
		100.0	64.4	6.5	6.0	2.3	6.0	2.8	9.3	2.8
65~74歳	134	102	2	11	1	4	1	11	2	
		100.0	76.1	1.5	8.2	0.7	3.0	0.7	8.2	1.5
	75歳以上	281	226	5	6	3	16	3	12	10
	100.0	80.4	1.8	2.1	1.1	5.7	1.1	4.3	3.6	
障がい種別	身体障がい	437	342	11	16	6	21	7	22	12
		100.0	78.3	2.5	3.7	1.4	4.8	1.6	5.0	2.7
	知的障がい	109	67	5	3	11	7	2	10	4
		100.0	61.5	4.6	2.8	10.1	6.4	1.8	9.2	3.7
	精神障がい	145	86	12	15	3	2	6	19	2
	100.0	59.3	8.3	10.3	2.1	1.4	4.1	13.1	1.4	
指定難病医療受給者	56	43	2	2	-	-	-	8	1	
	100.0	76.8	3.6	3.6	-	-	-	14.3	1.8	

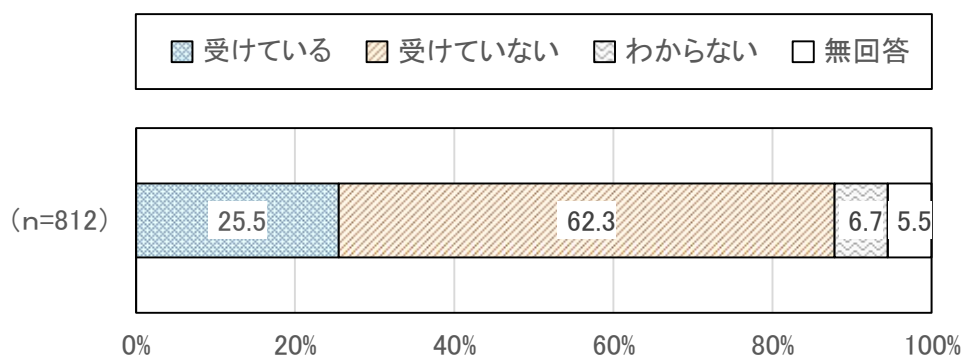
③ サービスの利用について

問8 サービスの利用状況及び今後の利用意向

問8 あなたは介護保険法の要介護認定を受けていますか。(1つに○)

障がい者全体では、「受けている」が25.5%、「受けていない」が62.3%となっています。

■要介護認定の状況



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	受けている	受けていない	わからない	無回答
全体		812 100.0	207 25.5	506 62.3	54 6.7	45 5.5
年齢別	0~17歳	35 100.0	1 2.9	31 88.6	2 5.7	1 2.9
	18~39歳	75 100.0	6 8.0	60 80.0	6 8.0	3 4.0
	40~64歳	216 100.0	32 14.8	144 66.7	27 12.5	13 6.0
	65~74歳	134 100.0	38 28.4	84 62.7	9 6.7	3 2.2
	75歳以上	281 100.0	111 39.5	141 50.2	8 2.8	21 7.5
障がい種別	身体障がい	437 100.0	138 31.6	257 58.8	26 5.9	16 3.7
	知的障がい	109 100.0	10 9.2	74 67.9	16 14.7	9 8.3
	精神障がい	145 100.0	11 7.6	116 80.0	10 6.9	8 5.5
	指定難病医療 受給者	56 100.0	21 37.5	31 55.4	1 1.8	3 5.4

1-2 調査の結果

問9 現在のサービスの利用状況及び今後の利用意向

問9 あなたは、次のサービスを現在利用していますか。また、現在利用しているか、していないか、今後利用したいかをおたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

【1. 訪問系サービス（在宅で訪問を受けるサービス）】

◎「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の利用状況は、「現在利用している」が5.8%で5種類の訪問系サービスの中で最も多く、「今後利用したい」も11.1%で5種類の訪問系サービスの中で最も多くなっています。

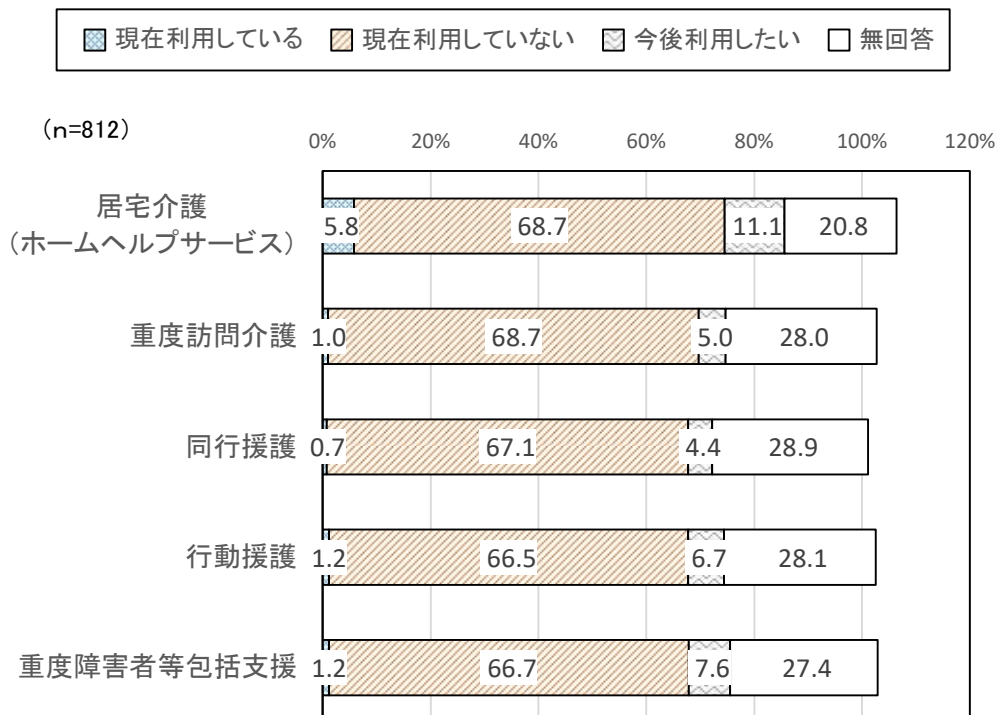
◎「重度訪問介護」の利用状況は、「現在利用している」が1.0%で利用が少ないサービスとなっています。また、「今後利用したい」も5.0%と少ない状況となっています。

◎「同行援護」の利用状況は、「現在利用している」が0.7%で5種類の訪問系サービスの中で最も少なく、「今後利用したい」も4.4%で5種類の訪問系サービスの中で最も少なくなっています。

◎「行動援護」の利用状況は、「現在利用している」が1.2%で利用が少ないサービスとなっています。また、「今後利用したい」も6.7%と少ない状況となっています。

◎「重度障害者等包括支援」の利用状況は、「現在利用している」が1.2%で利用が少ないサービスとなっています。また、「今後利用したい」も7.6%と少ない状況となっています。

■訪問系サービスの利用状況



■年齢別・障がい別クロス集計（1）居宅介護（ホームヘルプサービス）

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	47 5.8	558 68.7	90 11.1	169 20.8
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	29 82.9	1 2.9	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	- -	61 81.3	6 8.0	11 14.7
	40～64歳	216 100.0	18 8.3	153 70.8	20 9.3	36 16.7
	65～74歳	134 100.0	8 6.0	104 77.6	13 9.7	18 13.4
	75歳以上	281 100.0	16 5.7	167 59.4	46 16.4	79 28.1
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	25 5.7	305 69.8	54 12.4	86 19.7
	知的障がい	109 100.0	4 3.7	75 68.8	8 7.3	28 25.7
	精神障がい	145 100.0	6 4.1	109 75.2	12 8.3	24 16.6
	指定難病医療 受給者	56 100.0	5 8.9	36 64.3	11 19.6	12 21.4

■年齢別・障がい別クロス集計（2）重度訪問介護

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	8 1.0	558 68.7	41 5.0	227 28.0
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	- -	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	- -	63 84.0	2 2.7	11 14.7
	40～64歳	216 100.0	5 2.3	165 76.4	7 3.2	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	- -	97 72.4	8 6.0	33 24.6
	75歳以上	281 100.0	3 1.1	160 56.9	19 6.8	111 39.5
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	6 1.4	295 67.5	29 6.6	124 28.4
	知的障がい	109 100.0	- -	77 70.6	2 1.8	31 28.4
	精神障がい	145 100.0	- -	117 80.7	2 1.4	27 18.6
	指定難病医療 受給者	56 100.0	- -	36 64.3	8 14.3	17 30.4

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（3）同行援護

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	6 0.7	545 67.1	36 4.4	240 29.6
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	- -	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	- -	63 84.0	2 2.7	11 14.7
	40～64歳	216 100.0	5 2.3	165 76.4	7 3.2	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	- -	98 73.1	8 6.0	32 23.9
	75歳以上	281 100.0	4 1.4	152 54.1	14 5.0	116 41.3
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	5 1.1	286 65.4	25 5.7
知的障がい		109 100.0	1 0.9	76 69.7	2 1.8	31 28.4
精神障がい		145 100.0	- -	115 79.3	1 0.7	29 20.0
指定難病医療 受給者		56 100.0	1 1.8	35 62.5	5 8.9	18 32.1

■年齢別・障がい別クロス集計（4）行動援護

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	10 1.2	540 66.5	54 6.7	233 28.7
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	28 80.0	3 8.6	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	5 15.1	57 76.0	8 10.7	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	1 0.5	164 75.9	16 7.4	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	- -	98 73.1	8 6.0	32 23.9
	75歳以上	281 100.0	3 1.1	153 54.4	13 4.6	118 42.0
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	3 0.7	287 65.7	21 4.8
知的障がい		109 100.0	6 5.5	70 64.2	17 15.6	25 22.9
精神障がい		145 100.0	- -	113 77.9	10 6.9	26 17.9
指定難病医療 受給者		56 100.0	- -	35 62.5	5 8.9	19 33.9

■年齢別・障がい別クロス集計（5）重度障害者等包括支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	10 1.2	542 66.7	62 7.6	228 28.1
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	- -	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	1 2.6	58 77.3	8 10.7	11 14.7
	40～64歳	216 100.0	2 0.9	161 74.5	16 7.4	46 21.3
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	97 72.4	11 8.2	31 23.1
	75歳以上	281 100.0	6 2.1	154 54.8	22 7.8	110 39.1
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	6 1.4	288 65.9	39 8.9	126 28.8
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	72 66.1	9 8.3	31 28.4
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	113 77.9	5 3.4	28 19.3
	指定難病医療 受給者	56 100.0	3 5.4	36 64.3	9 16.1	13 23.2

1-2 調査の結果

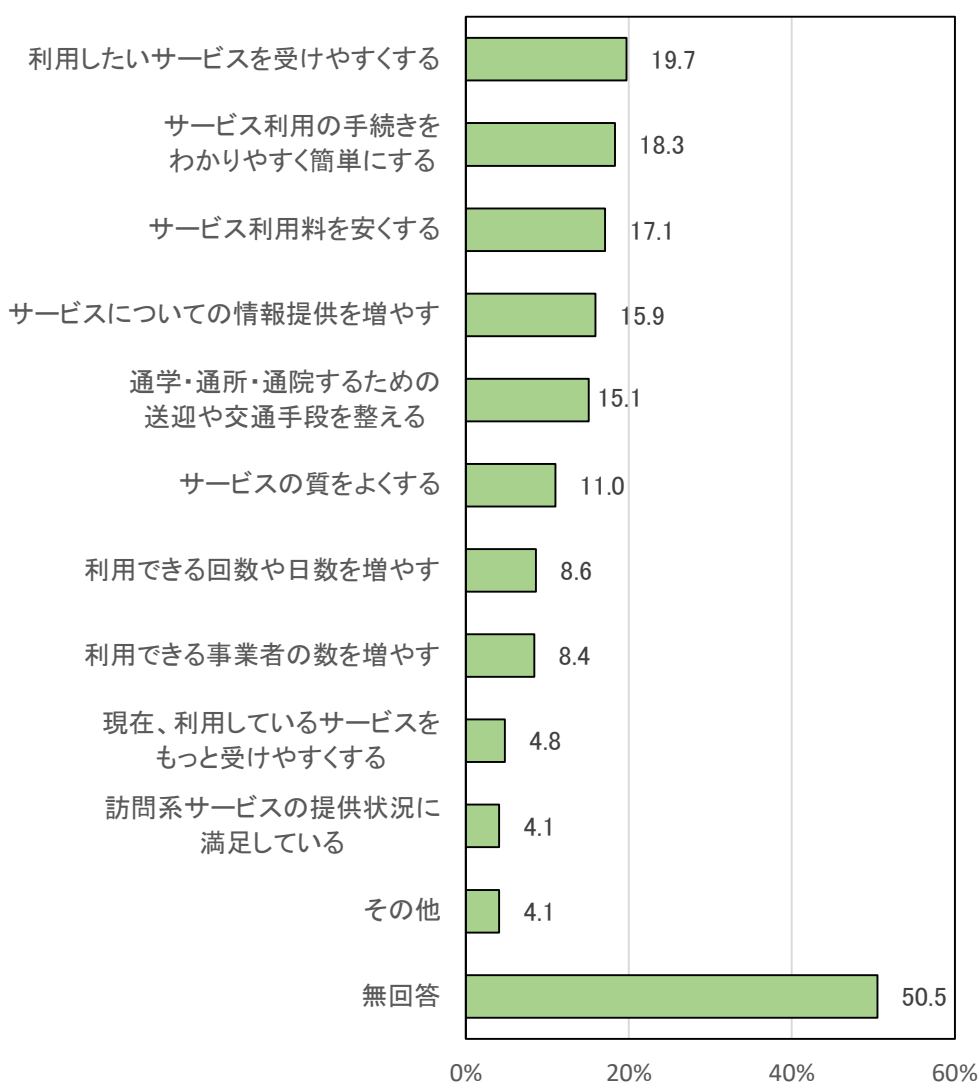
問9-1 (1) 訪問系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「利用したいサービスを受けやすくする」（19.7%）が最も多く、次いで「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」（18.3%）、「サービス利用料を安くする」（17.1%）、「サービスについての情報提供を増やす」（15.9%）、「通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える」（15.1%）の順となっています。

年齢別では、0～17歳は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」「サービス利用料を安くする」「サービスについての情報提供を増やす」、18～39歳は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」、40～64歳・65～74歳・75歳以上は「利用したいサービスを受けやすくする」がそれぞれ最も多くなっています。

■訪問系サービスで改善してほしいこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	利用できる回数 や日数を増やす	利用したい サービスを 受けやすくする	現在、利用して いるサービスを もっと 受けやすくする	サービス利用の 手続きを わかりやすく 簡単にする	利用できる事業 者の数を増やす	通学・通所・通 院するための送 迎や交通手段を 整える
全体		812	70	160	39	149	68	123
		100.0	8.6	19.7	4.8	18.3	8.4	15.1
年 令 別	0～17歳	35	3	8	1	9	5	8
		100.0	8.6	22.9	2.9	25.7	14.3	22.9
	18～39歳	75	9	20	7	24	9	19
		100.0	12.0	26.7	9.3	32.0	12.0	25.3
	40～64歳	216	19	49	15	46	28	39
	100.0	8.8	22.7	6.9	21.3	13.0	18.1	
65～74歳		134	11	25	4	25	6	11
		100.0	8.2	18.7	3.0	18.7	4.5	8.2
75歳以上		281	24	48	11	40	15	40
		100.0	8.5	17.1	3.9	14.2	5.3	14.2
障 が い 種 別	身体障がい	437	39	85	18	74	26	62
		100.0	8.9	19.5	4.1	16.9	5.9	14.2
	知的障がい	109	10	24	5	25	14	18
		100.0	9.2	22.0	4.6	22.9	12.8	16.5
精神障がい		145	11	29	8	41	21	26
		100.0	7.6	20.0	5.5	28.3	14.5	17.9
指定難病医療 受給者		56	7	12	5	10	4	10
		100.0	12.5	21.4	8.9	17.9	7.1	17.9

		サービス利用料 を安くする	サービスの質を よくする	サービスについ ての情報提供を 増やす	その他	訪問系サービ スの提供状況に 満足している	無回答
全体		139	89	129	33	33	410
		17.1	11.0	15.9	4.1	4.1	50.5
年 令 別	0～17歳	9	4	9	1	-	15
		25.7	11.4	25.7	2.9	-	42.9
	18～39歳	15	12	18	2	2	23
		20.0	16.0	24.0	2.7	2.7	30.7
	40～64歳	43	29	42	11	11	95
	19.9	13.4	19.4	5.1	5.1	44.0	
65～74歳		20	11	18	4	6	72
		14.9	8.2	13.4	3.0	4.5	53.7
75歳以上		43	29	33	10	13	158
		15.3	10.3	11.7	3.6	4.6	56.2
障 が い 種 別	身体障がい	73	43	56	13	12	232
		16.7	9.8	12.8	3.0	2.7	53.1
	知的障がい	19	13	21	3	5	57
		17.4	11.9	19.3	2.8	4.6	52.3
精神障がい		33	27	42	8	9	52
		22.8	18.6	29.0	5.5	6.2	35.9
指定難病医療 受給者		9	8	5	3	4	25
		16.1	14.3	8.9	5.4	7.1	44.6

1-2 調査の結果

【2. 日中活動系サービス（日中に施設を利用するサービス）】

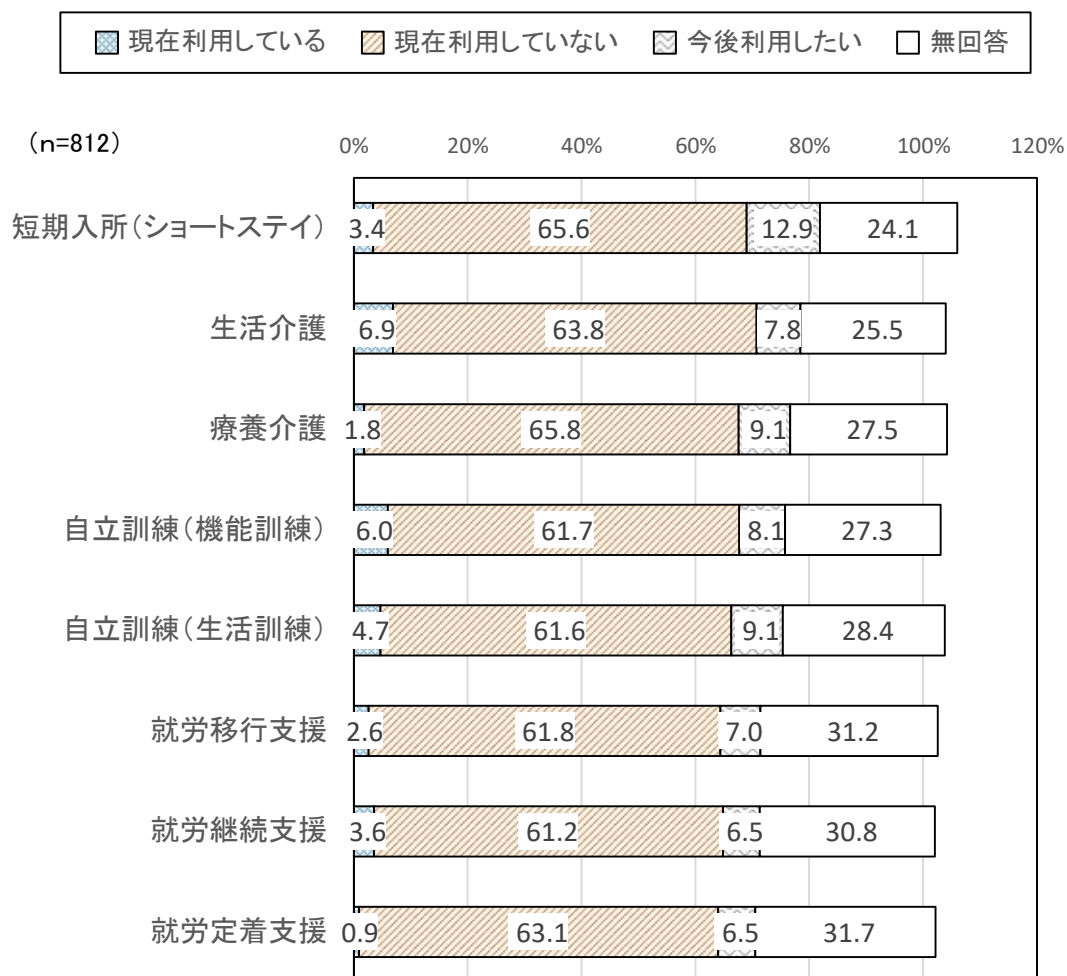
- ◎「短期入所（ショートステイ）」の利用状況は、「現在利用している」が3.4%で12種類の日中活動系サービスの中で5番目に少なく、「今後利用したい」は12.9%で12種類の日中活動系サービスの中で2番目に多くなっています。
- ◎「生活介護」の利用状況は、「現在利用している」が6.9%で12種類の日中活動系サービスの中で3番目に多く、「今後利用したい」は7.8%で12種類の日中活動系サービスの中で7番目に多くなっています。
- ◎「療養介護」の利用状況は、「現在利用している」が1.8%で少なく、「今後利用したい」は9.1%で12種類の日中活動系サービスの中で4番目に多くなっています。
- ◎「自立訓練（機能訓練）」の利用状況は、「現在利用している」が6.0%で12種類の日中活動系サービスの中で4番目に多く、「今後利用したい」は8.1%で12種類の日中活動系サービスの中で6番目に多くなっています。
- ◎「自立訓練（生活訓練）」の利用状況は、「現在利用している」が4.7%で12種類の日中活動系サービスの中で6番目に多く、「今後利用したい」は9.1%で12種類の日中活動系サービスの中で4番目に多くなっています。
- ◎「就労移行支援」の利用状況は、「現在利用している」が2.6%で少なく、「今後利用したい」は7.0%で12種類の日中活動系サービスの中で5番目に少なくなっています。
- ◎「就労継続支援」の利用状況は、「現在利用している」が3.6%で12種類の日中活動系サービスの中で7番目に多く、「今後利用したい」は6.5%で12種類の日中活動系サービスの中で6番目に少なくなっています。
- ◎「就労定着支援」の利用状況は、「現在利用している」が0.9%で12種類の日中活動系サービスの中で2番目に少なく、「今後利用したい」は6.5%で12種類の日中活動系サービスの中で6番目に少なくなっています。

■18歳未満対象の日中活動系サービス（対象サンプル数：35）

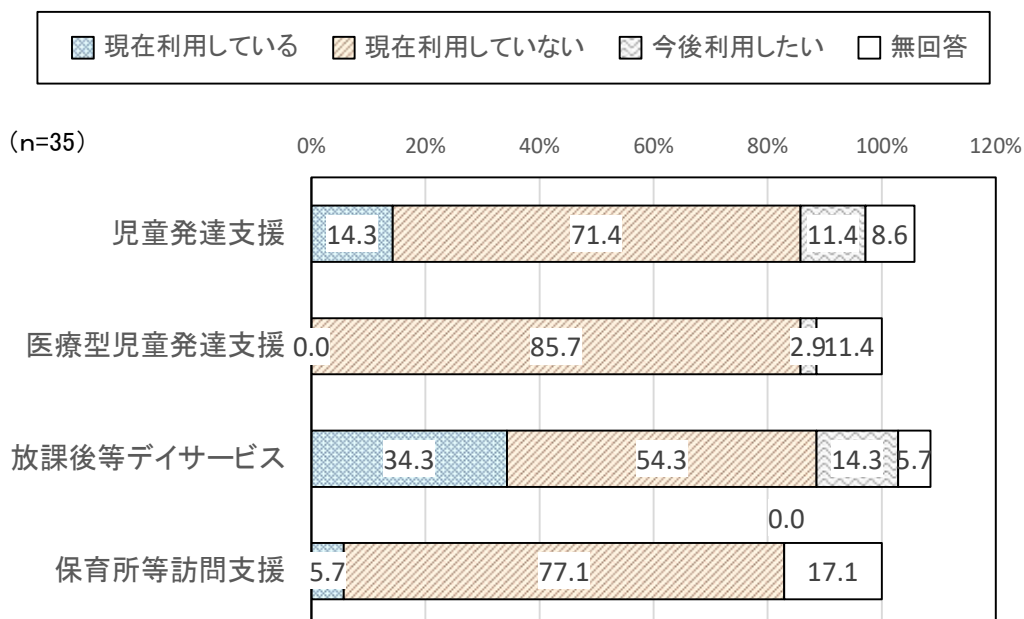
- ◎「児童発達支援」の利用状況は、「現在利用している」が14.3%で18歳未満対象の日中活動系サービスでは2番目に利用が多く、「今後利用したい」が11.4%で2番目に多い状況となっています。障がい別では、「知的障がい者」と「精神障がい者」の利用がありません。
- ◎「医療型児童発達支援」の利用状況は、「現在利用している」が0.0%、「今後利用したい」が2.9%で3番目に多い状況となっています。
- ◎「放課後等デイサービス」の利用状況は、「現在利用している」が34.3%、「今後利用したい」が14.3%とどちらも最も多い状況となっています。障がい別では、「身体障がい者」、「知的障がい者」、「精神障がい者」の利用があります。

◎「保育所等訪問支援」の利用状況は、「現在利用している」が5.7%で3番目に多く、「今後利用したい」が0.0%の状況となっています。障がい別では、「知的障がい者」、「精神障がい者」の利用があります。

■日中活動系サービスの利用状況



■日中活動系サービスの利用状況（18歳未満対象）



1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（1）短期入所（ショートステイ）

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	28 3.4	533 65.6	105 12.9	196 24.1
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	29 82.9	2 5.7	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	2 2.7	62 82.7	8 10.7	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	6 2.8	157 72.7	23 10.6	39 18.1
	65～74歳	134 100.0	3 2.2	91 67.9	13 9.7	34 25.4
	75歳以上	281 100.0	14 5.0	152 54.1	51 18.1	90 32.0
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	18 4.1	281 64.3	65 14.9	109 24.9
	知的障がい	109 100.0	4 3.7	72 66.1	17 15.6	25 22.9
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	119 82.1	10 6.9	19 13.1
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	36 64.3	12 21.4	14 25.0

■年齢別・障がい別クロス集計（2）生活介護

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	56 6.9	518 63.8	63 7.8	207 25.5
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	1 2.9	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	7 9.3	58 77.3	6 8.0	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	18 8.3	156 72.2	13 6.0	35 16.2
	65～74歳	134 100.0	12 9.0	82 61.2	8 6.0	36 26.9
	75歳以上	281 100.0	18 6.4	148 52.7	29 10.3	103 36.7
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	32 7.3	271 62.0	40 9.2	117 26.8
	知的障がい	109 100.0	20 18.3	65 59.6	8 7.3	21 19.3
	精神障がい	145 100.0	4 2.8	115 79.3	7 4.8	21 14.5
	指定難病医療 受給者	56 100.0	3 5.4	34 60.7	6 10.7	17 30.4

■年齢別・障がい別クロス集計（3）療養介護

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	15 1.8	534 65.8	74 9.1	223 27.5
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	1 2.9	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	60 80.0	5 6.7	11 14.7
	40～64歳	216 100.0	4 1.9	160 74.1	23 10.6	42 19.4
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	90 67.2	9 6.7	38 28.4
	75歳以上	281 100.0	8 2.8	152 54.1	30 10.7	105 37.4
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	12 2.7	279 63.8	48 11.0	124 28.4
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	75 68.8	7 6.4	30 27.5
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	115 79.3	11 7.6	21 14.5
	指定難病医療 受給者	56 100.0	3 5.4	32 57.1	6 10.7	18 32.1

■年齢別・障がい別クロス集計（4）自立訓練（機能訓練）

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	49 6.0	501 61.7	66 8.1	222 27.3
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	27 77.1	4 11.4	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	3 4.0	60 80.0	3 4.0	10 13.3
	40～64歳	216 100.0	7 3.2	157 72.7	14 6.5	44 20.4
	65～74歳	134 100.0	10 7.5	83 61.9	9 6.7	34 25.4
	75歳以上	281 100.0	27 9.6	134 47.7	28 10.0	106 37.7
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	35 8.0	252 57.7	41 9.4	127 29.1
	知的障がい	109 100.0	4 3.7	72 66.1	6 5.5	30 27.5
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	117 80.7	8 5.5	20 13.8
	指定難病医療 受給者	56 100.0	7 12.5	29 51.8	6 10.7	17 30.4

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（5）自立訓練（生活訓練）

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	38 4.7	500 61.6	74 9.1	231 28.4
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	28 80.0	7 20.0	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	4 5.3	57 76.0	9 12.0	10 13.3
	40～64歳	216 100.0	6 2.8	157 72.7	19 8.8	41 19.0
	65～74歳	134 100.0	10 7.5	82 61.2	7 5.2	37 27.6
	75歳以上	281 100.0	17 6.0	136 48.4	25 8.9	115 40.9
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	21 4.8	258 59.0	36 8.2
知的障がい		109 100.0	5 4.6	72 66.1	12 11.0	28 25.7
精神障がい		145 100.0	6 4.1	113 77.9	16 11.0	16 11.0
指定難病医療 受給者		56 100.0	7 12.5	29 51.8	6 10.7	17 30.4

■年齢別・障がい別クロス集計（6）就労移行支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	21 2.6	502 61.8	57 7.0	253 31.2
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	25 71.4	11 31.4	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	8 10.7	55 73.3	7 9.3	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	9 4.2	145 67.1	22 10.2	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	88 65.7	6 4.5	42 31.3
	75歳以上	281 100.0	1 0.4	150 53.4	6 2.1	126 44.8
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	3 0.7	277 63.4	14 3.2
知的障がい		109 100.0	6 5.5	69 63.3	10 9.2	29 26.6
精神障がい		145 100.0	8 5.5	97 66.9	27 18.6	22 15.2
指定難病医療 受給者		56 100.0	2 3.6	33 58.9	2 3.6	20 35.7

■年齢別・障がい別クロス集計（7）就労継続支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	29 3.6	497 61.2	53 6.5	250 30.8
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	27 77.1	7 20.0	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	14 18.7	50 66.7	8 10.7	6 8.0
	40～64歳	216 100.0	9 4.2	145 67.1	21 9.7	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	89 66.4	4 3.0	42 31.3
	75歳以上	281 100.0	2 0.7	147 52.3	7 2.5	127 45.2
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	5 1.1	274 62.7	14 3.2	150 34.3
	知的障がい	109 100.0	16 14.7	59 54.1	10 9.2	28 25.7
	精神障がい	145 100.0	9 6.2	99 68.3	23 15.9	20 13.8
	指定難病医療 受給者	56 100.0	2 3.6	33 58.9	2 3.6	20 35.7

■年齢別・障がい別クロス集計（8）就労定着支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	7 0.9	512 63.1	53 6.5	257 31.7
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	25 71.4	10 28.6	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	4 5.3	56 74.7	9 12.0	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	2 0.9	153 70.8	18 8.3	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	- -	89 66.4	3 2.2	44 32.8
	75歳以上	281 100.0	1 0.4	148 52.7	7 2.5	128 45.6
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	2 0.5	275 62.9	9 2.1	156 35.7
	知的障がい	109 100.0	3 2.8	66 60.6	15 13.8	30 27.5
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	107 73.8	24 16.6	19 13.1
	指定難病医療 受給者	56 100.0	- -	36 64.3	2 3.6	19 33.9

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計：18歳未満対象（9）児童発達支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		35 100.0	5 14.3	25 71.4	4 11.4	3 8.6
年齢別	0～17歳	35 100.0	5 14.3	25 71.4	4 11.4	3 8.6
障 が い 種 別	身体障がい	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -
	知的障がい	26 100.0	3 11.5	18 69.2	4 15.4	3 11.5
	精神障がい	13 100.0	3 23.1	8 61.5	- -	2 15.4
	指定難病医療 受給者	- -	- -	- -	- -	- -

■年齢別・障がい別クロス集計：18歳未満対象（10）医療型児童発達支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		35 100.0	- -	30 85.7	1 2.9	4 11.4
年齢別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	1 2.9	4 11.4
障 が い 種 別	身体障がい	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -
	知的障がい	26 100.0	- -	22 84.6	1 3.8	3 11.5
	精神障がい	13 100.0	- -	10 76.9	- -	3 23.1
	指定難病医療 受給者	- -	- -	- -	- -	- -

■年齢別・障がい別クロス集計：18歳未満対象（11）放課後等デイサービス

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		35 100.0	12 34.3	19 54.3	5 14.3	2 5.7
年齢別	0～17歳	35 100.0	12 34.3	19 54.3	5 14.3	2 5.7
障 が い 種 別	身体障がい	4 100.0	2 50.0	2 50.0	- -	- -
	知的障がい	26 100.0	9 34.6	15 57.7	4 15.4	1 3.8
	精神障がい	13 100.0	3 23.1	7 53.8	2 15.4	2 15.4
	指定難病医療 受給者	- -	- -	- -	- -	- -

■年齢別・障がい別クロス集計：18歳未満対象（12）保育所等訪問支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		35 100.0	2 5.7	27 77.1	- -	6 17.1
年齢別	0～17歳	35 100.0	2 5.7	27 77.1	- -	6 17.1
障 が い 種 別	身体障がい	4 100.0	- -	3 75.0	- -	1 25.0
	知的障がい	26 100.0	1 3.8	20 76.9	- -	5 19.2
	精神障がい	13 100.0	2 15.4	8 61.5	- -	3 23.1
	指定難病医療 受給者	- -	- -	- -	- -	- -

1-2 調査の結果

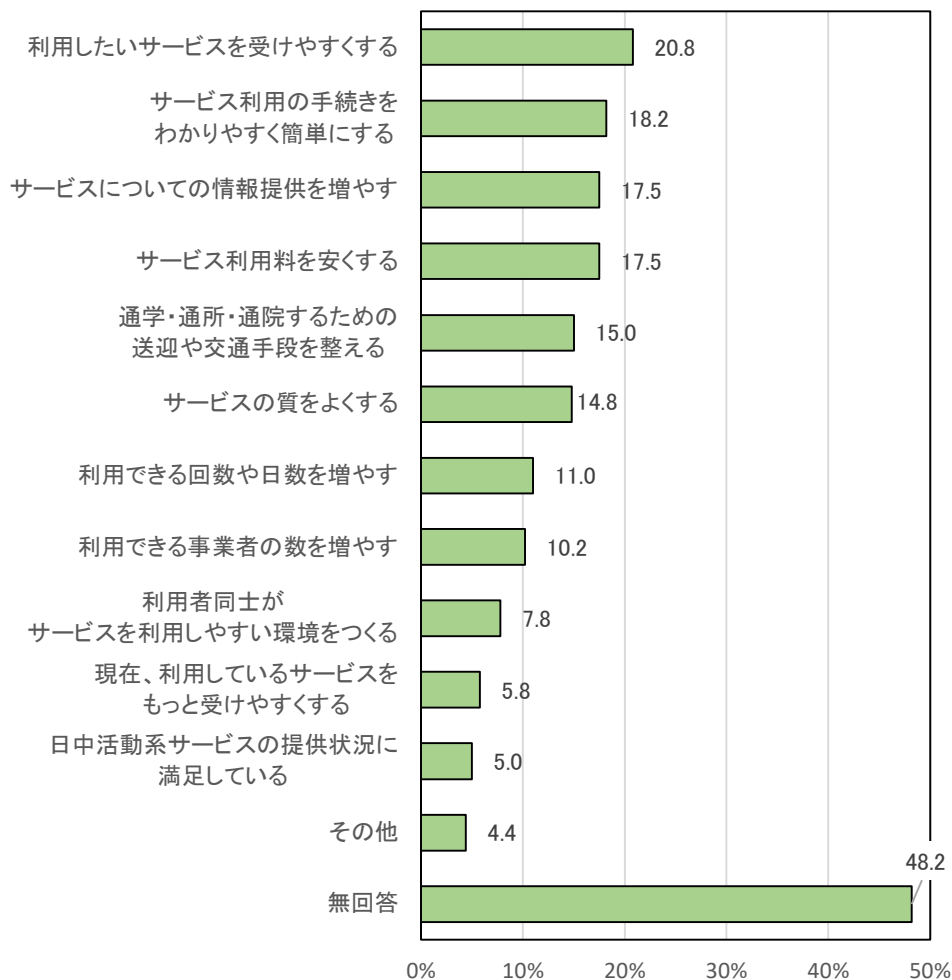
問9-2 (1) 日中活動系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうな
ってほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「利用したいサービスを受けやすくする」（20.8%）が最も多く、次いで「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」（18.2%）、「サービスについての情報提供を増やす」、「サービス利用料を安くする」（17.5%）、「通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える」（15.0%）などの順となっています。

年齢別では、0～17歳は「通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える」、「サービス利用料を安くする」、「サービスについての情報提供を増やす」、18～39歳は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」、40～64歳、65～74歳、75歳以上は「利用したいサービスを受けやすくする」がそれぞれ最も多くなっています。

■日中活動系サービスで改善してほしいこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	利用できる回数や日数を増やす	利用したいサービスを受けやすくする	現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする	サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする	利用できる事業者の数を増やす	通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
全体		812 100.0	89 11.0	169 20.8	47 5.8	148 18.2	83 10.2	122 15.0
年齢別	0～17歳	35 100.0	3 8.6	12 34.3	4 11.4	10 28.6	9 25.7	13 37.1
	18～39歳	75 100.0	10 13.3	21 28.0	8 10.7	23 30.7	10 13.3	19 25.3
	40～64歳	216 100.0	25 11.6	46 21.3	11 5.1	40 18.5	32 14.8	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	17 12.7	33 24.6	7 5.2	22 16.4	10 7.5	15 11.2
	75歳以上	281 100.0	31 11.0	48 17.1	15 5.3	43 15.3	15 5.3	25 8.9
障がい種別	身体障がい	437 100.0	54 12.4	88 20.1	24 5.5	68 15.6	31 7.1	49 11.2
	知的障がい	109 100.0	14 12.8	20 18.3	8 7.3	27 24.8	19 17.4	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	13 9.0	37 25.5	9 6.2	38 26.2	23 15.9	33 22.8
	指定難病医療受給者	56 100.0	4 7.1	12 21.4	2 3.6	9 16.1	5 8.9	8 14.3

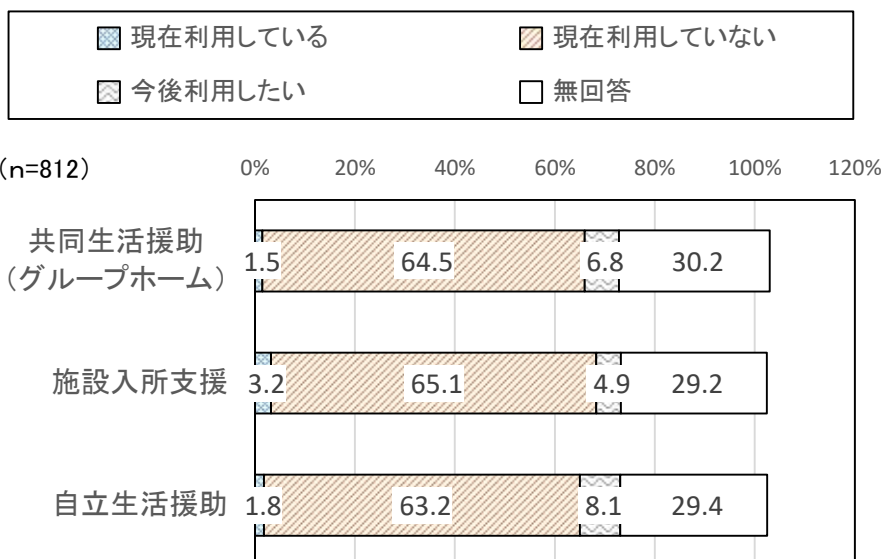
		サービス利用料を安くする	サービスの質をよくする	サービスについての情報提供を増やす	利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる	その他	日中活動系サービスの提供状況に満足している	無回答
全体		142 17.5	120 14.8	142 17.5	63 7.8	36 4.4	41 5.0	391 48.2
年齢別	0～17歳	13 37.1	10 28.6	13 37.1	10 28.6	1 2.9	1 2.9	7 20.0
	18～39歳	14 18.7	17 22.7	21 28.0	8 10.7	5 6.7	4 5.3	20 26.7
	40～64歳	38 17.6	33 15.3	41 19.0	15 6.9	10 4.6	12 5.6	91 42.1
	65～74歳	17 12.7	13 9.7	22 16.4	8 6.0	6 4.5	9 6.7	72 53.7
	75歳以上	46 16.4	37 13.2	35 12.5	16 5.7	9 3.2	11 3.9	160 56.9
障がい種別	身体障がい	74 16.9	59 13.5	58 13.3	23 5.3	13 3.0	17 3.9	231 52.9
	知的障がい	22 20.2	20 18.3	25 22.9	14 12.8	3 2.8	10 9.2	39 35.8
	精神障がい	26 17.9	30 20.7	46 31.7	22 15.2	9 6.2	9 6.2	46 31.7
	指定難病医療受給者	10 17.9	9 16.1	5 8.9	2 3.6	3 5.4	3 5.4	27 48.2

1-2 調査の結果

【3. 居住系サービス（夜間における住まいの場を利用するサービス）】

- ◎「共同生活援助（グループホーム）」の利用状況は、「現在利用している」が 1.5%、「今後利用したい」が 6.8%という状況になっています。
- ◎「施設入所支援」の利用状況は、「現在利用している」が 3.2%、「今後利用したい」が 4.9%という状況になっています。
- ◎「自立生活援助」の利用状況は、「現在利用している」が 1.8%、「今後利用したい」が 8.1%という状況になっています。

■居住系サービスの利用状況



■年齢別・障がい別クロス集計（1）共同生活援助（グループホーム）

		合計	現在利用している	現在利用していない	今後利用したい	無回答
全体		812 100.0	12 1.5	524 64.5	55 6.8	245 30.2
年齢別	0～17歳	35 100.0	-	30 85.7	6 17.1	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	4 5.3	56 74.7	7 9.3	12 16.0
	40～64歳	216 100.0	4 1.9	158 73.1	17 7.9	41 19.0
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	88 65.7	7 5.2	39 29.1
	75歳以上	281 100.0	-	154 54.8	13 4.6	121 43.1
	障がい種別	身体障がい	437 100.0	6 1.4	278 63.6	26 5.9
知的障がい		109 100.0	6 5.5	63 57.8	21 19.3	28 25.7
精神障がい		145 100.0	4 2.8	115 79.3	6 4.1	23 15.9
指定難病医療受給者		56 100.0	1 1.8	36 64.3	4 7.1	18 32.1

■年齢別・障がい別クロス集計（2）施設入所支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	26 3.2	529 65.1	40 4.9	237 29.2
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	2 5.7	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	- -	60 80.0	4 5.3	13 17.3
	40～64歳	216 100.0	11 5.1	157 72.7	13 6.0	41 19.0
	65～74歳	134 100.0	5 3.7	91 67.9	6 4.5	36 26.9
	75歳以上	281 100.0	10 3.6	153 54.4	12 4.3	112 39.9
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	17 3.9	280 64.1	24 5.5	129 29.5
	知的障がい	109 100.0	7 6.4	68 62.4	11 10.1	29 26.6
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	118 81.4	6 4.1	22 15.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	36 64.3	4 7.1	18 32.1

■年齢別・障がい別クロス集計（3）自立生活援助

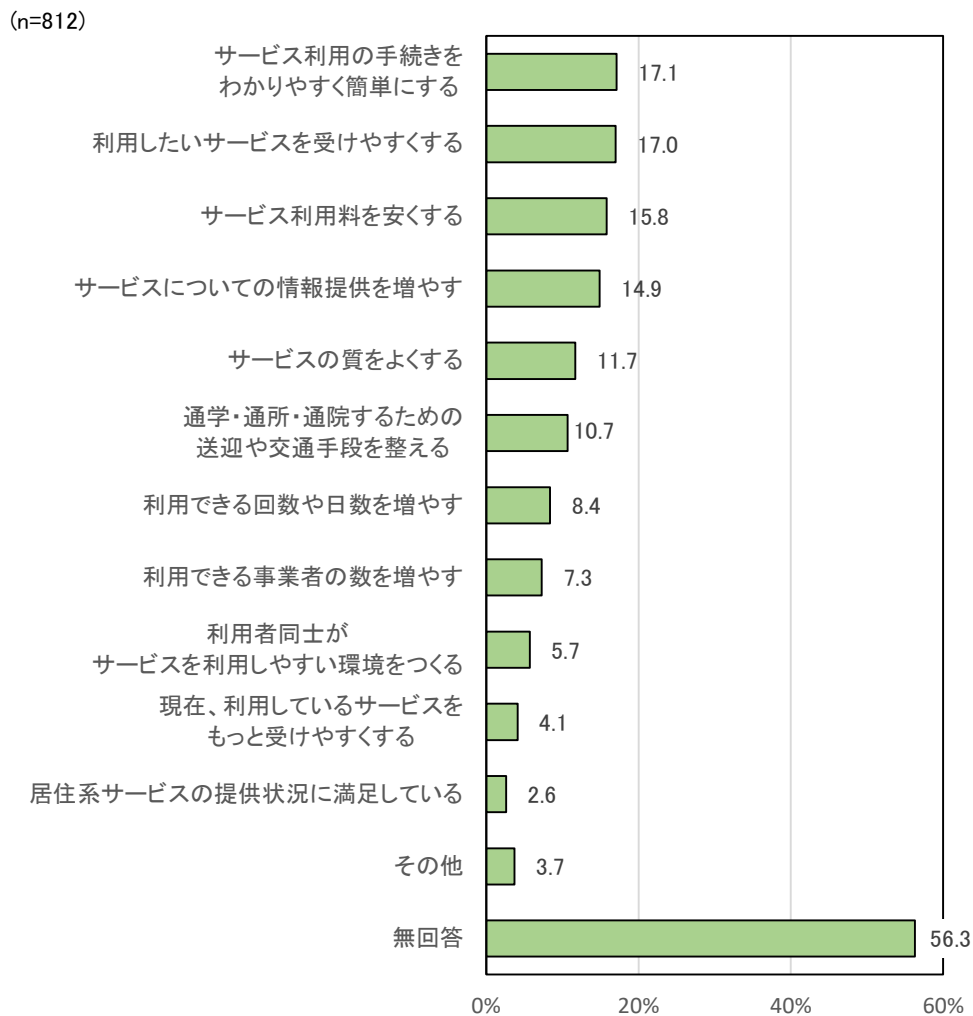
		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	15 1.8	513 63.2	66 8.1	239 29.4
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	29 82.9	5 14.3	2 5.7
	18～39歳	75 100.0	- -	56 74.7	6 8.0	15 20.0
	40～64歳	216 100.0	6 2.8	156 72.2	15 6.9	44 20.4
	65～74歳	134 100.0	3 2.2	90 67.2	8 6.0	39 29.1
	75歳以上	281 100.0	5 1.8	148 52.7	25 8.9	109 38.8
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	8 1.8	277 63.4	29 6.6	135 30.9
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	68 62.4	11 10.1	32 29.4
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	111 76.6	14 9.7	21 14.5
	指定難病医療 受給者	56 100.0	2 3.6	36 64.3	6 10.7	15 26.8

問9-3 (1) 居住系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」（17.1%）が最も多く、次いで「利用したいサービスを受けやすくする」（17.0%）、「サービス利用料を安くする」（15.8%）、「サービスについての情報提供を増やす」（14.9%）、「サービスの質をよくする」（11.7%）となっています。

年齢別では、0～17歳は「サービス利用料を安くする」、18～39歳は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」、40～64歳と65～74歳は「利用したいサービスを受けやすくする」、75歳以上は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」がそれぞれ最も多くなっています。

■居住系サービスで改善してほしいこと



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	利用できる回数や日数を増やす	利用したいサービスを受けやすくする	現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする	サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする	利用できる事業者の数を増やす	通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
全体		812 100.0	68 8.4	138 17.0	33 4.1	139 17.1	59 7.3	87 10.7
年齢別	0～17歳	35 100.0	4 11.4	5 14.3	1 2.9	9 25.7	3 8.6	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	10 13.3	19 25.3	4 5.3	21 28.0	9 12.0	14 18.7
	40～64歳	216 100.0	23 10.6	45 20.8	11 5.1	37 17.1	23 10.6	27 12.5
	65～74歳	134 100.0	11 8.2	27 20.1	5 3.7	24 17.9	9 6.7	14 10.4
	75歳以上	281 100.0	17 6.0	35 12.5	8 2.8	42 14.9	11 3.9	25 8.9
障がい種別	身体障がい	437 100.0	32 7.3	77 17.6	15 3.4	71 16.2	24 5.5	38 8.7
	知的障がい	109 100.0	13 11.9	19 17.4	5 4.6	24 22.0	11 10.1	17 15.6
	精神障がい	145 100.0	14 9.7	25 17.2	8 5.5	29 20.0	20 13.8	18 12.4
	指定難病医療受給者	56 100.0	4 7.1	11 19.6	2 3.6	9 16.1	2 3.6	7 12.5

		サービス利用料を安くする	サービスの質をよくする	サービスについての情報提供を増やす	利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる	その他	居住系サービスの提供状況に満足している	無回答
全体		128 15.8	95 11.7	121 14.9	46 5.7	30 3.7	21 2.6	457 56.3
年齢別	0～17歳	11 31.4	6 17.1	9 25.7	5 14.3	1 2.9	- -	18 51.4
	18～39歳	19 25.3	13 17.3	18 24.0	10 13.3	4 5.3	2 2.7	24 32.0
	40～64歳	40 18.5	34 15.7	42 19.4	10 4.6	12 5.6	7 3.2	104 48.1
	65～74歳	17 12.7	11 8.2	17 12.7	6 4.5	3 2.2	6 4.5	77 57.5
	75歳以上	33 11.7	24 8.5	28 10.0	11 3.9	6 2.1	6 2.1	184 65.5
障がい種別	身体障がい	63 14.4	46 10.5	53 12.1	19 4.3	10 2.3	7 1.6	259 59.3
	知的障がい	22 20.2	16 14.7	20 18.3	8 7.3	2 1.8	4 3.7	55 50.5
	精神障がい	27 18.6	27 18.6	38 26.2	17 11.7	12 8.3	9 6.2	63 43.4
	指定難病医療受給者	8 14.3	5 8.9	4 7.1	1 1.8	2 3.6	2 3.6	33 58.9

1-2 調査の結果

【4. 地域生活支援事業】（県や市町村が地域の実情に応じて行うサービス）

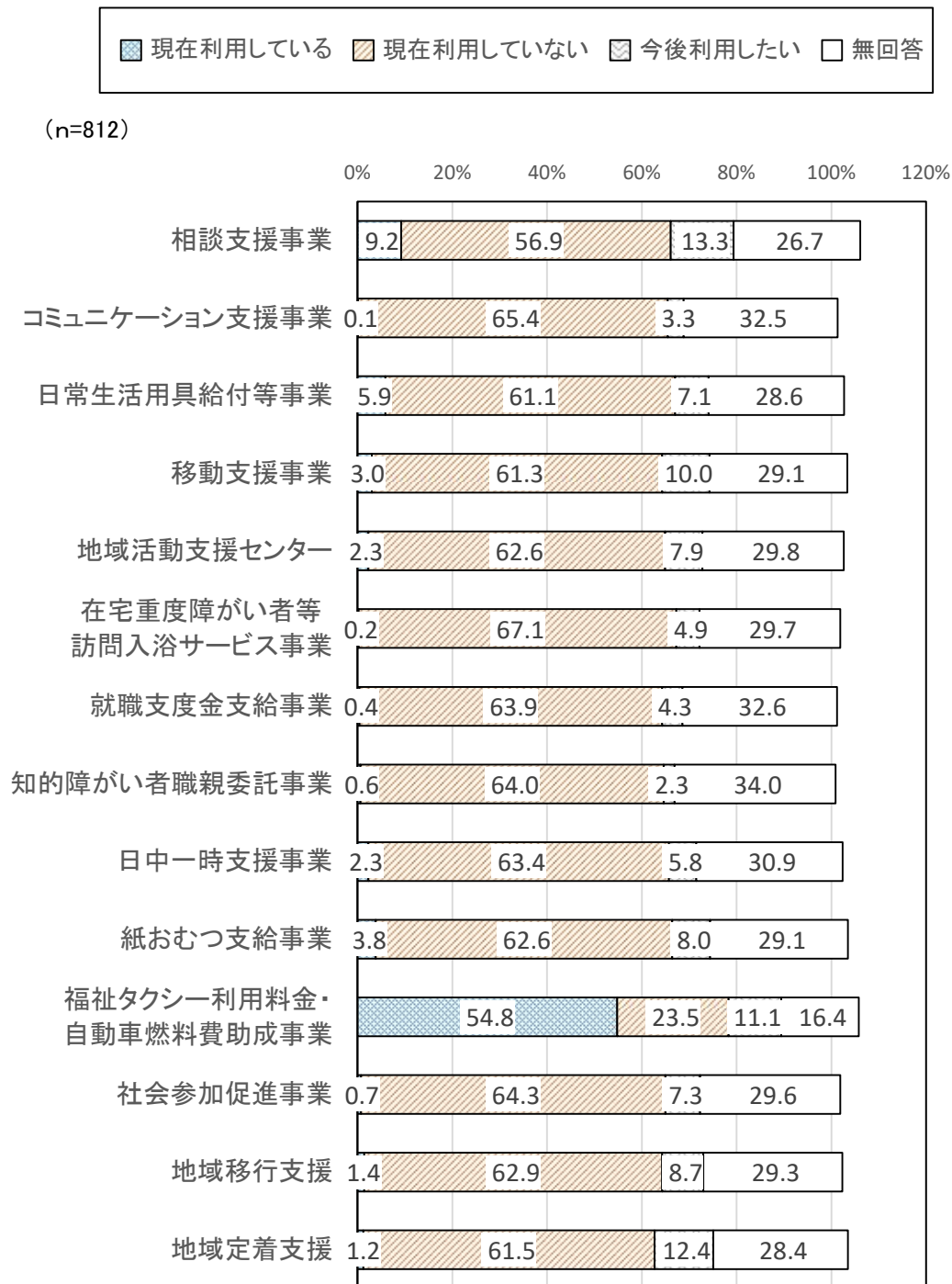
- ◎「相談支援事業」の利用状況は、「現在利用している」が9.2%で12種類の地域生活支援事業の中で2番目に多く、「今後利用したい」は13.3%で12種類の地域生活支援事業の中で最も多くなっています。
- ◎「コミュニケーション支援事業」の利用状況は、「現在利用している」が0.1%、「今後利用したい」が3.3%とどちらも少ない状況となっています。
- ◎「日常生活用具給付等事業」の利用状況は、「現在利用している」が5.9%で12種類の地域生活支援事業の中で3番目に多く、「今後利用したい」は7.1%で少ない状況となっています。
- ◎「移動支援事業」の利用状況は、「現在利用している」が3.0%で少ない状況ですが、「今後利用したい」は10.0%で12種類の地域生活支援事業の中で4番目に多くなっています。
- ◎「地域活動支援センター」の利用状況は、「現在利用している」が2.3%で少ない状況ですが、「今後利用したい」が7.9%で12種類の地域生活支援事業の中で7番目に多くなっています。
- ◎「在宅重度障がい者等訪問入浴サービス事業」の利用状況は、「現在利用している」が0.2%、「今後利用したい」が4.9%とどちらも少ない状況となっています。
- ◎「就職支度金支給事業」の利用状況は、「現在利用している」が0.4%、「今後利用したい」が4.3%とどちらも少ない状況となっています。
- ◎「知的障がい者職親委託事業」の利用状況は、「現在利用している」が0.6%、「今後利用したい」が2.3%とどちらも少ない状況となっています。
- ◎「日中一時支援事業」の利用状況は、「現在利用している」が2.3%、「今後利用したい」が5.8%とどちらも少ない状況となっています。
- ◎「紙おむつ支給事業」の利用状況は、「現在利用している」が3.8%で12種類の地域生活支援事業の中で4番目に多く、「今後利用したい」は8.0%と6番目に多くなっています。
- ◎「福祉タクシー利用料金・自動車燃料費助成事業」の利用状況は、「現在利用している」が54.8%で12種類の地域生活支援事業の中で半数以上利用しており最も多く、「今後利用したい」は11.1%で12種類の地域生活支援事業の中で3番目に多くなっています。
- ◎「社会参加促進事業」の利用状況は、「現在利用している」が0.7%で少ない状況ですが、「今後利用したい」は7.3%で、12種類の地域生活支援事業の中で8番目に多くなっています。

- ◎「地域移行支援」の利用状況は、「現在利用している」が1.4%で少ない状況ですが、「今後利用したい」は8.7%で、12種類の地域生活支援事業の中で5番目に多くなっています。

- ◎「地域定着支援」の利用状況は、「現在利用している」が1.2%で少ない状況ですが、「今後利用したい」は12.4%で12種類の地域生活支援事業の中で2番目に多くなっています。

1-2 調査の結果

■地域生活支援事業の利用状況



■年齢別・障がい別クロス集計（1）相談支援事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	75 9.2	462 56.9	108 13.3	217 26.7
年 令 別	0～17歳	35 100.0	9 25.7	20 57.1	7 20.0	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	14 18.7	51 68.0	12 16.0	5 6.7
	40～64歳	216 100.0	36 16.7	122 56.5	37 17.1	34 15.7
	65～74歳	134 100.0	5 3.7	86 64.2	17 12.7	34 25.4
	75歳以上	281 100.0	7 2.5	147 52.3	28 10.0	113 40.2
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	19 4.3	262 60.0	49 11.2	131 30.0
	知的障がい	109 100.0	31 28.4	53 48.6	19 17.4	18 16.5
	精神障がい	145 100.0	23 15.9	89 61.4	29 20.0	17 11.7
	指定難病医療 受給者	56 100.0	3 5.4	33 58.9	4 7.1	19 33.9

■年齢別・障がい別クロス集計（2）コミュニケーション支援事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	1 0.1	531 65.4	27 3.3	264 32.5
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	31 88.6	2 5.7	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	- -	64 85.3	4 5.3	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	- -	157 72.7	9 4.2	51 23.6
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	91 67.9	3 2.2	39 29.1
	75歳以上	281 100.0	- -	147 52.3	8 2.8	132 47.0
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	1 0.2	275 62.9	11 2.5	157 35.9
	知的障がい	109 100.0	- -	78 71.6	7 6.4	28 25.7
	精神障がい	145 100.0	- -	118 81.4	6 4.1	23 15.9
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	33 58.9	3 5.4	20 35.7

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（3）日常生活用具給付等事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	48 5.9	496 61.1	58 7.1	232 28.6
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	30 85.7	1 2.9	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	64 85.3	3 4.0	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	7 3.2	152 70.4	18 8.3	45 20.8
	65～74歳	134 100.0	12 9.0	82 61.2	8 6.0	33 24.6
	75歳以上	281 100.0	22 7.8	133 47.3	25 8.9	114 40.6
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	37 8.5	246 56.3	38 8.7	130 29.7
	知的障がい	109 100.0	- -	81 74.3	3 2.8	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	113 77.9	7 4.8	23 15.9
	指定難病医療 受給者	56 100.0	7 12.5	31 55.4	6 10.7	17 30.4

■年齢別・障がい別クロス集計（4）移動支援事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	24 3.0	498 61.3	81 10.0	236 29.1
年 令 別	0～17歳	35 100.0	2 5.7	28 80.0	3 8.6	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	5 6.7	57 76.0	7 9.3	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	7 3.2	152 70.4	21 9.7	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	2 1.5	86 64.2	14 10.4	37 27.6
	75歳以上	281 100.0	6 2.1	139 49.5	30 10.7	118 42.0
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	10 2.3	262 60.0	46 10.5	137 31.4
	知的障がい	109 100.0	10 9.2	68 62.4	9 8.3	25 22.9
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	109 75.2	12 8.3	22 15.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	35 62.5	9 16.1	15 26.8

■年齢別・障がい別クロス集計（5）地域活動支援センター

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	19 2.3	508 62.6	64 7.9	242 29.8
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	29 82.9	5 14.3	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	2 2.7	62 82.7	9 12.0	5 6.7
	40～64歳	216 100.0	9 4.2	149 69.0	17 7.9	45 20.8
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	88 65.7	8 6.0	38 28.4
	75歳以上	281 100.0	2 0.7	142 50.5	22 7.8	121 43.1
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	8 1.8	266 60.9	30 6.9	143 32.7
	知的障がい	109 100.0	5 4.6	72 66.1	12 11.0	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	8 5.5	108 74.5	14 9.7	19 13.1
	指定難病医療 受給者	56 100.0	3 5.4	32 57.1	5 8.9	18 32.1

■年齢別・障がい別クロス集計（6）在宅重度障がい者等訪問入浴サービス事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	2 0.2	545 67.1	40 4.9	241 29.7
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	31 88.6	- -	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	- -	65 86.7	2 2.7	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	1 0.5	163 75.5	8 3.7	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	92 68.7	9 6.7	36 26.9
	75歳以上	281 100.0	- -	153 54.4	20 7.1	117 41.6
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	2 0.5	285 65.2	23 5.3	137 31.4
	知的障がい	109 100.0	- -	80 73.4	1 0.9	28 25.7
	精神障がい	145 100.0	- -	118 81.4	5 3.4	22 15.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	40 71.4	5 8.9	14 25.0

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（7）就職支度金支給事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	3 0.4	519 63.9	35 4.3	265 32.6
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	29 82.9	4 11.4	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	61 81.3	7 9.3	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	1 0.5	150 69.4	19 8.8	49 22.7
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	93 69.4	- -	40 29.9
	75歳以上	281 100.0	- -	147 52.3	4 1.4	133 47.3
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	1 0.2	275 62.9	5 1.1	158 36.2
	知的障がい	109 100.0	- -	78 71.6	5 4.6	28 25.7
	精神障がい	145 100.0	2 1.4	106 73.1	20 13.8	22 15.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	35 62.5	2 3.6	19 33.9

■年齢別・障がい別クロス集計（8）知的障がい者職親委託事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	5 0.6	520 64.0	19 2.3	276 34.0
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	3 8.6	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	64 85.3	2 2.7	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	4 1.9	154 71.3	8 3.7	51 23.6
	65～74歳	134 100.0	- -	92 68.7	- -	42 31.3
	75歳以上	281 100.0	- -	142 50.5	5 1.8	137 48.8
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	1 0.2	268 61.3	3 0.7	167 38.2
	知的障がい	109 100.0	5 4.6	73 67.0	9 8.3	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	116 80.0	4 2.8	25 17.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	- -	35 62.5	1 1.8	21 37.5

■年齢別・障がい別クロス集計（9）日中一時支援事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	19 2.3	515 63.4	47 5.8	251 30.9
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	2 5.7	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	2 2.7	62 82.7	7 9.3	6 8.0
	40～64歳	216 100.0	7 3.2	152 70.4	13 6.0	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	91 67.9	8 6.0	35 26.1
	75歳以上	281 100.0	4 1.4	142 50.5	15 5.3	129 45.9
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	9 2.1	268 61.3	19 4.3	150 34.3
	知的障がい	109 100.0	5 4.6	74 67.9	10 9.2	26 23.9
	精神障がい	145 100.0	2 1.4	111 76.6	9 6.2	25 17.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	- -	36 64.3	6 10.7	19 33.9

■年齢別・障がい別クロス集計（10）紙おむつ支給事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	31 3.8	508 62.6	65 8.0	236 29.1
年 令 別	0～17歳	35 100.0	5 14.3	26 74.3	1 2.9	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	3 4.0	63 84.0	2 2.7	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	8 3.7	153 70.8	10 4.6	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	88 65.7	11 8.2	35 26.1
	75歳以上	281 100.0	10 3.6	140 49.8	35 12.5	113 40.2
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	19 4.3	265 60.6	41 9.4	131 30.0
	知的障がい	109 100.0	10 9.2	72 66.1	2 1.8	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	111 76.6	8 5.5	24 16.6
	指定難病医療 受給者	56 100.0	1 1.8	31 55.4	12 21.4	17 30.4

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（11）福祉タクシー利用料金・自動車燃料費助成事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	445 54.8	191 23.5	90 11.1	133 16.4
年 令 別	0～17歳	35 100.0	17 48.6	13 37.1	7 20.0	2 5.7
	18～39歳	75 100.0	42 56.0	22 29.3	13 17.3	4 5.3
	40～64歳	216 100.0	131 60.6	43 19.9	24 11.1	29 13.4
	65～74歳	134 100.0	79 59.0	30 22.4	7 5.2	21 15.7
	75歳以上	281 100.0	144 51.2	62 22.1	34 12.1	61 21.7
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	247 56.5	92 21.1	45 10.3
知的障がい		109 100.0	58 53.2	32 29.4	13 11.9	15 13.8
精神障がい		145 100.0	76 52.4	43 29.7	22 15.2	12 8.3
指定難病医療 受給者		56 100.0	35 62.5	11 19.6	5 8.9	9 16.1

■年齢別・障がい別クロス集計（12）社会参加促進事業

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	6 0.7	522 64.3	59 7.3	240 29.6
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	3 8.6	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	- -	62 82.7	7 9.3	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	2 0.9	148 68.5	24 11.1	47 21.8
	65～74歳	134 100.0	1 0.7	89 66.4	4 3.0	40 29.9
	75歳以上	281 100.0	3 1.1	153 54.4	16 5.7	114 40.6
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	6 1.4	275 62.9	25 5.7
知的障がい		109 100.0	- -	80 73.4	6 5.5	27 24.8
精神障がい		145 100.0	- -	105 72.4	19 13.1	23 15.9
指定難病医療 受給者		56 100.0	1 1.8	37 66.1	2 3.6	17 30.4

■年齢別・障がい別クロス集計（13）地域移行支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	11 1.4	511 62.9	71 8.7	238 29.3
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	31 88.6	1 2.9	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	- -	61 81.3	7 9.3	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	4 1.9	146 67.6	26 12.0	44 20.4
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	87 64.9	9 6.7	38 28.4
	75歳以上	281 100.0	2 0.7	150 53.4	23 8.2	115 40.9
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	8 1.8	268 61.3	31 7.1
知的障がい		109 100.0	2 1.8	76 69.7	9 8.3	25 22.9
精神障がい		145 100.0	2 1.4	110 75.9	13 9.0	21 14.5
指定難病医療 受給者		56 100.0	1 1.8	35 62.5	9 16.1	17 30.4

■年齢別・障がい別クロス集計（14）地域定着支援

		合計	現在利用 している	現在利用 していない	今後 利用したい	無回答
全体		812 100.0	10 1.2	499 61.5	101 12.4	231 28.4
年 令 別	0～17歳	35 100.0	- -	30 85.7	5 14.3	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	- -	60 80.0	9 12.0	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	3 1.4	147 68.1	27 12.5	45 20.8
	65～74歳	134 100.0	2 1.5	85 63.4	21 15.7	35 26.1
	75歳以上	281 100.0	5 1.8	141 50.2	28 10.0	114 40.6
	障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	4 0.9	268 61.3	46 10.5
知的障がい		109 100.0	1 0.9	78 71.6	11 10.1	26 23.9
精神障がい		145 100.0	3 2.1	104 71.7	27 18.6	17 11.7
指定難病医療 受給者		56 100.0	3 5.4	29 51.8	10 17.9	16 28.6

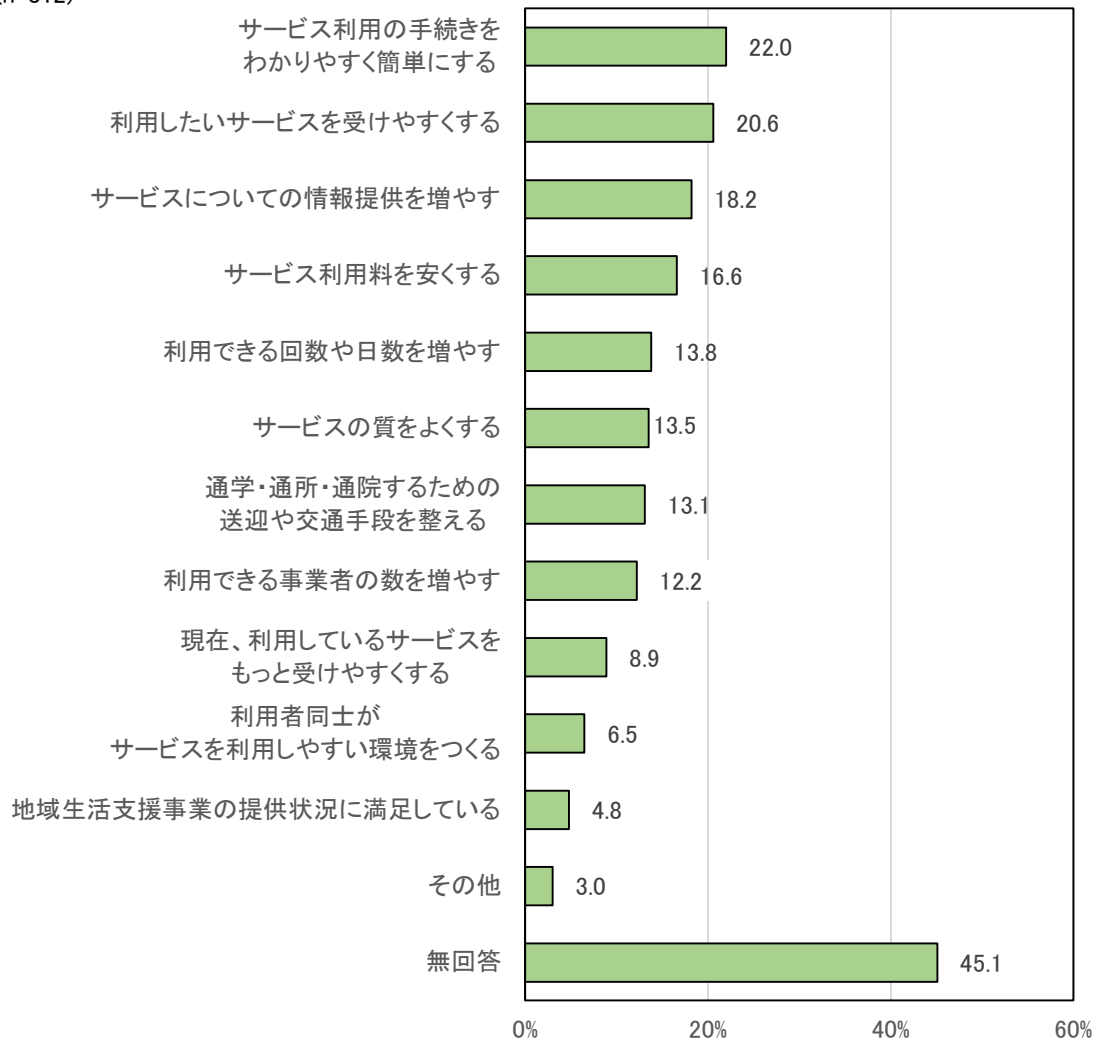
問9-4 (1) 地域生活支援事業について、あなたが改善してほしい（こうなっ
てほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「利用したいサービスを受けやすくする」（22.0%）が最も多く、次いで「利用したいサービスを受けやすくする」（20.6%）、「サービスについての情報提供を増やす」（18.2%）、「サービス利用料を安くする」（16.6%）、「利用できる回数や日数を増やす」（13.8%）となっています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳は「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」、40～64歳、65～74歳は「利用したいサービスを受けやすくする」、75歳以上はサービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」がそれぞれ最も多くなっています。

■地域生活支援事業で改善してほしいこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	利用できる回数や日数を増やす	利用したいサービスを受けやすくする	現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする	サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする	利用できる事業者の数を増やす	通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
全体		812 100.0	112 13.8	167 20.6	72 8.9	179 22.0	99 12.2	106 13.1
年齢別	0～17歳	35 100.0	4 11.4	8 22.9	4 11.4	14 40.0	5 14.3	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	17 22.7	22 29.3	14 18.7	28 37.3	18 24.0	15 20.0
	40～64歳	216 100.0	41 19.0	50 23.1	20 9.3	46 21.3	29 13.4	28 13.0
	65～74歳	134 100.0	15 11.2	28 20.9	9 6.7	26 19.4	12 9.0	14 10.4
	75歳以上	281 100.0	30 10.7	48 17.1	19 6.8	56 19.9	21 7.5	40 14.2
障がい種別	身体障がい	437 100.0	59 13.5	84 19.2	30 6.9	86 19.7	39 8.9	53 12.1
	知的障がい	109 100.0	19 17.4	25 22.9	13 11.9	35 32.1	13 11.9	12 11.0
	精神障がい	145 100.0	20 13.8	32 22.1	14 9.7	37 25.5	28 19.3	24 16.6
	指定難病医療受給者	56 100.0	6 10.7	14 25.0	6 10.7	12 21.4	8 14.3	10 17.9

		サービス利用料を安くする	サービスの質をよくする	サービスについての情報提供を増やす	利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる	その他	地域生活支援事業の提供状況に満足している	無回答
全体		135 16.6	110 13.5	148 18.2	53 6.5	24 3.0	39 4.8	366 45.1
年齢別	0～17歳	9 25.7	9 25.7	10 28.6	6 17.1	2 5.7	1 2.9	11 31.4
	18～39歳	17 22.7	14 18.7	20 26.7	8 10.7	2 2.7	2 2.7	16 21.3
	40～64歳	30 13.9	30 13.9	49 22.7	11 5.1	10 4.6	13 6.0	77 35.6
	65～74歳	18 13.4	11 8.2	20 14.9	6 4.5	3 2.2	6 4.5	70 52.2
	75歳以上	48 17.1	39 13.9	40 14.2	16 5.7	5 1.8	16 5.7	150 53.4
障がい種別	身体障がい	68 15.6	54 12.4	68 15.6	21 4.8	9 2.1	19 4.3	217 49.7
	知的障がい	16 14.7	14 12.8	20 18.3	9 8.3	4 3.7	5 4.6	42 38.5
	精神障がい	25 17.2	29 20.0	46 31.7	19 13.1	5 3.4	9 6.2	45 31.0
	指定難病医療受給者	13 23.2	7 12.5	7 12.5	1 1.8	1 1.8	4 7.1	19 33.9

1-2 調査の結果

問10 福祉サービスや制度についての情報の入手先

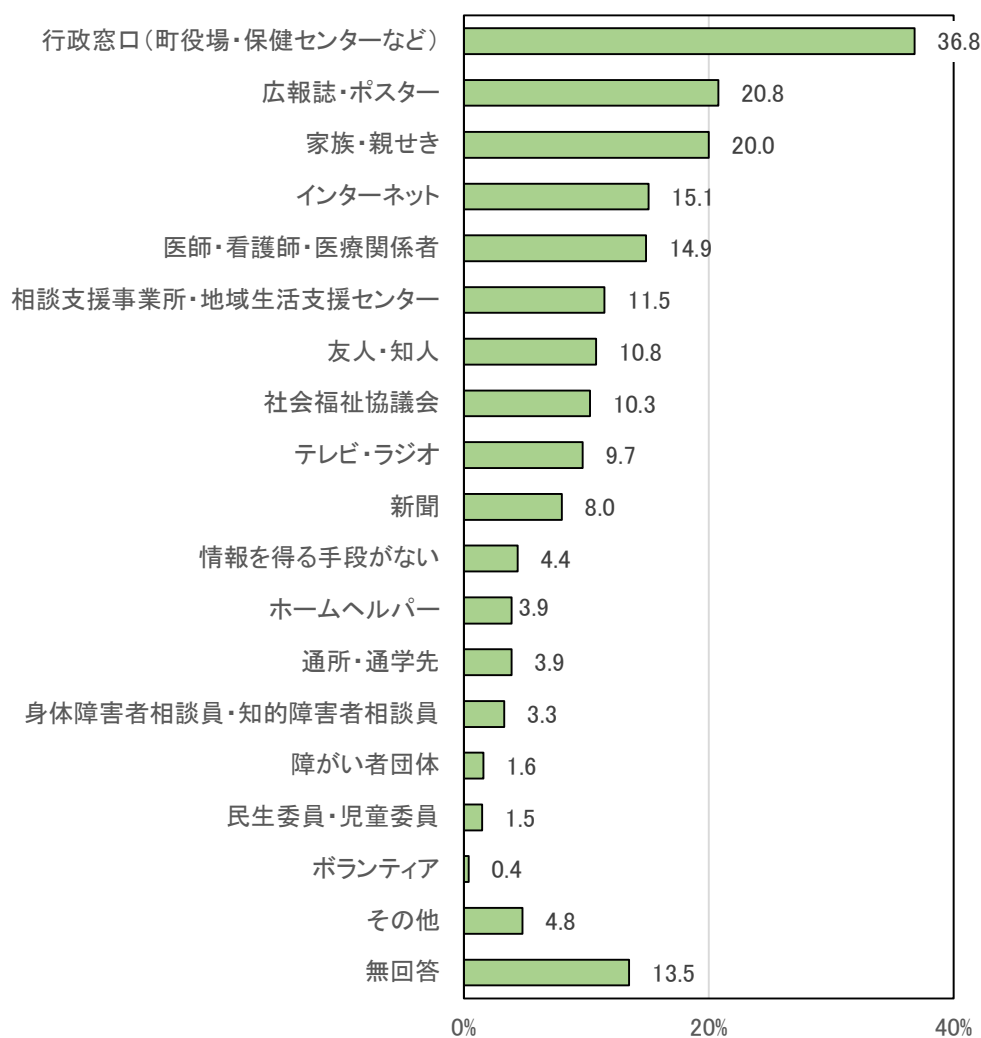
問 10 福祉サービスや制度についての情報を、あなたは主にどこから入手することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「行政窓口(町役場・保健センターなど)」(36.8%)が最も多く、次いで「広報誌・ポスター」(20.8%)、「家族・親せき」(20.0%)、「インターネット」(15.1%)、「医師・看護師・医療関係者」(14.9%)、となっています。

年齢別、障がい別では、各年齢、各障がいともに「行政窓口(町役場・保健センターなど)」が最も多くなっています。

■福祉関係の情報の入手先

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	家族・親せき	行政窓口 (町役場・保健センターなど)	社会福祉協議会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	相談支援事業所・地域生活支援センター	通所・通学先	ホームヘルパー	民生委員・児童委員	医師・看護師・医療関係者
全体		812	162	299	84	27	93	32	32	12	121
		100.0	20.0	36.8	10.3	3.3	11.5	3.9	3.9	1.5	14.9
年齢別	0～17歳	35	8	13	2	1	7	7	-	-	4
		100.0	22.9	37.1	5.7	2.9	20.0	20.0	-	-	11.4
	18～39歳	75	20	25	6	4	10	5	1	-	13
		100.0	26.7	33.3	8.0	5.3	13.3	6.7	1.3	-	17.3
	40～64歳	216	36	90	31	5	34	10	5	2	37
		100.0	16.7	41.7	14.4	2.3	15.7	4.6	2.3	0.9	17.1
65～74歳	134	19	58	11	3	10	4	6	-	23	
	100.0	14.2	43.3	8.2	2.2	7.5	3.0	4.5	-	17.2	
75歳以上	281	64	87	27	9	25	5	18	9	40	
	100.0	22.8	31.0	9.6	3.2	8.9	1.8	6.4	3.2	14.2	
障がい種別	身体障がい	437	84	166	45	16	45	13	18	5	68
		100.0	19.2	38.0	10.3	3.7	10.3	3.0	4.1	1.1	15.6
	知的障がい	109	24	52	19	7	22	12	2	-	9
		100.0	22.0	47.7	17.4	6.4	20.2	11.0	1.8	-	8.3
	精神障がい	145	34	51	14	-	21	7	2	1	37
	100.0	23.4	35.2	9.7	-	14.5	4.8	1.4	0.7	25.5	
指定難病医療受給者	56	9	21	6	5	7	2	5	2	9	
	100.0	16.1	37.5	10.7	8.9	12.5	3.6	8.9	3.6	16.1	

		障がい者団体	ボランティア	友人・知人	広報誌・ポスター	テレビ・ラジオ	新聞	インターネット	その他	情報を得る手段がない	無回答
全体		13	3	88	169	79	65	123	39	36	110
		1.6	0.4	10.8	20.8	9.7	8.0	15.1	4.8	4.4	13.5
年齢別	0～17歳	1	-	7	2	1	1	18	2	2	2
		2.9	-	20.0	5.7	2.9	2.9	51.4	5.7	5.7	5.7
	18～39歳	4	-	13	5	6	1	25	3	5	4
		5.3	-	17.3	6.7	8.0	1.3	33.3	4.0	6.7	5.3
	40～64歳	4	1	17	35	23	12	46	10	12	22
		1.9	0.5	7.9	16.2	10.6	5.6	21.3	4.6	5.6	10.2
65～74歳	-	1	9	38	11	14	13	6	3	22	
	-	0.7	6.7	28.4	8.2	10.4	9.7	4.5	2.2	16.4	
75歳以上	2	1	37	79	31	33	9	15	11	41	
	0.7	0.4	13.2	28.1	11.0	11.7	3.2	5.3	3.9	14.6	
障がい種別	身体障がい	8	2	47	113	43	43	48	19	21	60
		1.8	0.5	10.8	25.9	9.8	9.8	11.0	4.3	4.8	13.7
	知的障がい	4	-	14	7	6	2	19	4	6	8
		3.7	-	12.8	6.4	5.5	1.8	17.4	3.7	5.5	7.3
	精神障がい	3	-	10	28	17	8	42	9	6	10
	2.1	-	6.9	19.3	11.7	5.5	29.0	6.2	4.1	6.9	
指定難病医療受給者	-	-	3	17	4	2	9	4	1	6	
	-	-	5.4	30.4	7.1	3.6	16.1	7.1	1.8	10.7	

1-2 調査の結果

問11 福祉サービスや制度についての必要な情報

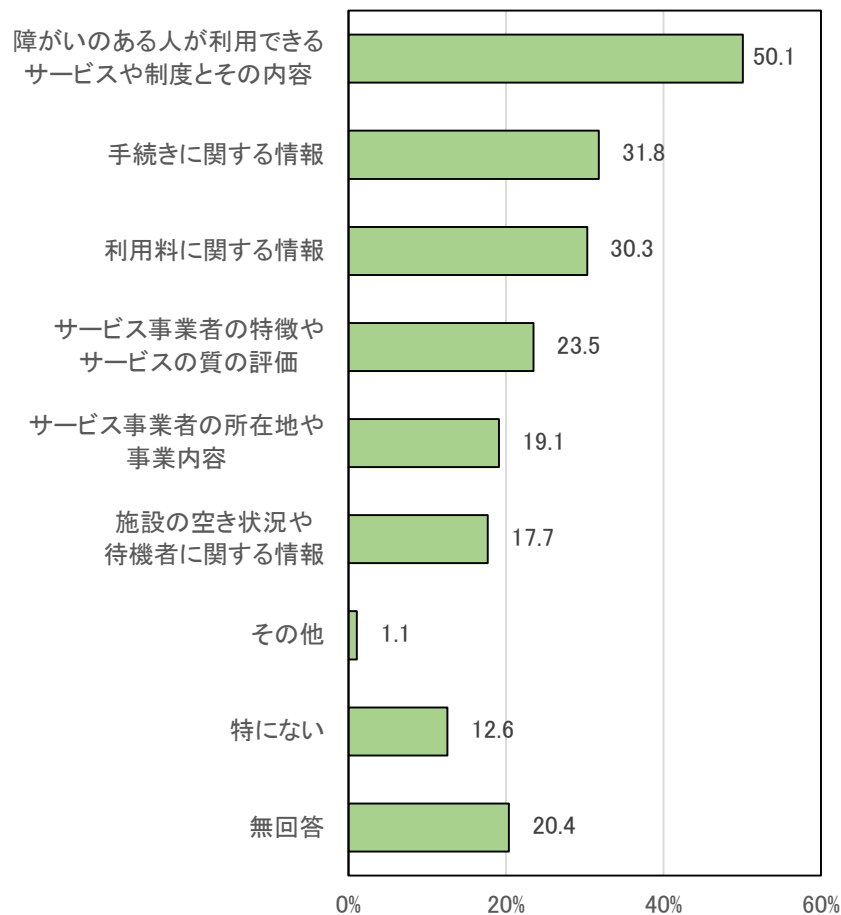
問 11 福祉サービスや制度についての情報のうち、あなたが特に必要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「障がいのある人が利用できるサービスや制度とその内容」(50.1%)が最も多く、次いで「手続きに関する情報」(31.8%)、「利用料に関する情報」(30.3%)、「サービス事業者の特徴やサービスの質の評価」(23.5%)、「サービス事業者の所在地や事業内容」(19.1%)となっています。

年齢別、障がい別では、各年齢、各障がいともに「障がいのある人が利用できるサービスや制度とその内容」が最も多くなっています。

■福祉関係の情報で特に必要なもの

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	障がいのある人が利用できるサービスや制度	施設の空き状況や待機者に関する情報	サービス事業者の所在地や事業内容	サービス事業者の特徴やサービスの質の評価
全体		812 100.0	407 50.1	144 17.7	155 19.1	191 23.5
年齢別	0～17歳	35 100.0	25 71.4	13 37.1	14 40.0	15 42.9
	18～39歳	75 100.0	52 69.3	18 24.0	17 22.7	25 33.3
	40～64歳	216 100.0	131 60.6	36 16.7	50 23.1	57 26.4
	65～74歳	134 100.0	60 44.8	20 14.9	24 17.9	23 17.2
	75歳以上	281 100.0	112 39.9	48 17.1	39 13.9	60 21.4
障がい種別	身体障がい	437 100.0	214 49.0	65 14.9	75 17.2	97 22.2
	知的障がい	109 100.0	69 63.3	36 33.0	32 29.4	32 29.4
	精神障がい	145 100.0	88 60.7	26 17.9	33 22.8	45 31.0
	指定難病医療受給者	56 100.0	24 42.9	12 21.4	11 19.6	13 23.2

		利用料に関する情報	手続きに関する情報	その他	特にない	無回答
全体		246 30.3	258 31.8	9 1.1	102 12.6	166 20.4
年齢別	0～17歳	11 31.4	16 45.7	- -	2 5.7	3 8.6
	18～39歳	26 34.7	35 46.7	2 2.7	3 4.0	3 4.0
	40～64歳	74 34.3	78 36.1	5 2.3	21 9.7	33 15.3
	65～74歳	37 27.6	38 28.4	1 0.7	19 14.2	30 22.4
	75歳以上	79 28.1	75 26.7	1 0.4	45 16.0	75 26.7
障がい種別	身体障がい	125 28.6	127 29.1	2 0.5	55 12.6	99 22.7
	知的障がい	30 27.5	48 44.0	2 1.8	7 6.4	13 11.9
	精神障がい	54 37.2	48 33.1	6 4.1	24 16.6	14 9.7
	指定難病医療受給者	17 30.4	16 28.6	- -	5 8.9	11 19.6

④ 保育・教育について

問12 通園・通学の状況

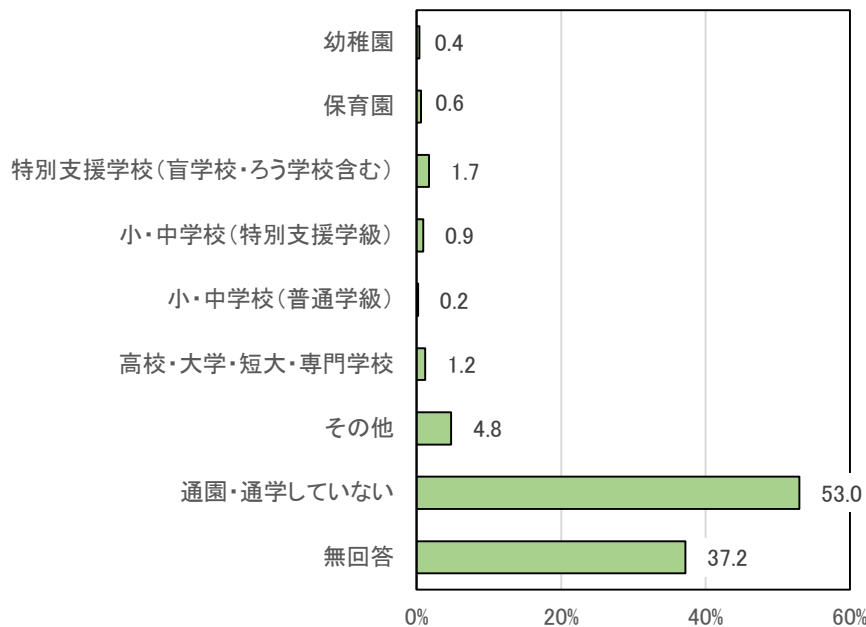
問 12 あなたは現在、通園・通学をしていますか。(1つに○)

障がい者全体では、「幼稚園」が0.4%、「保育園」が0.6%、「特別支援学校（盲学校・ろう学校含む）」が1.7%、「小・中学校（特別支援学級）」が0.9%、「小・中学校（普通学級）」が0.2%、「高校・大学・短大・専門学校」が1.2%、「その他」が4.8%で、通園・通学している人を合計すると9.8%という状況になっています。

障がい別では、身体障がい者の4.8%、知的障がい者の34.9%、精神障がい者の17.2%が通園・通学しています。

■通園・通学状況

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	幼稚園	保育園	特別支援学校(盲学校・ろう学校含む)	小・中学校(特別支援学級)	小・中学校(普通学級)	高校・大学・短大・専門学校	その他	通園・通学していない	無回答
全体		812 100.0	3 0.4	5 0.6	14 1.7	7 0.9	2 0.2	10 1.2	39 4.8	430 53.0	302 37.2
年齢別	0~17歳	35 100.0	3 8.6	3 8.6	13 37.1	7 20.0	1 2.9	5 14.3	-	1 2.9	2 5.7
	18~39歳	75 100.0	-	1 1.3	-	-	-	3 4.0	4 5.3	54 72.0	13 17.3
	40~64歳	216 100.0	-	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	-	15 6.9	142 65.7	56 25.9
	65~74歳	134 100.0	-	-	-	-	-	-	10 7.5	76 56.7	48 35.8
	75歳以上	281 100.0	-	-	-	-	-	-	6 2.1	128 45.6	147 52.3
障がい種別	身体障がい	437 100.0	1 0.2	-	3 0.7	-	-	-	17 3.9	241 55.1	175 40.0
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	5 4.6	11 10.1	5 4.6	1 0.9	6 5.5	9 8.3	42 38.5	29 26.6
	精神障がい	145 100.0	1 0.7	1 0.7	5 3.4	3 2.1	-	6 4.1	9 6.2	101 69.7	19 13.1
	指定難病医療受給者	56 100.0	-	-	-	-	1 1.8	-	3 5.4	27 48.2	25 44.6

問12で「1. 幼稚園」「2. 保育園」「3. 特別支援学校（盲学校・ろう学校含む）」「4. 小・中学校（特別支援学級）」「5. 小・中学校（普通学級）」「6. 高校・大学・短大・専門学校」と答えた人におたずねします。

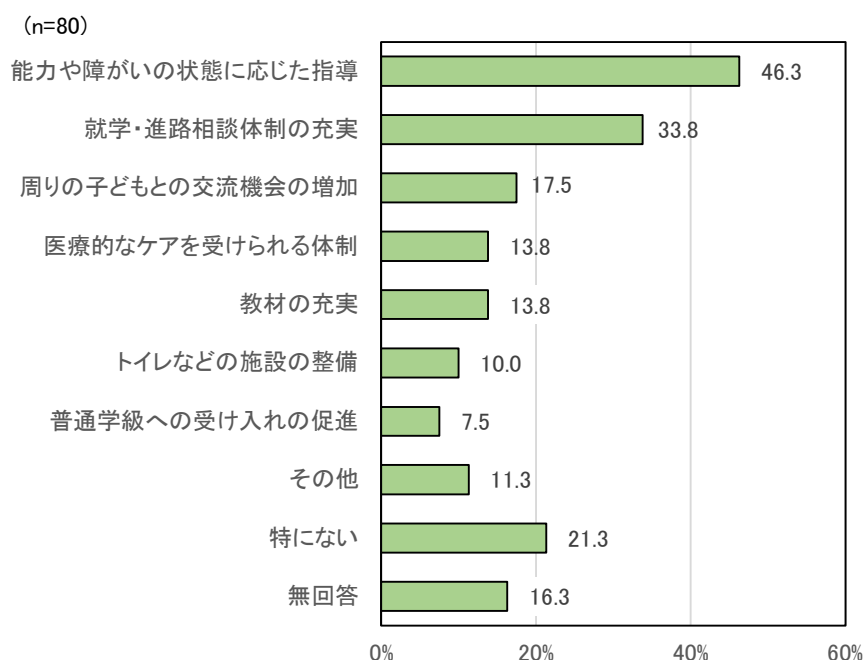
問12-1 あなたが通園・通学先に望むことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

通園・通学している方に通園・通学先に望むことを尋ねたところ、「能力や障がいの状態に応じた指導」（46.3%）が最も多く、次いで「就学・進路相談体制の充実」（33.8%）、「周りの子どもとの交流機会の増加」（17.5%）となっています。

年齢別では、0～17歳と18～39歳が「能力や障がいの状態に応じた指導」が最も多く、障がい別では、身体障がい者と知的障がい者と精神障がい者で「能力や障がいの状態に応じた指導」が最も多くなっています。

■通園・通学先に望むこと



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	就学・進路 相談体制の 充実	能力や障が いの状態に 応じた指導	教材の充実	トイレなど の施設の整 備	普通学級へ の受け入れ の促進	周りの子ど もとの交流 機会の増加	医療的なケ アを受けら れる体制	その他	特にない	無回答
全体		80 100.0	37 46.3	27 33.8	14 17.5	11 13.8	11 13.8	8 10.0	6 7.5	9 11.3	17 21.3	13 16.3
年齢別	0～17歳	32 100.0	19 59.4	25 78.1	8 25.0	4 12.5	4 12.5	11 34.4	4 12.5	4 12.5	2 6.3	-
	18～39歳	8 100.0	1 12.5	3 37.5	-	-	-	-	-	1 12.5	3 37.5	1 12.5
	40～64歳	18 100.0	4 22.2	6 33.3	2 11.1	3 16.7	-	2 11.1	5 27.8	2 11.1	6 33.3	3 16.7
	65～74歳	10 100.0	1 10.0	2 20.0	-	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0
	75歳以上	6 100.0	-	-	-	-	-	-	1 16.7	-	2 33.3	3 50.0
障がい 種別	身体障がい	21 100.0	2 9.5	5 23.8	2 9.5	1 4.8	-	1 4.8	3 14.3	3 14.3	7 33.3	6 28.6
	知的障がい	38 100.0	19 50.0	27 71.1	7 18.4	4 10.5	2 5.3	9 23.7	5 13.2	4 10.5	5 13.2	2 5.3
	精神障がい	25 100.0	10 40.0	12 48.0	5 20.0	2 8.0	4 16.0	7 28.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0
	指定難病医 療受給者	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	3 75.0	1 25.0	-	1 25.0

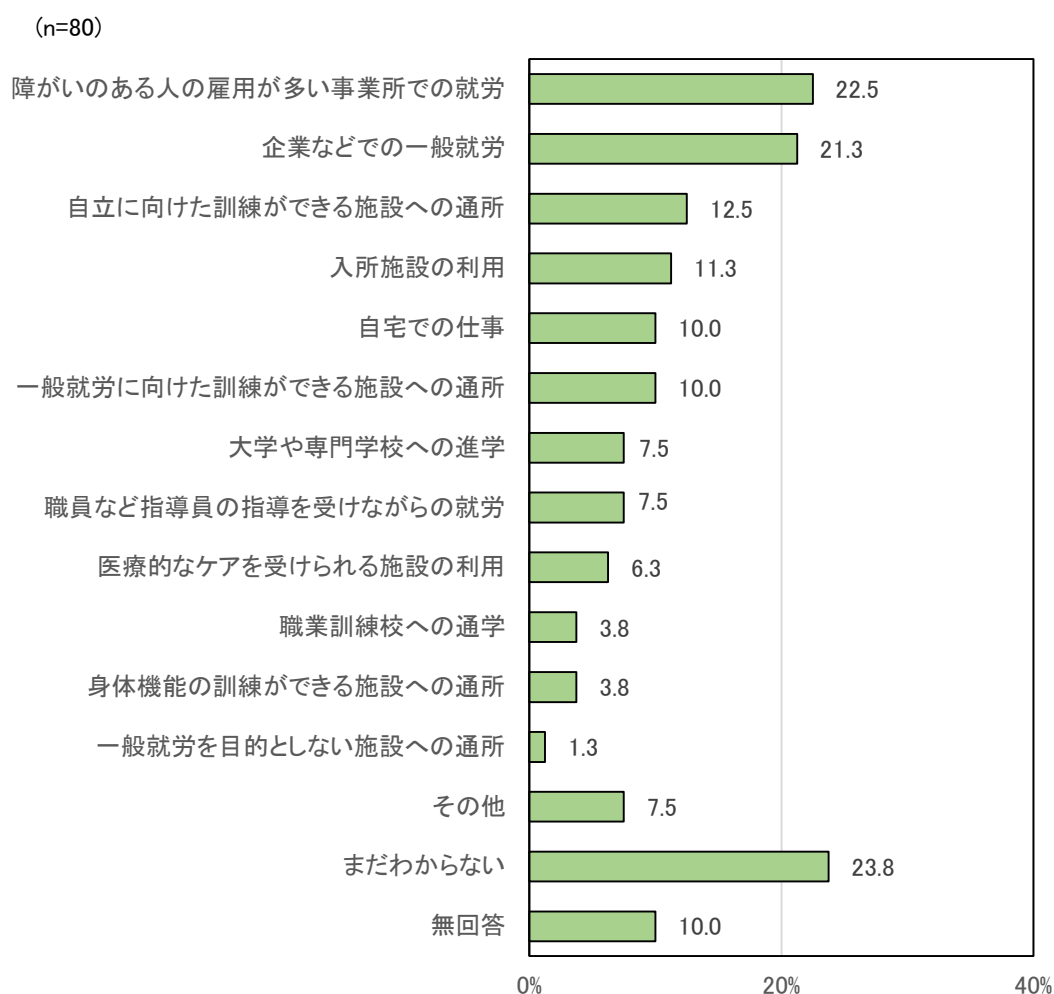
1-2 調査の結果

問 12-2 あなたは今後、どのような進路を希望していますか。
(あてはまるものすべてに○)

通園・通学している方に今後、どのような進路を希望しているか尋ねたところ、「障がいのある人の雇用が多い事業所での就労」(22.5%)が最も多く、次いで「企業などでの一般就労」(21.3%)、「自立に向けた訓練ができる施設への通所」(12.5%)、「入所施設の利用」(11.3%)、「自宅での仕事」(10.0%)となっています。

年齢別では、「障がいのある人の雇用が多い事業所での就労」は0~17歳が37.5%で最も多く、障がい別でも、「障がいのある人の雇用が多い事業所での就労」は知的障がい者が31.6%、精神障がい者が36.0%となっています。

■今後の進路希望



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	企業などでの 一般就労	障がいのある 人の雇用が多 い事業所での 就労	職員など指導 員の指導を受 けながらの 就労	一般就労に向 けた訓練がで きる施設への 通所	一般就労を目 的としない施 設への通所	身体機能の訓 練ができる施 設への通所	自立に向けた 訓練ができる 施設への通所
全体		80 100.0	17 21.3	18 22.5	6 7.5	8 10.0	1 1.3	3 3.8	10 12.5
年 令 別	0～17歳	32 100.0	10 31.3	12 37.5	3 9.4	4 12.5	1 3.1	- -	5 15.6
	18～39歳	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -	1 12.5
	40～64歳	18 100.0	2 11.1	2 11.1	1 5.6	1 5.6	- -	- -	2 11.1
	65～74歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	- -	2 20.0	1 10.0
	75歳以上	6 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
障 が い 種 別	身体障がい	21 100.0	2 9.5	- -	- -	- -	- -	1 4.8	1 4.8
	知的障がい	38 100.0	9 23.7	12 31.6	5 13.2	5 13.2	1 2.6	- -	8 21.1
	精神障がい	25 100.0	8 32.0	9 36.0	2 8.0	5 20.0	- -	1 4.0	5 20.0
	指定難病医療 受給者	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

		職業訓練校へ の通学	大学や専門学 校への進学	自宅での仕事	医療的なケア を受けられる 施設の利用	入所施設の 利用	その他	まだ わからない	無回答
全体		3 3.8	6 7.5	8 10.0	5 6.3	9 11.3	6 7.5	19 23.8	8 10.0
年 令 別	0～17歳	2 6.3	4 12.5	3 9.4	1 3.1	2 6.3	1 3.1	10 31.3	- -
	18～39歳	- -	1 12.5	- -	- -	- -	- -	2 25.0	- -
	40～64歳	- -	1 5.6	1 5.6	3 16.7	5 27.8	2 11.1	3 16.7	1 5.6
	65～74歳	1 10.0	- -	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0
	75歳以上	- -	- -	- -	- -	1 16.7	1 16.7	- -	4 66.7
障 が い 種 別	身体障がい	- -	- -	4 19.0	1 4.8	3 14.3	3 14.3	4 19.0	5 23.8
	知的障がい	2 5.3	3 7.9	2 5.3	3 7.9	4 10.5	1 2.6	12 31.6	- -
	精神障がい	1 4.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0
	指定難病医療 受給者	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -

⑤ 仕事について

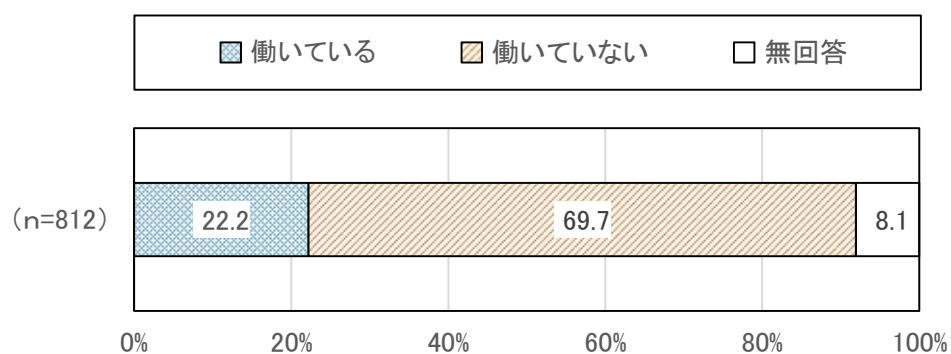
問13 現在の就労状況

問13 あなたは、今働いていますか。(1つに〇)

障がい者全体では、「働いている」が22.2%、「働いていない」が69.7%となっています。

年齢別では、「働いている」は、18～39歳が60.0%で最も多く、障がい別では、知的障がい者が40.4%で最も多くなっています。

■就労の状況



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	働いている	働いていない	無回答
全体		812 100.0	180 22.2	566 69.7	66 8.1
年齢別	0～17歳	35 100.0	- -	35 100.0	- -
	18～39歳	75 100.0	45 60.0	27 36.0	3 4.0
	40～64歳	216 100.0	82 38.0	125 57.9	9 4.2
	65～74歳	134 100.0	23 17.2	104 77.6	7 5.2
	75歳以上	281 100.0	13 4.6	232 82.6	36 12.8
障がい種別	身体障がい	437 100.0	75 17.2	329 75.3	33 7.6
	知的障がい	109 100.0	44 40.4	62 56.9	3 2.8
	精神障がい	145 100.0	38 26.2	104 71.7	3 2.1
	指定難病医療受給者	56 100.0	11 19.6	42 75.0	3 5.4

問13で「1. 働いている」と答えた人におたずねします。

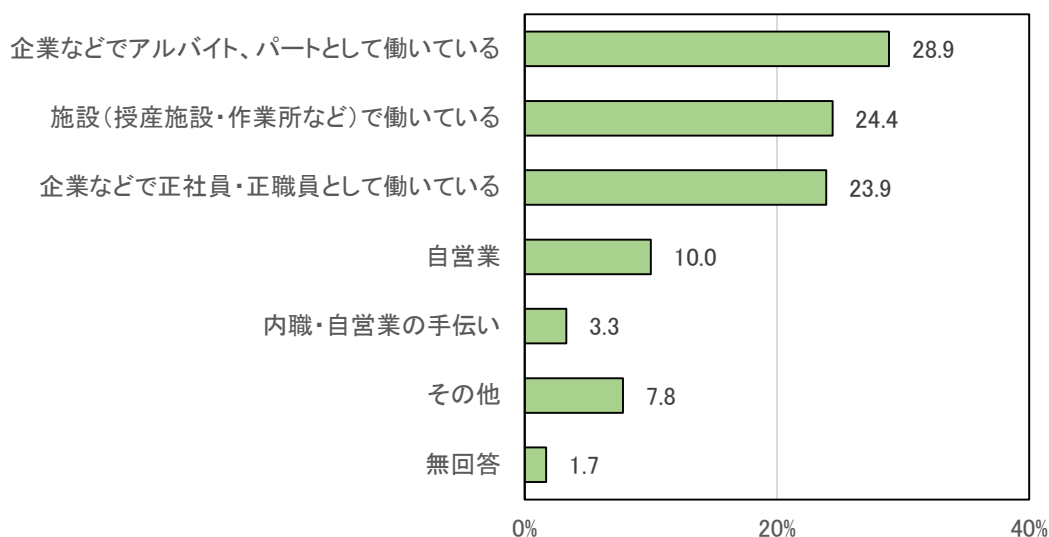
問13-1 あなたはどのように働いていますか。(1つに○)

働いている方に、どのように働いているかを尋ねたところ、「企業などでアルバイト、パートとして働いている」(28.9%)が最も多く、次いで「施設(授産施設・作業所など)で働いている」(24.4%)、「企業などで正社員・正職員として働いている」(23.9%)、「自営業」(10.0%)、「内職・自営業の手伝い」(3.3%)となっています。

年齢別では、18～39歳は「施設(授産施設・作業所など)で働いている」が35.6%、40～64歳は「企業などでアルバイト、パートとして働いている」が29.3%、65～74歳は「企業などでアルバイト、パートとして働いている」が30.4%、75歳以上は「自営業」が61.5%でそれぞれ最も多くなっています。

■就労形態

(n=180)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	施設(授産施設・作業所など)で働いている	企業などで正社員・正職員として働いている	企業などでアルバイト、パートとして働いている	自営業	内職・自営業の手伝い	その他	無回答
全体		180 100.0	44 24.4	43 23.9	52 28.9	18 10.0	6 3.3	14 7.8	3 1.7
年齢別	0～17歳	- 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	18～39歳	45 100.0	16 35.6	12 26.7	14 31.1	1 2.2	-	1 2.2	1 2.2
	40～64歳	82 100.0	21 25.6	20 24.4	24 29.3	4 4.9	1 1.2	10 12.2	2 2.4
	65～74歳	23 100.0	4 17.4	4 17.4	7 30.4	4 17.4	2 8.7	2 8.7	-
	75歳以上	13 100.0	-	1 7.7	1 7.7	8 61.5	3 23.1	-	-
障がい種別	身体障がい	75 100.0	8 10.7	18 24.0	24 32.0	12 16.0	5 6.7	6 8.0	2 2.7
	知的障がい	44 100.0	25 56.8	5 11.4	13 29.5	-	-	1 2.3	-
	精神障がい	38 100.0	10 26.3	10 26.3	12 31.6	-	1 2.6	4 10.5	1 2.6
	指定難病医療受給者	11 100.0	1 9.1	3 27.3	4 36.4	2 18.2	-	1 9.1	-

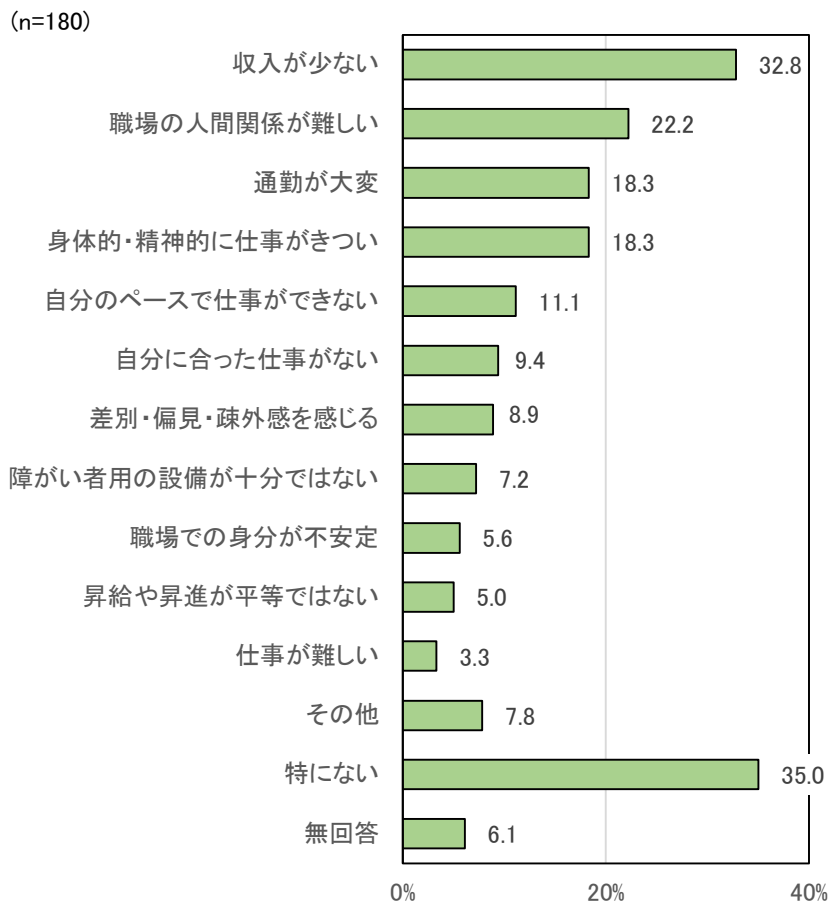
1-2 調査の結果

問 13-2 あなたは障がいがあることで、仕事をする上で不安や不満を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

働いている方に、障がいがあることで感じる仕事上の不安や不満を尋ねたところ、「収入が少ない」(32.8%)が最も多く、次いで「職場の人間関係が難しい」(22.2%)、「通勤が大変」(18.3%)、「身体的・精神的に仕事がきつい」(18.3%)などが上位にあげられています。

年齢別では、18～39歳は「収入が少ない」と「職場の人間関係が難しい」、40～64歳は「収入が少ない」、65～74歳は「特にない」、75歳以上は「特にない」が最も多く、障がい別では、身体障がい者、知的障がい者は「特にない」、精神障がい者は「身体的・精神的に仕事がきつい」が最も多くなっています。

■仕事をする上での不安や不満



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	身体的・精神的に仕事がきつい	収入が少ない	通勤が大変	仕事が難しい	自分に合った仕事がない	職場での身分が不安定	昇給や昇進が平等ではない
全体		180 100.0	33 18.3	59 32.8	33 18.3	6 3.3	17 9.4	10 5.6	9 5.0
年齢別	0～17歳	- 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	18～39歳	45 100.0	9 20.0	16 35.6	10 22.2	4 8.9	6 13.3	2 4.4	2 4.4
	40～64歳	82 100.0	18 22.0	28 34.1	16 19.5	2 2.4	9 11.0	5 6.1	6 7.3
	65～74歳	23 100.0	1 4.3	4 17.4	2 8.7	- -	- -	1 4.3	- -
	75歳以上	13 100.0	- -	4 30.8	1 7.7	- -	- -	- -	- -
障がい種別	身体障がい	75 100.0	10 13.3	23 30.7	14 18.7	1 1.3	5 6.7	3 4.0	5 6.7
	知的障がい	44 100.0	2 4.5	15 34.1	6 13.6	2 4.5	2 4.5	2 4.5	- -
	精神障がい	38 100.0	15 39.5	13 34.2	9 23.7	4 10.5	5 13.2	3 7.9	4 10.5
	指定難病医療受給者	11 100.0	2 18.2	5 45.5	3 27.3	- -	- -	- -	1 9.1

		障がい者の用設備が十分ではない	差別・偏見・疎外感を感じる	職場の間関係が難しい	自分のペースで仕事ができない	その他	特になし	無回答
全体		13 7.2	16 8.9	40 22.2	20 11.1	14 7.8	63 35.0	11 6.1
年齢別	0～17歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	18～39歳	3 6.7	4 8.9	16 35.6	6 13.3	6 13.3	15 33.3	1 2.2
	40～64歳	7 8.5	6 7.3	17 20.7	8 9.8	6 7.3	21 25.6	7 8.5
	65～74歳	2 8.7	2 8.7	1 4.3	3 13.0	1 4.3	13 56.5	1 4.3
	75歳以上	- -	- -	- -	- -	- -	9 69.2	1 7.7
障がい種別	身体障がい	4 5.3	5 6.7	7 9.3	8 10.7	5 6.7	33 44.0	4 5.3
	知的障がい	2 4.5	3 6.8	11 25.0	1 2.3	3 6.8	19 43.2	3 6.8
	精神障がい	5 13.2	7 18.4	20 52.6	9 23.7	5 13.2	7 18.4	1 2.6
	指定難病医療受給者	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1	- -	4 36.4	- -

1-2 調査の結果

問 13 で「2. 働いていない」と答えた人におたずねします。

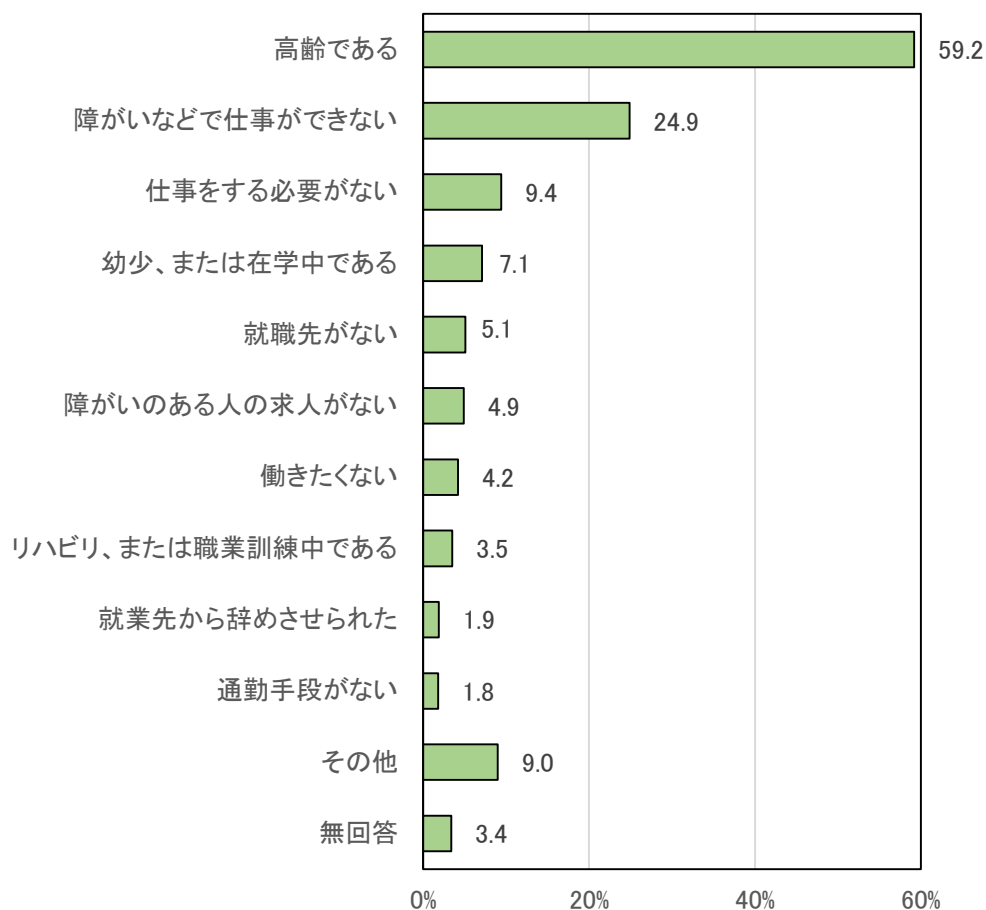
問 13-3 あなたは現在、働いていないのはどのような理由ですか。
(あてはまるものすべてに○)

働いていない方に、働いていない理由を尋ねたところ、最も多い理由は「高齢である」の59.2%となっています。次いで働いていない理由を多い順にみると「障がいなどで仕事ができない」(24.9%)、「仕事をする必要がない」(9.4%)、「幼少、または在学中である」(7.1%)「就職先がない」(5.1%)、「障がいのある人の求人がない」(4.9%) となっています。

年齢別では、65～74 歳、75 歳以上は「高齢である」、18～39 歳、40～64 歳は「障がいなどで仕事ができない」がそれぞれ最も多くなっています。

■働いていない理由

(n=566)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	幼少、または 在学中である	高齢である	障がいなどで 仕事ができない	リハビリ、 または職業 訓練中である	通勤手段が ない	就職先がない
全体		566 100.0	40 7.1	335 59.2	141 24.9	20 3.5	10 1.8	29 5.1
年齢別	0～17歳	35 100.0	33 94.3	- -	- -	- -	- -	2 5.7
	18～39歳	27 100.0	2 7.4	- -	16 59.3	3 11.1	1 3.7	4 14.8
	40～64歳	125 100.0	4 3.2	21 16.8	68 54.4	6 4.8	6 4.8	12 9.6
	65～74歳	104 100.0	- -	83 79.8	23 22.1	4 3.8	- -	5 4.8
	75歳以上	232 100.0	- -	204 87.9	23 9.9	6 2.6	3 1.3	3 1.3
	障がい別	身体障がい	329 100.0	4 1.2	258 78.4	62 18.8	9 2.7	5 1.5
知的障がい		62 100.0	30 48.4	3 4.8	18 29.0	1 1.6	1 1.6	4 6.5
精神障がい		104 100.0	13 12.5	17 16.3	54 51.9	4 3.8	4 3.8	15 14.4
指定難病医療 受給者		42 100.0	2 4.8	32 76.2	9 21.4	4 9.5	1 2.4	- -

		障がいのあ る人の求人 がない	仕事をする 必要がない	働きたくない	就業先から 辞めさせら れた	その他	無回答
全体		28 4.9	53 9.4	24 4.2	11 1.9	51 9.0	19 3.4
年齢別	0～17歳	- -	2 5.7	- -	- -	1 2.9	- -
	18～39歳	3 11.1	3 11.1	5 18.5	2 7.4	4 14.8	1 3.7
	40～64歳	13 10.4	10 8.0	6 4.8	6 4.8	22 17.6	6 4.8
	65～74歳	4 3.8	6 5.8	6 5.8	- -	9 8.7	4 3.8
	75歳以上	6 2.6	23 9.9	5 2.2	1 0.4	10 4.3	8 3.4
	障がい別	身体障がい	8 2.4	27 8.2	6 1.8	1 0.3	25 7.6
知的障がい		4 6.5	3 4.8	2 3.2	2 3.2	8 12.9	3 4.8
精神障がい		12 11.5	14 13.5	13 12.5	6 5.8	17 16.3	1 1.0
指定難病医療 受給者		2 4.8	4 9.5	1 2.4	- -	2 4.8	2 4.8

1-2 調査の結果

問14 今後の就労意向

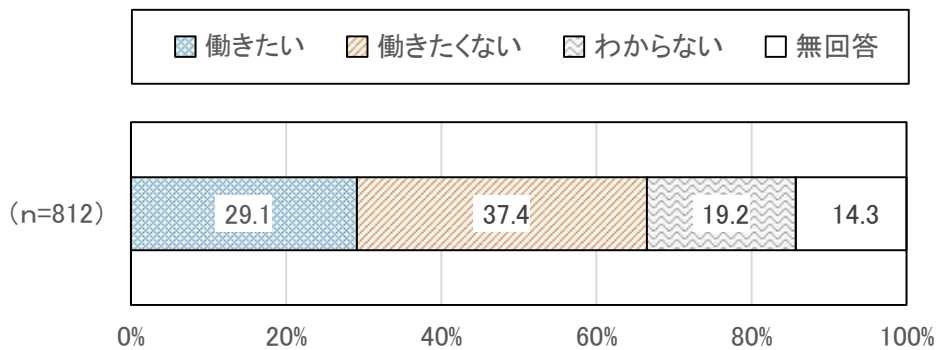
現在、働いている人も働いていない人もお答えください。

問14 あなたは今後（将来）、働きたいですか。（1つに〇）

障がい者全体では、「働きたい」が29.1%、「働きたくない」が37.4%で「働きたくない」が「働きたい」を8.3ポイント上回っています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳、40～64歳は「働きたい」が「働きたくない」を上回っていますが、65～74歳、75歳以上は「働きたくない」が「働きたい」を上回っています。

■今後の就労意向



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	働きたい	働きたくない	わからない	無回答
全体		812 100.0	236 29.1	304 37.4	156 19.2	116 14.3
年齢別	0～17歳	35 100.0	27 77.1	1 2.9	7 20.0	- -
	18～39歳	75 100.0	51 68.0	6 8.0	10 13.3	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	98 45.4	31 14.4	67 31.0	20 9.3
	65～74歳	134 100.0	20 14.9	68 50.7	31 23.1	15 11.2
	75歳以上	281 100.0	19 6.8	169 60.1	32 11.4	61 21.7
障がい別	身体障がい	437 100.0	79 18.1	216 49.4	81 18.5	61 14.0
	知的障がい	109 100.0	60 55.0	11 10.1	27 24.8	11 10.1
	精神障がい	145 100.0	77 53.1	18 12.4	43 29.7	7 4.8
	指定難病医療受給者	56 100.0	12 21.4	28 50.0	9 16.1	7 12.5

問 14 で「1. 働きたい」と答えた人におたずねします。

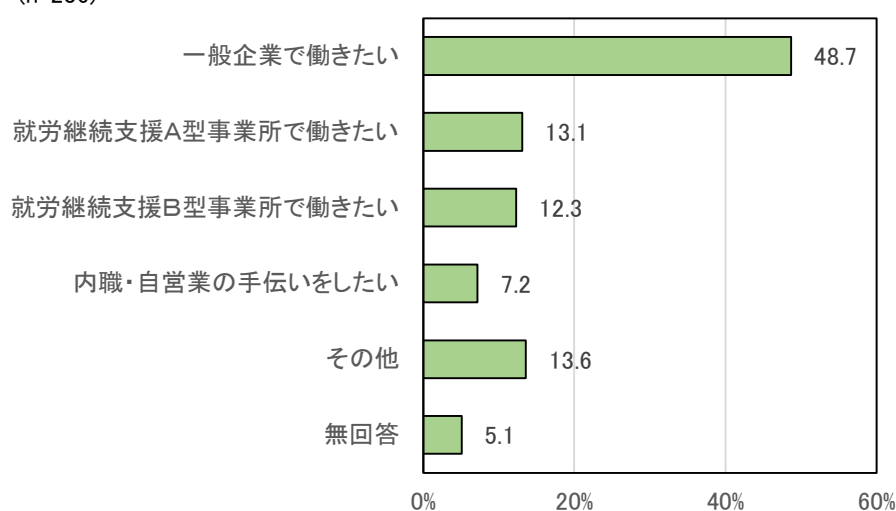
問 14-1 あなたはどのようなところで働きたいですか。(1つに○)

今後働きたいと回答した方にどのようなところで働きたいか尋ねたところ、「一般企業で働きたい」(48.7%)が最も多く、次いで「就労継続支援A型事業所で働きたい」(13.1%)、「就労継続支援B型事業所で働きたい」(12.3%)、「内職・自営業の手伝いをしたい」(7.2%)となっています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳、40～64歳は「一般企業で働きたい」、65～74歳、75歳以上は「内職・自営業の手伝いをしたい」がそれぞれ最も多くなっています。

■希望する就労先

(n=236)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	一般企業で働きたい	就労継続支援A型事業所で働きたい	就労継続支援B型事業所で働きたい	内職・自営業の手伝いをしたい	その他	無回答
全体		236 100.0	115 48.7	31 13.1	29 12.3	17 7.2	32 13.6	12 5.1
年齢別	0～17歳	32 100.0	28 87.5	-	4 12.5	-	-	-
	18～39歳	66 100.0	59 89.4	-	7 10.6	-	-	-
	40～64歳	178 100.0	141 79.2	5 2.8	29 16.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6
	65～74歳	20 100.0	5 25.0	-	3 15.0	6 30.0	5 25.0	1 5.0
	75歳以上	19 100.0	5 26.3	-	1 5.3	7 36.8	4 21.1	2 10.5
	障がい別	身体障がい	79 100.0	35 44.3	6 7.6	7 8.9	11 13.9	17 21.5
知的障がい		60 100.0	18 30.0	15 25.0	18 30.0	-	5 8.3	4 6.7
精神障がい		77 100.0	43 55.8	12 15.6	6 7.8	3 3.9	10 13.0	3 3.9
指定難病医療受給者		12 100.0	9 75.0	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	-

1-2 調査の結果

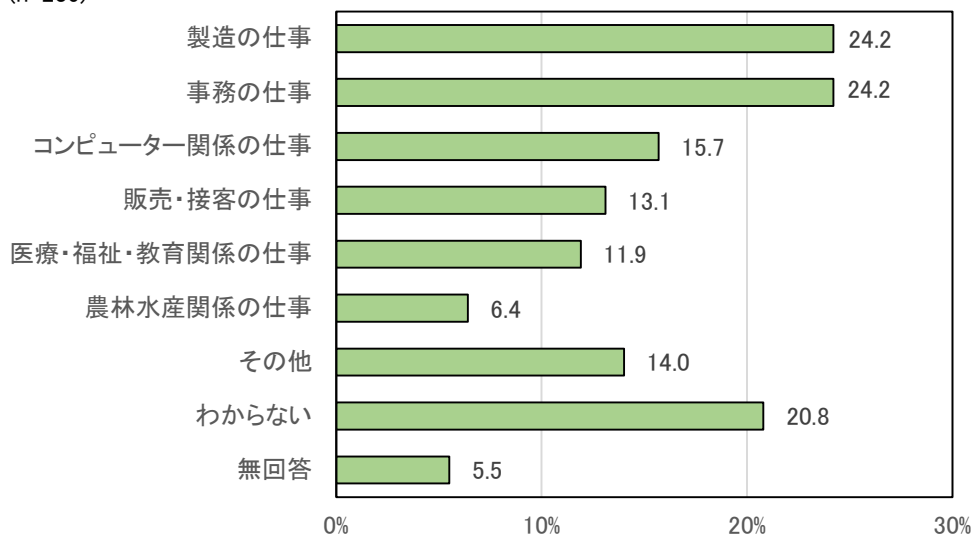
問 14-2 あなたはどのような種類の仕事をしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

今後働きたいと回答した方にどのような種類の仕事をしたいか尋ねたところ、「製造の仕事」と「事務の仕事」が24.2%で最も多く、次いで「コンピューター関係の仕事」(15.7%) 「販売・接客の仕事」(13.1%)、の順となっています。

年齢別では、0～17歳は「コンピューター関係の仕事」と「わからない」、18～39歳は「製造の仕事」と「わからない」、40～64歳は「事務の仕事」、65～74歳は「製造の仕事」、75歳以上は「製造の仕事」がそれぞれ最も多くなっています。

■希望する仕事内容

(n=236)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	事務の仕事	販売・接客の仕事	製造の仕事	農林水産関係の仕事	コンピューター関係の仕事	医療・福祉・教育関係の仕事	その他	わからない	無回答
全体		236 100.0	57 24.2	31 13.1	57 24.2	15 6.4	37 15.7	28 11.9	33 14.0	49 20.8	13 5.5
年齢別	0～17歳	27 100.0	2 7.4	5 18.5	5 18.5	2 7.4	9 33.3	3 11.1	1 3.7	9 33.3	2 7.4
	18～39歳	51 100.0	9 17.6	7 13.7	14 27.5	4 7.8	8 15.7	9 17.6	4 7.8	14 27.5	1 2.0
	40～64歳	98 100.0	30 30.6	13 13.3	18 18.4	3 3.1	14 14.3	13 13.3	21 21.4	20 20.4	5 5.1
	65～74歳	20 100.0	4 20.0	2 10.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0
	75歳以上	19 100.0	3 15.8	3 15.8	5 26.3	2 10.5	2 10.5	-	-	3 15.8	2 10.5
障がい別	身体障がい	79 100.0	23 29.1	8 10.1	18 22.8	4 5.1	9 11.4	10 12.7	12 15.2	10 12.7	2 2.5
	知的障がい	60 100.0	1 1.7	8 13.3	16 26.7	3 5.0	5 8.3	4 6.7	5 8.3	24 40.0	5 8.3
	精神障がい	77 100.0	24 31.2	13 16.9	21 27.3	4 5.2	19 24.7	10 13.0	13 16.9	12 15.6	5 6.5
	指定難病医療受給者	12 100.0	5 41.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	-

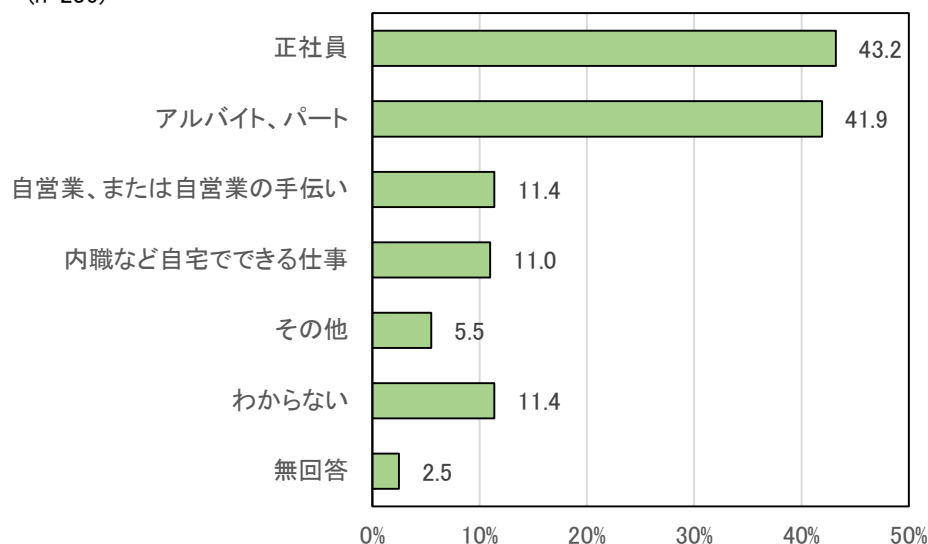
問 14-3 あなたはどのように働きたいですか。(あてはまるものすべてに○)

今後働きたいと回答した方にどのように働きたいか尋ねたところ、「正社員」が43.2%で、「アルバイト、パート」が41.9%となっています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳は「正社員」、40～64歳・65～74歳・75歳以上は「アルバイト、パート」がそれぞれ最も多くなっています。

■希望する就労形態

(n=236)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	正社員	アルバイト、パート	自営業、または自営業の手伝い	内職など自宅でできる仕事	その他	わからない	無回答
全体		236 100.0	102 43.2	99 41.9	27 11.4	26 11.0	13 5.5	27 11.4	6 2.5
年齢別	0～17歳	27 100.0	16 59.3	6 22.2	-	3 11.1	-	8 29.6	-
	18～39歳	51 100.0	28 54.9	21 41.2	6 11.8	5 9.8	3 5.9	8 15.7	2 3.9
	40～64歳	98 100.0	42 42.9	46 46.9	9 9.2	9 9.2	9 9.2	8 8.2	1 1.0
	65～74歳	20 100.0	3 15.0	11 55.0	4 20.0	5 25.0	-	1 5.0	1 5.0
	75歳以上	19 100.0	3 15.8	7 36.8	6 31.6	2 10.5	-	1 5.3	1 5.3
	障がい別	身体障がい	79 100.0	29 36.7	34 43.0	13 16.5	7 8.9	4 5.1	3 3.8
知的障がい		60 100.0	24 40.0	17 28.3	2 3.3	3 5.0	3 5.0	18 30.0	3 5.0
精神障がい		77 100.0	39 50.6	37 48.1	11 14.3	14 18.2	6 7.8	7 9.1	-
指定難病医療受給者		12 100.0	5 41.7	7 58.3	1 8.3	1 8.3	-	-	-

1-2 調査の結果

問15 就労する上で必要と思う条件

現在、働いている人も働いていない人もお答えください。

問15 あなたが働く上で、どのような条件が必要だと思いますか。

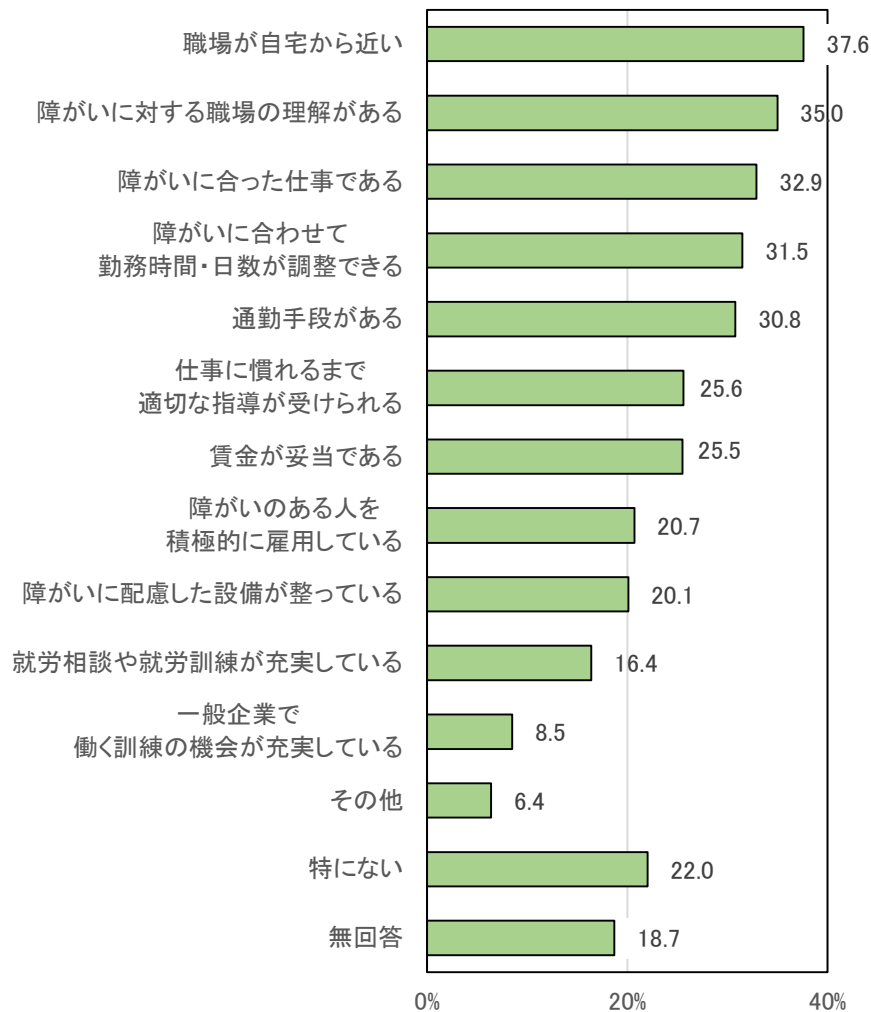
(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「職場が自宅から近い」(37.6%)が最も多く、次いで「障がいに対する職場の理解がある」(35.0%)、「障がい合った仕事である」(32.9%)、「障がいに合わせて勤務時間・日数が調整できる」(31.5%)、「通勤手段がある」(30.8%)などが上位にあげられています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳、40～64歳は「障がいに対する職場の理解がある」、65～74歳は「職場が自宅から近い」、75歳以上は「特にない」がそれぞれ最も多くなっています。

■働く上で必要条件

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	職場が自宅から近い	通勤手段がある	障がいのある人を積極的に雇用している	障がいに合った仕事である	障がいに合わせて勤務時間・日数が調整できる	障がいに配慮した設備が整っている	賃金が妥当である
全体		812 100.0	305 37.6	250 30.8	168 20.7	267 32.9	256 31.5	163 20.1	207 25.5
年齢別	0～17歳	35 100.0	25 71.4	18 51.4	22 62.9	25 71.4	19 54.3	15 42.9	20 57.1
	18～39歳	75 100.0	44 58.7	47 62.7	39 52.0	50 66.7	45 60.0	31 41.3	45 60.0
	40～64歳	216 100.0	110 50.9	93 43.1	59 27.3	97 44.9	98 45.4	56 25.9	74 34.3
	65～74歳	134 100.0	47 35.1	35 26.1	16 11.9	33 24.6	33 24.6	20 14.9	24 17.9
	75歳以上	281 100.0	56 19.9	36 12.8	21 7.5	40 14.2	40 14.2	29 10.3	25 8.9
障がい種別	身体障がい	437 100.0	137 31.4	106 24.3	54 12.4	102 23.3	108 24.7	69 15.8	73 16.7
	知的障がい	109 100.0	59 54.1	60 55.0	50 45.9	72 66.1	48 44.0	44 40.4	42 38.5
	精神障がい	145 100.0	81 55.9	63 43.4	55 37.9	78 53.8	74 51.0	41 28.3	73 50.3
	指定難病医療受給者	56 100.0	16 28.6	10 17.9	4 7.1	6 10.7	14 25.0	5 8.9	8 14.3

		障がいに対する職場の理解がある	仕事に慣れるまで適切な指導が受けられる	就労相談や就労訓練が充実している	一般企業で働く訓練の機会が充実している	その他	特にない	無回答
全体		284 35.0	208 25.6	133 16.4	69 8.5	52 6.4	179 22.0	152 18.7
年齢別	0～17歳	28 80.0	26 74.3	18 51.4	11 31.4	3 8.6	- -	- -
	18～39歳	53 70.7	40 53.3	33 44.0	10 13.3	6 8.0	2 2.7	2 2.7
	40～64歳	112 51.9	83 38.4	46 21.3	32 14.8	12 5.6	20 9.3	23 10.6
	65～74歳	30 22.4	16 11.9	6 4.5	4 3.0	8 6.0	42 31.3	18 13.4
	75歳以上	36 12.8	26 9.3	20 7.1	8 2.8	18 6.4	103 36.7	89 31.7
障がい種別	身体障がい	100 22.9	59 13.5	35 8.0	18 4.1	31 7.1	124 28.4	93 21.3
	知的障がい	70 64.2	57 52.3	45 41.3	17 15.6	5 4.6	8 7.3	7 6.4
	精神障がい	85 58.6	74 51.0	41 28.3	24 16.6	10 6.9	16 11.0	9 6.2
	指定難病医療受給者	14 25.0	7 12.5	2 3.6	1 1.8	6 10.7	13 23.2	15 26.8

⑥ 経済状況について

問16 主な収入

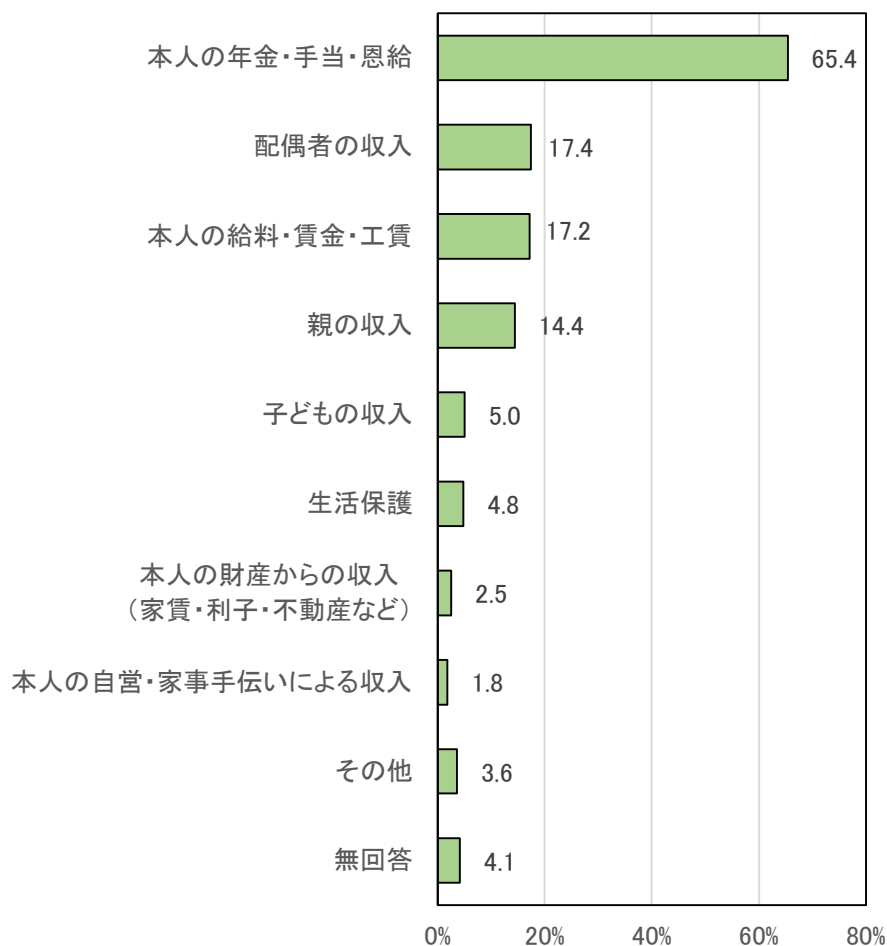
問16 あなたが生活していくうえでの主な収入は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「本人の年金・手当・恩給」(65.4%)が圧倒的に多く、次いで「配偶者の収入」(17.4%)、「本人の給料・賃金・工賃」(17.2%)、「親の収入」(14.4%)の順となっています。

年齢別では、0~17歳は「親の収入」、0~17歳以外は「本人の年金・手当・恩給」がそれぞれ最も多くなっています。

■主な収入

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	本人の給料・賃金・工賃	本人の自営・家事手伝いによる収入	本人の年金・手当・恩給	本人の財産からの収入（家賃・利子・不動産など）	親の収入
全体		812 100.0	140 17.2	15 1.8	531 65.4	20 2.5	117 14.4
年齢別	0～17歳	35 100.0	2 5.7	- -	- -	- -	32 91.4
	18～39歳	75 100.0	36 48.0	1 1.3	35 46.7	- -	36 48.0
	40～64歳	216 100.0	68 31.5	2 0.9	110 50.9	4 1.9	38 17.6
	65～74歳	134 100.0	15 11.2	3 2.2	112 83.6	3 2.2	- -
	75歳以上	281 100.0	7 2.5	8 2.8	232 82.6	10 3.6	2 0.7
	障がい種別	身体障がい	437 100.0	56 12.8	10 2.3	329 75.3	16 3.7
知的障がい		109 100.0	33 30.3	- -	53 48.6	- -	58 53.2
精神障がい		145 100.0	39 26.9	- -	68 46.9	1 0.7	44 30.3
指定難病医療受給者		56 100.0	9 16.1	1 1.8	40 71.4	1 1.8	4 7.1

		配偶者の収入	子どもの収入	生活保護	その他	無回答
全体		141 17.4	41 5.0	39 4.8	29 3.6	33 4.1
年齢別	0～17歳	- -	- -	- -	- -	1 2.9
	18～39歳	4 5.3	- -	1 1.3	4 5.3	1 1.3
	40～64歳	44 20.4	7 3.2	26 12.0	10 4.6	7 3.2
	65～74歳	34 25.4	4 3.0	9 6.7	4 3.0	4 3.0
	75歳以上	39 13.9	22 7.8	2 0.7	9 3.2	15 5.3
	障がい種別	身体障がい	89 20.4	32 7.3	11 2.5	17 3.9
知的障がい		2 1.8	- -	2 1.8	6 5.5	2 1.8
精神障がい		21 14.5	3 2.1	22 15.2	8 5.5	- -
指定難病医療受給者		12 21.4	- -	- -	2 3.6	3 5.4

1-2 調査の結果

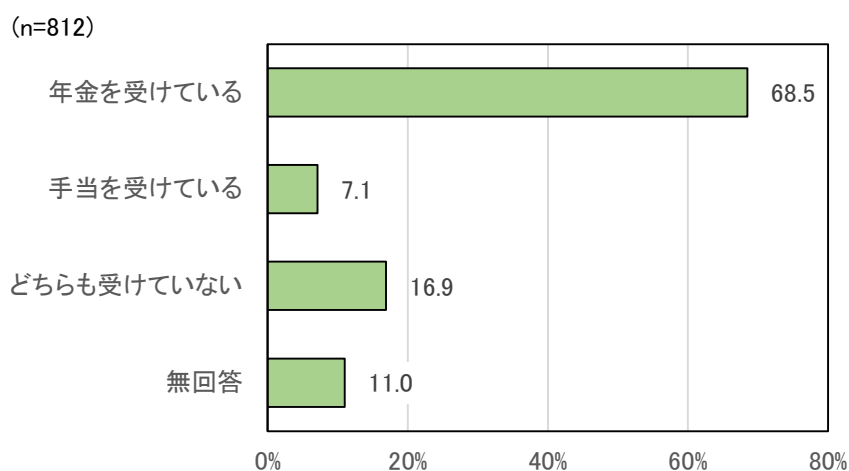
問17 公的年金や手当の受給状況

問17 あなたは公的年金や手当（生活保護費を除く）を受けていますか。
（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「年金を受けている」は68.5%、「手当を受けている」が7.1%となっています。

年齢別では、「年金を受けている」は18～39歳と40～64歳が50%台、65～74歳と75歳以上は80%を超えています。また、「手当を受けている」割合は、年齢別では0～17歳が、障がい種別では知的障がい者が、それぞれ最も多くなっています。

■公的年金や手当の受給状況



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	年金を受けている	手当を受けている	どちらも受けていない	無回答
全体		812 100.0	556 68.5	58 7.1	137 16.9	89 11.0
年齢別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	12 34.3	19 54.3	3 8.6
	18～39歳	75 100.0	41 54.7	11 14.7	26 34.7	4 5.3
	40～64歳	216 100.0	123 56.9	16 7.4	62 28.7	22 10.2
	65～74歳	134 100.0	112 83.6	4 3.0	7 5.2	14 10.4
	75歳以上	281 100.0	233 82.9	11 3.9	8 2.8	38 13.5
	障がい種別	身体障がい	437 100.0	348 79.6	27 6.2	37 8.5
知的障がい		109 100.0	58 53.2	28 25.7	24 22.0	10 9.2
精神障がい		145 100.0	75 51.7	7 4.8	54 37.2	10 6.9
指定難病医療受給者		56 100.0	43 76.8	2 3.6	7 12.5	6 10.7

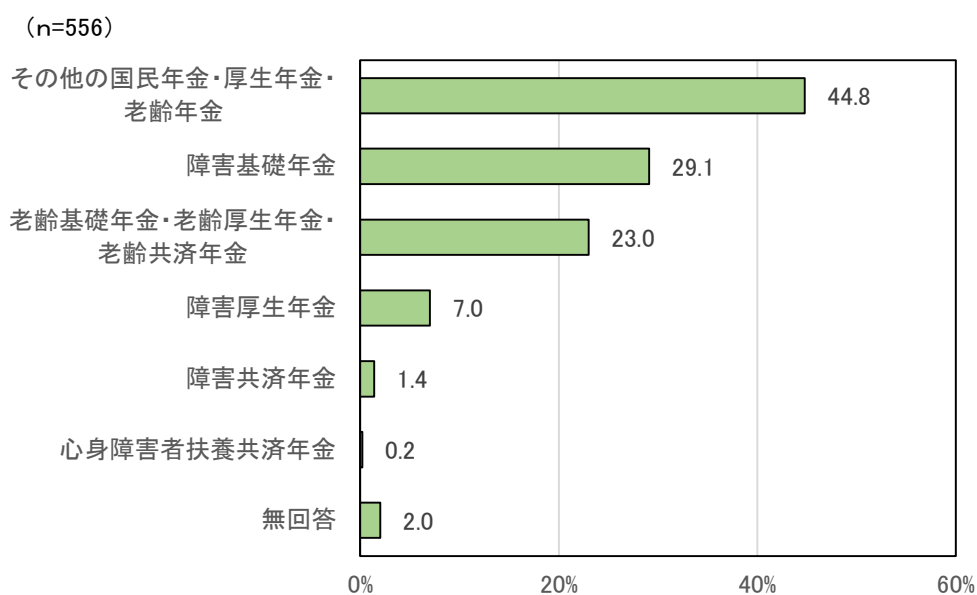
問 17 で「1. 年金を受けている」と答えた人におたずねします。

問 17-1 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「その他の国民年金・厚生年金・老齢年金」(44.8%)が最も多く、次いで「障害基礎年金」(29.1%)、「老齢基礎年金・老齢厚生年金・老齢共済年金」(23.0%)となっています。

年齢別では、18～39 歳、40～64 歳は「障害基礎年金」、65～74 歳、75 歳以上は「その他の国民年金・厚生年金・老齢年金」が最も多くなっています。

■年金の種類



1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	障害基礎年金	障害厚生年金	障害共済年金
全体		556 100.0	162 29.1	39 7.0	8 1.4
年齢別	0～17歳	1 100.0	- -	- -	- -
	18～39歳	41 100.0	33 80.5	7 17.1	1 2.4
	40～64歳	123 100.0	90 73.2	22 17.9	4 3.3
	65～74歳	112 100.0	21 18.8	4 3.6	- -
	75歳以上	233 100.0	9 3.9	3 1.3	1 0.4
障がい種別	身体障がい	348 100.0	56 16.1	21 6.0	2 0.6
	知的障がい	58 100.0	49 84.5	7 12.1	- -
	精神障がい	75 100.0	54 72.0	10 13.3	4 5.3
	指定難病医療受給者	43 100.0	5 11.6	7 16.3	1 2.3

		心身障害者扶養共済年金	老齢基礎年金・老齢厚生年金・老齢共済年金	その他の国民年金・厚生年金・老齢年金	無回答
全体		1 0.2	128 23.0	249 44.8	11 2.0
年齢別	0～17歳	- -	- -	- -	1 100.0
	18～39歳	- -	- -	- -	2 4.9
	40～64歳	1 0.8	9 7.3	8 6.5	2 1.6
	65～74歳	- -	36 32.1	62 55.4	2 1.8
	75歳以上	- -	76 32.6	153 65.7	3 1.3
障がい種別	身体障がい	- -	102 29.3	188 54.0	8 2.3
	知的障がい	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7
	精神障がい	- -	5 6.7	6 8.0	2 2.7
	指定難病医療受給者	1 2.3	14 32.6	19 44.2	- -

問17で「2. 手当を受けている」と答えた人におたずねします。

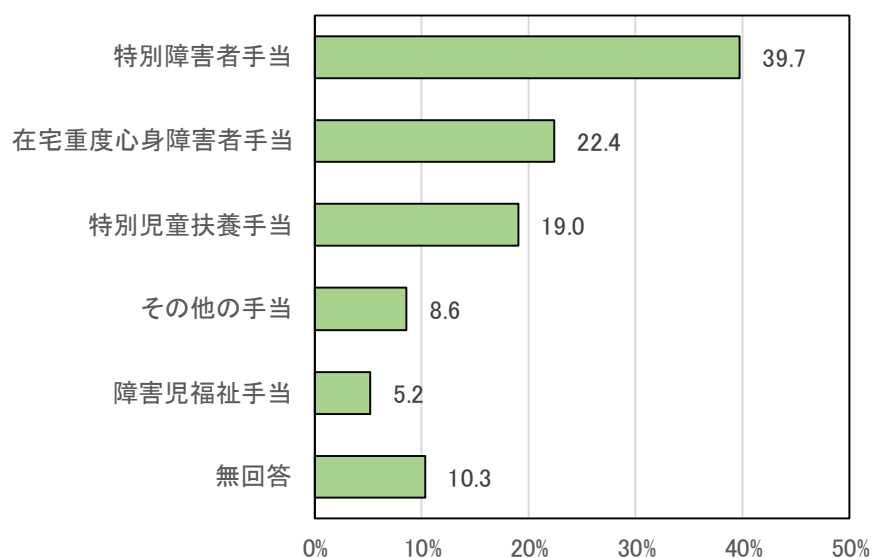
問17-2 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

手当を受けている方の手当の種類をみると、「特別障害者手当」(39.7%)が最も多く、次いで「在宅重度心身障害者手当」(22.4%)、「特別児童扶養手当」(19.0%)の順となっています。

年齢別では、0～17歳は「特別児童扶養手当」、18～39歳と40～64歳は「特別障害者手当」、65～74歳は「特別障害者手当」と「その他の手当」、75歳以上は「特別障害者手当」がそれぞれ最も多くなっています。

■手当の種類

(n=58)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	特別障害者 手当	障害児福祉 手当	特別児童扶 養手当	在宅重度心 身障害者 手当	その他の手 当	無回答
全体		58 100.0	23 39.7	3 5.2	11 19.0	13 22.4	5 8.6	6 10.3
年 令 別	0～17歳	12 100.0	4 33.3	2 16.7	7 58.3	- -	- -	- -
	18～39歳	11 100.0	6 54.5	1 9.1	2 18.2	2 33.3	- -	1 9.1
	40～64歳	16 100.0	6 37.5	- -	1 6.3	5 31.3	2 12.5	2 12.5
	65～74歳	4 100.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	- -
	75歳以上	11 100.0	5 45.5	- -	- -	3 27.3	1 9.1	2 18.2
	障 が い 種 別	身体障がい	27 100.0	12 44.4	- -	1 3.7	8 29.6	4 14.8
知的障がい		28 100.0	10 35.7	3 10.7	10 35.7	6 21.4	- -	1 3.6
精神障がい		7 100.0	2 28.6	- -	3 42.9	- -	1 14.3	1 14.3
指定難病医療 受給者		2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -

⑦ 外出について

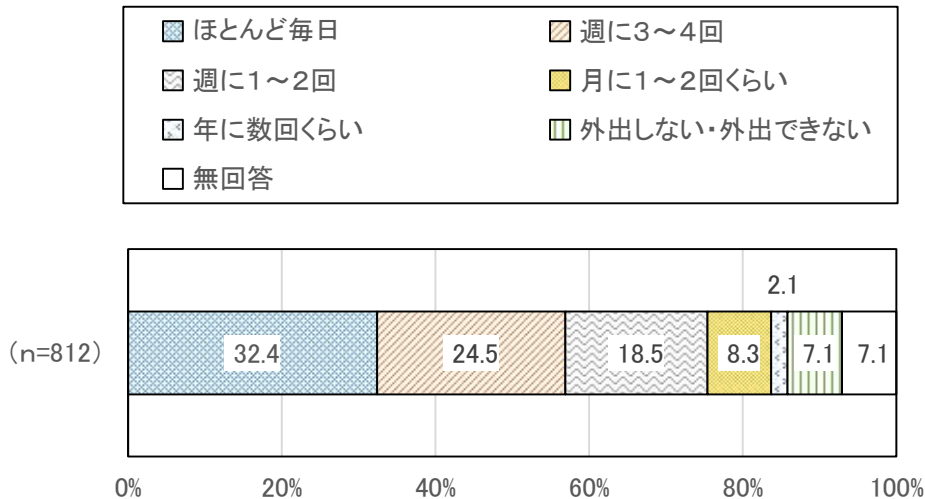
問18 外出の頻度

問18 あなたが外出をする（仕事を含む）日数はどのくらいですか。
（1つに〇）

障がい者全体では、「ほとんど毎日」（32.4%）が最も多く、次いで「週に3～4回」（24.5%）、「週に1～2回」（18.5%）となっています。また、「外出しない・外出できない」が6.6%となっています。

年齢別では、0～17歳、18～39歳、40～64歳は「ほとんど毎日」、65～74歳は「週に3～4回」、75歳以上は「週に1～2回」がそれぞれ最も多く、年齢が高くなるに従って外出の頻度が少なる傾向となっています。

■外出頻度



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	ほとんど毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回くらい	年に数回くらい	外出しない・外出できない	無回答
全体		812 100.0	263 32.4	199 24.5	150 18.5	67 8.3	17 2.1	58 7.1	58 7.1
年齢別	0～17歳	35 100.0	30 85.7	1 2.9	2 5.7	1 2.9	-	-	1 2.9
	18～39歳	75 100.0	37 49.3	20 26.7	9 12.0	4 5.3	-	2 2.7	3 4.0
	40～64歳	216 100.0	91 42.1	46 21.3	36 16.7	12 5.6	7 3.2	13 6.0	11 5.1
	65～74歳	134 100.0	27 20.1	51 38.1	18 13.4	13 9.7	5 3.7	10 7.5	10 7.5
	75歳以上	281 100.0	53 18.9	66 23.5	70 24.9	33 11.7	5 1.8	29 10.3	25 8.9
	障がい種別	身体障がい	437 100.0	116 26.5	118 27.0	88 20.1	37 8.5	10 2.3	36 8.2
	知的障がい	109 100.0	64 58.7	19 17.4	10 9.2	5 4.6	3 2.8	4 3.7	4 3.7
	精神障がい	145 100.0	60 41.4	35 24.1	28 19.3	11 7.6	2 1.4	7 4.8	2 1.4
	指定難病医療受給者	56 100.0	14 25.0	13 23.2	12 21.4	7 12.5	-	9 16.1	1 1.8

問 18 で「1. ほとんど毎日」「2. 週に3～4回」「3. 週に1～2回」「4. 月に1～2回くらい」「5. 年に数回くらい」と答えた人におたずねします。

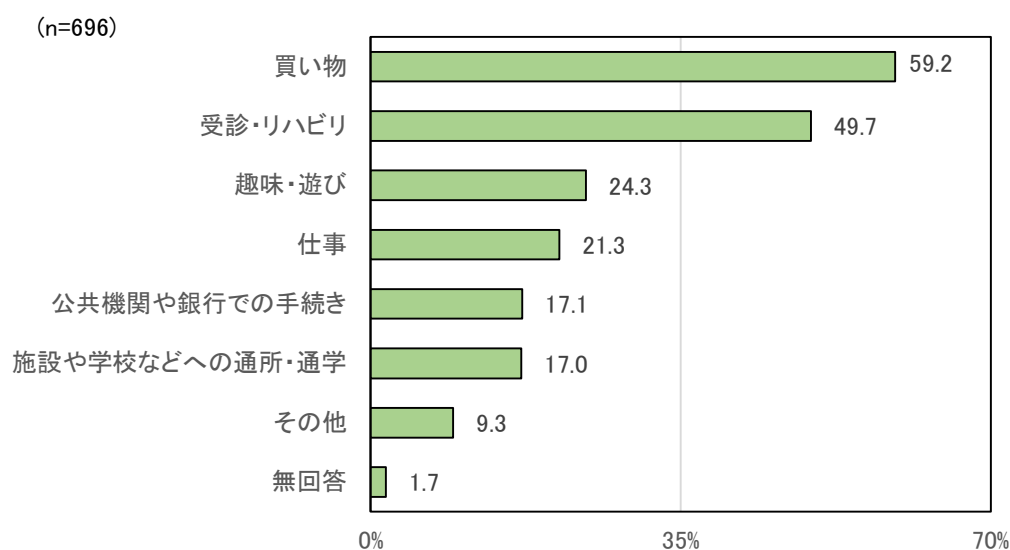
問 18-1 あなたは主にどのようなことで外出をしますか。

(あてはまるものすべてに○)

外出をする方の外出目的をみると、「買い物」が59.2%、「受診・リハビリ」が49.7%となっており、ほぼ半数の方があげています。

年齢別では、0～17歳は「施設や学校などへの通所・通学」、0～17歳以外は「買い物」がそれぞれ最も多くなっています。

■外出目的



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	施設や学校 などへの通 所・通学	仕事	受診・リハ ビリ	買い物	趣味・遊び	公共機関や 銀行での手 続き	その他	無回答
全体		696	118	148	346	412	169	119	65	12
		100.0	17.0	21.3	49.7	59.2	24.3	17.1	9.3	1.7
年 令 別	0～17歳	34	32	-	6	11	11	-	1	-
		100.0	94.1	-	17.6	32.4	32.4	-	2.9	-
	18～39歳	70	22	33	27	35	24	9	5	3
		100.0	31.4	47.1	38.6	50.0	34.3	12.9	7.1	4.3
	40～64歳	192	30	66	97	122	42	29	13	2
		100.0	15.6	34.4	50.5	63.5	21.9	15.1	6.8	1.0
65～74歳	114	8	20	61	74	21	25	14	-	
	100.0	7.0	17.5	53.5	64.9	18.4	21.9	12.3	-	
75歳以上	227	19	13	128	133	55	49	27	5	
	100.0	8.4	5.7	56.4	58.6	24.2	21.6	11.9	2.2	
障 が い 種 別	身体障がい	369	41	67	210	227	87	68	36	3
		100.0	11.1	18.2	56.9	61.5	23.6	18.4	9.8	0.8
	知的障がい	101	52	27	28	44	24	4	5	3
		100.0	51.5	26.7	27.7	43.6	23.8	4.0	5.0	3.0
	精神障がい	136	32	32	67	85	40	25	14	2
	100.0	23.5	23.5	49.3	62.5	29.4	18.4	10.3	1.5	
指定難病医療 受給者	46	4	11	20	25	10	9	5	1	
	100.0	8.7	23.9	43.5	54.3	21.7	19.6	10.9	2.2	

1-2 調査の結果

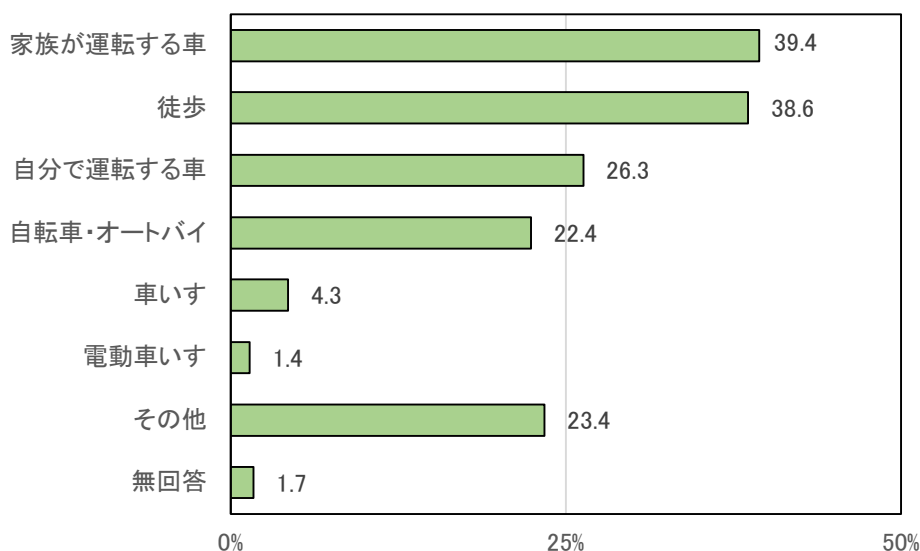
問 18-2 あなたは外出するときは、主にどのような手段を使いますか。
(あてはまるものすべてに○)

外出をする方の外出手段をみると、「家族が運転する車」(39.4%)が最も多く、次いで「徒歩」(38.6%)、「自分で運転する車」(26.3%)、「自転車・オートバイ」(22.4%)となっています。

年齢別では、0～17歳と75歳以上は「家族が運転する車」が、18～39歳と40～64歳は「徒歩」が、65～74歳は「自分で運転する車」が、それぞれ最も多くなっています。

■外出手段

(n=696)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	徒歩	車いす	電動車いす	自転車・オートバイ	家族が運転する車	自分で運転する車	その他	無回答
全体		696 100.0	269 38.6	30 4.3	10 1.4	156 22.4	274 39.4	183 26.3	163 23.4	12 1.7
年齢別	0～17歳	34 100.0	20 58.8	1 2.9	-	11 32.4	23 67.6	-	5 14.7	-
	18～39歳	70 100.0	36 51.4	-	-	16 22.9	27 38.6	10 14.3	27 38.6	3 4.3
	40～64歳	192 100.0	85 44.3	9 4.7	4 2.1	49 25.5	72 37.5	47 24.5	49 25.5	2 1.0
	65～74歳	114 100.0	34 29.8	4 3.5	2 1.8	19 16.7	41 36.0	49 43.0	19 16.7	2 1.8
	75歳以上	227 100.0	70 30.8	14 6.2	4 1.8	49 21.6	83 36.6	61 26.9	52 22.9	2 0.9
障がい種別	身体障がい	369 100.0	122 33.1	23 6.2	10 2.7	69 18.7	144 39.0	126 34.1	72 19.5	2 0.5
	知的障がい	101 100.0	48 47.5	2 2.0	-	20 19.8	52 51.5	1 1.0	39 38.6	2 2.0
	精神障がい	136 100.0	81 59.6	-	-	49 36.0	46 33.8	23 16.9	36 26.5	3 2.2
	指定難病医療受給者	46 100.0	6 13.0	2 4.3	-	8 17.4	16 34.8	15 32.6	9 19.6	2 4.3

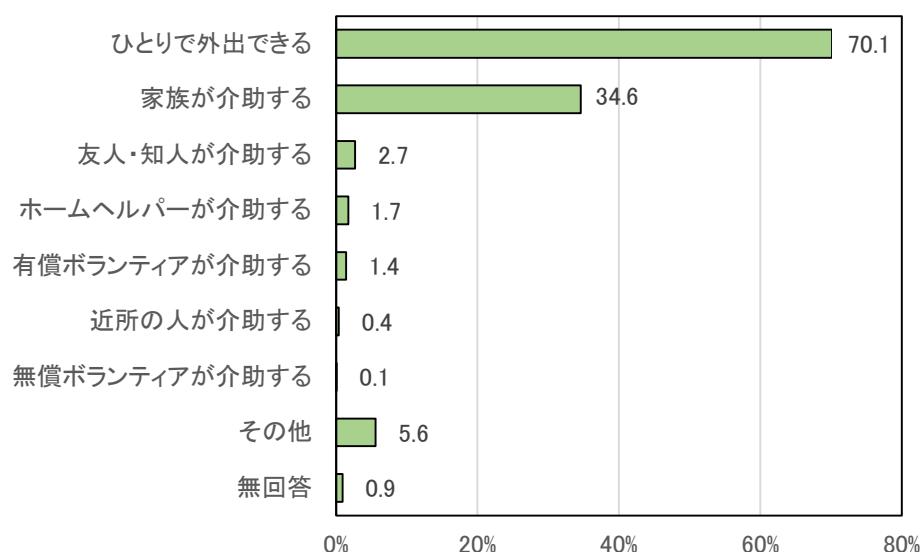
問 18-3 あなたはひとりで外出しますか。それとも、外出するときは誰かの介助を必要としますか。(あてはまるものすべてに○)

外出をするときに介助が必要かを尋ねたところ、「ひとりで外出できる」が70.1%で最も多く、次いで「家族が介助する」が34.6%となっています。

年齢別では、0～17歳は「家族が介助する」、0～17歳以外は「ひとりで外出できる」がそれぞれ最も多くなっています。

■外出するときの介助

(n=696)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	ひとりで外出できる	家族が介助する	友人・知人が介助する	近所の方が介助する	ホームヘルパーが介助する	無償ボランティアが介助する	有償ボランティアが介助する	その他	無回答
全体		696	488	241	19	3	12	1	10	39	6
		100.0	70.1	34.6	2.7	0.4	1.7	0.1	1.4	5.6	0.9
年齢別	0～17歳	34	16	23	-	-	1	-	-	1	-
		100.0	47.1	67.6	-	-	2.9	-	-	2.9	-
	18～39歳	70	51	28	4	-	-	-	1	1	1
		100.0	72.9	40.0	5.7	-	-	-	1.4	1.4	1.4
	40～64歳	192	139	57	7	1	5	1	3	15	2
	100.0	72.4	29.7	3.6	0.5	2.6	0.5	1.6	7.8	1.0	
65～74歳	114	85	30	2	2	2	-	1	8	1	
		100.0	74.6	26.3	1.8	1.8	1.8	-	0.9	7.0	0.9
	75歳以上	227	148	89	4	-	3	-	5	11	1
	100.0	65.2	39.2	1.8	-	1.3	-	2.2	4.8	0.4	
障がい種別	身体障がい	369	262	125	8	2	9	1	6	21	1
		100.0	71.0	33.9	2.2	0.5	2.4	0.3	1.6	5.7	0.3
	知的障がい	101	49	55	-	-	3	-	1	13	1
		100.0	48.5	54.5	-	-	3.0	-	1.0	12.9	1.0
	精神障がい	136	109	39	6	1	1	-	1	9	2
	100.0	80.1	28.7	4.4	0.7	0.7	-	0.7	6.6	1.5	
指定難病医療受給者	46	28	15	4	-	1	-	1	4	1	
	100.0	60.9	32.6	8.7	-	2.2	-	2.2	8.7	2.2	

1-2 調査の結果

問19 外出できない理由

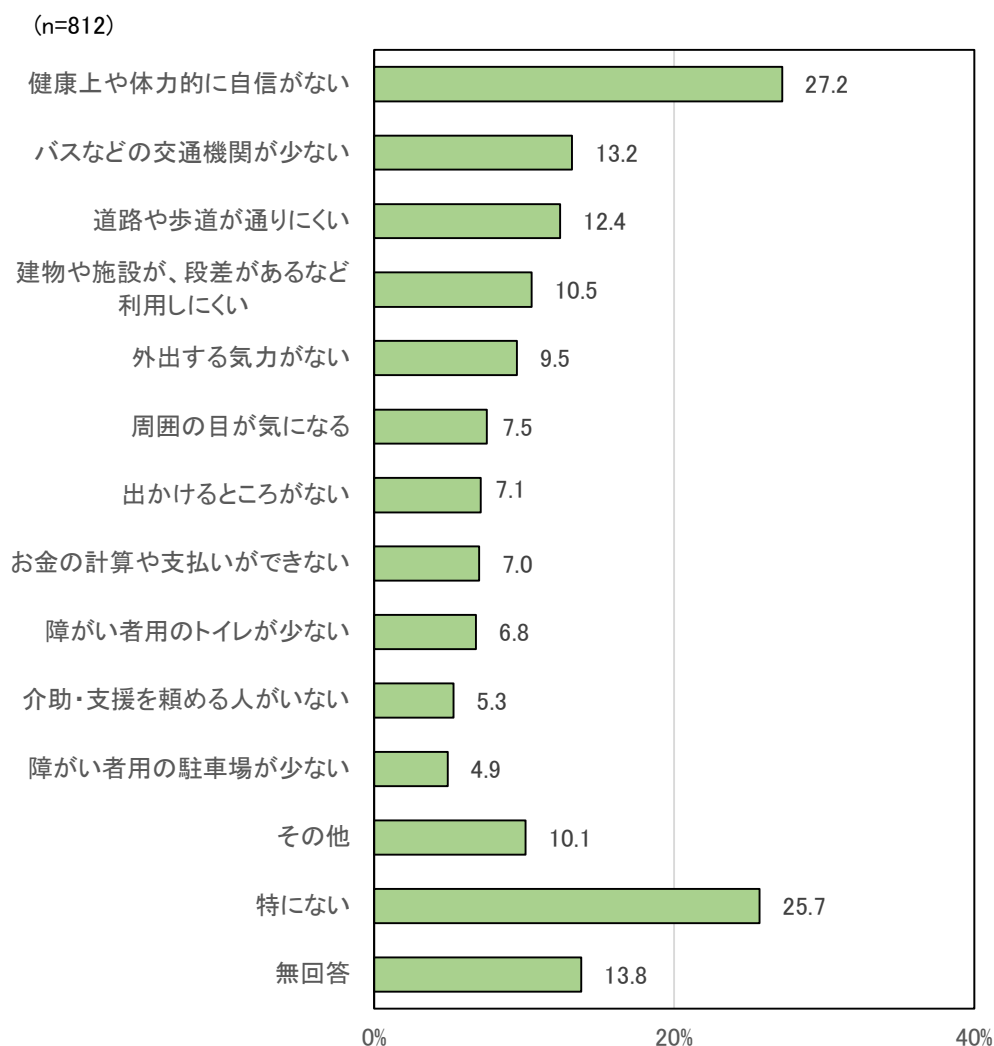
外出をする人もしない人も、お答えください。

問 19 あなたが外出できない理由、または外出するときに困ることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「健康上や体力的に自信がない」(27.2%)が最も多く、次いで「バスなどの交通機関が少ない」(13.2%)、「道路や歩道が通りにくい」(12.4%)、「建物や施設が、段差があるなど利用しにくい」(10.5%)が上位にあげられています。

年齢別では、0~17歳・18~39歳・65~74歳は「特にない」が、「周囲の目が気になる」、40~64歳と75歳以上は「健康上や体力的に自信がない」がそれぞれ最も多くなっています。

■外出できない理由・外出するときに困ること



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	健康上や 体力的に 自信がない	介助・支援を 頼める人が いない	周囲の目が 気になる	お金の計算や 支払いが できない	道路や歩道が 通りにくい	建物や施設 が、段差があ るなど 利用しにくい	バスなどの 交通機関が 少ない
全体		812 100.0	221 27.2	43 5.3	61 7.5	57 7.0	101 12.4	85 10.5	107 13.2
年 令 別	0~17歳	35 100.0	1 2.9	3 8.6	5 14.3	9 25.7	4 11.4	2 5.7	3 8.6
	18~39歳	75 100.0	15 20.0	7 9.3	15 20.0	12 16.0	6 8.0	3 4.0	13 17.3
	40~64歳	216 100.0	62 28.7	13 6.0	27 12.5	22 10.2	30 13.9	24 11.1	19 8.8
	65~74歳	134 100.0	33 24.6	3 2.2	9 6.7	4 3.0	14 10.4	18 13.4	13 9.7
	75歳以上	281 100.0	92 32.7	16 5.7	3 1.1	10 3.6	38 13.5	31 11.0	49 17.4
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	127 29.1	22 5.0	13 3.0	14 3.2	71 16.2	64 14.6	65 14.9
	知的障がい	109 100.0	11 10.1	13 11.9	14 12.8	32 29.4	10 9.2	5 4.6	8 7.3
	精神障がい	145 100.0	47 32.4	5 3.4	31 21.4	11 7.6	10 6.9	2 1.4	16 11.0
	指定難病医療 受給者	56 100.0	25 44.6	3 5.4	3 5.4	3 5.4	4 7.1	9 16.1	5 8.9

		障がい者用 の駐車場が 少ない	障がい者用 のトイレが 少ない	外出する気 力が ない	出かけるこ ろがない	その他	特にな い	無回答
全体		40 4.9	55 6.8	77 9.5	58 7.1	82 10.1	209 25.7	112 13.8
年 令 別	0~17歳	1 2.9	2 5.7	1 2.9	3 8.6	5 14.3	14 40.0	2 5.7
	18~39歳	1 1.3	3 4.0	19 25.3	8 10.7	12 16.0	23 30.7	7 9.3
	40~64歳	9 4.2	19 8.8	26 12.0	16 7.4	21 9.7	51 23.6	27 12.5
	65~74歳	11 8.2	10 7.5	11 8.2	6 4.5	14 10.4	43 32.1	18 13.4
	75歳以上	15 5.3	16 5.7	16 5.7	18 6.4	25 8.9	62 22.1	41 14.6
障 が い 種 別	身体障がい	32 7.3	41 9.4	25 5.7	26 5.9	35 8.0	110 25.2	55 12.6
	知的障がい	2 1.8	5 4.6	2 1.8	12 11.0	15 13.8	32 29.4	16 14.7
	精神障がい	-	2 1.4	41 28.3	19 13.1	16 11.0	38 26.2	18 12.4
	指定難病医療 受給者	3 5.4	4 7.1	3 5.4	1 1.8	9 16.1	14 25.0	4 7.1

⑧ 悩みごとや相談について

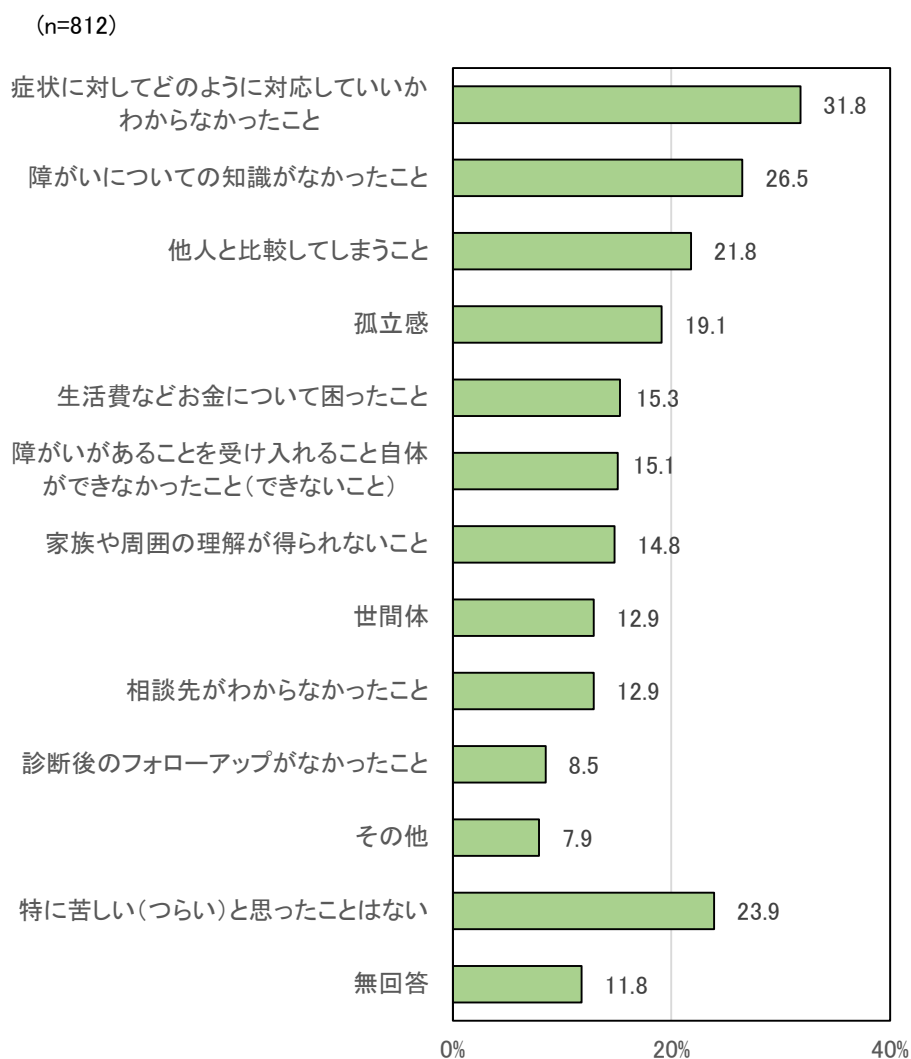
問20 障がいを受け入れるまでの過程で苦しんだこと

問 20 あなたは障がいに気づいてから診断を受けて、障がいを受け入れるまでの過程で苦しかった（つらかった）のはどのようなことでしたか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「症状に対してどのように対応していいかわからなかったこと」（31.8%）が最も多く、次いで「障がいについての知識がなかったこと」（26.5%）、「他人と比較してしまうこと」（21.8%）、「孤立感」（19.1%）、「生活費などお金について困ったこと」（15.3%）が上位にあげられています。また、「特に苦しい（つらい）と思ったことはない」（23.9%）となっています。

年齢別では、すべての年齢で「症状に対してどのように対応していいかわからなかったこと」が最も多くなっています。

■障がいの診断からを受け入れるまでの過程で苦しかったこと



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	家族や周囲の理解が得られないこと	症状に対してどのように対応していかかわらなかったこと	孤立感	障がいについての知識がなかったこと	他人と比較してしまうこと	相談先がわからなかったこと
全体		812 100.0	120 14.8	258 31.8	155 19.1	215 26.5	177 21.8	105 12.9
年齢別	0～17歳	35 100.0	7 20.0	15 42.9	8 22.9	12 34.3	14 40.0	7 20.0
	18～39歳	75 100.0	26 34.7	32 42.7	29 38.7	22 29.3	29 38.7	19 25.3
	40～64歳	216 100.0	49 22.7	81 37.5	63 29.2	72 33.3	66 30.6	43 19.9
	65～74歳	134 100.0	10 7.5	47 35.1	20 14.9	43 32.1	25 18.7	10 7.5
	75歳以上	281 100.0	15 5.3	66 23.5	23 8.2	57 20.3	34 12.1	19 6.8
障がい種別	身体障がい	437 100.0	28 6.4	129 29.5	54 12.4	105 24.0	75 17.2	30 6.9
	知的障がい	109 100.0	18 16.5	36 33.0	25 22.9	31 28.4	27 24.8	21 19.3
	精神障がい	145 100.0	61 42.1	67 46.2	58 40.0	54 37.2	60 41.4	42 29.0
	指定難病医療受給者	56 100.0	7 12.5	21 37.5	8 14.3	16 28.6	7 12.5	7 12.5

		診断後のフォローアップがなかったこと	世間体	障がいがあることを受け入れることができなかったこと(できないこと)	生活費などお金について困ったこと	その他	特に苦しい(つらい)と思ったことはない	無回答
全体		69 8.5	105 12.9	123 15.1	124 15.3	64 7.9	194 23.9	96 11.8
年齢別	0～17歳	1 2.9	9 25.7	3 8.6	2 5.7	4 11.4	8 22.9	1 2.9
	18～39歳	15 20.0	24 32.0	12 16.0	22 29.3	7 9.3	14 18.7	3 4.0
	40～64歳	30 13.9	42 19.4	50 23.1	62 28.7	19 8.8	32 14.8	21 9.7
	65～74歳	7 5.2	13 9.7	22 16.4	12 9.0	10 7.5	27 20.1	14 10.4
	75歳以上	8 2.8	9 3.2	26 9.3	16 5.7	18 6.4	92 32.7	47 16.7
障がい種別	身体障がい	23 5.3	32 7.3	68 15.6	37 8.5	35 8.0	123 28.1	50 11.4
	知的障がい	8 7.3	19 17.4	16 14.7	9 8.3	9 8.3	28 25.7	13 11.9
	精神障がい	27 18.6	46 31.7	32 22.1	66 45.5	11 7.6	11 7.6	8 5.5
	指定難病医療受給者	5 8.9	7 12.5	11 19.6	6 10.7	4 7.1	13 23.2	6 10.7

1-2 調査の結果

問21 現在の悩みごと

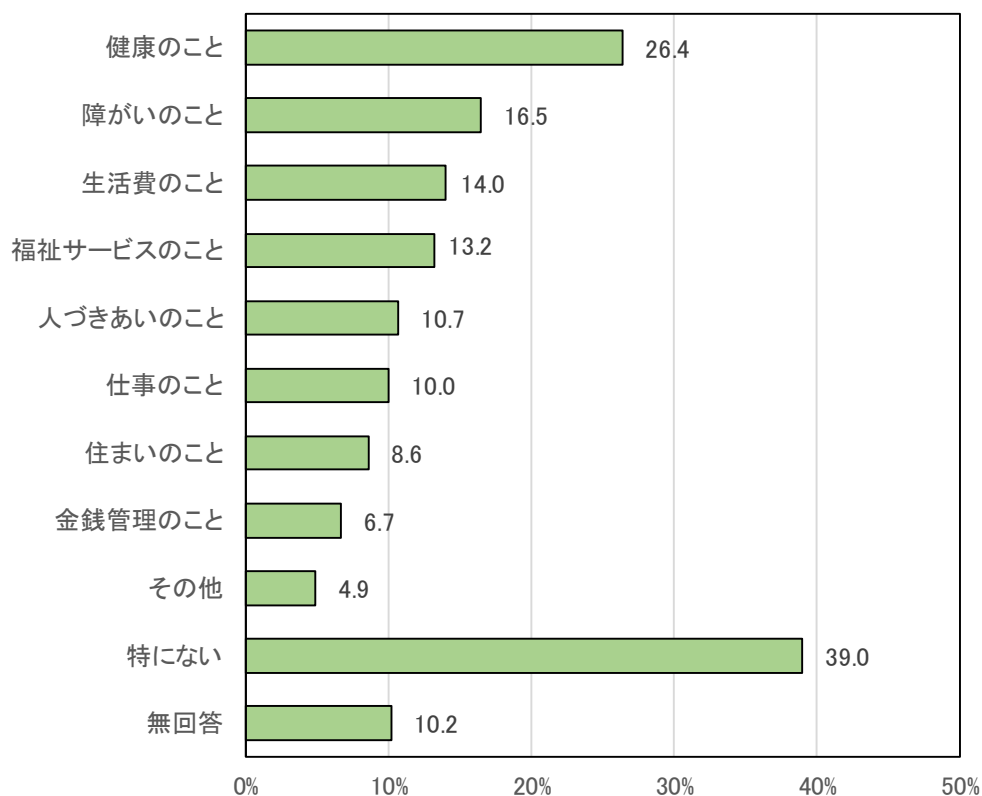
問 21 あなたは現在、誰かに相談したい悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「健康のこと」(26.4%)が最も多く、次いで「障がいのこと」(16.5%)、「生活費のこと」(14.0%)、「福祉サービスのこと」(13.2%)、「人づきあいのこと」(10.7%)が上位にあげられています。また、「特にない」が39.0%となっています。

年齢別では、0～17歳は「特にない」、18～39歳は「人づきあいのこと」、40～64歳、65～74歳、75歳以上は「特にない」が最も多くなっています。

■現在の悩みごと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	健康のこと	障がいのこと	福祉サービスの こと	生活費のこと	金銭管理 のこと
全体		812 100.0	214 26.4	134 16.5	107 13.2	114 14.0	54 6.7
年 令 別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	5 14.3	2 5.7	2 5.7	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	16 21.3	15 20.0	14 18.7	21 28.0	14 18.7
	40～64歳	216 100.0	63 29.2	53 24.5	33 15.3	41 19.0	21 9.7
	65～74歳	134 100.0	43 32.1	15 11.2	15 11.2	14 10.4	3 2.2
	75歳以上	281 100.0	79 28.1	32 11.4	36 12.8	25 8.9	10 3.6
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	122 27.9	54 12.4	59 13.5	43 9.8	17 3.9
	知的障がい	109 100.0	19 17.4	15 13.8	19 17.4	10 9.2	14 12.8
	精神障がい	145 100.0	45 31.0	54 37.2	20 13.8	42 29.0	22 15.2
	指定難病医療 受給者	56 100.0	14 25.0	8 14.3	6 10.7	5 8.9	1 1.8

		仕事のこと	住まいのこと	人づきあいの こと	その他	特にない	無回答
全体		81 10.0	70 8.6	87 10.7	40 4.9	317 39.0	83 10.2
年 令 別	0～17歳	3 8.6	2 5.7	7 20.0	8 22.9	13 37.1	3 8.6
	18～39歳	22 29.3	12 16.0	24 32.0	3 4.0	23 30.7	2 2.7
	40～64歳	39 18.1	28 13.0	32 14.8	12 5.6	67 31.0	16 7.4
	65～74歳	5 3.7	10 7.5	4 3.0	7 5.2	58 43.3	13 9.7
	75歳以上	2 0.7	14 5.0	13 4.6	9 3.2	129 45.9	36 12.8
障 が い 種 別	身体障がい	19 4.3	27 6.2	23 5.3	17 3.9	192 43.9	42 9.6
	知的障がい	16 14.7	11 10.1	16 14.7	9 8.3	46 42.2	9 8.3
	精神障がい	38 26.2	28 19.3	42 29.0	12 8.3	30 20.7	9 6.2
	指定難病医療 受給者	4 7.1	3 5.4	1 1.8	1 1.8	25 44.6	8 14.3

1-2 調査の結果

問22 悩みや困ったことの相談先

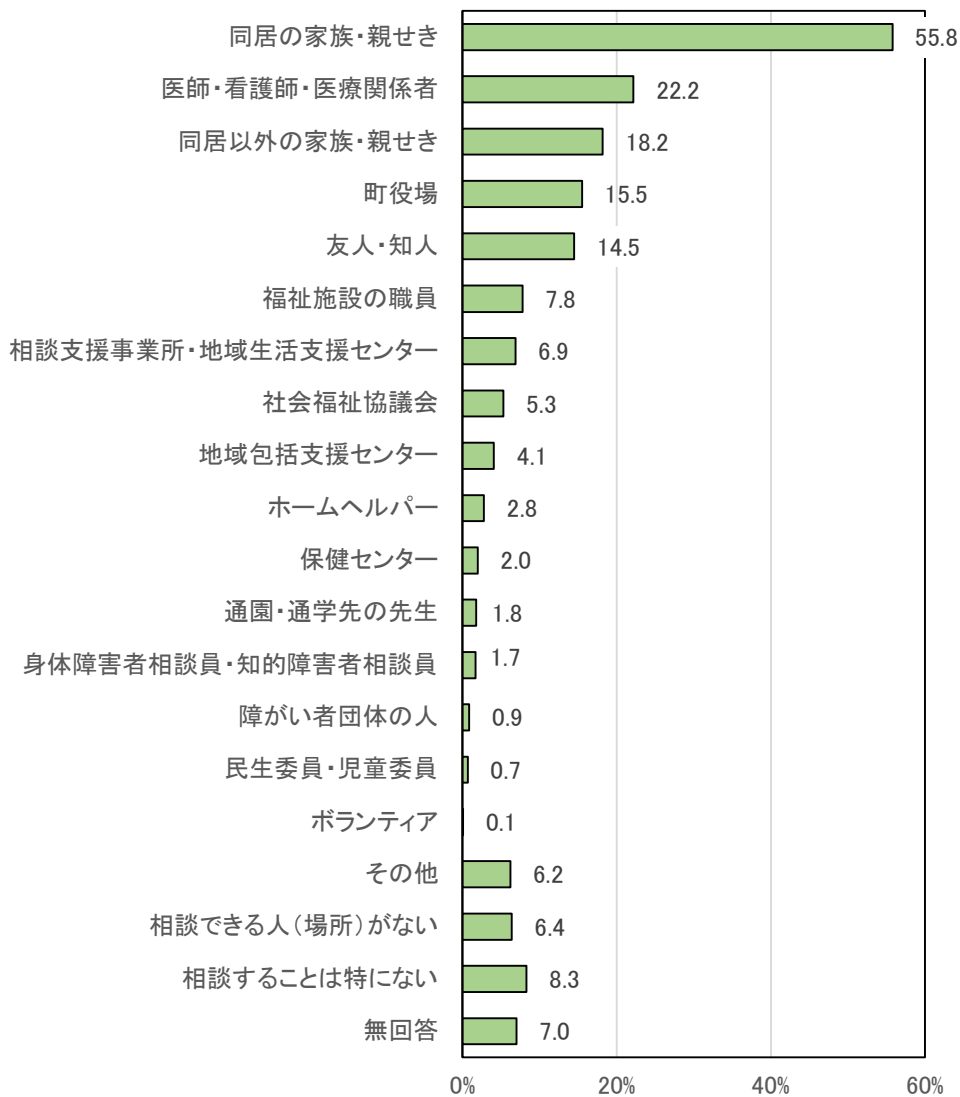
問22 あなたは悩みや困ったことを誰に（どこに）相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「同居の家族・親せき」（55.8%）が最も多く、次いで「医師・看護師・医療関係者」（22.2%）、「同居以外の家族・親せき」（18.2%）、「町役場」（15.5%）、「友人・知人」（14.5%）が上位にあげられています。また、「相談できる人（場所）がない」が6.4%となっています。

年齢別では、いずれの年齢でも「同居の家族・親せき」が最も多くなっています。

■悩みや困ったことの相談先

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	同居の家族・親せき	同居以外の家族・親せき	町役場	保健センター	社会福祉協議会	身体障害者相談員・知的障害者相談員	相談支援事業所・地域生活支援センター	福祉施設の職員	ホームヘルパー	民生委員・児童委員
全体		812 100.0	453 55.8	148 18.2	126 15.5	16 2.0	43 5.3	14 1.7	56 6.9	63 7.8	23 2.8	6 0.7
年齢別	0~17歳	35 100.0	24 68.6	4 11.4	4 11.4	2 5.7	1 2.9	- -	3 8.6	2 5.7	1 2.9	- -
	18~39歳	75 100.0	49 65.3	8 10.7	11 14.7	- -	3 4.0	2 2.7	9 12.0	10 13.3	- -	- -
	40~64歳	216 100.0	114 52.8	38 17.6	41 19.0	6 2.8	19 8.8	4 1.9	22 10.2	24 11.1	6 2.8	2 0.9
	65~74歳	134 100.0	74 55.2	30 22.4	27 20.1	2 1.5	5 3.7	2 1.5	8 6.0	8 6.0	3 2.2	1 0.7
	75歳以上	281 100.0	155 55.2	59 21.0	37 13.2	6 2.1	10 3.6	3 1.1	8 2.8	13 4.6	12 4.3	3 1.1
障がい種別	身体障がい	437 100.0	246 56.3	94 21.5	79 18.1	6 1.4	20 4.6	8 1.8	19 4.3	31 7.1	15 3.4	3 0.7
	知的障がい	109 100.0	66 60.6	12 11.0	18 16.5	3 2.8	11 10.1	2 1.8	15 13.8	19 17.4	3 2.8	- -
	精神障がい	145 100.0	73 50.3	20 13.8	17 11.7	4 2.8	7 4.8	3 2.1	21 14.5	10 6.9	2 1.4	1 0.7
	指定難病医療受給者	56 100.0	33 58.9	7 12.5	11 19.6	3 5.4	1 1.8	- -	2 3.6	2 3.6	2 3.6	- -

		通園・通学先の先生	医師・看護師・医療関係者	障がい者団体の人	ボランティア	友人・知人	地域包括支援センター	その他	相談できる人(場所)がない	相談することは特にない	無回答
全体		15 1.8	180 22.2	7 0.9	1 0.1	118 14.5	33 4.1	50 6.2	52 6.4	67 8.3	57 7.0
年齢別	0~17歳	11 31.4	5 14.3	- -	- -	4 11.4	- -	2 5.7	2 5.7	4 11.4	4 11.4
	18~39歳	1 1.3	14 18.7	2 2.7	- -	14 18.7	1 1.3	8 10.7	9 12.0	4 5.3	4 5.3
	40~64歳	3 1.4	64 29.6	3 1.4	1 0.5	35 16.2	6 2.8	18 8.3	13 6.0	15 6.9	15 6.9
	65~74歳	- -	37 27.6	- -	- -	19 14.2	4 3.0	6 4.5	9 6.7	9 6.7	8 6.0
	75歳以上	- -	41 14.6	1 0.4	- -	36 12.8	20 7.1	14 5.0	15 5.3	25 8.9	26 9.3
障がい種別	身体障がい	3 0.7	92 21.1	1 0.2	- -	72 16.5	22 5.0	22 5.0	27 6.2	39 8.9	23 5.3
	知的障がい	10 9.2	14 12.8	2 1.8	- -	11 10.1	1 0.9	7 6.4	3 2.8	9 8.3	8 7.3
	精神障がい	3 2.1	53 36.6	2 1.4	1 0.7	18 12.4	5 3.4	15 10.3	16 11.0	7 4.8	9 6.2
	指定難病医療受給者	1 1.8	18 32.1	1 1.8	- -	11 19.6	2 3.6	3 5.4	3 5.4	4 7.1	6 10.7

1-2 調査の結果

問23 相談をしやすいするために必要だと思うこと

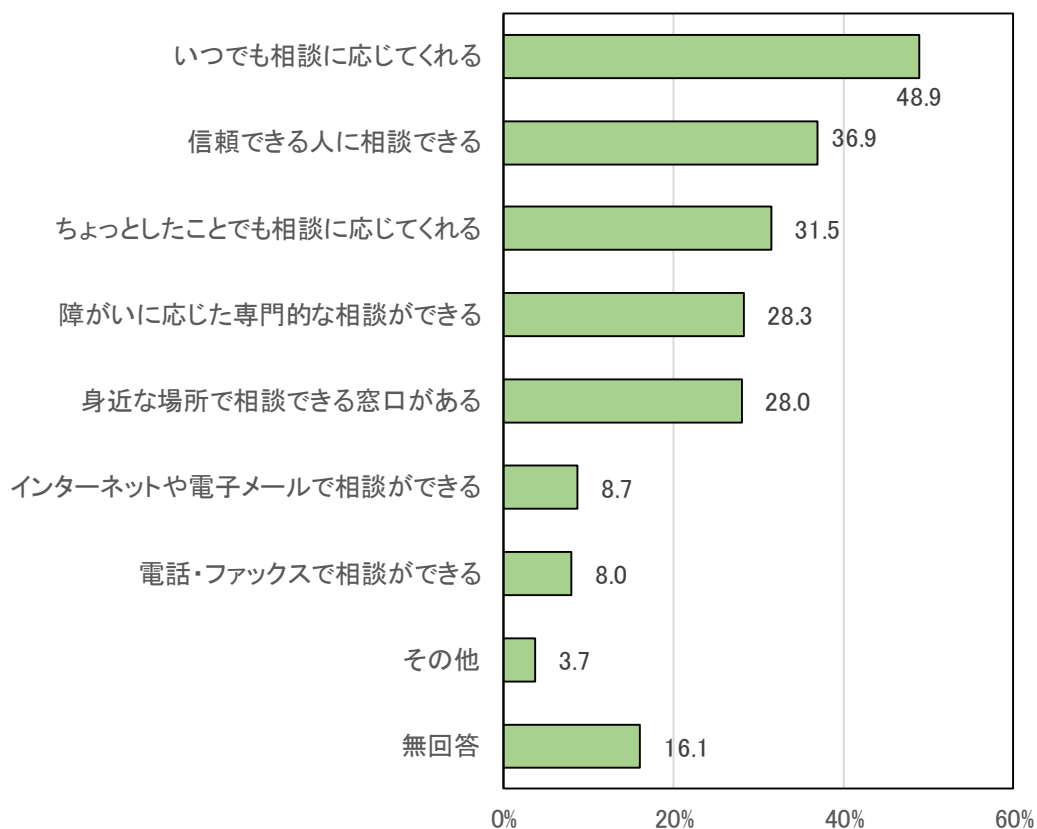
問 23 相談をしやすいするには、あなたにとって、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「いつでも相談に応じてくれる」(48.9%)が最も多く、次いで「信頼できる人に相談できる」(36.9%)、「ちょっとしたことでも相談に応じてくれる」(31.5%)、「障がいに応じた専門的な相談ができる」(28.3%)、「身近な場所で相談できる窓口がある」(28.0%)となっています。

年齢別では、いずれの年齢でも「いつでも相談に応じてくれる」が最も多くなっています。

■相談しやすいするために必要だと思うこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	いつでも相談 に応じて くれる	信頼できる人 に相談できる	障がいに 応じた専門 的な相談が できる	身近な場 所で相談 できる窓 口がある
全体		812 100.0	397 48.9	300 36.9	230 28.3	227 28.0
年 令 別	0～17歳	35 100.0	18 51.4	17 48.6	16 45.7	8 22.9
	18～39歳	75 100.0	43 57.3	41 54.7	28 37.3	32 42.7
	40～64歳	216 100.0	117 54.2	90 41.7	77 35.6	77 35.6
	65～74歳	134 100.0	66 49.3	40 29.9	39 29.1	34 25.4
	75歳以上	281 100.0	127 45.2	84 29.9	50 17.8	57 20.3
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	212 48.5	148 33.9	111 25.4	110 25.2
	知的障がい	109 100.0	55 50.5	43 39.4	40 36.7	36 33.0
	精神障がい	145 100.0	81 55.9	80 55.2	55 37.9	49 33.8
	指定難病医療 受給者	56 100.0	29 51.8	18 32.1	13 23.2	14 25.0

		電話・ファ ックスで 相談が できる	インター ネット や電子 メール で相談 が できる	ちょっと した こと でも 相談 に 応 じ て く れ る	その他	無回答
全体		65 8.0	71 8.7	256 31.5	30 3.7	131 16.1
年 令 別	0～17歳	3 8.6	8 22.9	16 45.7	2 5.7	1 2.9
	18～39歳	9 12.0	19 25.3	34 45.3	9 12.0	2 2.7
	40～64歳	17 7.9	28 13.0	87 40.3	8 3.7	26 12.0
	65～74歳	12 9.0	6 4.5	39 29.1	4 3.0	20 14.9
	75歳以上	19 6.8	2 0.7	61 21.7	4 1.4	66 23.5
障 が い 種 別	身体障がい	31 7.1	21 4.8	127 29.1	15 3.4	73 16.7
	知的障がい	7 6.4	6 5.5	45 41.3	6 5.5	9 8.3
	精神障がい	16 11.0	33 22.8	67 46.2	8 5.5	14 9.7
	指定難病医療 受給者	4 7.1	5 8.9	15 26.8	1 1.8	11 19.6

1-2 調査の結果

問24 成年後見制度について

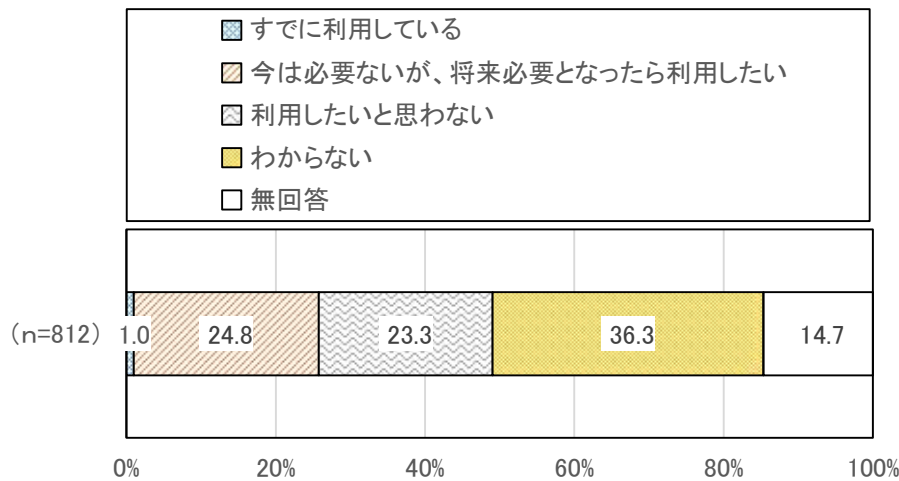
問 24 成年後見制度を利用していますか。または今後利用したいと思いますか。
(1つに○)

※成年後見制度…判断能力が不自由な人の介護、福祉サービスを利用するための手続きや預貯金の財産管理を代わりに行ったり、悪質商法の契約から守ったりしてくれる「成年後見人」を家庭裁判所が選任し、本人を支援する制度です。

障がい者全体では、「わからない」(36.3%)が最も多く、次いで「今は必要ないが、将来必要となったら利用したい」(24.8%)、「利用したいと思わない」(23.3%)、「すでに利用している」(1.0%)となっています。

年齢別では、年齢が高くなるほど「今は必要ないが、将来必要となったら利用したい」の割合が少なくなっています。

■成年後見制度の利用意向



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	すでに利用している	今は必要ないが、将来必要となったら利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		812	8	201	189	295	119
		100.0	1.0	24.8	23.3	36.3	14.7
年齢別	0~17歳	35	-	13	4	18	-
		100.0	-	37.1	11.4	51.4	-
	18~39歳	75	-	24	17	30	4
		100.0	-	32.0	22.7	40.0	5.3
	40~64歳	216	4	66	44	85	17
	100.0	1.9	30.6	20.4	39.4	7.9	
年齢別	65~74歳	134	2	28	34	45	25
		100.0	1.5	20.9	25.4	33.6	18.7
	75歳以上	281	2	54	72	95	58
	100.0	0.7	19.2	25.6	33.8	20.6	
障がい別	身体障がい	437	5	91	118	156	67
		100.0	1.1	20.8	27.0	35.7	15.3
	知的障がい	109	2	45	12	43	7
		100.0	1.8	41.3	11.0	39.4	6.4
	精神障がい	145	2	51	28	56	8
	100.0	1.4	35.2	19.3	38.6	5.5	
指定難病医療受給者	56	1	13	13	17	12	
	100.0	1.8	23.2	23.2	30.4	21.4	

⑨ 地域生活について

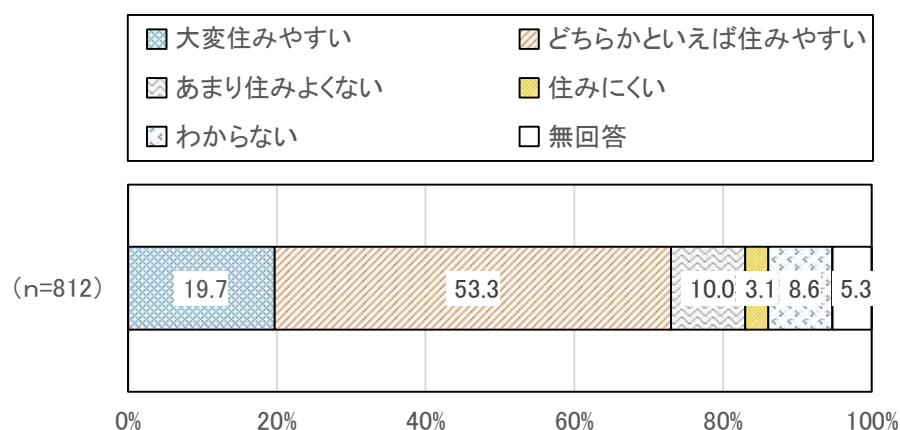
問25 宮代町の住みやすさ

問25 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。
(1つに〇)

障がい者全体では、「大変住みやすい」が19.7%、「どちらかといえば住みやすい」が53.3%で、両者を合計した『住みやすい』は73.0%となっています。

年齢別では、いずれの年齢でも「どちらかといえば住みやすい」が最も多くなっています。

■宮代町の住みやすさ



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	大変住みやすい	どちらかといえば住みやすい	あまり住みよくない	住みにくい	わからない	無回答
全体		812	160	433	81	25	70	43
		100.0	19.7	53.3	10.0	3.1	8.6	5.3
年齢別	0～17歳	35	9	18	2	3	3	-
		100.0	25.7	51.4	5.7	8.6	8.6	-
	18～39歳	75	19	35	11	1	6	3
		100.0	25.3	46.7	14.7	1.3	8.0	4.0
	40～64歳	216	42	110	26	9	21	8
	100.0	19.4	50.9	12.0	4.2	9.7	3.7	
65～74歳	134	23	76	15	2	9	9	
	100.0	17.2	56.7	11.2	1.5	6.7	6.7	
	75歳以上	281	50	156	21	8	27	19
	100.0	17.8	55.5	7.5	2.8	9.6	6.8	
障がい別	身体障がい	437	79	241	45	11	36	25
		100.0	18.1	55.1	10.3	2.5	8.2	5.7
	知的障がい	109	30	55	3	3	14	4
		100.0	27.5	50.5	2.8	2.8	12.8	3.7
	精神障がい	145	29	72	19	7	16	2
	100.0	20.0	49.7	13.1	4.8	11.0	1.4	
指定難病医療受給者	56	12	30	7	1	1	5	
	100.0	21.4	53.6	12.5	1.8	1.8	8.9	

1-2 調査の結果

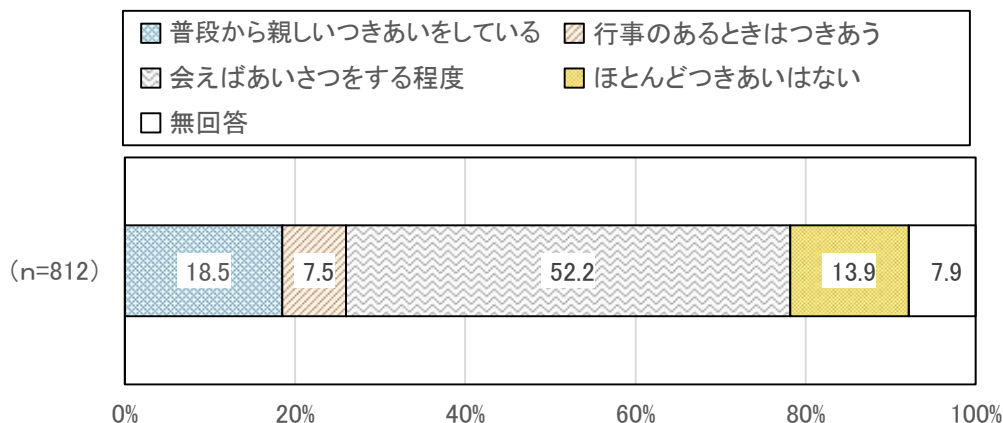
問26 隣近所との付き合いの程度

問 26 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。(1つに○)

障がい者全体では、「会えばあいさつする程度」が52.2%で最も多く、次いで「普段から親しいつきあいをしている」が18.5%となっています。また、「ほとんどつきあいはない」は13.9%となっています。

年齢別では、いずれの年齢でも「会えばあいさつをする程度」が最も多くなっています。

■隣近所との付き合い



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	普段から親しいつきあいをしている	行事のあるときはつきあう	会えばあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
全体		812	150	61	424	113	64
		100.0	18.5	7.5	52.2	13.9	7.9
年齢別	0～17歳	35	2	1	27	5	-
		100.0	5.7	2.9	77.1	14.3	-
	18～39歳	75	8	-	46	17	4
		100.0	10.7	-	61.3	22.7	5.3
	40～64歳	216	22	13	120	48	13
	100.0	10.2	6.0	55.6	22.2	6.0	
	65～74歳	134	19	18	67	17	13
	100.0	14.2	13.4	50.0	12.7	9.7	
	75歳以上	281	85	24	124	20	28
	100.0	30.2	8.5	44.1	7.1	10.0	
障がい別	身体障がい	437	105	41	212	48	31
		100.0	24.0	9.4	48.5	11.0	7.1
	知的障がい	109	12	1	64	25	7
		100.0	11.0	0.9	58.7	22.9	6.4
	精神障がい	145	14	5	86	37	3
	100.0	9.7	3.4	59.3	25.5	2.1	
	指定難病医療受給者	56	8	8	32	2	6
	100.0	14.3	14.3	57.1	3.6	10.7	

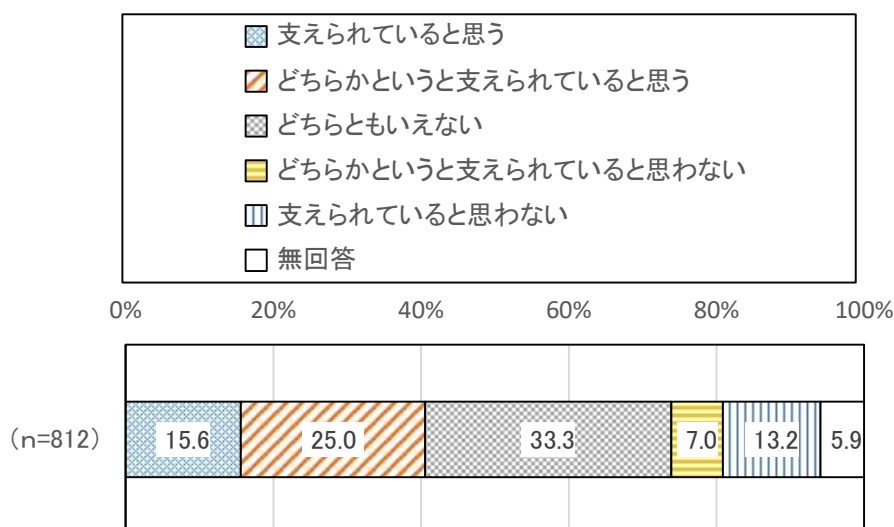
問27 地域の人に支えられていると思うか

問 27 あなたは今、地域の人に支えられていると思いますか。(1つに○)

障がい者全体では、「どちらともいえない」(33.3%)が最も多く、次いで「どちらかという支えられていると思う」(25.0%)、「支えられていると思う」(15.6%)となっています。

年齢別では、いずれの年齢でも「どちらともいえない」が最も多く、75歳以上は「どちらかという支えられていると思う」が僅差で2番目に多くなっています。

■地域の人に支えられていると思うか



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	支えられていると思う	どちらかという支えられていると思う	どちらともいえない	どちらかという支えられていないと思う	支えられていないと思う	無回答
全体		812	127	203	270	57	107	48
		100.0	15.6	25.0	33.3	7.0	13.2	5.9
年齢別	0~17歳	35	3	8	17	4	3	-
		100.0	8.6	22.9	48.6	11.4	8.6	-
	18~39歳	75	10	14	27	7	14	3
		100.0	13.3	18.7	36.0	9.3	18.7	4.0
	40~64歳	216	34	43	76	11	43	9
		100.0	15.7	19.9	35.2	5.1	19.9	4.2
65~74歳	134	16	39	47	15	11	6	
	100.0	11.9	29.1	35.1	11.2	8.2	4.5	
75歳以上	281	54	80	82	17	24	24	
	100.0	19.2	28.5	29.2	6.0	8.5	8.5	
障がい別	身体障がい	437	69	119	148	27	52	22
		100.0	15.8	27.2	33.9	6.2	11.9	5.0
	知的障がい	109	17	24	41	10	12	5
		100.0	15.6	22.0	37.6	9.2	11.0	4.6
	精神障がい	145	24	27	46	14	32	2
	100.0	16.6	18.6	31.7	9.7	22.1	1.4	
指定難病医療受給者	56	10	15	20	3	5	3	
	100.0	17.9	26.8	35.7	5.4	8.9	5.4	

1-2 調査の結果

問28 障がいがある人への理解を深めるために必要なこと

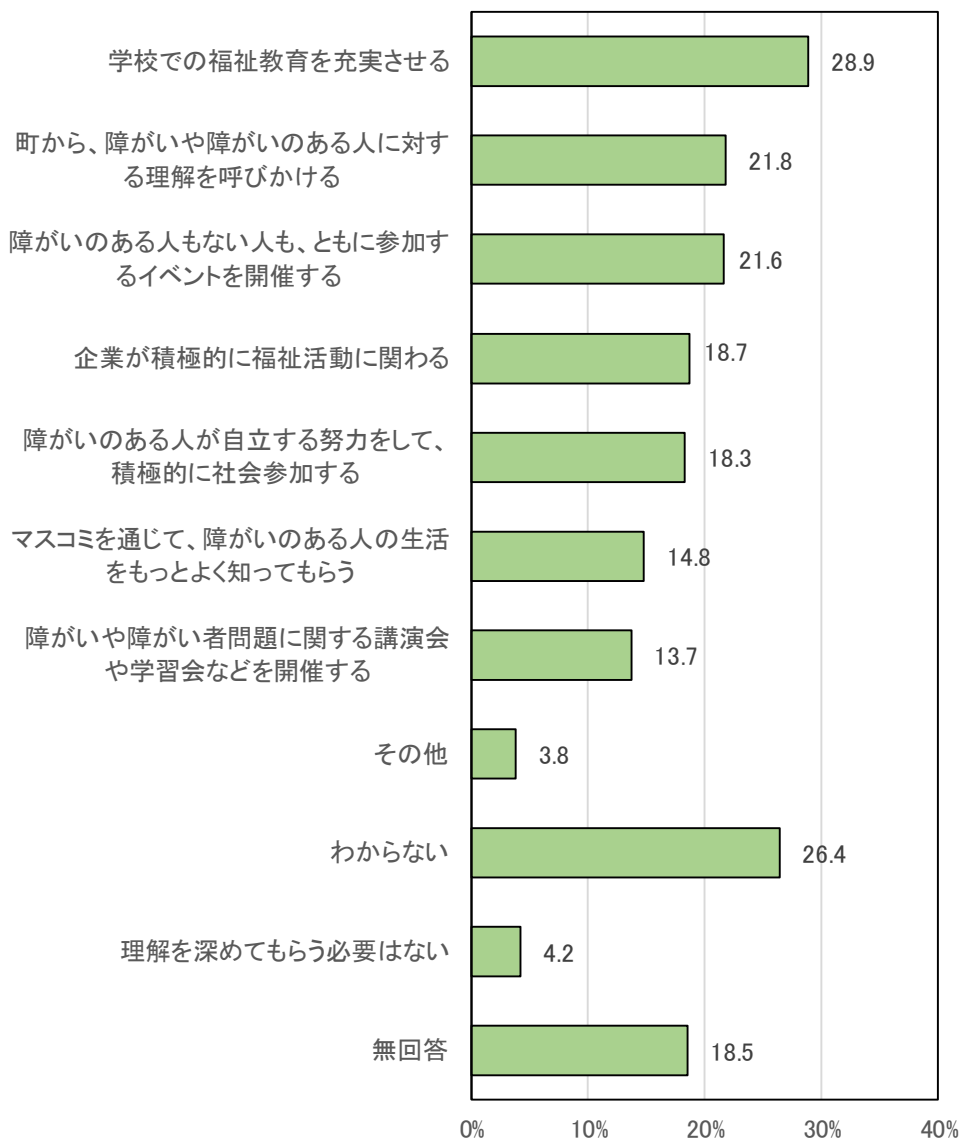
問 28 町民が障がいのある人への理解を深めるためには、何が重要だと
思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「学校での福祉教育を充実させる」(28.9%)が最も多く、次いで「町から、障がいや障がいのある人に対する理解を呼びかける」(21.8%)、「障がいのある人も、ともに参加するイベントを開催する」(21.6%)、「企業が積極的に福祉活動に関わる」(18.7%)、「障がいのある人が自立する努力をして、積極的に社会参加する」(18.3%)となっています。また、「理解を深めてもらう必要はない」は4.2%となっています。

年齢別では、0～17歳は「障がいのある人もない人も、ともに参加するイベントを開催する」と「企業が積極的に福祉活動に関わる」が、18～39歳は「学校での福祉活動を充実させる」、40～64歳・65歳～74歳は・75歳以上は「わからない」が最も多くなっています。

■障がいのある人への理解を深めるために必要なこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	学校での福祉教育を充実させる	障がいのある人も、ともに参加するイベントを開催する	障がいや障がい者問題に関する講演会や学習会などを開催する	企業が積極的に福祉活動に関わる	マスコミを通じて、障がいのある人の生活をもっとよく知ってもらう
全体		812 100.0	235 28.9	175 21.6	111 13.7	152 18.7	120 14.8
年齢別	0～17歳	35 100.0	23 65.7	15 42.9	10 28.6	15 42.9	7 20.0
	18～39歳	75 100.0	29 38.7	20 26.7	14 18.7	26 34.7	13 17.3
	40～64歳	216 100.0	61 28.2	43 19.9	33 15.3	45 20.8	28 13.0
	65～74歳	134 100.0	36 26.9	27 20.1	16 11.9	21 15.7	20 14.9
	75歳以上	281 100.0	68 24.2	59 21.0	31 11.0	29 10.3	46 16.4
障がい種別	身体障がい	437 100.0	113 25.9	88 20.1	50 11.4	66 15.1	62 14.2
	知的障がい	109 100.0	44 40.4	33 30.3	21 19.3	31 28.4	17 15.6
	精神障がい	145 100.0	49 33.8	31 21.4	28 19.3	39 26.9	26 17.9
	指定難病医療受給者	56 100.0	13 23.2	12 21.4	6 10.7	9 16.1	6 10.7

		町から、障がいや障がいのある人に対する理解を呼びかける	障がいのある人が自立する努力をして、積極的に社会参加する	その他	わからない	理解を深めてもらう必要はない	無回答
全体		177 21.8	149 18.3	31 3.8	214 26.4	34 4.2	96 11.8
年齢別	0～17歳	8 22.9	8 22.9	- -	8 22.9	- -	- -
	18～39歳	23 30.7	17 22.7	7 9.3	12 16.0	3 4.0	5 6.7
	40～64歳	49 22.7	45 20.8	7 3.2	64 29.6	15 6.9	14 6.5
	65～74歳	31 23.1	25 18.7	5 3.7	40 29.9	- -	14 10.4
	75歳以上	52 18.5	42 14.9	9 3.2	70 24.9	12 4.3	54 19.2
障がい種別	身体障がい	81 18.5	77 17.6	15 3.4	122 27.9	16 3.7	58 13.3
	知的障がい	37 33.9	17 15.6	3 2.8	29 26.6	2 1.8	6 5.5
	精神障がい	27 18.6	32 22.1	9 6.2	47 32.4	9 6.2	7 4.8
	指定難病医療受給者	17 30.4	8 14.3	5 8.9	12 21.4	3 5.4	8 14.3

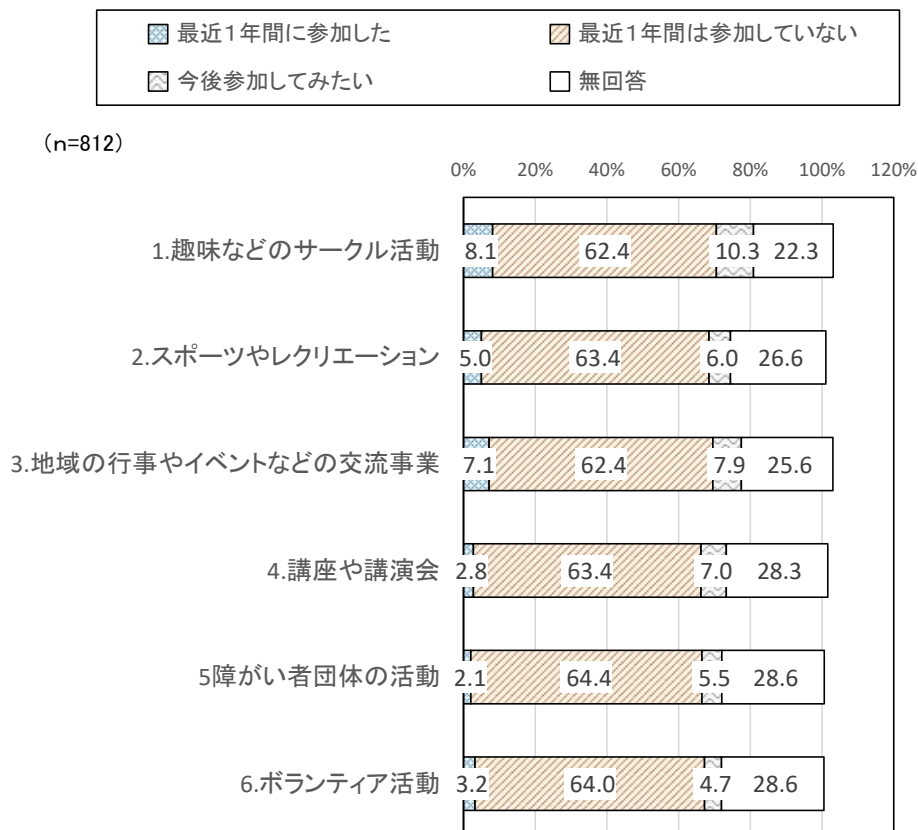
1-2 調査の結果

問29 最近1年間の地域活動への参加状況及び参加意向

問 29 あなたは最近1年間に、地域の活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたい地域の活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味などのサークル活動の最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は8.1%で、6種類の地域活動の中で最も多く、「今後参加してみたい」は10.3%で、こちらも6種類の地域活動の中で最も多くなっています。
2. スポーツやレクリエーションの最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は5.0%で、6種類の地域活動の中で3番目に多く、「今後参加してみたい」は6.0%で、6種類の地域活動の中で4番目に多くなっています。
3. 地域の行事やイベントなどの交流事業の最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は7.1%で、6種類の地域活動の中で2番目に多く、「今後参加してみたい」は7.9%で、こちらも6種類の地域活動の中で2番目に多くなっています。
4. 講座や講演会の最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は2.8%で、6種類の地域活動の中で5番目に多く、「今後参加してみたい」は7.0%で、6種類の地域活動の中で3番目に多くなっています。
5. 障がい者団体の活動の最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は2.1%で、6種類の地域活動の中で最も少なく、「今後参加してみたい」は5.5%で、6種類の地域活動の中で、2番目に少なくなっています。
6. ボランティア活動の最近1年間の地域活動への参加状況は、「最近1年間に参加した」は3.2%で、6種類の地域活動の中で2番目に少なく、「今後参加してみたい」は4.7%で、6種類の地域活動の中で最も少なくなっています。

■地域活動への参加状況



■年齢別・障がい別クロス集計（1.趣味などのサークル活動）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	66 8.1	507 62.4	84 10.3	181 22.3
年齢別	0～17歳	35 100.0	2 5.7	26 74.3	6 17.1	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	56 74.7	11 14.7	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	11 5.1	152 70.4	23 10.6	39 18.1
	65～74歳	134 100.0	9 6.7	93 69.4	12 9.0	24 17.9
	75歳以上	281 100.0	39 13.9	141 50.2	25 8.9	84 29.9
障がい種別	身体障がい	437 100.0	46 10.5	266 60.9	40 9.2	98 22.4
	知的障がい	109 100.0	3 2.8	75 68.8	13 11.9	22 20.2
	精神障がい	145 100.0	5 3.4	103 71.0	20 13.8	23 15.9
	指定難病医療受給者	56 100.0	2 3.6	38 67.9	7 12.5	12 21.4

■年齢別・障がい別クロス集計（2.スポーツやレクリエーション）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	41 5.0	515 63.4	49 6.0	216 26.6
年齢別	0～17歳	35 100.0	3 8.6	24 68.6	4 11.4	5 14.3
	18～39歳	75 100.0	3 4.0	58 77.3	7 9.3	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	8 3.7	156 72.2	15 6.9	39 18.1
	65～74歳	134 100.0	5 3.7	95 70.9	5 3.7	29 21.6
	75歳以上	281 100.0	20 7.1	145 51.6	14 5.0	107 38.1
障がい種別	身体障がい	437 100.0	26 5.9	270 61.8	19 4.3	127 29.1
	知的障がい	109 100.0	3 2.8	74 67.9	11 10.1	23 21.1
	精神障がい	145 100.0	7 4.8	102 70.3	11 7.6	25 17.2
	指定難病医療受給者	56 100.0	-	37 66.1	9 16.1	13 23.2

1-2 調査の結果

■年齢別・障がい別クロス集計（3.地域の行事やイベントなどの交流事業）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	58 7.1	507 62.4	64 7.9	208 25.6
年齢別	0～17歳	35 100.0	6 17.1	23 65.7	6 17.1	2 5.7
	18～39歳	75 100.0	3 4.0	59 78.7	9 12.0	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	15 6.9	149 69.0	20 9.3	38 17.6
	65～74歳	134 100.0	8 6.0	91 67.9	8 6.0	30 22.4
	75歳以上	281 100.0	20 7.1	147 52.3	18 6.4	107 38.1
障がい種別	身体障がい	437 100.0	35 8.0	264 60.4	30 6.9	122 27.9
	知的障がい	109 100.0	9 8.3	70 64.2	14 12.8	22 20.2
	精神障がい	145 100.0	10 6.9	104 71.7	14 9.7	22 15.2
	指定難病医療受給者	56 100.0	3 5.4	36 64.3	8 14.3	13 23.2

■年齢別・障がい別クロス集計（4.講座や講演会）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	23 2.8	515 63.4	57 7.0	230 28.3
年齢別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	25 71.4	4 11.4	6 17.1
	18～39歳	75 100.0	1 1.3	59 78.7	8 10.7	9 12.0
	40～64歳	216 100.0	8 3.7	152 70.4	13 6.0	46 21.3
	65～74歳	134 100.0	3 2.2	95 70.9	12 9.0	27 20.1
	75歳以上	281 100.0	9 3.2	143 50.9	19 6.8	114 40.6
障がい種別	身体障がい	437 100.0	15 3.4	266 60.9	32 7.3	131 30.0
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	75 68.8	6 5.5	29 26.6
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	108 74.5	12 8.3	26 17.9
	指定難病医療受給者	56 100.0	- -	37 66.1	6 10.7	14 25.0

■年齢別・障がい別クロス集計（5.障がい者団体の活動）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	17 2.1	523 64.4	45 5.5	232 28.6
年齢別	0～17歳	35 100.0	1 2.9	26 74.3	5 14.3	4 11.4
	18～39歳	75 100.0	2 2.7	58 77.3	9 12.0	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	6 2.8	157 72.7	13 6.0	42 19.4
	65～74歳	134 100.0	2 1.5	96 71.6	5 3.7	31 23.1
	75歳以上	281 100.0	6 2.1	147 52.3	10 3.6	118 42.0
障がい種別	身体障がい	437 100.0	9 2.1	272 62.2	15 3.4	142 32.5
	知的障がい	109 100.0	6 5.5	74 67.9	11 10.1	21 19.3
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	109 75.2	12 8.3	23 15.9
	指定難病医療受給者	56 100.0	1 1.8	35 62.5	5 8.9	15 26.8

■年齢別・障がい別クロス集計（6.ボランティア活動）

		合計	最近1年間に参加した	最近1年間は参加していない	今後参加してみたい	無回答
全体		812 100.0	26 3.2	520 64.0	38 4.7	232 28.6
年齢別	0～17歳	35 100.0	- -	26 74.3	3 8.6	6 17.1
	18～39歳	75 100.0	- -	59 78.7	9 12.0	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	7 3.2	156 72.2	10 4.6	45 20.8
	65～74歳	134 100.0	4 3.0	94 70.1	7 5.2	29 21.6
	75歳以上	281 100.0	13 4.6	148 52.7	8 2.8	113 40.2
障がい種別	身体障がい	437 100.0	21 4.8	270 61.8	13 3.0	134 30.7
	知的障がい	109 100.0	1 0.9	75 68.8	8 7.3	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	3 2.1	107 73.8	11 7.6	25 17.2
	指定難病医療受給者	56 100.0	1 1.8	35 62.5	4 7.1	16 28.6

1-2 調査の結果

問30 積極的な地域活動への参加のために必要と思うこと

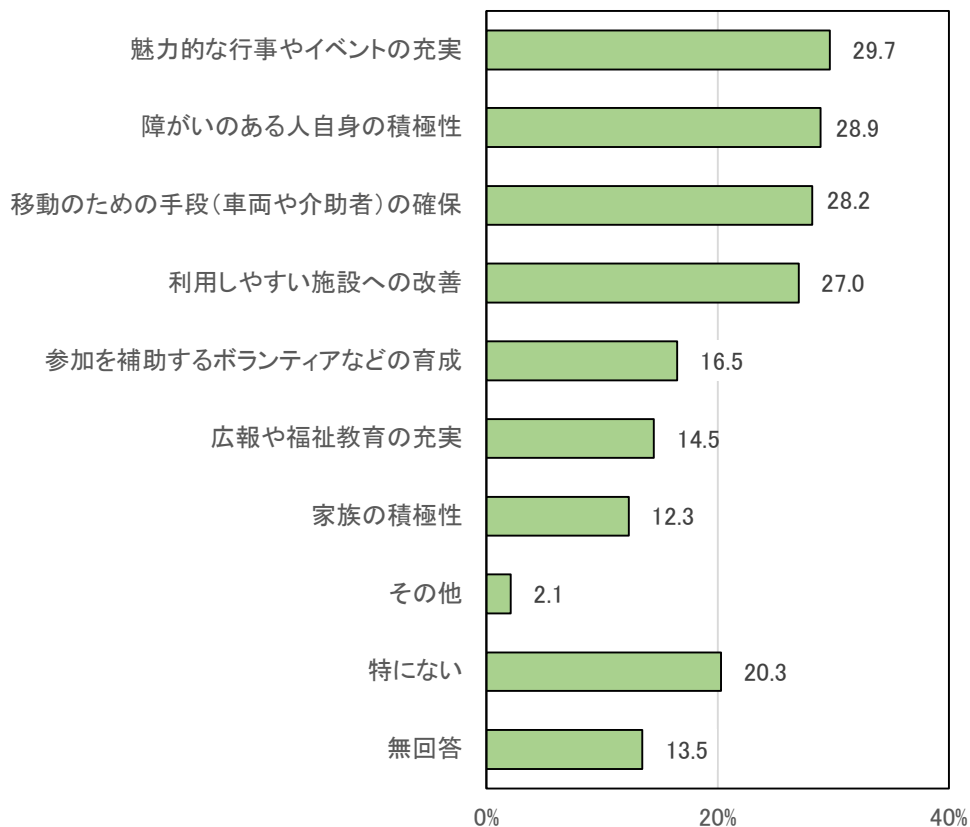
問 30 障がいのある人が地域の活動に積極的に参加するためには、あなたにとって、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「魅力的な行事やイベントの充実」(29.7%)が最も多く、次いで「障がいのある人自身の積極性」(28.9%)、「移動のための手段(車両や介助者)の確保」(28.2%)、「利用しやすい施設への改善」(27.0%)が上位にあげられています。

年齢別では、0~17歳・40~64歳・65~74歳は「魅力的な行事やイベントの充実」、18~39歳は「障がいのある人自身の積極性」、75歳以上は「移動のための手段(車両や介助者)の確保」がそれぞれ最も多くなっています。

■障がいのある人が地域活動に積極的に参加するために必要なこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	魅力的な行事やイベントの充実	利用しやすい施設への改善	移動のための手段（車両や介助者）の確保	参加を補助するボランティアなどの育成	家族の積極性
全体		812 100.0	241 29.7	219 27.0	229 28.2	134 16.5	100 12.3
年齢別	0～17歳	35 100.0	20 57.1	10 28.6	9 25.7	9 25.7	11 31.4
	18～39歳	75 100.0	26 34.7	23 30.7	21 28.0	19 25.3	15 20.0
	40～64歳	216 100.0	68 31.5	65 30.1	59 27.3	41 19.0	32 14.8
	65～74歳	134 100.0	38 28.4	36 26.9	37 27.6	15 11.2	9 6.7
	75歳以上	281 100.0	65 23.1	64 22.8	82 29.2	44 15.7	28 10.0
障がい別	身体障がい	437 100.0	117 26.8	106 24.3	129 29.5	69 15.8	45 10.3
	知的障がい	109 100.0	37 33.9	32 29.4	35 32.1	28 25.7	27 24.8
	精神障がい	145 100.0	60 41.4	41 28.3	34 23.4	23 15.9	24 16.6
	指定難病医療受給者	56 100.0	15 26.8	18 32.1	16 28.6	8 14.3	5 8.9

		障がいのある人自身の積極性	広報や福祉教育の充実	その他	特にない	無回答
全体		235 28.9	118 14.5	17 2.1	165 20.3	110 13.5
年齢別	0～17歳	15 42.9	9 25.7	4 11.4	2 5.7	- -
	18～39歳	32 42.7	16 21.3	2 2.7	13 17.3	3 4.0
	40～64歳	59 27.3	32 14.8	4 1.9	52 24.1	16 7.4
	65～74歳	35 26.1	19 14.2	4 3.0	29 21.6	19 14.2
	75歳以上	73 26.0	28 10.0	2 0.7	55 19.6	60 21.4
障がい別	身体障がい	130 29.7	50 11.4	8 1.8	91 20.8	67 15.3
	知的障がい	32 29.4	19 17.4	4 3.7	19 17.4	7 6.4
	精神障がい	50 34.5	30 20.7	4 2.8	34 23.4	6 4.1
	指定難病医療受給者	10 17.9	9 16.1	2 3.6	14 25.0	9 16.1

1-2 調査の結果

問31 今後、ボランティアに頼みたい支援内容

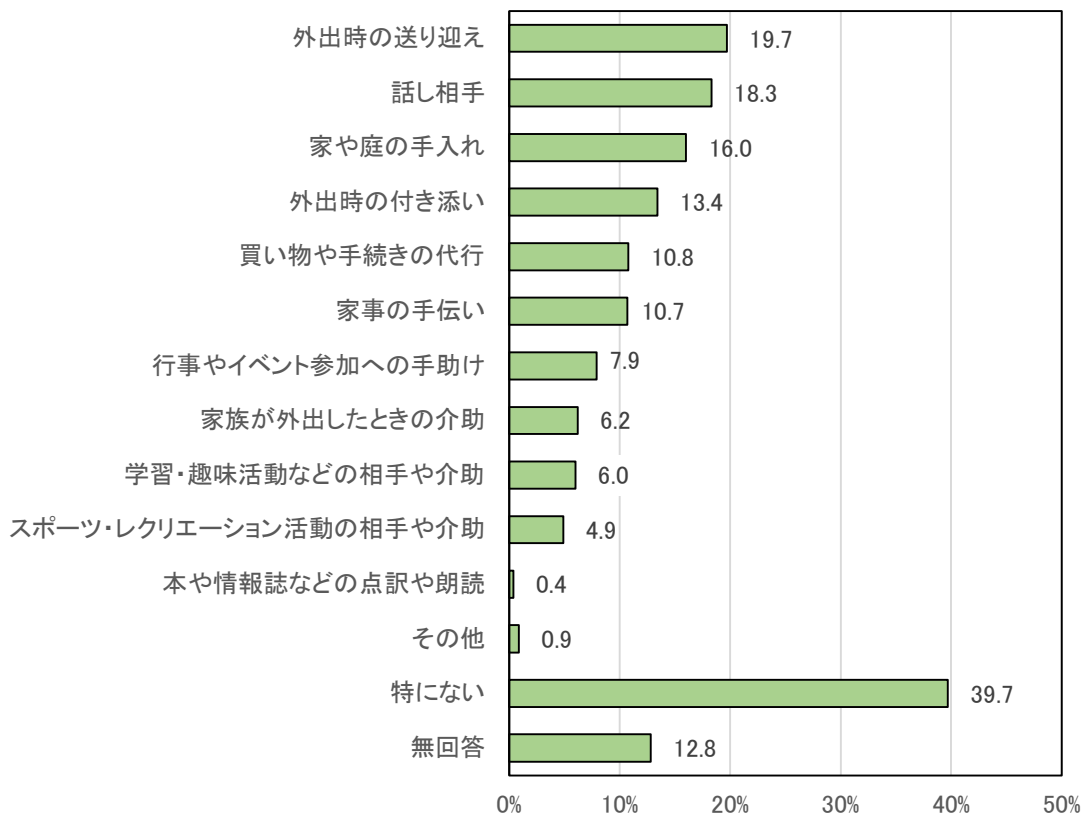
問 31 あなたが今後、ボランティアに頼みたい支援は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「特にない」を除くと、障がい者全体では「外出時の送り迎え」(19.7%)が最も多く、次いで「話し相手」(18.3%)、「家や庭の手入れ」(16.0%)、「外出時の付き添い」(13.4%)が上位にあげられています。

年齢別では、「特にない」を除くと、「0～17歳」は「学習・趣味活動などの相手や介助」、18～39歳と40～64歳は「話し相手」、65～74歳は「家や庭の手入れ」、75歳以上は「外出時の送り迎え」がそれぞれ最も多くなっています。

■ ボランティアに頼みたい支援

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	話し相手	外出時の付き添い	外出時の送り迎え	家事の手伝い	家族が外出したときの介助	家や庭の手入れ	買い物や手続きの代行
全体		812 100.0	149 18.3	109 13.4	160 19.7	87 10.7	50 6.2	130 16.0	88 10.8
年齢別	0～17歳	35 100.0	6 17.1	3 8.6	7 20.0	1 2.9	- -	2 5.7	1 2.9
	18～39歳	75 100.0	26 34.7	17 22.7	13 17.3	18 24.0	10 13.3	11 14.7	8 10.7
	40～64歳	216 100.0	44 20.4	39 18.1	43 19.9	32 14.8	9 4.2	26 12.0	32 14.8
	65～74歳	134 100.0	20 14.9	16 11.9	20 14.9	9 6.7	6 4.5	28 20.9	9 6.7
	75歳以上	281 100.0	41 14.6	30 10.7	70 24.9	24 8.5	22 7.8	52 18.5	34 12.1
障がい種別	身体障がい	437 100.0	52 11.9	53 12.1	93 21.3	36 8.2	25 5.7	77 17.6	49 11.2
	知的障がい	109 100.0	27 24.8	30 27.5	24 22.0	11 10.1	10 9.2	8 7.3	8 7.3
	精神障がい	145 100.0	56 38.6	17 11.7	22 15.2	31 21.4	7 4.8	24 16.6	18 12.4
	指定難病医療受給者	56 100.0	6 10.7	8 14.3	15 26.8	5 8.9	3 5.4	9 16.1	3 5.4

		本や情報誌などの点訳や朗読	学習・趣味活動などの相手や介助	スポーツ・レクリエーション活動の相手や介助	行事やイベント参加への手助け	その他	特にない	無回答
全体		3 0.4	49 6.0	40 4.9	64 7.9	7 0.9	322 39.7	104 12.8
年齢別	0～17歳	- -	8 22.9	5 14.3	7 20.0	- -	14 40.0	1 2.9
	18～39歳	- -	9 12.0	10 13.3	13 17.3	1 1.3	33 44.0	2 2.7
	40～64歳	2 0.9	10 4.6	9 4.2	21 9.7	2 0.9	87 40.3	20 9.3
	65～74歳	- -	2 1.5	6 4.5	6 4.5	1 0.7	57 42.5	18 13.4
	75歳以上	1 0.4	12 4.3	6 2.1	14 5.0	2 0.7	102 36.3	49 17.4
障がい種別	身体障がい	1 0.2	16 3.7	13 3.0	24 5.5	3 0.7	181 41.4	63 14.4
	知的障がい	1 0.9	12 11.0	14 12.8	23 21.1	1 0.9	43 39.4	4 3.7
	精神障がい	1 0.7	21 14.5	8 5.5	12 8.3	3 2.1	51 35.2	6 4.1
	指定難病医療受給者	- -	1 1.8	- -	2 3.6	- -	22 39.3	10 17.9

1-2 調査の結果

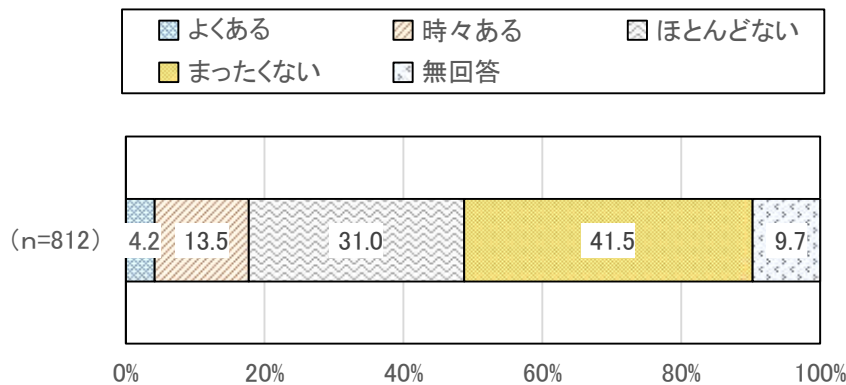
問32 この1年間に障がいがあるために差別を受けたり嫌な思いをした経験

問 32 おおむねこの1年（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の間に障がいがあるために差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。
（1つに〇）

障がい者全体では、「まったくない」(41.5%)が最も多かった一方、「よくある」が4.2%、「時々ある」が13.5%で、両者を合計した『ある』は17.8%となっています。

年齢別では、0～17歳は「ほとんどない」、18～39歳は「時々ある」、40～64歳は「まったくない」、65～74歳、75歳以上は「まったくない」がそれぞれ最も多くなっています。

■障がいがあるために差別を受けたり嫌な思いをした経験



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	よくある	時々ある	ほとんどない	まったくない	無回答
全体		812	34	110	252	337	79
		100.0	4.2	13.5	31.0	41.5	9.7
年齢別	0～17歳	35	3	8	14	9	1
		100.0	8.6	22.9	40.0	25.7	2.9
	18～39歳	75	9	24	23	16	3
		100.0	12.0	32.0	30.7	21.3	4.0
	40～64歳	216	14	45	64	75	18
		100.0	6.5	20.8	29.6	34.7	8.3
65～74歳		134	2	11	48	61	12
		100.0	1.5	8.2	35.8	45.5	9.0
	75歳以上	281	3	16	86	140	36
	100.0	1.1	5.7	30.6	49.8	12.8	
障がい別	身体障がい	437	11	33	137	213	43
		100.0	2.5	7.6	31.4	48.7	9.8
	知的障がい	109	7	26	42	28	6
		100.0	6.4	23.9	38.5	25.7	5.5
	精神障がい	145	16	36	45	41	7
	100.0	11.0	24.8	31.0	28.3	4.8	
指定難病医療受給者	56	3	1	20	24	8	
	100.0	5.4	1.8	35.7	42.9	14.3	

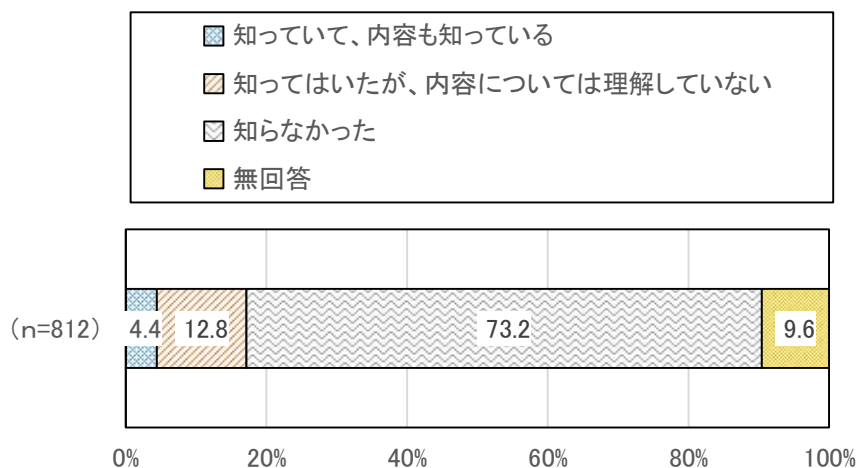
問33 障害者差別解消法の認知状況

問 33 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(1つに○)

障がい者全体では、「知らなかった」が73.2%で最も多く、「知っていて内容も知っている」は4.4%となっています。

年齢別では、各年齢ともに「知らなかった」が70%以上となっています。

■障害者差別解消法の認知状況



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	知っていて、 内容も知っ ている	知ってはいた が、内容につ いては理解し ていない	知らなかった	無回答
全体		812 100.0	36 4.4	104 12.8	594 73.2	78 9.6
年 令 別	0～17歳	35 100.0	5 14.3	5 14.3	25 71.4	- -
	18～39歳	75 100.0	7 9.3	11 14.7	54 72.0	3 4.0
	40～64歳	216 100.0	13 6.0	30 13.9	156 72.2	17 7.9
	65～74歳	134 100.0	5 3.7	21 15.7	96 71.6	12 9.0
	75歳以上	281 100.0	6 2.1	32 11.4	207 73.7	36 12.8
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	16 3.7	57 13.0	315 72.1	49 11.2
	知的障がい	109 100.0	9 8.3	18 16.5	77 70.6	5 4.6
	精神障がい	145 100.0	10 6.9	20 13.8	113 77.9	2 1.4
	指定難病医療 受給者	56 100.0	2 3.6	7 12.5	38 67.9	9 16.1

⑩ 防犯・防災時の備えについて

問34 災害時において心配なこと

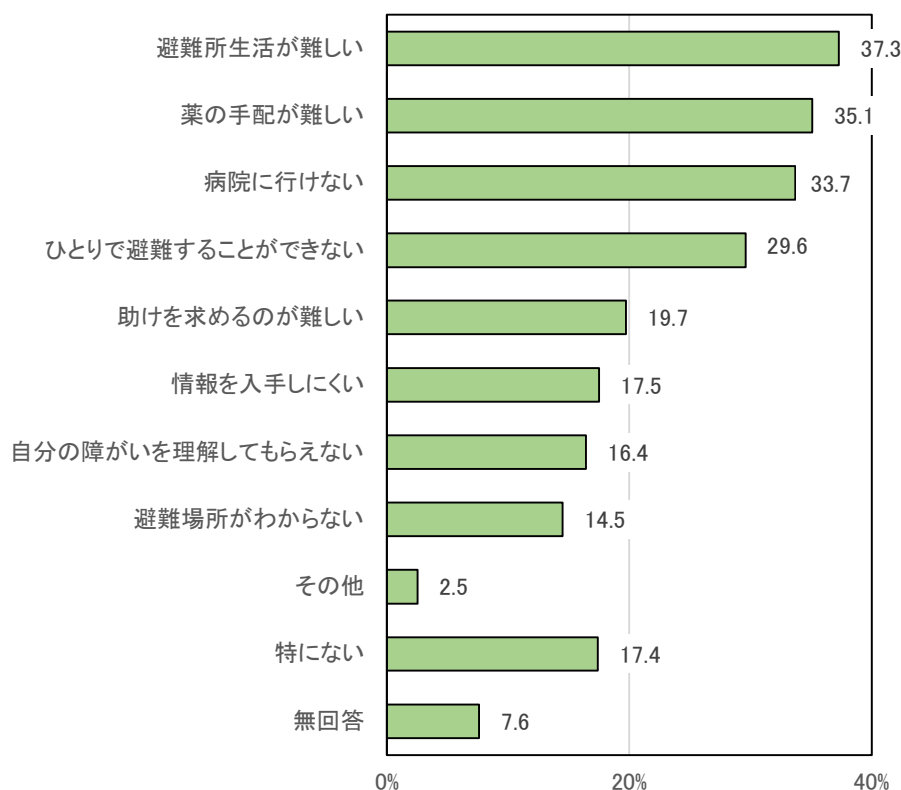
問 34 災害（地震や火事など）が起きたときに、あなたにとって心配なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者全体では、「避難所生活が難しい」（37.3%）が最も多く、次いで「薬の手配が難しい」（35.1%）、「病院に行けない」（33.7%）、「ひとりで避難することができない」（29.6%）となっています。

年齢別では、0～17歳は「自分の障がいを理解してもらえない」と「避難所生活が難しい」、18～39歳と40～64歳は「薬の手配が難しい」、65～74歳と75歳以上は「避難所生活が難しい」がそれぞれ最も多くなっています。

■災害が起きたときに心配なこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	助けを求 めるのが 難しい	自分の障 がいをも 理解して もらえない	避難所生 活が難し い	薬の手配 が難しい	情報を入 手しにく い
全体		812 100.0	160 19.7	133 16.4	303 37.3	285 35.1	142 17.5
年 令 別	0～17歳	35 100.0	13 37.1	17 48.6	17 48.6	8 22.9	12 34.3
	18～39歳	75 100.0	22 29.3	24 32.0	29 38.7	30 40.0	17 22.7
	40～64歳	216 100.0	41 19.0	52 24.1	91 42.1	97 44.9	35 16.2
	65～74歳	134 100.0	20 14.9	8 6.0	47 35.1	46 34.3	21 15.7
	75歳以上	281 100.0	54 19.2	22 7.8	96 34.2	76 27.0	51 18.1
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	82 18.8	43 9.8	164 37.5	129 29.5	66 15.1
	知的障がい	109 100.0	45 41.3	42 38.5	52 47.7	32 29.4	32 29.4
	精神障がい	145 100.0	26 17.9	47 32.4	60 41.4	74 51.0	28 19.3
	指定難病医療 受給者	56 100.0	7 12.5	4 7.1	15 26.8	24 42.9	3 5.4

		病院に行 けない	ひとりで 避難する ことがで きない	避難場所 がわから ない	その他	特にな い	無回答
全体		274 33.7	240 29.6	118 14.5	20 2.5	141 17.4	62 7.6
年 令 別	0～17歳	8 22.9	15 42.9	14 40.0	1 2.9	2 5.7	- -
	18～39歳	28 37.3	23 30.7	23 30.7	2 2.7	14 18.7	2 2.7
	40～64歳	86 39.8	65 30.1	31 14.4	4 1.9	31 14.4	12 5.6
	65～74歳	45 33.6	33 24.6	13 9.7	6 4.5	24 17.9	9 6.7
	75歳以上	84 29.9	89 31.7	31 11.0	5 1.8	57 20.3	32 11.4
障 が い 種 別	身体障がい	136 31.1	138 31.6	46 10.5	10 2.3	84 19.2	37 8.5
	知的障がい	34 31.2	51 46.8	34 31.2	- -	10 9.2	6 5.5
	精神障がい	54 37.2	26 17.9	23 15.9	6 4.1	24 16.6	3 2.1
	指定難病医療 受給者	28 50.0	14 25.0	2 3.6	- -	9 16.1	7 12.5

1-2 調査の結果

問35 避難所での生活において心配なこと

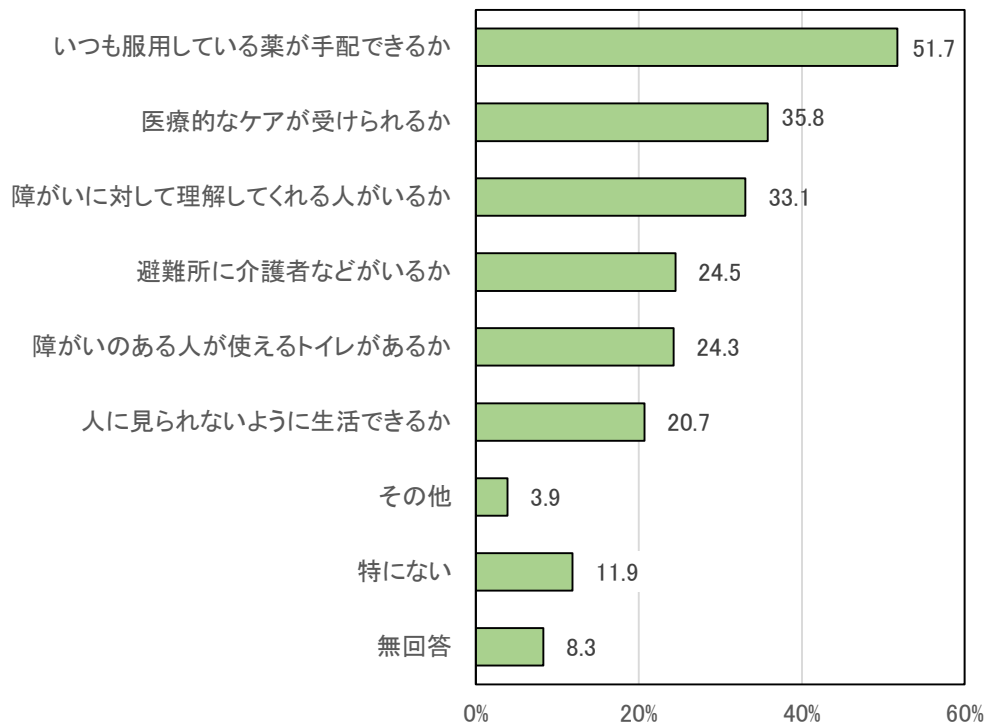
問 35 避難所で生活する必要が起きた場合に、あなたにとって心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「いつも服用している薬が手配できるか」(51.7%)が最も多く、次いで「医療的なケアが受けられるか」(35.8%)、「障がいに対して理解してくれる人がいるか」(33.1%)、「避難所に介護者などがいるか」(24.5%)となっています。

年齢別では、0～17歳と18～39歳は「障がいに対して理解してくれる人がいるか」、40～64歳、65～74歳、75歳以上は「いつも服用している薬が手配できるか」がそれぞれ最も多くなっています。

■避難所生活で心配なこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	避難所に介 護者などが いるか	いつも服用 している薬 が手配でき るか	医療的なケ アが受けら れるか	障がいのあ る人が使え るトイレが あるか
全体		812 100.0	199 24.5	420 51.7	291 35.8	197 24.3
年 令 別	0～17歳	35 100.0	5 14.3	4 11.4	1 2.9	- -
	18～39歳	75 100.0	15 20.0	40 53.3	19 25.3	7 9.3
	40～64歳	216 100.0	66 30.6	130 60.2	88 40.7	52 24.1
	65～74歳	134 100.0	24 17.9	67 50.0	51 38.1	41 30.6
	75歳以上	281 100.0	76 27.0	137 48.8	108 38.4	79 28.1
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	114 26.1	214 49.0	172 39.4	145 33.2
	知的障がい	109 100.0	43 39.4	41 37.6	24 22.0	18 16.5
	精神障がい	145 100.0	18 12.4	98 67.6	47 32.4	10 6.9
	指定難病医療 受給者	56 100.0	17 30.4	33 58.9	22 39.3	16 28.6

		人に見られ ないように 生活できる か	障がいに対 して理解し てくれる人 がいるか	その他	特にな い	無回答
全体		168 20.7	269 33.1	32 3.9	97 11.9	67 8.3
年 令 別	0～17歳	8 22.9	24 68.6	4 11.4	6 17.1	- -
	18～39歳	25 33.3	41 54.7	7 9.3	10 13.3	3 4.0
	40～64歳	64 29.6	90 41.7	5 2.3	15 6.9	12 5.6
	65～74歳	19 14.2	40 29.9	6 4.5	18 13.4	13 9.7
	75歳以上	39 13.9	57 20.3	9 3.2	42 14.9	31 11.0
障 が い 種 別	身体障がい	75 17.2	114 26.1	16 3.7	49 11.2	40 9.2
	知的障がい	22 20.2	76 69.7	5 4.6	12 11.0	5 4.6
	精神障がい	52 35.9	76 52.4	8 5.5	14 9.7	3 2.1
	指定難病医療 受給者	9 16.1	9 16.1	2 3.6	8 14.3	7 12.5

1-2 調査の結果

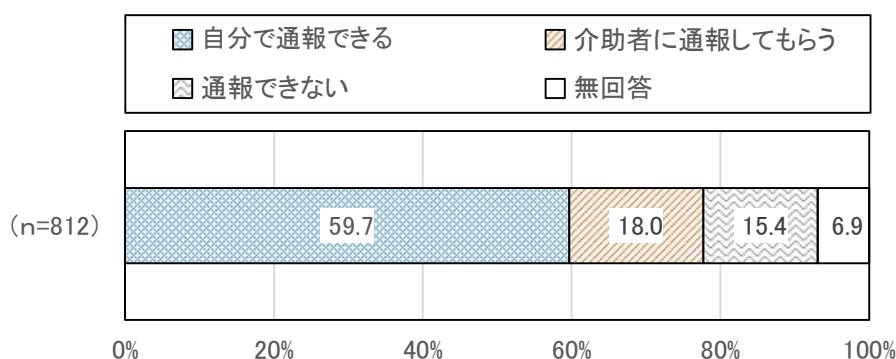
問36 緊急時の消防署や警察への通報について

問 36 あなたは緊急の場合に、すぐに消防署や警察へ通報することができますか。
(1つに〇)

障がい者全体では、「自分で通報できる」は59.7%となっています。また、「通報できない」は15.4%となっています。

年齢別では、0～17歳は「介助者に通報してもらおう」、0～17歳以外は「自分で通報できる」が最も多くなっています。

■緊急時の通報



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	自分で 通報できる	介助者に通報 してもらおう	通報できない	無回答
全体		812 100.0	485 59.7	146 18.0	125 15.4	56 6.9
年齢別	0～17歳	35 100.0	7 20.0	15 42.9	12 34.3	1 2.9
	18～39歳	75 100.0	45 60.0	5 6.7	23 30.7	2 2.7
	40～64歳	216 100.0	132 61.1	40 18.5	31 14.4	13 6.0
	65～74歳	134 100.0	89 66.4	16 11.9	19 14.2	10 7.5
	75歳以上	281 100.0	158 56.2	60 21.4	38 13.5	25 8.9
障がい種別	身体障がい	437 100.0	275 62.9	79 18.1	53 12.1	30 6.9
	知的障がい	109 100.0	25 22.9	34 31.2	44 40.4	6 5.5
	精神障がい	145 100.0	97 66.9	19 13.1	24 16.6	5 3.4
	指定難病医療 受給者	56 100.0	30 53.6	14 25.0	5 8.9	7 12.5

問37 災害情報や緊急連絡のために必要な通信方法

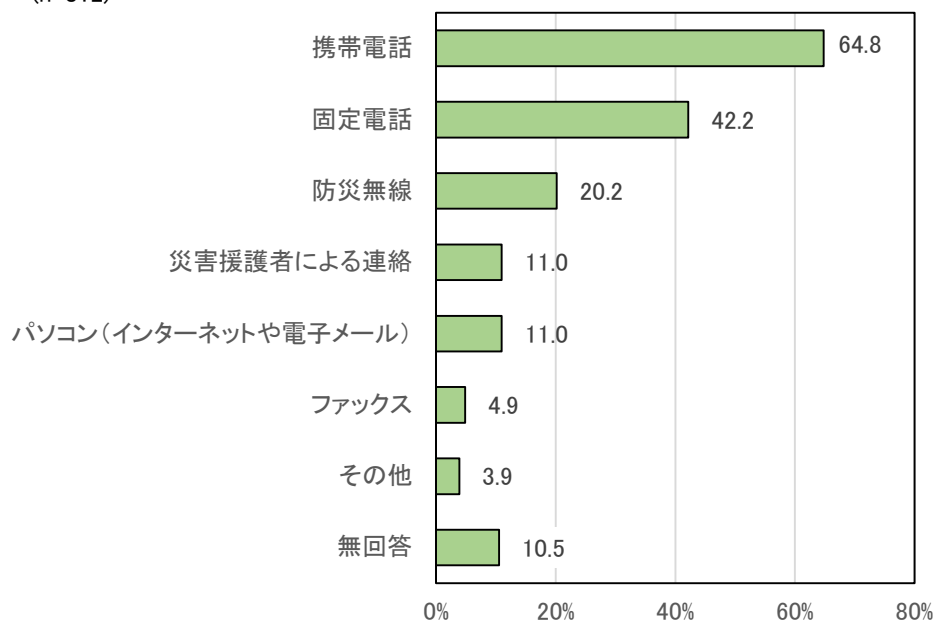
問 37 災害の情報や緊急の連絡のため、あなたはどんな通信方法が必要ですか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者全体では、「携帯電話」が64.8%、「固定電話」が42.2%と、上位の2つの項目を4割以上の方があげています。

年齢別では、75歳以上は「固定電話」ですが、ほかの年齢ではすべて「携帯電話」が最も多くなっています。

■災害時に必要な通信方法

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	固定電話	携帯電話	ファックス	パソコン (インターネットや電子メール)	災害援護者 による連絡	防災無線	その他	無回答
全体		812	343	526	40	89	89	164	32	85
		100.0	42.2	64.8	4.9	11.0	11.0	20.2	3.9	10.5
年齢別	0~17歳	35	3	26	-	4	3	8	3	2
		100.0	8.6	74.3	-	11.4	8.6	22.9	8.6	5.7
	18~39歳	75	9	58	3	17	10	12	7	6
		100.0	12.0	77.3	4.0	22.7	13.3	16.0	9.3	8.0
	40~64歳	216	76	147	6	35	27	43	11	17
		100.0	35.2	68.1	2.8	16.2	12.5	19.9	5.1	7.9
65~74歳	134	57	89	7	8	7	29	4	17	
	100.0	42.5	66.4	5.2	6.0	5.2	21.6	3.0	12.7	
75歳以上	281	164	150	23	13	39	57	6	37	
	100.0	58.4	53.4	8.2	4.6	13.9	20.3	2.1	13.2	
障がい種別	身体障がい	437	211	288	26	44	45	102	11	44
		100.0	48.3	65.9	5.9	10.1	10.3	23.3	2.5	10.1
	知的障がい	109	15	55	3	5	26	19	14	16
		100.0	13.8	50.5	2.8	4.6	23.9	17.4	12.8	14.7
	精神障がい	145	47	109	2	29	9	25	6	11
	100.0	32.4	75.2	1.4	20.0	6.2	17.2	4.1	7.6	
指定難病医療 受給者	56	28	36	5	7	4	10	-	6	
	100.0	50.0	64.3	8.9	12.5	7.1	17.9	-	10.7	

1-2 調査の結果

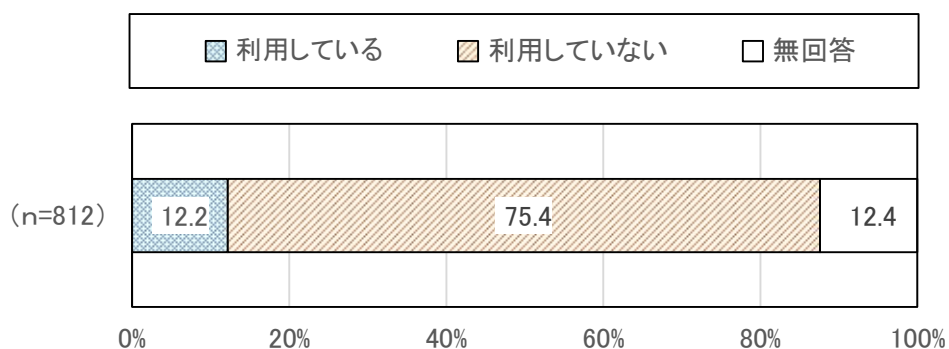
問38 災害時要援護者支援制度の利用状況

問 38 地域の自主組織などに、住所や氏名、身体状況などの個人情報を登録し、災害時に避難誘導や情報伝達の支援を受ける制度を町は実施していますが、あなたは利用していますか。(1つに○)

障がい者全体では、「利用している」が12.2%、「利用していない」が75.4%で、利用者は少ない状況となっています。

年齢別に「利用している」割合は、0～17歳が8.6%、18～39歳が12.0%、40～64歳が35.2%、65～74歳が11.9%、75歳以上が12.1%となっています。

■災害時に支援を受ける制度の利用について



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	利用して いる	利用して いない	無回答
全体		812 100.0	99 12.2	612 75.4	101 12.4
年 令 別	0～17歳	35 100.0	3 8.6	26 74.3	- -
	18～39歳	75 100.0	9 12.0	58 77.3	3 4.0
	40～64歳	216 100.0	76 35.2	147 68.1	6 2.8
	65～74歳	134 100.0	16 11.9	103 76.9	15 11.2
	75歳以上	281 100.0	34 12.1	197 70.1	50 17.8
障 が い 種 別	身体障がい	437 100.0	55 12.6	332 76.0	50 11.4
	知的障がい	109 100.0	26 23.9	73 67.0	10 9.2
	精神障がい	145 100.0	7 4.8	126 86.9	12 8.3
	指定難病医療 受給者	56 100.0	6 10.7	42 75.0	8 14.3

問 38 で（個人情報登録し、災害時に支援を受ける制度を）「2. 利用していない」と答えた人におたずねします。

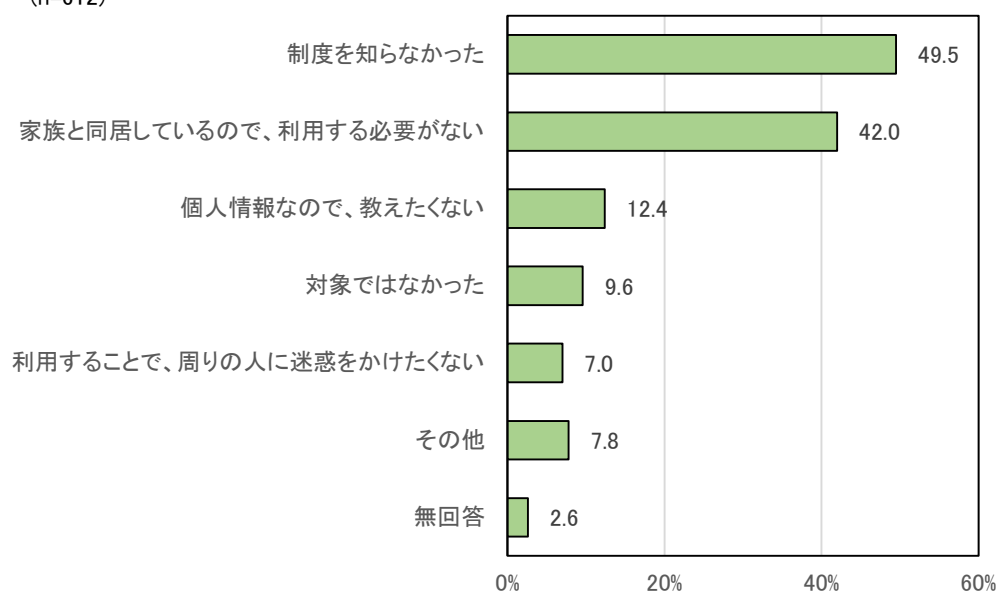
問 38-1 あなたが現在、利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

制度を利用していない方に利用していない理由を尋ねたところ、「制度を知らなかった」が49.5%と約半数になっています。また、「家族と同居しているので、利用する必要がない」が42.0%となっています。

年齢別では、0～17歳・18～39歳・40～64歳は「制度を知らなかった」、65～74歳、75歳以上は「家族と同居しているので、利用する必要がない」がそれぞれ最も多くなっています。

■災害時に支援を受ける制度を利用していない理由

(n=612)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	個人情報なので、教えたくない	家族と同居しているので、利用する必要がない	利用することで、周りの人に迷惑をかけたくない	制度を知らなかった	対象ではなかった	その他	無回答
全体		612	76	257	43	303	59	48	16
		100.0	12.4	42.0	7.0	49.5	9.6	7.8	2.6
年齢別	0～17歳	28	5	11	-	22	1	-	-
		100.0	17.9	39.3	-	78.6	3.6	-	-
	18～39歳	55	9	22	4	33	3	3	-
		100.0	16.4	40.0	7.3	60.0	5.5	5.5	-
	40～64歳	169	31	54	8	90	18	16	7
		100.0	18.3	32.0	4.7	53.3	10.7	9.5	4.1
65～74歳	103	12	49	3	41	11	10	4	
	100.0	11.7	47.6	2.9	39.8	10.7	9.7	3.9	
75歳以上	197	13	92	23	83	18	17	3	
	100.0	6.6	46.7	11.7	42.1	9.1	8.6	1.5	
障がい別	身体障がい	332	31	155	30	138	33	34	9
		100.0	9.3	46.7	9.0	41.6	9.9	10.2	2.7
	知的障がい	73	12	31	5	37	5	8	2
		100.0	16.4	42.5	6.8	50.7	6.8	11.0	2.7
	精神障がい	126	21	37	5	87	15	4	2
	100.0	16.7	29.4	4.0	69.0	11.9	3.2	1.6	
指定難病医療受給者	42	8	22	4	20	4	1	1	
	100.0	19.0	52.4	9.5	47.6	9.5	2.4	2.4	

⑪ 希望・要望について

問39 障がいのある人への支援に関して、今後力を入れるべきだと思うこと

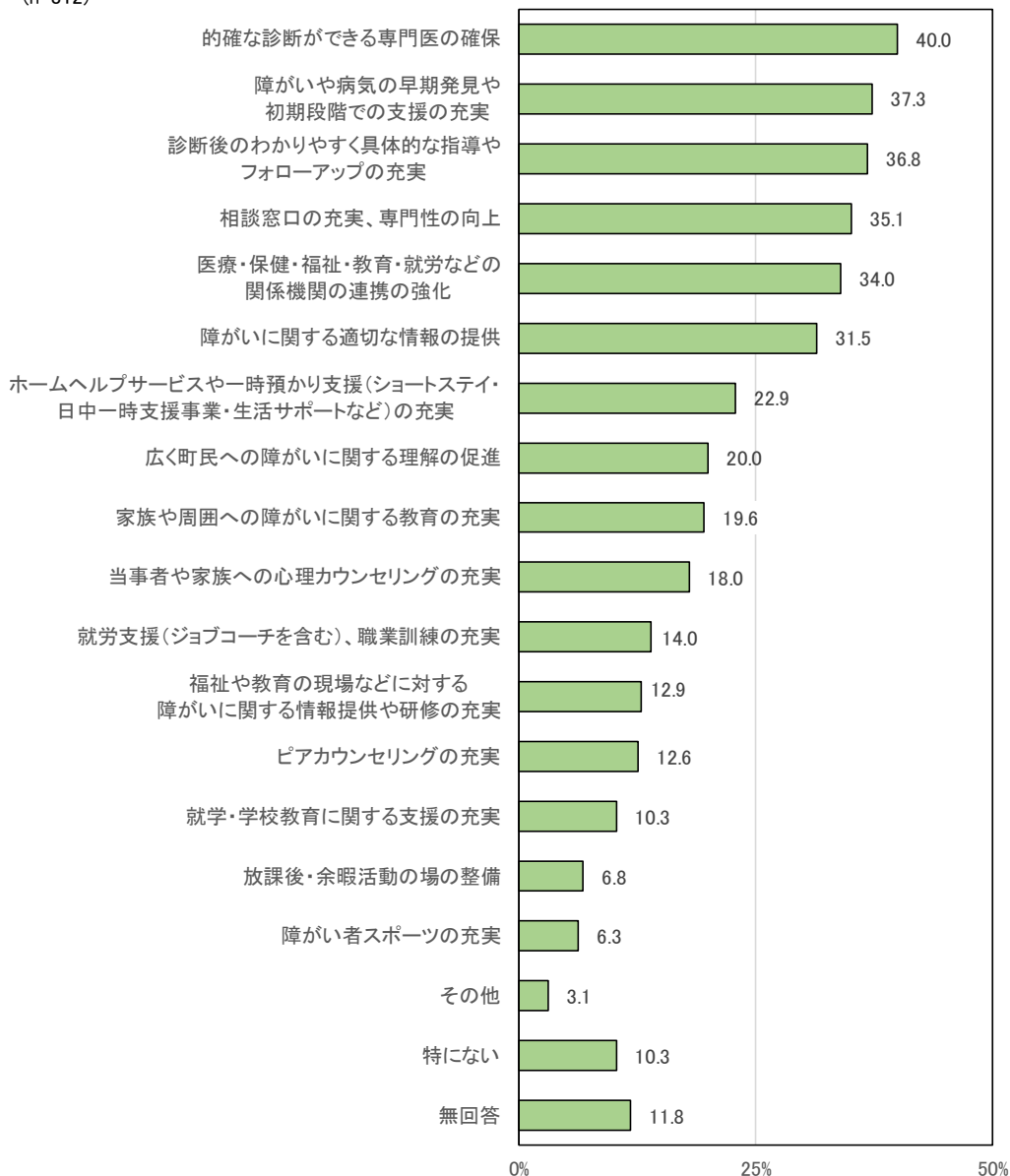
問 39 あなたは障がいのある人に対する支援として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

障がい者全体では、「的確な診断ができる専門医の確保」(40.0%)が最も多く、次いで「障がいや病気の早期発見や初期段階での支援の充実」(37.3%)、「診断後のわかりやすく具体的な指導やフォローアップの充実」(36.8%)、「相談窓口の充実、専門性の向上」(35.1%)、「医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関の連携の強化」(34.0%)が上位にあげられています。

年齢別では、0～17歳は「就学・学校教育に関する支援の充実」、18～39歳は「医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関の連携の強化」、40～64歳は「相談窓口の充実、専門性の向上」65～74歳と75歳以上は「的確な診断ができる専門医の確保」がそれぞれ最も多くなっています。

■障がいのある人に対する支援として今後力を入れるべきこと

(n=812)



■年齢別・障がい別クロス集計

		合計	障がいや病気の早期発見や初期段階での支援の充実	的確な診断ができる専門医の確保	診断後のわかりやすく具体的な指導やフォローアップの充実	家族や周囲への障がいに関する教育の充実	障がいに関する適切な情報の提供	相談窓口の充実、専門性の向上	当事者や家族への心理カウンセリングの充実	ピアカウンセリングの充実	医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関の連携の強化
全体		812 100.0	303 37.3	325 40.0	299 36.8	159 19.6	256 31.5	285 35.1	146 18.0	102 12.6	276 34.0
年齢別	0~17歳	35 100.0	15 42.9	13 37.1	16 45.7	11 31.4	15 42.9	20 57.1	11 31.4	10 28.6	15 42.9
	18~39歳	75 100.0	36 48.0	34 45.3	36 48.0	25 33.3	34 45.3	34 45.3	26 34.7	17 22.7	42 56.0
	40~64歳	216 100.0	85 39.4	81 37.5	85 39.4	62 28.7	77 35.6	92 42.6	51 23.6	30 13.9	84 38.9
	65~74歳	134 100.0	51 38.1	60 44.8	41 30.6	15 11.2	41 30.6	45 33.6	13 9.7	5 3.7	43 32.1
	75歳以上	281 100.0	92 32.7	110 39.1	97 34.5	38 13.5	71 25.3	76 27.0	38 13.5	33 11.7	72 25.6
障がい種別	身体障がい	437 100.0	166 38.0	178 40.7	152 34.8	74 16.9	136 31.1	140 32.0	60 13.7	43 9.8	132 30.2
	知的障がい	109 100.0	41 37.6	37 33.9	40 36.7	31 28.4	40 36.7	50 45.9	29 26.6	22 20.2	50 45.9
	精神障がい	145 100.0	72 49.7	72 49.7	72 49.7	54 37.2	62 42.8	70 48.3	50 34.5	27 18.6	63 43.4
	指定難病医療受給者	56 100.0	17 30.4	22 39.3	18 32.1	7 12.5	9 16.1	13 23.2	7 12.5	7 12.5	12 21.4

		ホームヘルプサービスや一時預かり支援（ショートステイ・日中一時支援事業・生活サポートなど）の充実	就学・学校教育に関する支援の充実	放課後・余暇活動の場の整備	障がい者スポーツの充実	就労支援（ジョブコーチを含む）、職業訓練の充実	福祉や教育の現場などに対する障がいに関する情報提供や研修の充実	広く町民への障がいに関する理解の促進	その他	特になし	無回答
全体		186 22.9	84 10.3	55 6.8	51 6.3	114 14.0	105 12.9	162 20.0	25 3.1	84 10.3	96 11.8
年齢別	0~17歳	8 22.9	21 60.0	14 40.0	5 14.3	13 37.1	13 37.1	16 45.7	2 5.7	2 5.7	- -
	18~39歳	22 29.3	20 26.7	11 14.7	9 12.0	31 41.3	18 24.0	30 40.0	4 5.3	3 4.0	4 5.3
	40~64歳	47 21.8	24 11.1	15 6.9	16 7.4	41 19.0	40 18.5	43 19.9	8 3.7	25 11.6	18 8.3
	65~74歳	22 16.4	4 3.0	2 1.5	4 3.0	6 4.5	7 5.2	25 18.7	2 1.5	16 11.9	15 11.2
	75歳以上	73 26.0	12 4.3	11 3.9	15 5.3	14 5.0	21 7.5	39 13.9	4 1.4	31 11.0	46 16.4
障がい種別	身体障がい	101 23.1	24 5.5	18 4.1	24 5.5	34 7.8	38 8.7	69 15.8	11 2.5	48 11.0	49 11.2
	知的障がい	33 30.3	34 31.2	23 21.1	12 11.0	34 31.2	25 22.9	40 36.7	4 3.7	6 5.5	12 11.0
	精神障がい	31 21.4	29 20.0	15 10.3	12 8.3	43 29.7	33 22.8	39 26.9	8 5.5	10 6.9	9 6.2
	指定難病医療受給者	12 21.4	2 3.6	1 1.8	1 1.8	4 7.1	5 8.9	10 17.9	3 5.4	6 10.7	8 14.3

1-3 ヒアリング調査

宮代町では、障がい者の福祉サービスを計画的に進めていくための基礎資料として、障がいのある人（子どもを含む）の生活実態やご意見、ご要望をお聞きするためのヒアリング調査を実施しました。

この調査は、令和4年11月に福祉関係団体にヒアリングシートを送付し、自由に記述していただいたものです。以下、お寄せいただいた回答の一部をご紹介します。

「そうだん」をつなげる

(アンケート：相談支援体制の広域化等の視点)

問 相談を実施している窓口はわかりやすいですか。

- わかりにくい
- 初めての方は分かりづらいと思う

問 生活している中で、相談ができる環境（体制）はありますか。

- 筆談対応はあるが、まだ整っていない
- 各地域の担当理事

問 町（行政）に相談することで悩み事等は解決していますか。（一時的相談から専門的相談）

- 制度に対する書類のやりとりに追われ、日常的な問題解決までは相談できていないと感じます
- 解決している場合もあるが、解決に至るまでの過程が簡単ではない

問 町（行政）以外に他の団体（人）に相談することがありますか。

- 社会福祉協議会に相談することもあります
- ある（手話の会・民生委員・近隣住民）

問 相談体制で今後必要と思われることは何ですか。（相談体制への要望）

- 福祉課の窓口到手話で対応できる人を配置を希望（又はタブレットによる対応）
- 町内の相談支援事業所に相談支援専門員を増員するよう働きかけてください。特に、宮代町社会福祉協議会に増員をお願いしてください
- ゆっくり相談できるブース（プライバシーを確保）

問 発達障がいや高次脳機能障がいの方で、今まで障がい者手帳を取ることが難しかった方も精神障害者手帳の範囲として、手帳が取得できるようになりますが、こういった方の相談、支援を受けたことがありますか。

- 弊法人では、発達しょうがいと高次脳機能障害の相談に対応させていただいています

「すむ」をつづける 「くらす」をささえる

(アンケート：生活の場・サービス・外出・地域生活・防犯防災の視点)

「すむ」をつづける

問 「すむ」をつづけるにあたって、現在どのような支援（近所の方・ボランティア）、サービスが必要ですか。

- 見守りさん、見守り隊がいることのPRにより認知度が上がり、安心感が増すと良い
- 前提として障がい者にどのようなサービスがあるかもっとアピールする必要がある。（困ってから相談するのでは遅すぎる）
- 賃貸物件において、保証人協会が障害者を差別していないか。また、障害者にこのような支援があると貸しやすいといったことについて、不動産関係者との意見交換をしてください

問 「すむ」をつづけるにあたって、今後心配事は何かですか。

- 役場と民生委員との役割はどうなっているのでしょうか。以前は訪問を受け困った事等相談していたのですが、最近は訪問もなく地域の事を把握されているのでしょうか
- 自主防災会でも個人情報保護法でどこにどのような方が居住されているかわからない事も多いですが、災害の時はどうするのでしょうか
- 買い物（特に重いものなど）や分別ゴミ出し

問 「すむ」をつづけるにあたって、今後貴団体としてどのようなことができると思いますか。

- 孤立を防ぐ為の日常の声かけ
- ニーズがあれば障害の区別なく積極的にグループホームを開設する用意があります

「くらす」をささえる

問 「くらす」をささえるにあたって、現在のサービスを利用しやすい仕組みにするため、改善すべきことがありますか。

- 外出する場合（病院・ボランティア活動・買い物）、交通手段が困難。聴覚障害者は電話でタクシーを呼ぶことが難しい
- 町バス停留所の整備（足元の木の根や縁石でつまずかない為に）。また、行き先がわかりにくいので、誰にでもわかりやすいよう、例えば矢印で明記する等の工夫をお願いします

問 「くらす」をささえるにあたって、サービス以外の支援（近所の方・ボランティア）を受けていますか。

- 受けていない

問 「くらす」をささえるにあたって、今後どのようなサービスが必要ですか。

- 作業所で入浴サービスは受けられますか

問 「くらす」をささえるにあたって、今後貴団体としてどのようなことができると思いますか。

- 今後も会員同士で連絡を取り合い、本人の希望に沿って協力していく体制を整える
- 宮代町手をつなぐ親の会として「すむ」「くらす」ために地域の一員として認知してもらい共生できるコミュニティをつくる。※チャリティーコンサート、グループホーム、カフェ等

「ともにまなぶ」をすすめる

(アンケート：保育・教育の視点)

問 貴団体の活動の中で、町民に対し、障がいについて理解を深めてもらう機会がありますか。

- 週2回、手話の会を開催
- コロナ禍の前はバザー等でチラシの配布を行っていた
- 進修館、町行政、教育委員会、学校、商工会、社会福祉協議会に協力いただき、「お互いを大切にする心を育てる」キャンドルナイトを17回開催しています
- 社会福祉協議会、学校に協力いただき福祉教育「福祉の入り口みんなちがって、みんないい」の授業を行っています

問 障がいのある方が余暇活動として、運動やレクリエーションに参加しやすい環境をつくるために、どのようなサービス、支援があると参加しやすいですか。

- 手話通訳、要約筆記を配置して案内のチラシなどに明記する
- 受け入れ体制がしっかりしているコトをPRして、参加への不安をなくして参加しやすいようにする
- 家族の協力
- ひまわり作業所の土日の開放
- 福祉教育については、社会福祉協議会を中核として、教育委員会、学校、福祉関係団体で、宮代町独自のカリキュラムをつくるとよいと思います

問 障がいのある児童と関わりのある方に伺いますが、放課後や学校が休みのときにはどのように過ごすことが多いですか。

- ひきこもりがちな高校生世代の放課後児童デイサービスを開設予定です
- 小中学生時代から、地域のなかでサークル活動に参加できるようにしてください。卒業後も生涯学習として継続できます。制度に対する書類のやりとりに追われ、日常的な問題解決までは相談できていないと感じます

「はたらく」をひろげる

(アンケート：仕事・経済状況の視点)

問 日中活動の場として、会社、施設、作業所などありますが、障がいのある方が働く場合、支障となるものは何ですか。

- コミュニケーション
- 障がいの専門職を配置してほしい

問 障がいのある方の雇用を促進するため、今後町（行政）及び社会全体としてどのような支援が必要ですか。

- 情報保障 例：コンビニ等で指差して医師が伝えられる（タブレット・パンフレット等）ように準備する
- サポートスタッフの充実、多様性への理解を深める為の教育
- 障がいを認める（共生社会の実現）
- 就労系のサービス斡旋を町で積極的に行ってください。
- 久喜市就労支援センターへの委託をやめて、宮代町に就労支援センターをつくってください（ちなみに杉戸町就労支援センターでは200人以上の就労支援を行っています）。訓練してから働く「就労移行支援事業」と明日から働きたい思いに応える「就労支援センター」は機能が違います。弊法人の就労移行支援は就労実績93%ですが、そもそも就労支援センターの機能である町民の明日からすぐに働きたいといったニーズには対応できないので、就労支援センターが必要です。

問 障がいのある方が働くために、今後貴団体としてどのようなことができると思いますか。

- 町民に手話を広め理解してもらうよう活動する
- 親子が共に働ける店を運営する
- 宮代町に就労支援センターを設置いただければ、弊法人、あるいは町内の法人と連携して受託する準備はできています。

「防犯・防災」の対策

問 災害が発生した場合の心配事は何ですか。町に何を望みますか。

- 福祉課と地上防災会の連携をしっかりとって欲しい
- 水・食料・トイレ
- 福祉避難所の設置とそこまでの移動手段
- 通所施設では、通所者の災害に備えたマイタイムラインづくりに取り組んでいただきたい

問 ・災害が起きて避難所で生活することとなった場合の心配事は何ですか。町に望むことは何ですか。

- 避難所の収容人数と避難者の人数が適切か
- 感染症への不安、トイレは長時間並ばなくてはならないか
- サポートスタッフの充実、多様性への理解を深める為の教育
- 情報が伝わるように工夫して欲しい。アナウンスだけではなく目で見てわかる掲示
- 福祉避難所には町の福祉課の職員を配置していただきたい
- 町内の災害担当課は、福祉課の意見を聞いて責任をもって障害者の防災に取り組んでいただきたい

問 地域の避難場所は知っていますか。一人で避難できますか。

- 避難場所は分かるが、災害時の避難場所開設の伝達方法（防災無線の限界…豪雨等）の工夫

問 災害時の対応として障がい者に必要なことは何ですか。

- 地域での援助体制作り
- 近所の声かけ

問 防犯のために必要なことは何ですか。

- 情報交換
- 地域での防犯・防災対策
- 歩行困難者の手助け（あらかじめ協力者を決めていただけると安心）、その為には、日ごろのコミュニケーションが重要

障害者虐待防止法、障害者差別解消法について

問・障害者虐待防止法について⇒虐待について考えている、感じていることはありますか。

・障害者差別解消法について⇒差別について考えている、感じていることはありますか。

・虐待や差別をなくするために必要なことは何ですか。

- 情報共有（音声だけではなく手話等の意思疎通）
- 保護者や介護者への心のケアが必要
- 市中での視線が集まることへの不満・不安
- 学校教育で障害は特性であることを理解して欲しい
- 大人達の言動が子供に影響するので、保護者のかかわり方、態度が問題
- 障害者は助けてくださる方への感謝を忘れずに、謙虚であること。お互い様の精神が必要
- 差別は日常に沢山あります。反論できない人はがまんするしかありません。障がいを認め、多様性を認めることが差別をなくすことにつながると考えます。子どもの頃か

1-3 ヒアリング調査

らつちかわれる教育が占める部分が大切だと思います。自分がされていやな事は人にしてはいけないと子や孫に伝えたいです

- 障害者差別解消法については、行政、障害者、家族、あらゆる事業者に周知してください

その他

問 貴団体の活動目標と活動上の課題、そして特に町（行政）に要望したいことは何ですか。

- 個別（障害者）へのヒアリングも実施して欲しい
- ヒアリング調査の結果を広報して欲しい（広報等）
- 会員の高齢化により、会員数が減少しています。窓口でのさらなるPRをお願いします。同時に役員のなり手もないので、先行きが不安です

第2章

地域福祉計画策定のための アンケート結果報告

2-1 調査の概要

(1) 調査の目的

宮代町では、社会福祉法に基づく地域福祉計画を作成するにあたり、地域の実情から課題を見つけ、取り組みを進めるために、町民の皆さまのご意見やお考えなどを伺うアンケート調査を実施しました。

これは、町民の皆さまが日ごろ社会福祉に感じていることや、これからの地域に必要なと感じていることなどを伺い、地域福祉を計画的に進めていくための基礎資料となるものです。

(2) 調査の対象及びサンプル数

住民基本台帳から6つの年代別（18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）に均等に300名ずつ、合計で1,800名の方を抽出し、アンケート調査へのご協力をお願いしました。

調査対象者	配布対象者数	備考
宮代町に住む18歳以上の男女	1,800人	18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の各年代で300名ずつ

(3) 調査方法及び調査実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査実施期間	令和4年11月29日～12月14日

(4) 回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率(%)
宮代町に住む18歳以上の男女	1,800人	753人	41.8%

(5) 分析・表示について

- 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
- 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。

2-1 調査の概要

- 報告書中の文章やグラフにおいて、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合があります。
- グラフの（n：〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- クロス集計表の上段は実数、下段は合計に対する割合を表しています。
- クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。

2-2 調査の結果

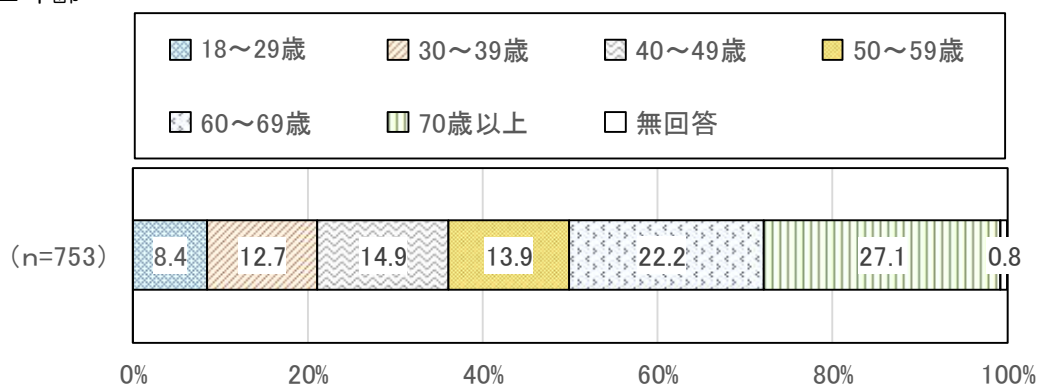
① あなたご自身について

問1 年齢

問1 令和4年11月1日現在の、あなたの年齢はいくつですか。(1つに○)

回答者全体では、「70歳以上」(27.1%)が最も多く、次いで「60～69歳」(22.2%)、「40～49歳」(14.9%)、「50～59歳」(13.9%)、「30～39歳」(12.7%)、「18～29歳」(8.4%)で、60歳以上がおよそ5割となっています。

■年齢

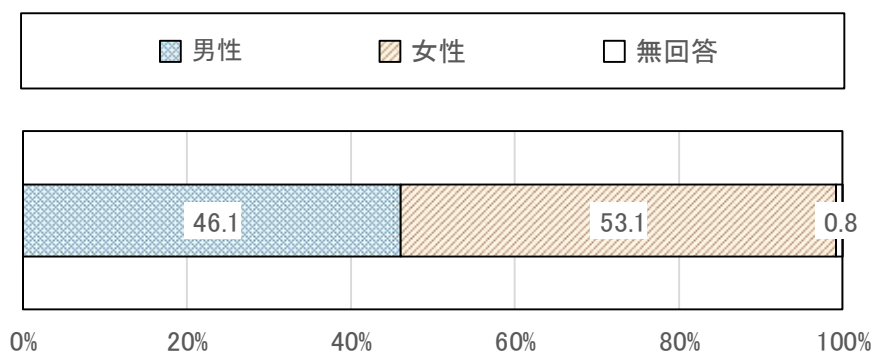


問2 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

回答者全体では、「男性」が46.1%、「女性」が53.1%となっており、女性が男性を上回っています。

■性別



2-2 調査の結果

■年齢と性別のクロス集計

年齢別・性別の割合をみると、いずれの年齢でも女性のほうが多くなっています。

		合計	男性	女性	無回答
全体		753	347	400	6
		100.0	46.1	53.1	0.8
年齢別	18～29歳	63	29	34	-
		100.0	46.0	54.0	-
	30～39歳	96	44	52	-
		100.0	45.8	54.2	-
	40～49歳	112	53	59	-
		100.0	47.3	52.7	-
	50～59歳	105	46	59	-
	100.0	43.8	56.2	-	
60～69歳	168	78	89	1	
	100.0	46.4	53.0	0.6	
70歳以上	205	97	107	1	
	100.0	47.3	52.2	0.5	

問3 住んでいる学区

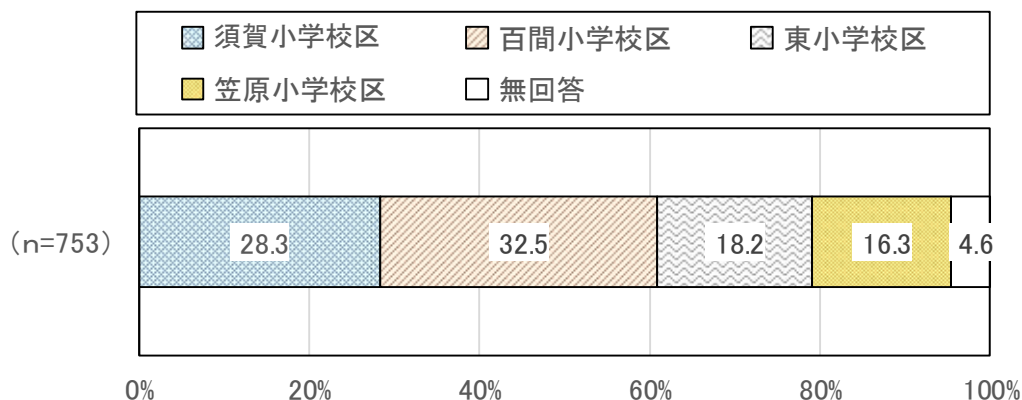
問3 どの小学校区にお住まいですか。(1つに〇)

回答者全体では、「百間小学校区」(32.5%)が最も多く、次いで「須賀小学校区」(28.3%)、「東小学校区」(18.2%)、「笠原小学校区」(16.3%)となっています。

年齢別に割合をみると、18～39歳は「笠原小学校区」が、30～39歳は東小学校区が、40歳以上の年齢では「百間小学校区」が、それぞれ最も多くなっています。

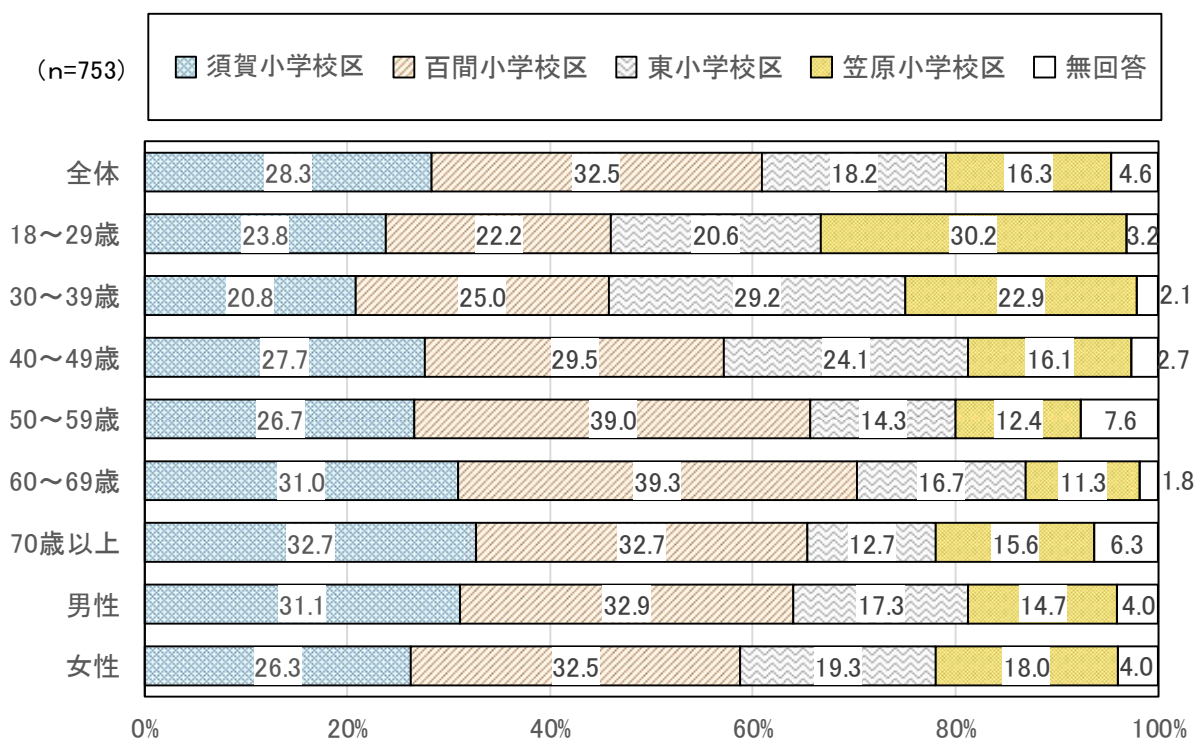
また、性別でみると、男女ともに「百間小学校区」が最も多くなっています。

■学区



■年齢別・性別クロス集計

		合計	須賀小学校区	百間小学校区	東小学校区	笠原小学校区	無回答
全体		753 100.0	213 28.3	245 32.5	137 18.2	123 16.3	35 4.6
年齢別	18～29歳	63 100.0	15 23.8	14 22.2	13 20.6	19 30.2	2 3.2
	30～39歳	96 100.0	20 20.8	24 25.0	28 29.2	22 22.9	2 2.1
	40～49歳	112 100.0	31 27.7	33 29.5	27 24.1	18 16.1	3 2.7
	50～59歳	105 100.0	28 26.7	41 39.0	15 14.3	13 12.4	8 7.6
	60～69歳	168 100.0	52 31.0	66 39.3	28 16.7	19 11.3	3 1.8
	70歳以上	205 100.0	67 32.7	67 32.7	26 12.7	32 15.6	13 6.3
性別	男性	347 100.0	108 31.1	114 32.9	60 17.3	51 14.7	14 4.0
	女性	400 100.0	105 26.3	130 32.5	77 19.3	72 18.0	16 4.0



2-2 調査の結果

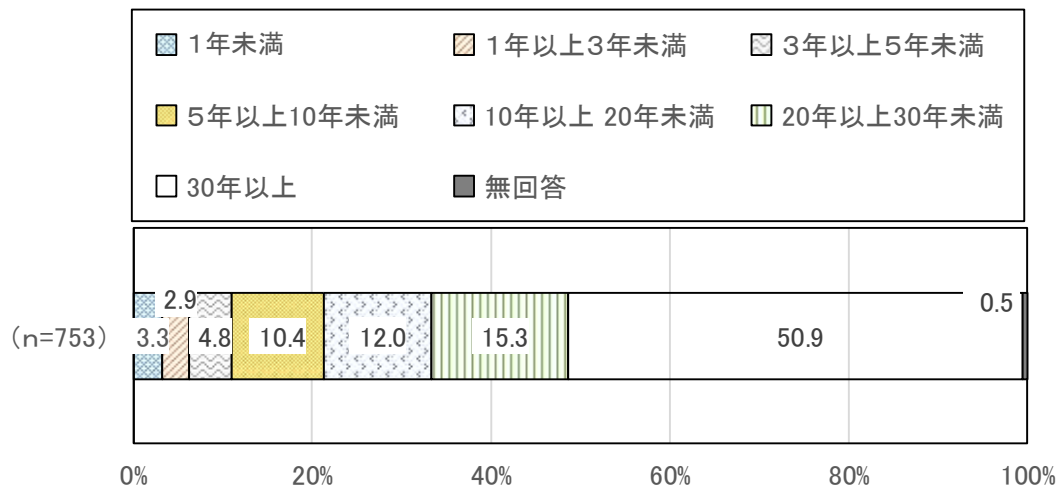
問4 居住年数

問4 宮代町に住んで何年になりますか。(1つに○)

回答者全体では、「30年以上」(50.9%)が最も多く、次いで「20年以上30年未満」(15.3%)、「10年以上20年未満」(12.0%)、「5年以上10年未満」(10.4%)となっています。10年以上住んでいる方が、回答者の約8割となっています。

年齢別の割合をみると、年齢別では18~29歳が「20年以上30年未満」、30~39歳が「5年以上10年未満」、40歳代以上は「30年以上」が最も多くなっています。

■居住年数



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答
全体		753	25	22	36	78	90	115	383	4
		100.0	3.3	2.9	4.8	10.4	12.0	15.3	50.9	0.5
年齢別	18~29歳	63	7	8	4	5	17	21	1	-
		100.0	11.1	12.7	6.3	7.9	27.0	33.3	1.6	-
	30~39歳	96	6	7	16	32	7	13	15	-
		100.0	6.3	7.3	16.7	33.3	7.3	13.5	15.6	-
	40~49歳	112	4	1	6	22	30	19	30	-
		100.0	3.6	0.9	5.4	19.6	26.8	17.0	26.8	-
	50~59歳	105	5	3	5	8	19	25	40	-
	100.0	4.8	2.9	4.8	7.6	18.1	23.8	38.1	-	
60~69歳	168	1	2	5	3	15	16	126	-	
	100.0	0.6	1.2	3.0	1.8	8.9	9.5	75.0	-	
70歳以上	205	2	1	-	8	2	21	171	-	
	100.0	1.0	0.5	-	3.9	1.0	10.2	83.4	-	
性別	男性	347	6	7	15	28	48	55	188	-
		100.0	1.7	2.0	4.3	8.1	13.8	15.9	54.2	-
	女性	400	18	15	21	50	42	60	194	-
		100.0	4.5	3.8	5.3	12.5	10.5	15.0	48.5	-
小学校区別	須賀小学校区	213	3	4	9	20	27	33	117	-
		100.0	1.4	1.9	4.2	9.4	12.7	15.5	54.9	-
	百間小学校区	245	5	4	8	12	33	45	138	-
		100.0	2.0	1.6	3.3	4.9	13.5	18.4	56.3	-
	東小学校区	137	5	4	7	25	15	15	66	-
	100.0	3.6	2.9	5.1	18.2	10.9	10.9	48.2	-	
笠原小学校区	123	8	7	9	15	13	17	54	-	
	100.0	6.5	5.7	7.3	12.2	10.6	13.8	43.9	-	

問5 職業

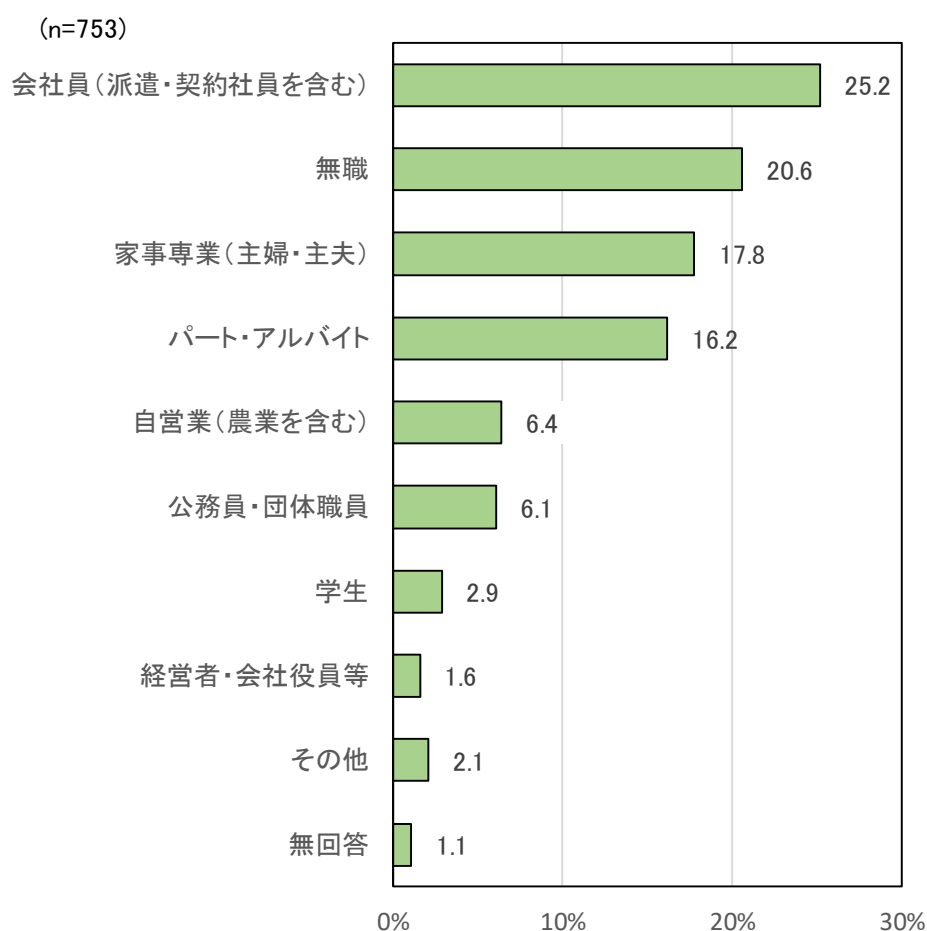
問5 あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

回答者全体では、「会社員（派遣・契約社員を含む）」（25.2%）が最も多く、次いで「無職」（20.6%）、「家事専業（主婦・主夫）」（17.8%）、「パート・アルバイト」（16.2%）、「自営業」（6.4%）、「公務員・団体職員」（6.1%）となっています。

年齢別の割合をみると、50代までは「会社員（派遣・契約社員を含む）」が、60～69歳は「家事専業（主婦・主夫）」が、70歳以上は「無職」が最も多くなっています。

小学校区別の割合をみると、須賀小学校区で「無職」が最も多くなっています。

■職業



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	会社員（派遣・契約社員）	経営者・会社役員等	自営業（農業を含む）	公務員・団体職員	パート・アルバイト
全体		753 100.0	190 25.2	12 1.6	48 6.4	46 6.1	122 16.2
年齢別	18～29歳	63 100.0	21 33.3	- -	2 3.2	5 7.9	10 15.9
	30～39歳	96 100.0	41 42.7	- -	2 2.1	13 13.5	26 27.1
	40～49歳	112 100.0	47 42.0	- -	8 7.1	13 11.6	24 21.4
	50～59歳	105 100.0	50 47.6	1 1.0	4 3.8	7 6.7	22 21.0
	60～69歳	168 100.0	28 16.7	7 4.2	24 14.3	8 4.8	30 17.9
	70歳以上	205 100.0	3 1.5	4 2.0	8 3.9	- -	10 4.9
	性別	男性	347 100.0	138 39.8	11 3.2	33 9.5	22 6.3
女性		400 100.0	52 13.0	1 0.3	15 3.8	24 6.0	98 24.5
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	42 19.7	4 1.9	14 6.6	10 4.7	32 15.0
	百間小学校区	245 100.0	66 26.9	3 1.2	17 6.9	13 5.3	44 18.0
	東小学校区	137 100.0	44 32.1	2 1.5	8 5.8	11 8.0	23 16.8
	笠原小学校区	123 100.0	32 26.0	2 1.6	8 6.5	11 8.9	19 15.4

		学生	無職	家事専業（主婦・主夫）	その他	無回答
全体		22 2.9	155 20.6	134 17.8	16 2.1	8 1.1
年齢別	18～29歳	21 33.3	3 4.8	1 1.6	- -	- -
	30～39歳	1 1.0	4 4.2	8 8.3	- -	1 1.0
	40～49歳	- -	6 5.4	8 7.1	5 4.5	1 0.9
	50～59歳	- -	7 6.7	10 9.5	3 2.9	1 1.0
	60～69歳	- -	26 15.5	40 23.8	4 2.4	1 0.6
	70歳以上	- -	109 53.2	67 32.7	4 2.0	- -
	性別	男性	13 3.7	95 27.4	1 0.3	9 2.6
女性		9 2.3	58 14.5	133 33.3	7 1.8	3 0.8
小学校区別	須賀小学校区	7 3.3	54 25.4	41 19.2	8 3.8	1 0.5
	百間小学校区	8 3.3	55 22.4	36 14.7	3 1.2	- -
	東小学校区	3 2.2	14 10.2	29 21.2	2 1.5	1 0.7
	笠原小学校区	3 2.4	21 17.1	23 18.7	3 2.4	1 0.8

問6 世帯構成

問6 現在の世帯構成は次のうちどれですか。(1つに○)

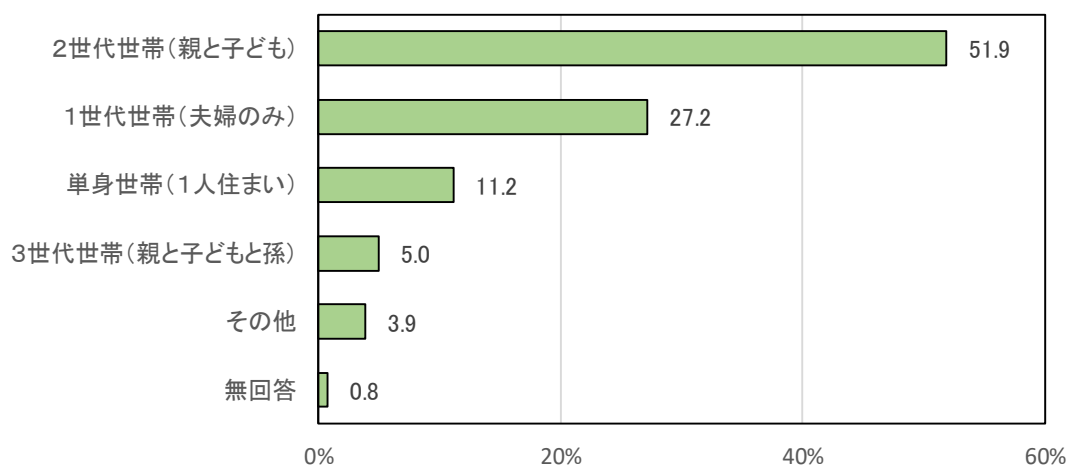
回答者全体では、「2世代世帯(親と子ども)」(51.9%)が最も多く、次いで「1世代世帯(夫婦のみ)」(27.2%)、「単身世帯(1人住まい)」(11.2%)、「3世代世帯(親と子どもと孫)」(5.0%)となっています。

年齢別の割合をみると、59歳までの年齢は「2世代世帯(親と子ども)」が最も多く、60歳より上の年齢では「1世代世帯(夫婦のみ)」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、いずれの学区でも「2世代世帯(親と子ども)」が最も多くなっています。

■世帯構成

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	単身世帯(1人 住まい)	1世代世帯(夫 婦のみ)	2世代世帯(親 と子ども)	3世代世帯(親 と子どもと孫)	その他	無回答
全体		753 100.0	84 11.2	205 27.2	391 51.9	38 5.0	29 3.9	6 0.8
年 令 別	18~29歳	63 100.0	6 9.5	5 7.9	42 66.7	3 4.8	6 9.5	1 1.6
	30~39歳	96 100.0	8 8.3	13 13.5	69 71.9	3 3.1	3 3.1	-
	40~49歳	112 100.0	7 6.3	14 12.5	86 76.8	2 1.8	3 2.7	-
	50~59歳	105 100.0	12 11.4	20 19.0	60 57.1	7 6.7	6 5.7	-
	60~69歳	168 100.0	22 13.1	70 41.7	59 35.1	11 6.5	6 3.6	-
	70歳以上	205 100.0	29 14.1	83 40.5	75 36.6	12 5.9	5 2.4	1 0.5
	性 別	男性	347 100.0	43 12.4	98 28.2	182 52.4	12 3.5	11 3.2
女性		400 100.0	40 10.0	106 26.5	209 52.3	26 6.5	18 4.5	1 0.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	23 10.8	64 30.0	104 48.8	10 4.7	11 5.2	1 0.5
	百間小学校区	245 100.0	27 11.0	61 24.9	133 54.3	15 6.1	8 3.3	1 0.4
	東小学校区	137 100.0	11 8.0	40 29.2	77 56.2	6 4.4	3 2.2	-
	笠原小学校区	123 100.0	13 10.6	32 26.0	67 54.5	6 4.9	5 4.1	-

② 地域のつながりについて

問7 地域のつながりを深める上で重要な機会

問7 あなたが、地域の人とのつながりを深める上で重要な機会となっていると思うものは何ですか。(すべてに〇)

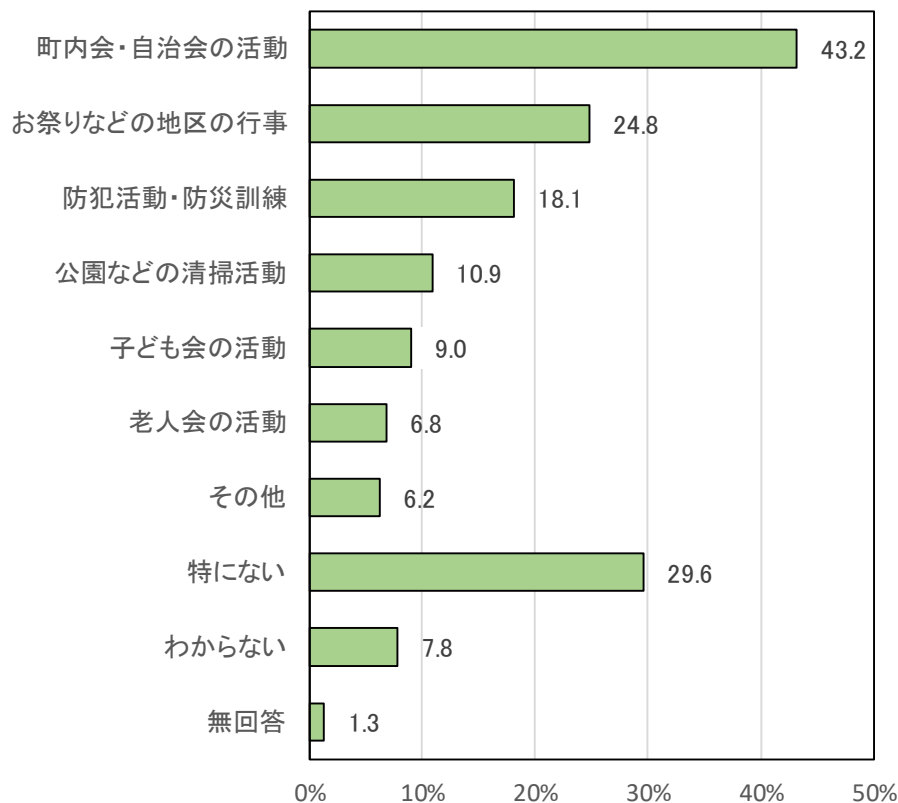
回答者全体では、「町内会・自治会の活動」(43.2%)が最も多く、次いで「お祭りなどの地区の行事」(24.8%)、「防犯活動・防災訓練」(18.1%)、「公園などの清掃活動」(10.9%)、「子ども会の活動」(9.0%)、「老人会の活動」(6.8%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳は「お祭りなどの地区の行事」、30代・40代は「特になし」、50代以上は「町内会・自治会の活動」というように、年齢によって最も多い回答が分かれています。

小学校区別では、どの学区でも「町内会・自治会の活動」が最も多くなっています。

■地域のつながりを深める上で重要な機会

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	町内会・自治会の活動	子ども会の活動	老人会の活動	お祭りなどの地区の行事	公園などの清掃活動
全体		753 100.0	325 43.2	68 9.0	51 6.8	187 24.8	82 10.9
年齢別	18～29歳	63 100.0	12 19.0	6 9.5	2 3.2	23 36.5	2 3.2
	30～39歳	96 100.0	17 17.7	13 13.5	3 3.1	27 28.1	8 8.3
	40～49歳	112 100.0	32 28.6	15 13.4	4 3.6	27 24.1	12 10.7
	50～59歳	105 100.0	43 41.0	11 10.5	2 1.9	25 23.8	14 13.3
	60～69歳	168 100.0	96 57.1	13 7.7	7 4.2	42 25.0	17 10.1
	70歳以上	205 100.0	125 61.0	10 4.9	33 16.1	43 21.0	29 14.1
	性別	男性	347 100.0	155 44.7	28 8.1	21 6.1	84 24.2
女性		400 100.0	169 42.3	40 10.0	30 7.5	103 25.8	44 11.0
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	97 45.5	15 7.0	14 6.6	64 30.0	32 15.0
	百間小学校区	245 100.0	109 44.5	16 6.5	19 7.8	48 19.6	30 12.2
	東小学校区	137 100.0	60 43.8	20 14.6	8 5.8	41 29.9	10 7.3
	笠原小学校区	123 100.0	50 40.7	15 12.2	7 5.7	27 22.0	9 7.3

		防犯活動・防災訓練	その他	特にない	わからない	無回答
全体		136 18.1	47 6.2	223 29.6	59 7.8	10 1.3
年齢別	18～29歳	4 6.3	3 4.8	15 23.8	15 23.8	- -
	30～39歳	9 9.4	5 5.2	37 38.5	11 11.5	1 1.0
	40～49歳	19 17.0	6 5.4	40 35.7	8 7.1	- -
	50～59歳	17 16.2	4 3.8	39 37.1	11 10.5	1 1.0
	60～69歳	40 23.8	9 5.4	43 25.6	6 3.6	2 1.2
	70歳以上	47 22.9	20 9.8	49 23.9	8 3.9	2 1.0
	性別	男性	60 17.3	21 6.1	106 30.5	24 6.9
女性		75 18.8	26 6.5	117 29.3	35 8.8	6 1.5
小学校区別	須賀小学校区	38 17.8	13 6.1	58 27.2	11 5.2	3 1.4
	百間小学校区	47 19.2	13 5.3	81 33.1	21 8.6	- -
	東小学校区	25 18.2	9 6.6	40 29.2	10 7.3	2 1.5
	笠原小学校区	20 16.3	12 9.8	31 25.2	14 11.4	1 0.8

2-2 調査の結果

問8 毎日の暮らしで感じている不安

問8 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(すべてに○)

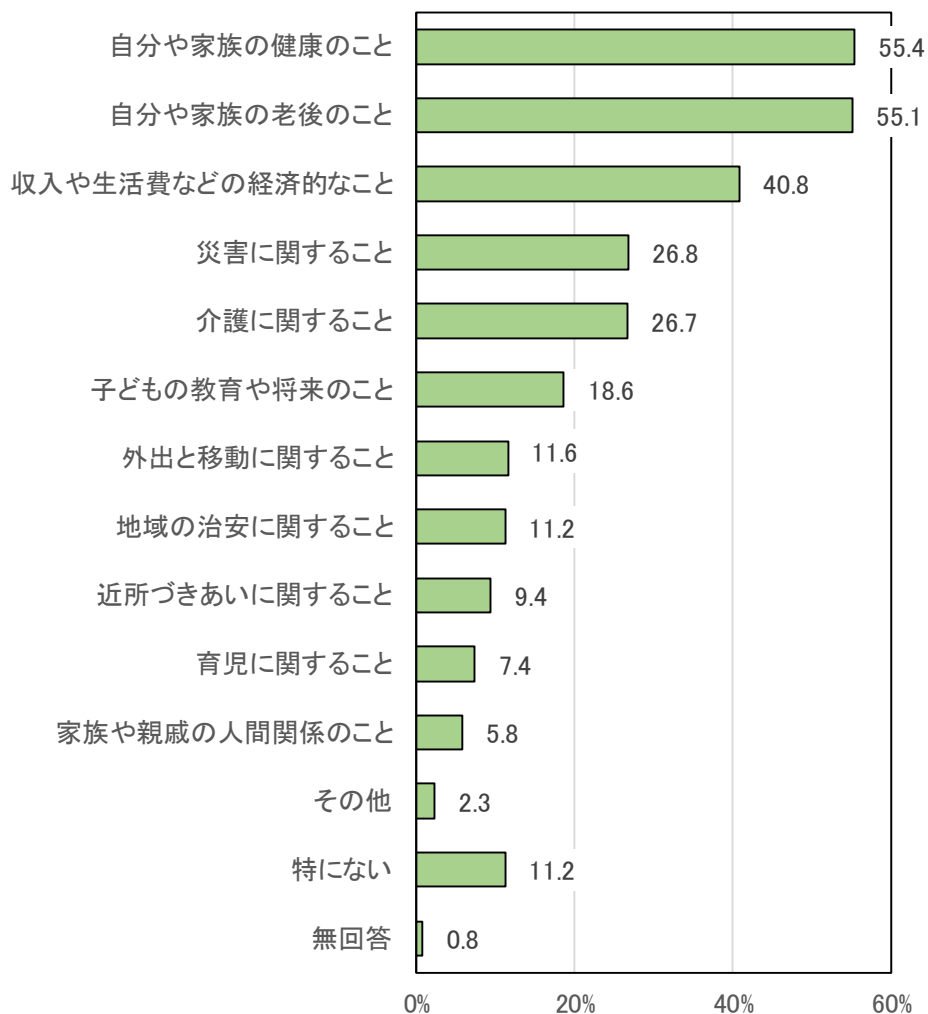
回答者全体では、「自分や家族の健康のこと」(55.4%)が最も多く、次いで「自分や家族の老後のこと」(55.1%)、「収入や生活費などの経済的なこと」(40.8%)、「災害に関すること」(26.8%)、「介護に関すること」(26.7%)、「子どもの教育や将来のこと」(18.6%)となっています。

年齢別の割合をみると、18~29歳は「収入や生活費などの経済的なこと」、30代・40代・50代は「自分や家族の老後のこと」、60代以上は「自分や家族の健康のこと」というように、年齢ごとに最も多い回答が分かれています。

小学校区別では、どの学区でも「自分や家族の健康のこと」が最も多くなっています。

■毎日の暮らしで感じている不安

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	育児に関すること	子どもの教育や将来のこと	介護に関すること	収入や生活費などの経済的なこと	近所づきあいに関すること
全体		753 100.0	417 55.4	415 55.1	56 7.4	140 18.6	201 26.7	307 40.8	71 9.4
年齢別	18～29歳	63 100.0	26 41.3	22 34.9	7 11.1	11 17.5	6 9.5	32 50.8	2 3.2
	30～39歳	96 100.0	45 46.9	47 49.0	31 32.3	46 47.9	9 9.4	46 47.9	5 5.2
	40～49歳	112 100.0	63 56.3	67 59.8	11 9.8	49 43.8	23 20.5	56 50.0	12 10.7
	50～59歳	105 100.0	56 53.3	73 69.5	4 3.8	21 20.0	29 27.6	45 42.9	17 16.2
	60～69歳	168 100.0	101 60.1	98 58.3	1 0.6	7 4.2	53 31.5	67 39.9	16 9.5
	70歳以上	205 100.0	126 61.5	108 52.7	2 1.0	6 2.9	81 39.5	61 29.8	19 9.3
	性別	男性	347 100.0	189 54.5	187 53.9	22 6.3	63 18.2	93 26.8	147 42.4
女性		400 100.0	227 56.8	227 56.8	34 8.5	77 19.3	107 26.8	160 40.0	42 10.5
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	121 56.8	123 57.7	11 5.2	37 17.4	53 24.9	92 43.2	22 10.3
	百間小学校区	245 100.0	140 57.1	144 58.8	11 4.5	36 14.7	77 31.4	100 40.8	24 9.8
	東小学校区	137 100.0	76 55.5	75 54.7	15 10.9	35 25.5	31 22.6	54 39.4	13 9.5
	笠原小学校区	123 100.0	65 52.8	55 44.7	17 13.8	28 22.8	33 26.8	49 39.8	8 6.5

		家族や親戚の人間関係のこと	地域の治安に関すること	災害に関すること	外出と移動に関すること	その他	特にない	無回答
全体		44 5.8	84 11.2	202 26.8	87 11.6	17 2.3	84 11.2	6 0.8
年齢別	18～29歳	4 6.3	7 11.1	20 31.7	7 11.1	3 4.8	11 17.5	-
	30～39歳	6 6.3	14 14.6	23 24.0	6 6.3	2 2.1	10 10.4	-
	40～49歳	5 4.5	16 14.3	31 27.7	6 5.4	3 2.7	8 7.1	-
	50～59歳	11 10.5	14 13.3	29 27.6	10 9.5	2 1.9	10 9.5	1 1.0
	60～69歳	9 5.4	16 9.5	38 22.6	16 9.5	2 1.2	19 11.3	1 0.6
	70歳以上	9 4.4	17 8.3	61 29.8	42 20.5	5 2.4	26 12.7	-
	性別	男性	12 3.5	30 8.6	81 23.3	29 8.4	9 2.6	52 15.0
女性		32 8.0	54 13.5	120 30.0	58 14.5	8 2.0	32 8.0	1 0.3
小学校区別	須賀小学校区	12 5.6	24 11.3	56 26.3	31 14.6	2 0.9	22 10.3	1 0.5
	百間小学校区	16 6.5	25 10.2	71 29.0	30 12.2	5 2.0	26 10.6	-
	東小学校区	9 6.6	15 10.9	36 26.3	10 7.3	5 3.6	15 10.9	-
	笠原小学校区	7 5.7	13 10.6	31 25.2	10 8.1	4 3.3	15 12.2	1 0.8

2-2 調査の結果

問9 相談相手

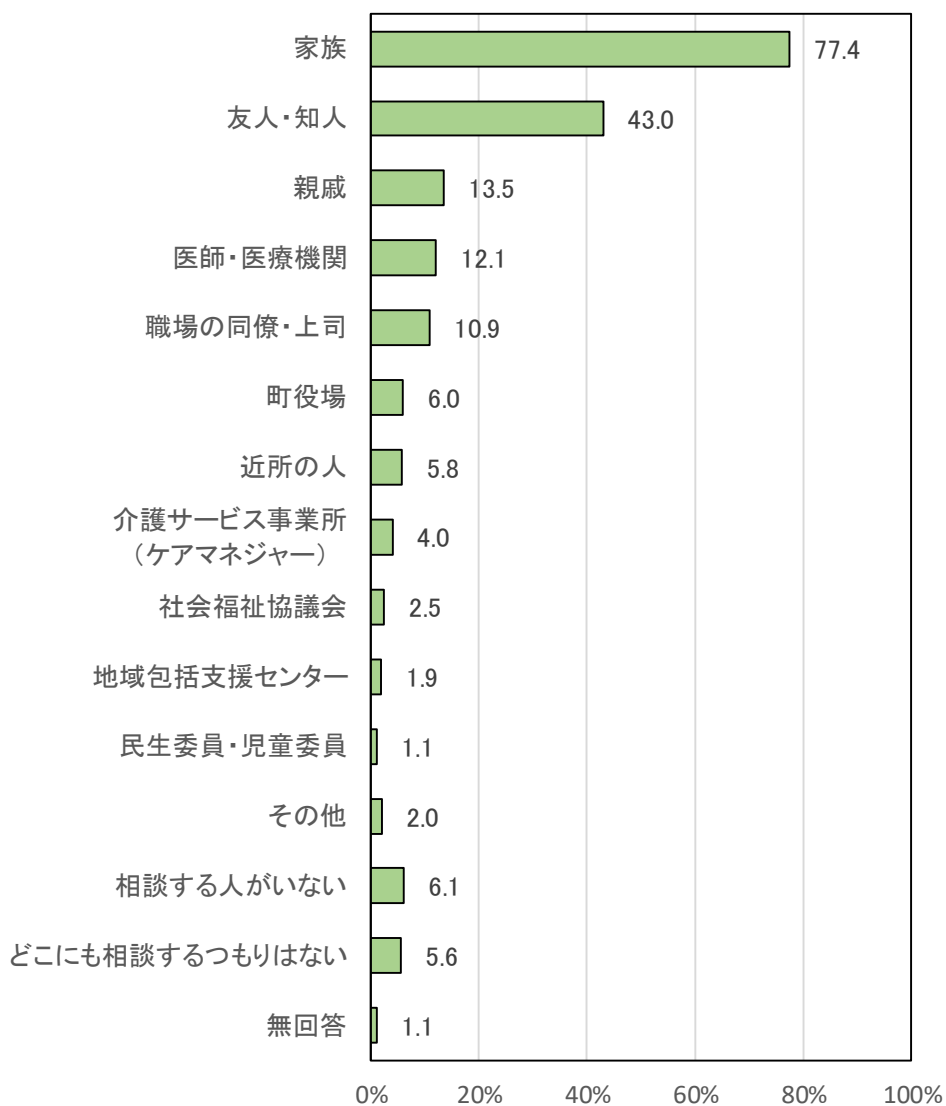
問9 あなたは日常生活で不安や悩みを、誰（どこ）に相談しますか。
(すべてに○)

回答者全体では、「家族」(77.4%)が最も多く、次いで「友人・知人」(43.0%)、「親戚」(13.5%)、「医師・医療機関」(12.1%)、「職場の同僚・上司」(10.9%)となっています。一方で、「相談する人がいない」(6.1%)や「どこにも相談するつもりはない」(5.6%)と答えた方もいました。

年齢別・性別・小学校区別のいずれも「家族」が最も多く、次いで「友人・知人」となっています。

■相談相手

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	家族	親戚	友人・知人	職場の同僚・上司	近所の人	民生委員・児童委員	医師・医療機関
全体		753 100.0	583 77.4	102 13.5	324 43.0	82 10.9	44 5.8	8 1.1	91 12.1
年齢別	18～29歳	63 100.0	46 73.0	4 6.3	44 69.8	11 17.5	1 1.6	- -	2 3.2
	30～39歳	96 100.0	79 82.3	6 6.3	49 51.0	22 22.9	3 3.1	1 1.0	5 5.2
	40～49歳	112 100.0	92 82.1	12 10.7	49 43.8	21 18.8	5 4.5	- -	5 4.5
	50～59歳	105 100.0	82 78.1	10 9.5	49 46.7	15 14.3	2 1.9	- -	12 11.4
	60～69歳	168 100.0	120 71.4	25 14.9	67 39.9	11 6.5	10 6.0	1 0.6	26 15.5
	70歳以上	205 100.0	164 80.0	45 22.0	66 32.2	2 1.0	23 11.2	6 2.9	41 20.0
	性別	男性	347 100.0	243 70.0	42 12.1	117 33.7	40 11.5	12 3.5	3 0.9
女性		400 100.0	339 84.8	59 14.8	206 51.5	42 10.5	32 8.0	5 1.3	50 12.5
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	171 80.3	36 16.9	91 42.7	20 9.4	13 6.1	1 0.5	37 17.4
	百間小学校区	245 100.0	186 75.9	35 14.3	107 43.7	28 11.4	14 5.7	5 2.0	23 9.4
	東小学校区	137 100.0	114 83.2	12 8.8	64 46.7	19 13.9	8 5.8	1 0.7	12 8.8
	笠原小学校区	123 100.0	95 77.2	15 12.2	53 43.1	13 10.6	7 5.7	1 0.8	17 13.8

		介護サービス事業所	社会福祉協議会	地域包括支援センター	町役場	その他	相談する人がいない	どこにも相談するつも	無回答
全体		30 4.0	19 2.5	14 1.9	45 6.0	15 2.0	46 6.1	42 5.6	8 1.1
年齢別	18～29歳	- -	1 1.6	- -	2 3.2	2 3.2	3 4.8	6 9.5	- -
	30～39歳	- -	- -	2 2.1	5 5.2	2 2.1	3 3.1	8 8.3	- -
	40～49歳	2 1.8	2 1.8	2 1.8	6 5.4	1 0.9	6 5.4	4 3.6	- -
	50～59歳	3 2.9	- -	- -	7 6.7	2 1.9	9 8.6	3 2.9	2 1.9
	60～69歳	7 4.2	6 3.6	2 1.2	10 6.0	3 1.8	16 9.5	12 7.1	- -
	70歳以上	18 8.8	10 4.9	8 3.9	15 7.3	5 2.4	9 4.4	9 4.4	2 1.0
	性別	男性	12 3.5	9 2.6	7 2.0	21 6.1	5 1.4	31 8.9	27 7.8
女性		18 4.5	10 2.5	7 1.8	24 6.0	10 2.5	15 3.8	15 3.8	- -
小学校区別	須賀小学校区	8 3.8	4 1.9	4 1.9	13 6.1	3 1.4	9 4.2	14 6.6	- -
	百間小学校区	13 5.3	8 3.3	5 2.0	17 6.9	6 2.4	22 9.0	17 6.9	- -
	東小学校区	2 1.5	- -	1 0.7	6 4.4	2 1.5	7 5.1	4 2.9	- -
	笠原小学校区	5 4.1	4 3.3	4 3.3	8 6.5	3 2.4	6 4.9	7 5.7	2 1.6

2-2 調査の結果

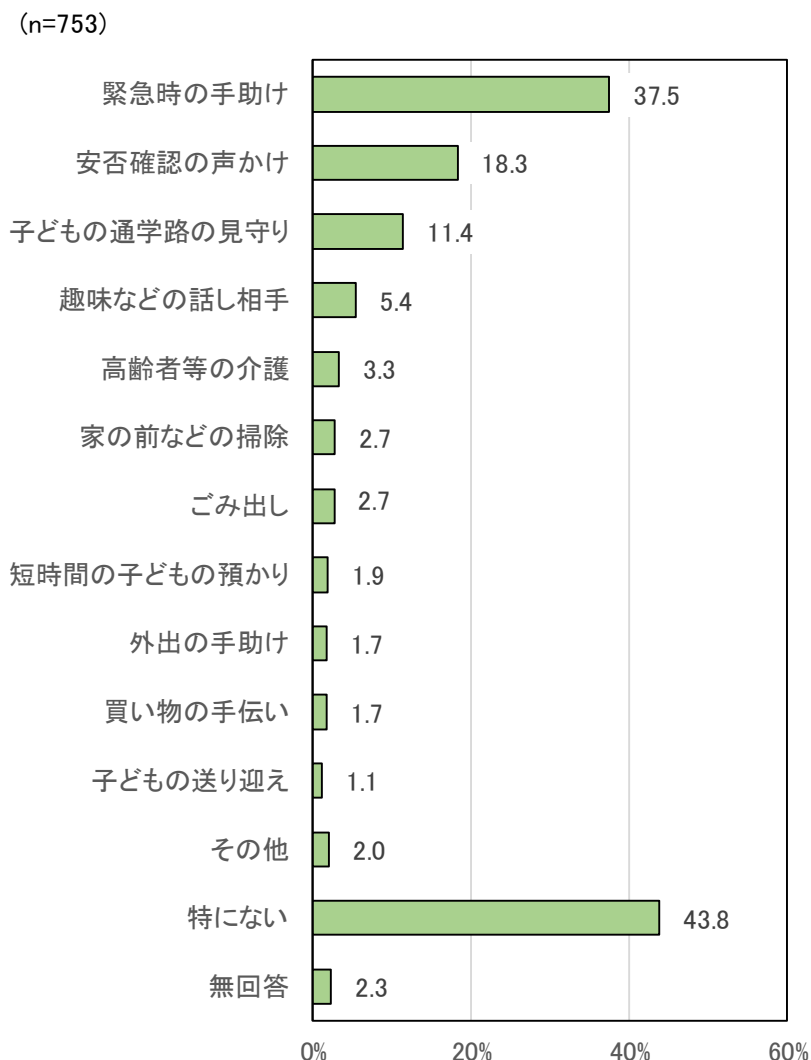
問10 近所の人にしてもらいたいこと

問10 あなたが近所の人にしてもらいたいことはどのようなことですか。
(すべてに○)

回答者全体では、「緊急時の手助け」(37.5%)が最も多く、次いで「安否確認の声かけ」(18.3%)、「子どもの通学路の見守り」(11.4%)、「趣味などの話し相手」(5.4%)、「高齢者等の介護」(3.3%)となっています。また、約4割の方が「特にない」と回答しています。

年齢別・性別・小学校区別のすべてにおいて「緊急時の手助け」が最も多くなっています。さらに細かく見ると、18~29歳と60~69歳、男性、百間小学校区と笠原小学校区においては、回答者全体(37.5%)より少ない割合となっています。

■近所の人にしてもらいたいこと



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	安否確認の 声かけ	趣味などの 話し相手	買い物の 手伝い	ごみ出し	外出の 手助け	家の前など の掃除	短時間の 子どもの預 かり
全体		753 100.0	138 18.3	41 5.4	13 1.7	20 2.7	13 1.7	20 2.7	14 1.9
年 令 別	18～29歳	63 100.0	8 12.7	3 4.8	2 3.2	2 3.2	- -	5 7.9	- -
	30～39歳	96 100.0	14 14.6	5 5.2	- -	1 1.0	- -	2 2.1	8 8.3
	40～49歳	112 100.0	19 17.0	2 1.8	3 2.7	3 2.7	4 3.6	- -	3 2.7
	50～59歳	105 100.0	18 17.1	7 6.7	- -	2 1.9	2 1.9	5 4.8	1 1.0
	60～69歳	168 100.0	23 13.7	4 2.4	1 0.6	4 2.4	2 1.2	3 1.8	- -
	70歳以上	205 100.0	56 27.3	19 9.3	7 3.4	8 3.9	5 2.4	5 2.4	2 1.0
	性 別	男性	347 100.0	60 17.3	16 4.6	4 1.2	14 4.0	6 1.7	14 4.0
女性		400 100.0	77 19.3	24 6.0	9 2.3	6 1.5	7 1.8	6 1.5	9 2.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	40 18.8	11 5.2	4 1.9	6 2.8	2 0.9	8 3.8	2 0.9
	百間小学校区	245 100.0	39 15.9	12 4.9	5 2.0	8 3.3	7 2.9	5 2.0	7 2.9
	東小学校区	137 100.0	24 17.5	11 8.0	1 0.7	3 2.2	2 1.5	3 2.2	3 2.2
	笠原小学校区	123 100.0	28 22.8	5 4.1	2 1.6	2 1.6	- -	3 2.4	2 1.6

		子どもの送 り迎え	子どもの 通学路の見 守り	高齢者等の 介護	緊急時の手 助け	その他	特にない	無回答
全体		8 1.1	86 11.4	25 3.3	282 37.5	15 2.0	330 43.8	17 2.3
年 令 別	18～29歳	1 1.6	7 11.1	2 3.2	18 28.6	- -	35 55.6	- -
	30～39歳	5 5.2	35 36.5	1 1.0	36 37.5	1 1.0	33 34.4	- -
	40～49歳	- -	23 20.5	3 2.7	49 43.8	3 2.7	41 36.6	- -
	50～59歳	- -	7 6.7	1 1.0	43 41.0	2 1.9	48 45.7	3 2.9
	60～69歳	- -	8 4.8	3 1.8	53 31.5	2 1.2	93 55.4	3 1.8
	70歳以上	2 1.0	5 2.4	14 6.8	83 40.5	7 3.4	79 38.5	10 4.9
	性 別	男性	4 1.2	37 10.7	16 4.6	123 35.4	6 1.7	160 46.1
女性		4 1.0	48 12.0	7 1.8	158 39.5	9 2.3	169 42.3	9 2.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	- -	20 9.4	5 2.3	80 37.6	6 2.8	89 41.8	5 2.3
	百間小学校区	5 2.0	19 7.8	11 4.5	90 36.7	1 0.4	115 46.9	5 2.0
	東小学校区	- -	27 19.7	4 2.9	56 40.9	5 3.6	54 39.4	- -
	笠原小学校区	3 2.4	17 13.8	4 3.3	42 34.1	2 1.6	61 49.6	4 3.3

2-2 調査の結果

問11 地域で問題と感じていること

問11 お住まいの地域で問題と感じていることはありますか。(すべてに○)

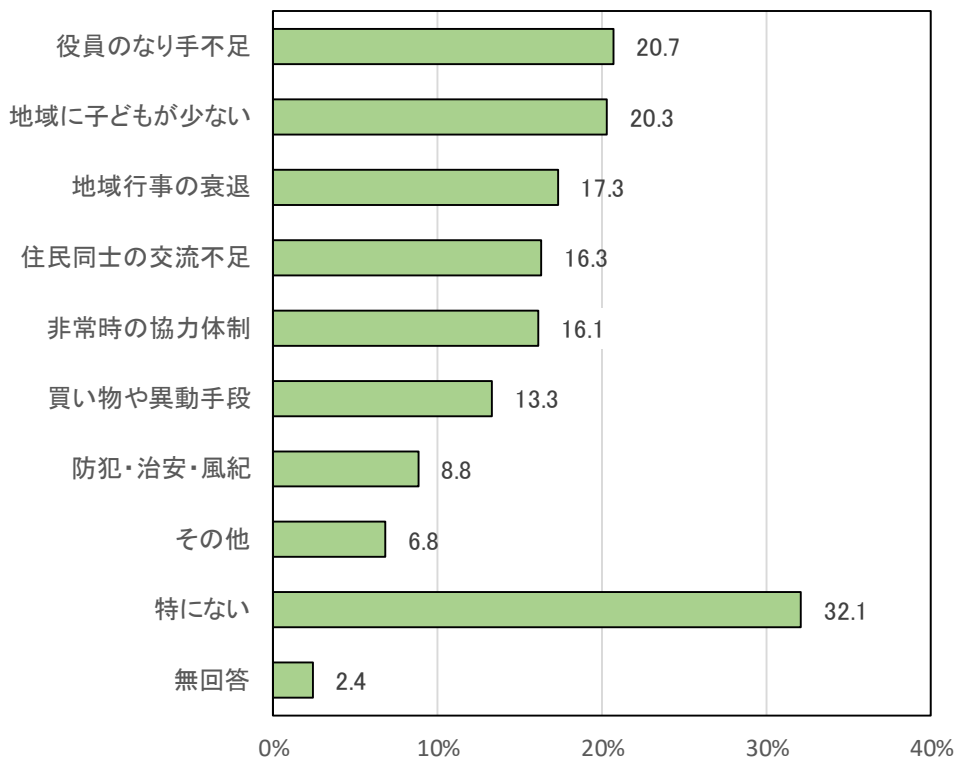
回答者全体では、「役員のなり手不足」(20.7%)が最も多く、次いで「地域に子どもが少ない」(20.3%)、「地域行事の衰退」(17.3%)、「住民同士の交流不足」(16.3%)、「非常時の協力体制」(16.1%)となっています。また、約3割の方が「特にない」と回答しています。

年齢別の割合をみると、18~29歳は「買い物や移動手段」、30代・40代は「地域に子どもが少ない」、50代・60代は「役員のなり手不足」、70歳以上は「役員のなり手不足」と「地域に子どもが少ない」が最も多くなっています。

小学校区別の割合をみると、須賀小学校区と百閒小学校区は「地域に子どもが少ない」、東小学校区は「役員のなり手不足」、笠原小学校区は「地域行事の衰退」が最も多くなっています。

■地域で問題と感じていること

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	地域行事の 衰退	役員のなり 手不足	住民同士の 交流不足	買い物や移 動手段	防犯・治 安・風紀
全体		753 100.0	130 17.3	156 20.7	123 16.3	100 13.3	66 8.8
年 令 別	18～29歳	63 100.0	7 11.1	1 1.6	2 3.2	10 15.9	4 6.3
	30～39歳	96 100.0	16 16.7	13 13.5	9 9.4	11 11.5	13 13.5
	40～49歳	112 100.0	15 13.4	21 18.8	20 17.9	15 13.4	10 8.9
	50～59歳	105 100.0	13 12.4	30 28.6	15 14.3	11 10.5	7 6.7
	60～69歳	168 100.0	26 15.5	38 22.6	34 20.2	21 12.5	11 6.5
	70歳以上	205 100.0	51 24.9	52 25.4	41 20.0	32 15.6	20 9.8
性 別	男性	347 100.0	70 20.2	77 22.2	64 18.4	40 11.5	36 10.4
	女性	400 100.0	57 14.3	78 19.5	56 14.0	60 15.0	29 7.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	45 21.1	54 25.4	37 17.4	47 22.1	20 9.4
	百間小学校区	245 100.0	35 14.3	51 20.8	38 15.5	31 12.7	16 6.5
	東小学校区	137 100.0	22 16.1	33 24.1	26 19.0	7 5.1	17 12.4
	笠原小学校区	123 100.0	20 16.3	14 11.4	15 12.2	12 9.8	9 7.3

		非常時の協 力体制	地域に子ど もが少ない	その他	特にない	無回答
全体		121 16.1	153 20.3	51 6.8	242 32.1	18 2.4
年 令 別	18～29歳	7 11.1	9 14.3	6 9.5	30 47.6	1 1.6
	30～39歳	12 12.5	19 19.8	10 10.4	38 39.6	- -
	40～49歳	13 11.6	22 19.6	6 5.4	35 31.3	- -
	50～59歳	16 15.2	16 15.2	11 10.5	33 31.4	3 2.9
	60～69歳	29 17.3	34 20.2	9 5.4	54 32.1	3 1.8
	70歳以上	43 21.0	52 25.4	9 4.4	52 25.4	10 4.9
性 別	男性	53 15.3	74 21.3	18 5.2	119 34.3	4 1.2
	女性	67 16.8	77 19.3	33 8.3	123 30.8	13 3.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	29 13.6	56 26.3	17 8.0	54 25.4	7 3.3
	百間小学校区	46 18.8	60 24.5	10 4.1	76 31.0	5 2.0
	東小学校区	30 21.9	13 9.5	7 5.1	48 35.0	1 0.7
	笠原小学校区	14 11.4	19 15.4	12 9.8	53 43.1	1 0.8

2-2 調査の結果

問12 地域活動への参加状況

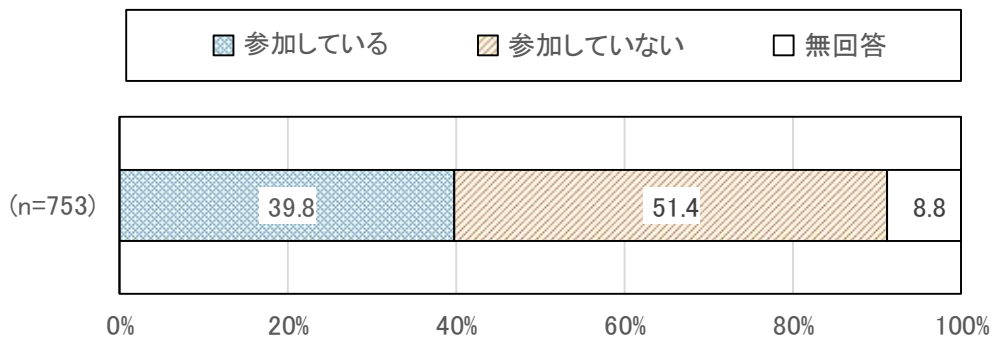
問 12 あなたは、地域活動（町内会・自治会、子ども会など、主にあなたのお住まいの地域を対象とした活動）に参加していますか。（1つだけに○）

回答者全体では、「参加している」が39.8%に対して「参加していない」が51.4%と、11.6ポイント多くなっています。

年齢別の割合をみると、60～69歳は「参加している」が「参加していない」を10ポイント以上上回っていますが、ほかの年齢はすべて「参加していない」が「参加している」を上回っています。

小学校区別の割合は、須賀小学校区で「参加している」が「参加していない」を上回っています。

■地域活動への参加状況



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	参加している	参加していない	無回答
全体		753 100.0	300 39.8	387 51.4	66 8.8
年齢別	18～29歳	63 100.0	11 17.5	49 77.8	3 4.8
	30～39歳	96 100.0	26 27.1	63 65.6	7 7.3
	40～49歳	112 100.0	41 36.6	62 55.4	9 8.0
	50～59歳	105 100.0	46 43.8	52 49.5	7 6.7
	60～69歳	168 100.0	91 54.2	70 41.7	7 4.2
	70歳以上	205 100.0	84 41.0	90 43.9	31 15.1
	性別	男性	347 100.0	137 39.5	191 55.0
女性		400 100.0	162 40.5	194 48.5	44 11.0
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	101 47.4	93 43.7	19 8.9
	百間小学校区	245 100.0	100 40.8	124 50.6	21 8.6
	東小学校区	137 100.0	57 41.6	69 50.4	11 8.0
	笠原小学校区	123 100.0	36 29.3	77 62.6	10 8.1

※地域活動に「1. 参加している」方にお聞きします

問 12-1 あなたは、どのような地域活動に参加していますか。(すべてに○)

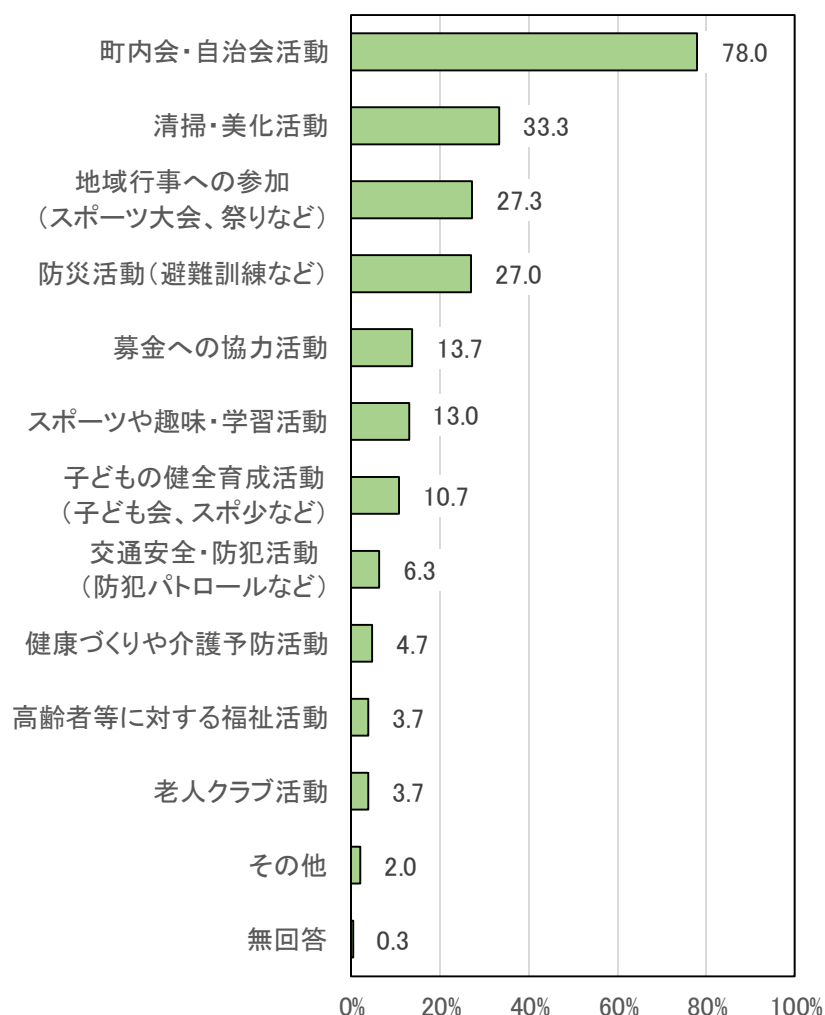
回答者全体では、「町内会・自治会活動」(78.0%)が最も多く、次いで「清掃・美化活動」(33.3%)、「地域行事への参加(スポーツ大会、祭りなど)」(27.3%)、「防災活動(避難訓練など)」(27.0%)、「募金への協力活動」(13.7%)となっています。

年齢別の割合をみると、18~29歳は「清掃・美化活動」が最も多く、30代より上の年齢は「町内会・自治会活動」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、いずれの学区でも「町内会・自治会活動」が最も多くなっています。

■地域活動への参加状況

(n=300)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	町内会・自治会活動	地域行事への参加（スポーツ大会、祭りなど）	防災活動（避難訓練など）	交通安全・防犯活動（防犯パトロールなど）	清掃・美化活動	子どもの健全育成活動（子ども会、スポ少など）
全体		300 100.0	234 78.0	82 27.3	81 27.0	19 6.3	100 33.3	32 10.7
年齢別	18～29歳	11 100.0	3 27.3	3 27.3	- -	1 9.1	4 36.4	2 18.2
	30～39歳	26 100.0	20 76.9	9 34.6	6 23.1	- -	4 15.4	5 19.2
	40～49歳	41 100.0	29 70.7	11 26.8	4 9.8	1 2.4	11 26.8	18 43.9
	50～59歳	46 100.0	40 87.0	10 21.7	13 28.3	1 2.2	17 37.0	4 8.7
	60～69歳	91 100.0	78 85.7	22 24.2	28 30.8	5 5.5	32 35.2	1 1.1
	70歳以上	84 100.0	63 75.0	26 31.0	30 35.7	11 13.1	32 38.1	2 2.4
	性別	男性	137 100.0	106 77.4	42 30.7	40 29.2	16 11.7	47 34.3
女性		162 100.0	127 78.4	39 24.1	41 25.3	3 1.9	53 32.7	19 11.7
小学校区別	須賀小学校区	101 100.0	70 69.3	34 33.7	25 24.8	6 5.9	42 41.6	9 8.9
	百間小学校区	100 100.0	84 84.0	21 21.0	28 28.0	6 6.0	33 33.0	10 10.0
	東小学校区	57 100.0	46 80.7	13 22.8	20 35.1	3 5.3	18 31.6	9 15.8
	笠原小学校区	36 100.0	29 80.6	12 33.3	6 16.7	3 8.3	6 16.7	4 11.1

		老人クラブ活動	募金への協力活動	スポーツや趣味・学習活動	健康づくりや介護予防活動	高齢者等に対する福祉活動	その他	無回答
全体		11 3.7	41 13.7	39 13.0	14 4.7	11 3.7	6 2.0	1 0.3
年齢別	18～29歳	- -	1 9.1	- -	- -	1 9.1	- -	- -
	30～39歳	- -	1 3.8	- -	- -	1 3.8	- -	- -
	40～49歳	- -	2 4.9	4 9.8	- -	- -	- -	- -
	50～59歳	- -	3 6.5	3 6.5	- -	- -	- -	- -
	60～69歳	1 1.1	14 15.4	11 12.1	6 6.6	3 3.3	2 2.2	- -
	70歳以上	10 11.9	20 23.8	20 23.8	8 9.5	6 7.1	4 4.8	1 1.2
	性別	男性	6 4.4	13 9.5	19 13.9	5 3.6	3 2.2	3 2.2
女性		5 3.1	28 17.3	19 11.7	9 5.6	8 4.9	3 1.9	- -
小学校区別	須賀小学校区	2 2.0	11 10.9	10 9.9	6 5.9	4 4.0	3 3.0	1 1.0
	百間小学校区	6 6.0	13 13.0	19 19.0	4 4.0	5 5.0	1 1.0	- -
	東小学校区	1 1.8	9 15.8	4 7.0	3 5.3	2 3.5	2 3.5	- -
	笠原小学校区	2 5.6	7 19.4	5 13.9	1 2.8	- -	- -	- -

問 12-2 あなたは、それらの地域活動にどの程度参加していますか。

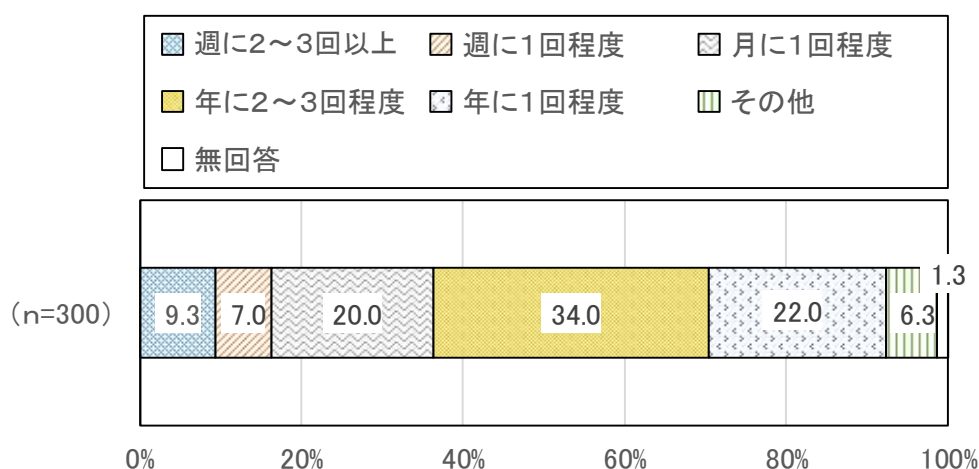
(1つだけに○)

回答者全体では、「年に2～3回程度」(34.0%)が最も多く、次いで「年に1回程度」(22.0%)、「月に1回程度」(20.0%)、「週に2～3回以上」(9.3%)、「週に1回程度」(7.0%)となっています。

年齢別の割合をみると、いずれの年齢でも「年に2～3回程度」が最も多く、特に50代と60代では4割以上となっています。

小学校区別の割合は、いずれの学区でも「年に2～3回程度」が最も多くなっています。

■地域活動への参加頻度



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	週に2～3回	週に1回程度	月に1回程度	年に2～3回	年に1回程度	その他	無回答
全体		300 100.0	28 9.3	21 7.0	60 20.0	102 34.0	66 22.0	19 6.3	4 1.3
年齢別	18～29歳	11 100.0	1 9.1	-	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	-
	30～39歳	26 100.0	1 3.8	3 11.5	2 7.7	10 38.5	7 26.9	2 7.7	1 3.8
	40～49歳	41 100.0	7 17.1	2 4.9	7 17.1	12 29.3	11 26.8	2 4.9	-
	50～59歳	46 100.0	4 8.7	1 2.2	6 13.0	19 41.3	12 26.1	4 8.7	-
	60～69歳	91 100.0	2 2.2	6 6.6	21 23.1	37 40.7	19 20.9	5 5.5	1 1.1
	70歳以上	84 100.0	12 14.3	9 10.7	21 25.0	21 25.0	14 16.7	5 6.0	2 2.4
	性別	男性	137 100.0	13 9.5	8 5.8	32 23.4	47 34.3	27 19.7	10 7.3
女性		162 100.0	14 8.6	13 8.0	28 17.3	55 34.0	39 24.1	9 5.6	4 2.5
小学校区別	須賀小学校区	101 100.0	10 9.9	4 4.0	23 22.8	35 34.7	21 20.8	6 5.9	2 2.0
	百間小学校区	100 100.0	6 6.0	8 8.0	20 20.0	35 35.0	23 23.0	8 8.0	-
	東小学校区	57 100.0	4 7.0	5 8.8	13 22.8	16 28.1	16 28.1	2 3.5	1 1.8
	笠原小学校区	36 100.0	7 19.4	3 8.3	3 8.3	14 38.9	5 13.9	3 8.3	1 2.8

2-2 調査の結果

問 12-3 あなたが、地域活動に参加した理由は何ですか。(すべてに○)

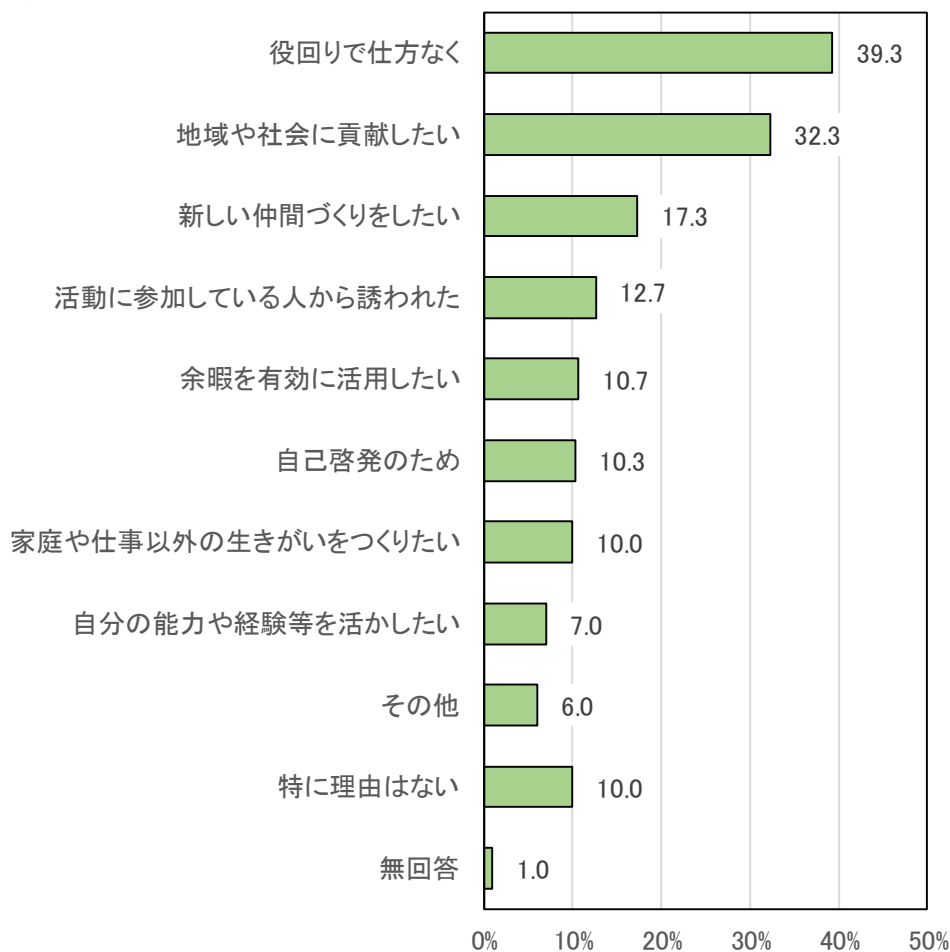
回答者全体では、「役回りで仕方なく」(39.3%)が最も多く、次いで「地域や社会に貢献したい」(32.3%)、「新しい仲間づくりをしたい」(17.3%)、「活動に参加している人から誘われた」(12.7%)、「余暇を有効に活用したい」(10.7%)となっています。

年齢別の割合をみると、18~29歳と70歳以上は「地域や社会に貢献したい」、30代・40代・50代・60代は「役回りで仕方なく」がそれぞれ最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「役回りで仕方なく」が最も多くなっています。

■地域活動に参加した理由

(n=300)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	地域や社会 に貢献した い	自分の能力 や経験等を 活かしたい	新しい仲間 づくりをし たい	余暇を有効 に活用した い	自己啓発の ため
全体		300 100.0	97 32.3	21 7.0	52 17.3	32 10.7	31 10.3
年 令 別	18～29歳	11 100.0	4 36.4	1 9.1	- -	2 18.2	1 9.1
	30～39歳	26 100.0	7 26.9	1 3.8	1 3.8	2 7.7	- -
	40～49歳	41 100.0	7 17.1	4 9.8	2 4.9	- -	2 4.9
	50～59歳	46 100.0	15 32.6	3 6.5	10 21.7	1 2.2	4 8.7
	60～69歳	91 100.0	33 36.3	2 2.2	11 12.1	9 9.9	8 8.8
	70歳以上	84 100.0	30 35.7	9 10.7	28 33.3	17 20.2	16 19.0
	性 別	男性	137 100.0	50 36.5	15 10.9	30 21.9	12 8.8
女性		162 100.0	46 28.4	5 3.1	22 13.6	19 11.7	18 11.1
小 学 校 区 別	須賀小学校区	101 100.0	31 30.7	6 5.9	20 19.8	10 9.9	8 7.9
	百間小学校区	100 100.0	34 34.0	7 7.0	18 18.0	13 13.0	13 13.0
	東小学校区	57 100.0	19 33.3	3 5.3	7 12.3	7 12.3	6 10.5
	笠原小学校区	36 100.0	11 30.6	4 11.1	6 16.7	1 2.8	4 11.1

		家庭や仕事 以外の生き がいをつく りたい	役回りで仕 方なく	活動に参加 している人か ら誘われた	その他	特に理由は ない	無回答
全体		30 10.0	118 39.3	38 12.7	18 6.0	30 10.0	3 1.0
年 令 別	18～29歳	- -	2 18.2	2 18.2	2 18.2	- -	- -
	30～39歳	1 3.8	12 46.2	4 15.4	2 7.7	3 11.5	- -
	40～49歳	3 7.3	19 46.3	4 9.8	4 9.8	4 9.8	- -
	50～59歳	3 6.5	23 50.0	5 10.9	1 2.2	3 6.5	- -
	60～69歳	8 8.8	42 46.2	10 11.0	3 3.3	11 12.1	1 1.1
	70歳以上	15 17.9	20 23.8	13 15.5	6 7.1	9 10.7	2 2.4
性 別	男性	13 9.5	58 42.3	17 12.4	9 6.6	13 9.5	3 2.2
	女性	17 10.5	60 37.0	21 13.0	9 5.6	17 10.5	- -
小 学 校 区 別	須賀小学校区	9 8.9	41 40.6	14 13.9	8 7.9	9 8.9	2 2.0
	百間小学校区	11 11.0	41 41.0	14 14.0	6 6.0	14 14.0	- -
	東小学校区	5 8.8	21 36.8	6 10.5	2 3.5	3 5.3	1 1.8
	笠原小学校区	5 13.9	13 36.1	3 8.3	2 5.6	3 8.3	- -

2-2 調査の結果

※地域活動に「2. 参加していない」方にお聞きします

問 12-4 あなたが、地域活動に参加していない理由は何ですか。
(すべてに○)

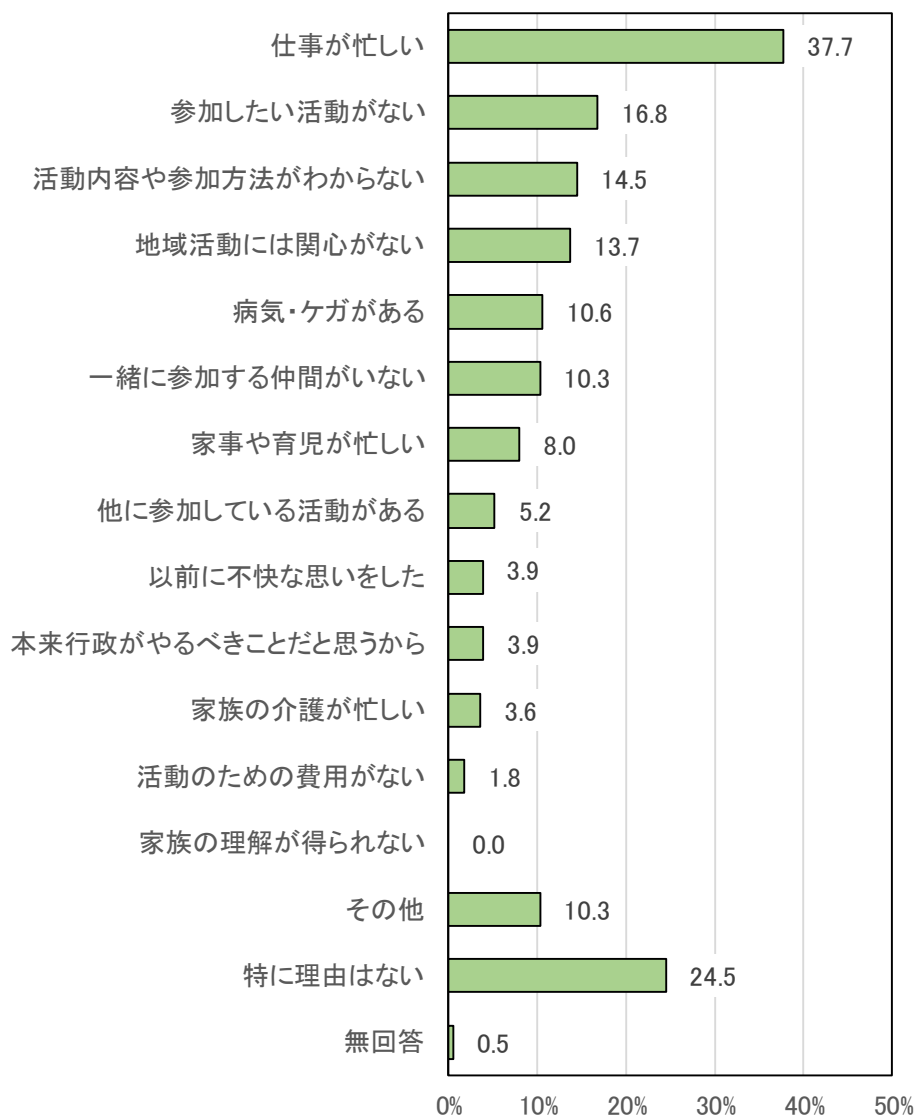
回答者全体では、「仕事が忙しい」(37.7%)が最も多く、次いで「参加したい活動がない」(16.8%)、「活動内容や参加方法がわからない」(14.5%)、「地域活動には関心がない」(13.7%)、「病気・ケガがある」(10.6%)となっています。

年齢別の割合をみると、70歳以上を除くすべての年齢で「仕事が忙しい」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「仕事が忙しい」が最も多くなっています。

■地域活動に参加していない理由

(n=387)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	参加したい活動がない	活動内容や参加方法がわからない	仕事が忙しい	家事や育児が忙しい	家族の介護が忙しい	他に参加している活動がある	家族の理解が得られない	活動のための費用がない
全体		387 100.0	65 16.8	56 14.5	146 37.7	31 8.0	14 3.6	20 5.2	-	7 1.8
年齢別	18～29歳	49 100.0	10 20.4	11 22.4	21 42.9	3 6.1	-	3 6.1	-	2 4.1
	30～39歳	63 100.0	12 19.0	15 23.8	26 41.3	10 15.9	-	3 4.8	-	1 1.6
	40～49歳	62 100.0	11 17.7	9 14.5	33 53.2	9 14.5	2 3.2	4 6.5	-	1 1.6
	50～59歳	52 100.0	7 13.5	9 17.3	30 57.7	5 9.6	7 13.5	2 3.8	-	2 3.8
	60～69歳	70 100.0	10 14.3	6 8.6	31 44.3	2 2.9	2 2.9	2 2.9	-	-
	70歳以上	90 100.0	14 15.6	6 6.7	5 5.6	2 2.2	3 3.3	6 6.7	-	1 1.1
	性別	男性	191 100.0	35 18.3	25 13.1	83 43.5	12 6.3	5 2.6	9 4.7	-
女性		194 100.0	28 14.4	31 16.0	63 32.5	19 9.8	9 4.6	11 5.7	-	4 2.1
小学校区別	須賀小学校区	93 100.0	15 16.1	8 8.6	31 33.3	6 6.5	4 4.3	3 3.2	-	-
	百間小学校区	124 100.0	23 18.5	13 10.5	48 38.7	4 3.2	5 4.0	7 5.6	-	4 3.2
	東小学校区	69 100.0	10 14.5	11 15.9	31 44.9	11 15.9	4 5.8	3 4.3	-	-
	笠原小学校区	77 100.0	12 15.6	20 26.0	30 39.0	10 13.0	-	6 7.8	-	2 2.6

		病気・ケガがある	地域活動には関心がない	一緒に参加する仲間がない	本来行政がやるべきことだと思うから	以前に不快な思いをした	その他	特に理由はない	無回答
全体		41 10.6	53 13.7	40 10.3	15 3.9	15 3.9	40 10.3	95 24.5	2 0.5
年齢別	18～29歳	1 2.0	9 18.4	5 10.2	3 6.1	-	4 8.2	15 30.6	-
	30～39歳	1 1.6	16 25.4	7 11.1	-	1 1.6	5 7.9	16 25.4	-
	40～49歳	5 8.1	8 12.9	6 9.7	3 4.8	3 4.8	6 9.7	9 14.5	-
	50～59歳	4 7.7	6 11.5	6 11.5	2 3.8	4 7.7	8 15.4	8 15.4	-
	60～69歳	9 12.9	7 10.0	5 7.1	3 4.3	4 5.7	6 8.6	20 28.6	-
	70歳以上	21 23.3	7 7.8	11 12.2	4 4.4	3 3.3	11 12.2	27 30.0	2 2.2
	性別	男性	12 6.3	27 14.1	18 9.4	10 5.2	10 5.2	21 11.0	50 26.2
女性		29 14.9	26 13.4	22 11.3	5 2.6	5 2.6	19 9.8	45 23.2	1 0.5
小学校区別	須賀小学校区	10 10.8	9 9.7	9 9.7	3 3.2	5 5.4	11 11.8	22 23.7	1 1.1
	百間小学校区	16 12.9	25 20.2	12 9.7	6 4.8	6 4.8	14 11.3	33 26.6	1 0.8
	東小学校区	4 5.8	9 13.0	11 15.9	2 2.9	3 4.3	8 11.6	12 17.4	-
	笠原小学校区	7 9.1	9 11.7	5 6.5	-	-	3 3.9	24 31.2	-

2-2 調査の結果

問13 地域活動への参加意向

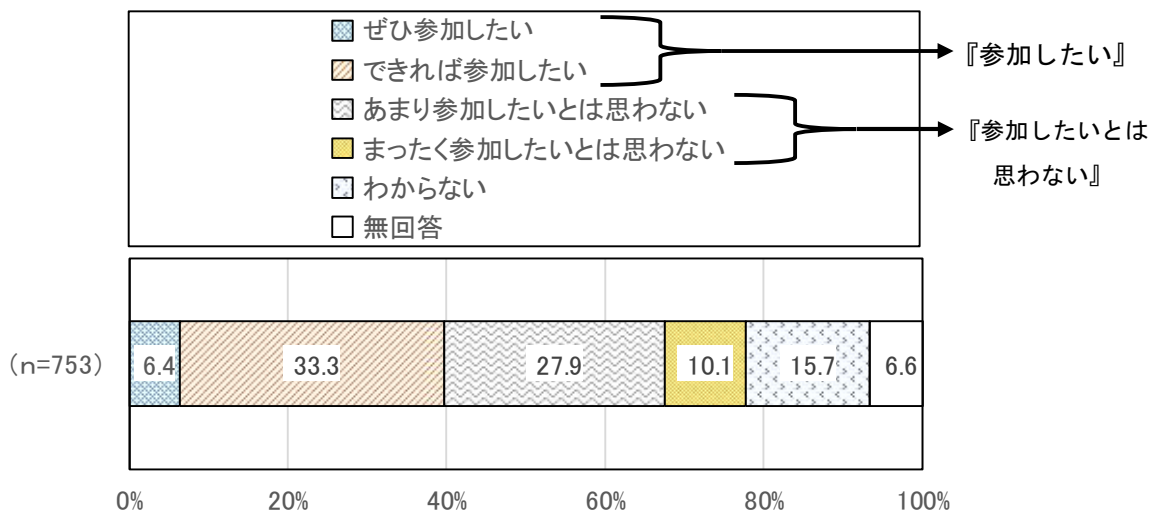
問13 あなたは今後、地域活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

回答者全体では、「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」を合わせた『参加したい』が39.7%に対して、「あまり参加したいとは思わない」と「まったく参加したいとは思わない」を合わせた『参加したいとは思わない』が38.0%と、ほぼ同数となっています。

年齢別の割合をみると、50代までは『参加したいとは思わない』の方が多く、60～69歳と70歳以上では『参加したい』の方が多くなっています。

小学校区別の割合は、須賀小学校区のみ『参加したいとは思わない』の方が多く、他の小学校区は『参加したい』の方が多くなっています。

■今後、地域活動に参加したいと思うか



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	ぜひ参加したい	できれば参加したい	あまり参加したいとは思わない	まったく参加したいとは思わない	わからない	無回答
全体		753 100.0	48 6.4	251 33.3	210 27.9	76 10.1	118 15.7	50 6.6
年齢別	18～29歳	63 100.0	2 3.2	18 28.6	22 34.9	10 15.9	11 17.5	-
	30～39歳	96 100.0	4 4.2	26 27.1	29 30.2	12 12.5	19 19.8	6 6.3
	40～49歳	112 100.0	7 6.3	33 29.5	34 30.4	10 8.9	18 16.1	10 8.9
	50～59歳	105 100.0	8 7.6	26 24.8	27 25.7	13 12.4	25 23.8	6 5.7
	60～69歳	168 100.0	9 5.4	64 38.1	51 30.4	12 7.1	19 11.3	13 7.7
	70歳以上	205 100.0	17 8.3	83 40.5	46 22.4	19 9.3	26 12.7	14 6.8
	性別	男性	347 100.0	25 7.2	110 31.7	101 29.1	40 11.5	53 15.3
女性		400 100.0	22 5.5	138 34.5	108 27.0	36 9.0	65 16.3	31 7.8
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	12 5.6	63 29.6	61 28.6	28 13.1	29 13.6	20 9.4
	百間小学校区	245 100.0	16 6.5	81 33.1	71 29.0	22 9.0	43 17.6	12 4.9
	東小学校区	137 100.0	8 5.8	51 37.2	34 24.8	14 10.2	21 15.3	9 6.6
	笠原小学校区	123 100.0	10 8.1	43 35.0	37 30.1	10 8.1	17 13.8	6 4.9

③ 地域での助け合い、支え合いについて

問14 地域で住民同士がお互いに助け合える範囲

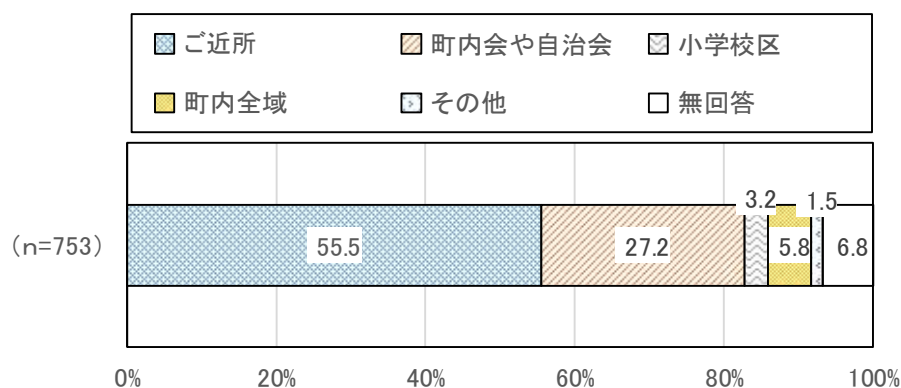
問14 住民同士がお互いに助け合える地域とは、どの範囲だと思いますか。
(1つに〇)

回答者全体では、「ご近所」(55.5%)が最も多く、次いで「町内会や自治会」(27.2%)、「町内全域」(5.8%)、「小学校区」(3.2%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「ご近所」が最も多く、次いで「町内会や自治会」となっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「ご近所」が最も多く、次いで「町内会や自治会」となっています。

■地域で住民同士がお互いに助け合える範囲



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	ご近所	町内会や自治会	小学校区	町内全域	その他	無回答
全体		753	418	205	24	44	11	51
		100.0	55.5	27.2	3.2	5.8	1.5	6.8
年齢別	18～29歳	63	41	13	2	4	1	2
		100.0	65.1	20.6	3.2	6.3	1.6	3.2
	30～39歳	96	55	17	12	4	2	6
		100.0	57.3	17.7	12.5	4.2	2.1	6.3
	40～49歳	112	62	31	7	7	2	3
		100.0	55.4	27.7	6.3	6.3	1.8	2.7
	50～59歳	105	60	24	1	9	3	8
	100.0	57.1	22.9	1.0	8.6	2.9	7.6	
60～69歳	168	82	60	1	12	1	12	
	100.0	48.8	35.7	0.6	7.1	0.6	7.1	
70歳以上	205	116	59	1	8	2	19	
	100.0	56.6	28.8	0.5	3.9	1.0	9.3	
性別	男性	347	192	103	8	23	6	15
		100.0	55.3	29.7	2.3	6.6	1.7	4.3
	女性	400	223	101	16	21	5	34
		100.0	55.8	25.3	4.0	5.3	1.3	8.5
小学校区別	須賀小学校区	213	129	48	6	8	5	17
		100.0	60.6	22.5	2.8	3.8	2.3	8.0
	百間小学校区	245	128	81	7	13	3	13
		100.0	52.2	33.1	2.9	5.3	1.2	5.3
	東小学校区	137	76	42	4	10	1	4
	100.0	55.5	30.7	2.9	7.3	0.7	2.9	
笠原小学校区	123	69	24	7	8	1	14	
	100.0	56.1	19.5	5.7	6.5	0.8	11.4	

2-2 調査の結果

問15 近所付き合いの程度

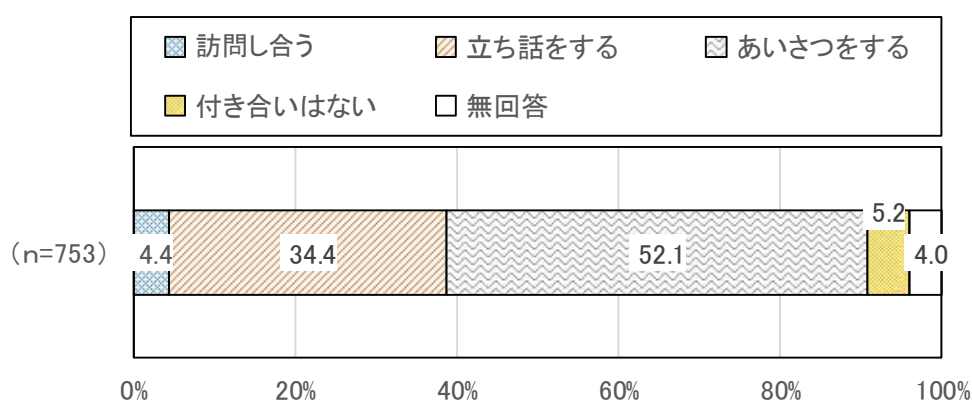
問15 どの程度のご近所付き合いがありますか。(1つに○)

回答者全体では、「あいさつをする」(52.1%)が最も多く、次いで「立ち話をする」(34.4%)、「付き合いはない」(5.2%)、「訪問し合う」(4.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、60代までは「あいさつをする」が、70歳以上は「立ち話をする」が最も多くなっています。

性別の割合をみると、男女ともに「あいさつをする」が最も多く、次いで「立ち話をする」となっています。「立ち話をする」は、男性(28.2%)に対して女性(39.8%)と、10ポイント以上高くなっています。

■近所付き合いの程度



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	訪問し合う	立ち話を する	あいさつを する	付き合いは ない	無回答
全体		753 100.0	33 4.4	259 34.4	392 52.1	39 5.2	30 4.0
年 令 別	18~29歳	63 100.0	- -	3 4.8	50 79.4	10 15.9	- -
	30~39歳	96 100.0	4 4.2	20 20.8	62 64.6	8 8.3	2 2.1
	40~49歳	112 100.0	1 0.9	39 34.8	65 58.0	4 3.6	3 2.7
	50~59歳	105 100.0	4 3.8	29 27.6	64 61.0	6 5.7	2 1.9
	60~69歳	168 100.0	7 4.2	72 42.9	77 45.8	6 3.6	6 3.6
	70歳以上	205 100.0	17 8.3	96 46.8	71 34.6	5 2.4	16 7.8
性 別	男性	347 100.0	11 3.2	98 28.2	209 60.2	19 5.5	10 2.9
	女性	400 100.0	22 5.5	159 39.8	180 45.0	20 5.0	19 4.8
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	10 4.7	80 37.6	103 48.4	9 4.2	11 5.2
	百間小学校区	245 100.0	9 3.7	83 33.9	136 55.5	8 3.3	9 3.7
	東小学校区	137 100.0	6 4.4	54 39.4	67 48.9	7 5.1	3 2.2
	笠原小学校区	123 100.0	7 5.7	35 28.5	69 56.1	10 8.1	2 1.6

問16 近所付き合いについての考え

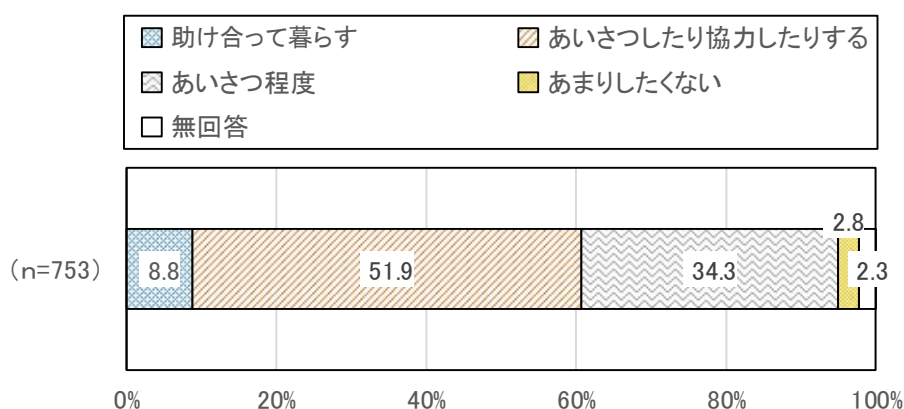
問 16 ご近所付き合いについてどのようにお考えですか。(1つに○)

回答者全体では、「あいさつしたり協力したりする」(51.9%)が最も多く、次いで「あいさつ程度」(34.3%)、「助け合って暮らす」(8.8%)、「あまりしたくない」(2.8%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳と30～39歳は「あいさつ程度」が最も多く、40代以上は「あいさつしたり協力したりする」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「あいさつしたり協力したりする」が最も多くなっていますが、笠原小学校区のみ50%を下回っています。

■近所付き合いについての考え



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	助け合って暮らす	あいさつしたり協力したりする	あいさつ程度	あまりしたくない	無回答
全体		753	66	391	258	21	17
		100.0	8.8	51.9	34.3	2.8	2.3
年齢別	18～29歳	63	-	22	36	5	-
		100.0	-	34.9	57.1	7.9	-
	30～39歳	96	9	37	44	5	1
		100.0	9.4	38.5	45.8	5.2	1.0
	40～49歳	112	9	58	43	1	1
		100.0	8.0	51.8	38.4	0.9	0.9
	50～59歳	105	7	61	31	6	-
	100.0	6.7	58.1	29.5	5.7	-	
60～69歳	168	15	99	46	2	6	
	100.0	8.9	58.9	27.4	1.2	3.6	
70歳以上	205	26	112	57	2	8	
	100.0	12.7	54.6	27.8	1.0	3.9	
性別	男性	347	24	172	137	8	6
		100.0	6.9	49.6	39.5	2.3	1.7
	女性	400	42	216	119	13	10
		100.0	10.5	54.0	29.8	3.3	2.5
小学校区別	須賀小学校区	213	21	114	67	5	6
		100.0	9.9	53.5	31.5	2.3	2.8
	百間小学校区	245	16	134	84	6	5
		100.0	6.5	54.7	34.3	2.4	2.0
	東小学校区	137	11	70	48	6	2
	100.0	8.0	51.1	35.0	4.4	1.5	
笠原小学校区	123	15	56	48	3	1	
	100.0	12.2	45.5	39.0	2.4	0.8	

2-2 調査の結果

問17 困っている家庭があった場合に必要と考えられること

問 17 お住まいの地域で困っているご家庭があった場合に必要と考えられることはありますか。(すべてに○)

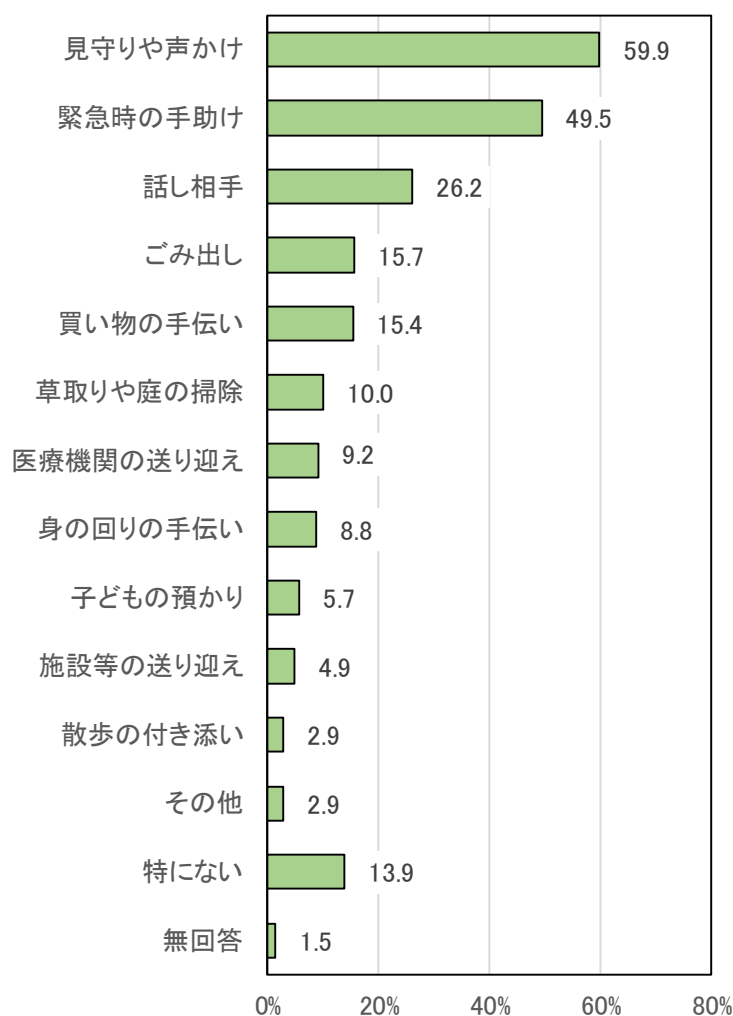
回答者全体では、「見守りや声かけ」(59.9%)が最も多く、次いで「緊急時の手助け」(49.5%)、「話し相手」(26.2%)、「ごみ出し」(15.7%)、「買い物の手伝い」(15.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳と30～39歳は「緊急時の手助け」が最も多く、40代以上は「見守りや声かけ」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「見守りや声かけ」が最も多くなっています。

■困っている家庭があった場合に必要と考えられること

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	見守りや声かけ	話し相手	買い物の手伝い	ごみ出し	身の回りの手伝い	草取りや庭の掃除	散歩の付き添い	
全体		753	451	197	116	118	66	75	22	
		100.0	59.9	26.2	15.4	15.7	8.8	10.0	2.9	
年齢別	18～29歳	63	26	10	6	5	6	4	1	
		100.0	41.3	15.9	9.5	7.9	9.5	6.3	1.6	
	30～39歳	96	49	22	8	5	5	5	2	
		100.0	51.0	22.9	8.3	5.2	5.2	5.2	2.1	
	40～49歳	112	69	19	17	20	8	9	4	
		100.0	61.6	17.0	15.2	17.9	7.1	8.0	3.6	
	50～59歳	105	66	19	17	14	9	8	2	
	100.0	62.9	18.1	16.2	13.3	8.6	7.6	1.9		
60～69歳		168	118	52	30	32	20	19	3	
		100.0	70.2	31.0	17.9	19.0	11.9	11.3	1.8	
70歳以上		205	120	75	37	40	17	30	10	
		100.0	58.5	36.6	18.0	19.5	8.3	14.6	4.9	
性別	男性	347	181	72	32	43	29	33	8	
		100.0	52.2	20.7	9.2	12.4	8.4	9.5	2.3	
女性		400	265	124	82	73	36	42	14	
		100.0	66.3	31.0	20.5	18.3	9.0	10.5	3.5	
小学校区別	須賀小学校区		213	134	57	36	43	24	24	8
			100.0	62.9	26.8	16.9	20.2	11.3	11.3	3.8
	百間小学校区		245	142	68	39	38	22	31	8
			100.0	58.0	27.8	15.9	15.5	9.0	12.7	3.3
	東小学校区		137	77	39	19	16	9	10	3
			100.0	56.2	28.5	13.9	11.7	6.6	7.3	2.2
	笠原小学校区		123	79	28	15	15	8	6	3
			100.0	64.2	22.8	12.2	12.2	6.5	4.9	2.4

		医療機関の送り迎え	施設等の送り迎え	子どもの預かり	緊急時の手助け	その他	特にない	無回答	
全体		69	37	43	373	22	105	11	
		9.2	4.9	5.7	49.5	2.9	13.9	1.5	
年齢別	18～29歳	6	5	4	32	4	14	-	
		9.5	7.9	6.3	50.8	6.3	22.2	-	
	30～39歳	6	2	8	52	1	18	1	
		6.3	2.1	8.3	54.2	1.0	18.8	1.0	
	40～49歳	11	6	9	65	2	8	1	
		9.8	5.4	8.0	58.0	1.8	7.1	0.9	
	50～59歳	8	6	3	65	4	16	2	
	7.6	5.7	2.9	61.9	3.8	15.2	1.9		
60～69歳		17	5	11	74	3	20	2	
		10.1	3.0	6.5	44.0	1.8	11.9	1.2	
70歳以上		21	13	8	85	8	29	4	
		10.2	6.3	3.9	41.5	3.9	14.1	2.0	
性別	男性	27	15	14	177	13	56	6	
		7.8	4.3	4.0	51.0	3.7	16.1	1.7	
女性		41	22	29	195	9	49	4	
		10.3	5.5	7.3	48.8	2.3	12.3	1.0	
小学校区別	須賀小学校区		24	15	11	108	7	26	4
			11.3	7.0	5.2	50.7	3.3	12.2	1.9
	百間小学校区		23	10	14	123	8	34	4
			9.4	4.1	5.7	50.2	3.3	13.9	1.6
	東小学校区		10	4	8	77	3	19	-
			7.3	2.9	5.8	56.2	2.2	13.9	-
	笠原小学校区		8	5	9	54	2	21	1
			6.5	4.1	7.3	43.9	1.6	17.1	0.8

2-2 調査の結果

問18 困っている家庭があった場合に実際に手助けできると思うこと

問 18 お住まいの地域で困っているご家庭があった場合に、あなたが実際に手助けできると思うことはありますか。(すべてに○)

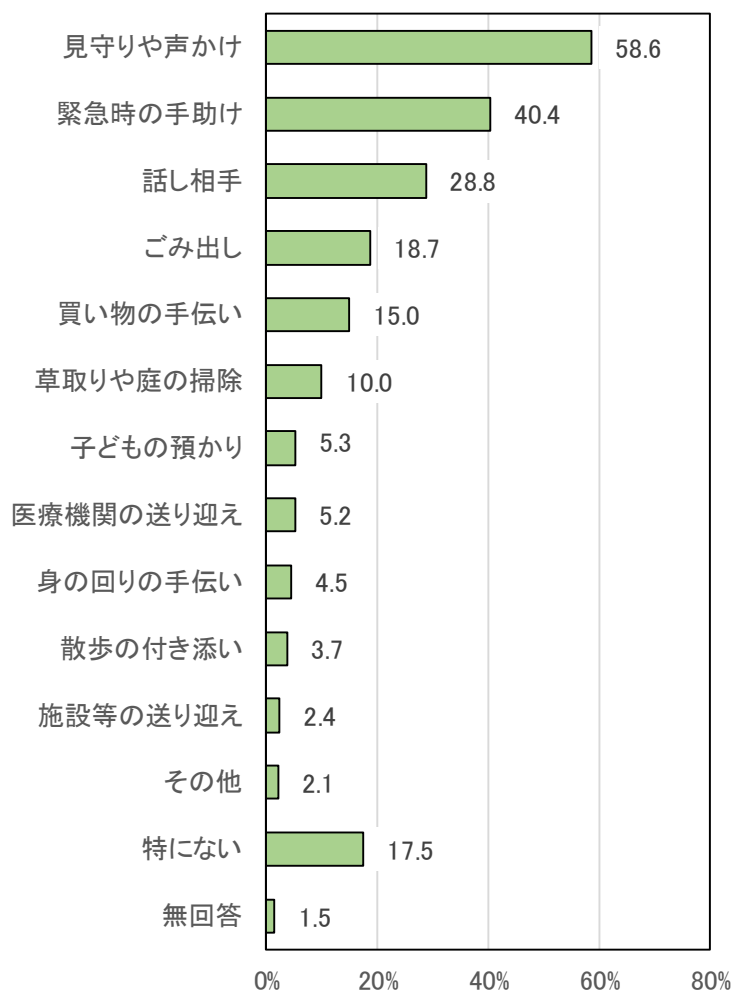
回答者全体では、「見守りや声かけ」(58.6%)が最も多く、次いで「緊急時の手助け」(40.4%)、「話し相手」(28.8%)、「ごみ出し」(18.7%)、「買い物の手伝い」(15.0%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「見守りや声かけ」が最も多く、次いで「緊急時の手助け」となっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「見守りや声かけ」が最も多くなっています。

■困っている家庭があった場合に実際に手助けできると思うこと

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	見守りや声 かけ	話し相手	買い物の手 伝い	ごみ出し	身の回りの 手伝い	草取りや庭 の掃除	散歩の付き 添い
全体		753 100.0	441 58.6	217 28.8	113 15.0	141 18.7	34 4.5	75 10.0	28 3.7
年 令 別	18～29歳	63 100.0	29 46.0	15 23.8	5 7.9	7 11.1	1 1.6	3 4.8	1 1.6
	30～39歳	96 100.0	46 47.9	27 28.1	9 9.4	10 10.4	2 2.1	9 9.4	3 3.1
	40～49歳	112 100.0	65 58.0	19 17.0	16 14.3	21 18.8	2 1.8	8 7.1	2 1.8
	50～59歳	105 100.0	63 60.0	19 18.1	14 13.3	22 21.0	4 3.8	12 11.4	4 3.8
	60～69歳	168 100.0	115 68.5	55 32.7	34 20.2	35 20.8	11 6.5	18 10.7	5 3.0
	70歳以上	205 100.0	120 58.5	82 40.0	34 16.6	44 21.5	13 6.3	25 12.2	13 6.3
	性 別	男性	347 100.0	180 51.9	78 22.5	37 10.7	44 12.7	18 5.2	36 10.4
女性		400 100.0	256 64.0	138 34.5	74 18.5	94 23.5	15 3.8	39 9.8	19 4.8
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	132 62.0	70 32.9	33 15.5	50 23.5	15 7.0	22 10.3	9 4.2
	百間小学校区	245 100.0	129 52.7	69 28.2	42 17.1	42 17.1	10 4.1	27 11.0	11 4.5
	東小学校区	137 100.0	82 59.9	40 29.2	15 10.9	22 16.1	2 1.5	12 8.8	3 2.2
	笠原小学校区	123 100.0	81 65.9	32 26.0	21 17.1	22 17.9	5 4.1	11 8.9	3 2.4

		医療機関の 送り迎え	施設等の送 り迎え	子どもの預 かり	緊急時の手 助け	その他	特にない	無回答
全体		39 5.2	18 2.4	40 5.3	304 40.4	16 2.1	132 17.5	11 1.5
年 令 別	18～29歳	3 4.8	1 1.6	4 6.3	23 36.5	1 1.6	19 30.2	- -
	30～39歳	2 2.1	3 3.1	8 8.3	46 47.9	- -	22 22.9	1 1.0
	40～49歳	5 4.5	3 2.7	10 8.9	45 40.2	3 2.7	18 16.1	- -
	50～59歳	7 6.7	2 1.9	2 1.9	57 54.3	3 2.9	18 17.1	- -
	60～69歳	9 5.4	4 2.4	10 6.0	70 41.7	2 1.2	21 12.5	2 1.2
	70歳以上	13 6.3	5 2.4	6 2.9	63 30.7	7 3.4	34 16.6	7 3.4
	性 別	男性	20 5.8	11 3.2	12 3.5	157 45.2	7 2.0	72 20.7
女性		19 4.8	7 1.8	28 7.0	146 36.5	9 2.3	60 15.0	4 1.0
小 学 校 区 別	須賀小学校区	16 7.5	8 3.8	5 2.3	91 42.7	5 2.3	33 15.5	3 1.4
	百間小学校区	12 4.9	6 2.4	16 6.5	98 40.0	7 2.9	43 17.6	4 1.6
	東小学校区	4 2.9	2 1.5	8 5.8	59 43.1	2 1.5	23 16.8	- -
	笠原小学校区	6 4.9	2 1.6	11 8.9	44 35.8	2 1.6	26 21.1	1 0.8

④ ボランティア活動について

問19 ボランティア活動への参加経験

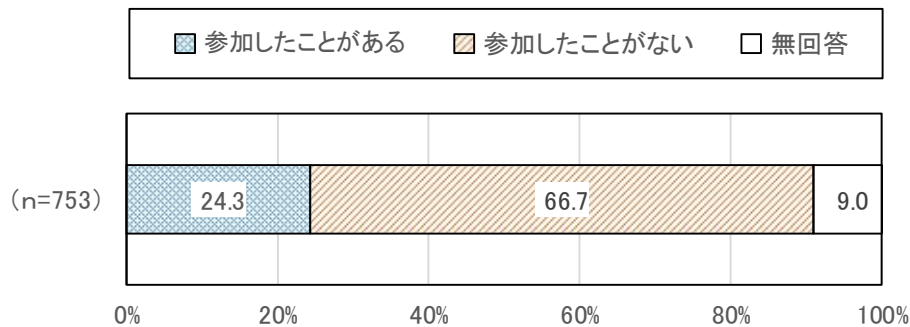
問 19 あなたは、ボランティア活動（自発的な意志に基づいて、人や社会に貢献する活動）に参加したことがありますか。（1つに○）

回答者全体では、「参加したことがない」が66.7%で、「参加したことがある」が(24.3%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「参加したことがない」が6割を超えています。

性別・小学校区別をみても、「参加したことがない」の割合はすべての属性で6割を超えています。

■ ボランティア活動への参加経験



■ 年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体		753	183	502	68
		100.0	24.3	66.7	9.0
年齢別	18～29歳	63	19	41	3
		100.0	30.2	65.1	4.8
	30～39歳	96	15	72	9
		100.0	15.6	75.0	9.4
	40～49歳	112	23	77	12
		100.0	20.5	68.8	10.7
	50～59歳	105	27	74	4
	100.0	25.7	70.5	3.8	
年齢別	60～69歳	168	42	110	16
		100.0	25.0	65.5	9.5
	70歳以上	205	57	126	22
	100.0	27.8	61.5	10.7	
性別	男性	347	93	225	29
		100.0	26.8	64.8	8.4
性別	女性	400	89	274	37
		100.0	22.3	68.5	9.3
小学校区別	須賀小学校区	213	51	141	21
		100.0	23.9	66.2	9.9
	百間小学校区	245	58	167	20
		100.0	23.7	68.2	8.2
	東小学校区	137	34	93	10
	100.0	24.8	67.9	7.3	
小学校区別	笠原小学校区	123	32	81	10
		100.0	26.0	65.9	8.1

※ボランティア活動に「1. 参加したことがある」方にお聞きします

問 19-1 あなたが参加したことがあるボランティア活動は何ですか。(すべてに○)

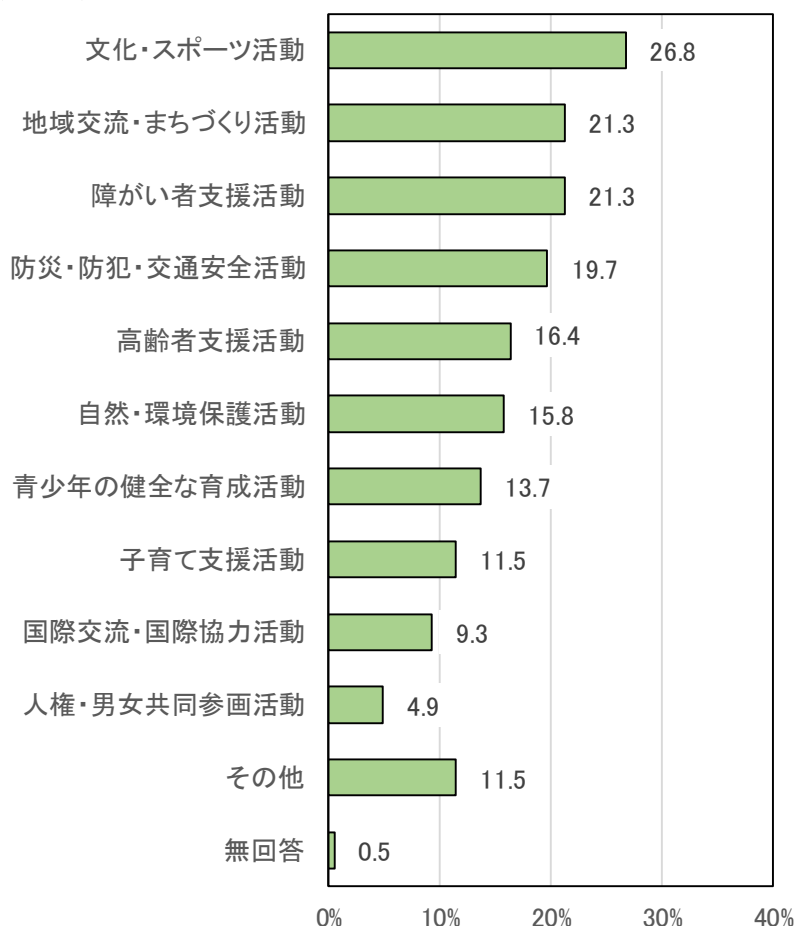
ボランティア活動に「参加したことがある」と答えた方に、その活動の内容を聞いたところ、回答者全体では、「文化・スポーツ活動」(26.8%)が最も多く、次いで「地域交流・まちづくり活動」と「障がい者支援活動」(21.3%)、「防災・防犯・交通安全活動」(19.7%)、「高齢者支援活動」(16.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳は「文化・スポーツ活動」、30～39歳は「その他」、40～49歳は「障がい者支援活動」と「文化・スポーツ活動」、50～59歳は「障がい者支援活動」、60代以上は「障がい者支援活動」というように、年齢ごとに最も多い回答が分かれています。

小学校区別の割合は、須賀小学校区と笠原小学校区は「障がい者支援活動」、百間小学校区と東小学校区は「文化・スポーツ活動」が、最も多くなっています。

■参加経験のあるボランティア活動

(n=183)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	子育て支援活動	青少年の健全な育成活動	障がい者支援活動	高齢者支援活動	自然・環境保護活動	人権・男女共同参画活動
全体		183 100.0	21 11.5	25 13.7	39 21.3	30 16.4	29 15.8	9 4.9
年齢別	18～29歳	19 100.0	4 21.1	3 15.8	3 15.8	2 10.5	5 26.3	3 15.8
	30～39歳	15 100.0	1 6.7	1 6.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	- -
	40～49歳	23 100.0	3 13.0	4 17.4	5 21.7	1 4.3	2 8.7	- -
	50～59歳	27 100.0	1 3.7	6 22.2	7 25.9	3 11.1	6 22.2	1 3.7
	60～69歳	42 100.0	5 11.9	4 9.5	10 23.8	6 14.3	3 7.1	3 7.1
	70歳以上	57 100.0	7 12.3	7 12.3	11 19.3	16 28.1	10 17.5	2 3.5
	性別	男性	93 100.0	7 7.5	14 15.1	12 12.9	12 12.9	17 18.3
女性		89 100.0	14 15.7	11 12.4	26 29.2	18 20.2	12 13.5	5 5.6
小学校区別	須賀小学校区	51 100.0	8 15.7	4 7.8	15 29.4	11 21.6	6 11.8	2 3.9
	百間小学校区	58 100.0	4 6.9	14 24.1	6 10.3	10 17.2	12 20.7	4 6.9
	東小学校区	34 100.0	3 8.8	2 5.9	6 17.6	4 11.8	5 14.7	1 2.9
	笠原小学校区	32 100.0	5 15.6	5 15.6	11 34.4	5 15.6	6 18.8	2 6.3

		文化・スポーツ活動	地域交流・まちづくり活動	国際交流・国際協力活動	防災・防犯・交通安全活動	その他	無回答
全体		49 26.8	39 21.3	17 9.3	36 19.7	21 11.5	1 0.5
年齢別	18～29歳	5 26.3	4 21.1	4 21.1	1 5.3	1 5.3	- -
	30～39歳	2 13.3	2 13.3	- -	1 6.7	4 26.7	- -
	40～49歳	5 21.7	4 17.4	4 17.4	3 13.0	2 8.7	- -
	50～59歳	6 22.2	2 7.4	1 3.7	5 18.5	4 14.8	- -
	60～69歳	11 26.2	11 26.2	4 9.5	8 19.0	7 16.7	- -
	70歳以上	20 35.1	16 28.1	4 7.0	18 31.6	3 5.3	1 1.8
	性別	男性	33 35.5	26 28.0	7 7.5	27 29.0	11 11.8
女性		16 18.0	13 14.6	10 11.2	9 10.1	10 11.2	- -
小学校区別	須賀小学校区	11 21.6	12 23.5	2 3.9	10 19.6	9 17.6	1 2.0
	百間小学校区	17 29.3	13 22.4	6 10.3	11 19.0	5 8.6	- -
	東小学校区	10 29.4	7 20.6	6 17.6	6 17.6	3 8.8	- -
	笠原小学校区	7 21.9	6 18.8	2 6.3	6 18.8	4 12.5	- -

問 19-2 そのボランティア活動に参加した理由は何ですか。(すべてに○)

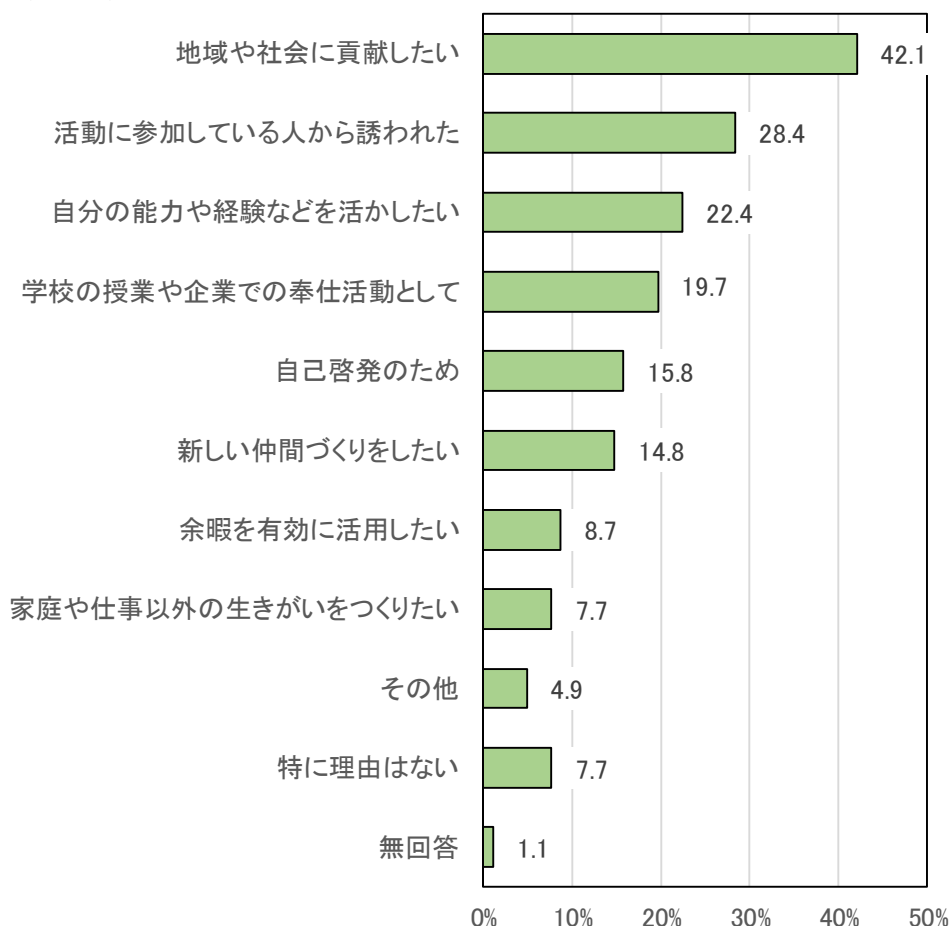
ボランティア活動に「参加したことがある」と答えた方に、その活動に参加した理由を聞いたところ、回答者全体では、「地域や社会に貢献したい」(42.1%)が最も多く、次いで「活動に参加している人から誘われた」(28.4%)、「自分の能力や経験などを活かしたい」(22.4%)、「学校の授業や企業での奉仕活動として」(19.7%)、「自己啓発のため」(15.8%)となっています。

年齢別の割合をみると、30～39歳は「学校での授業や企業での奉仕活動として」(40.0%)が最も多く、50～59歳は「活動に参加している人から誘われた」(37.0%)と同数ですが、他のすべての年齢は「地域や社会に貢献したい」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「地域や社会に貢献したい」が最も多くなっています。

■ ボランティア活動に参加した理由

(n=183)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	地域や社会に 貢献したい	自分の能力や 経験などを活 かしたい	新しい仲間づ くりをしたい	余暇を有効に 活用したい	家庭や仕事以 外の生きがい をつくりたい
全体		183 100.0	77 42.1	41 22.4	27 14.8	16 8.7	14 7.7
年 令 別	18～29歳	19 100.0	9 47.4	2 10.5	- -	2 10.5	2 10.5
	30～39歳	15 100.0	5 33.3	3 20.0	2 13.3	1 6.7	- -
	40～49歳	23 100.0	8 34.8	7 30.4	3 13.0	1 4.3	1 4.3
	50～59歳	27 100.0	10 37.0	3 11.1	3 11.1	- -	1 3.7
	60～69歳	42 100.0	19 45.2	14 33.3	5 11.9	5 11.9	2 4.8
	70歳以上	57 100.0	26 45.6	12 21.1	14 24.6	7 12.3	8 14.0
	性 別	男性	93 100.0	42 45.2	18 19.4	14 15.1	6 6.5
女性		89 100.0	35 39.3	23 25.8	13 14.6	9 10.1	9 10.1
小 学 校 区 別	須賀小学校区	51 100.0	24 47.1	10 19.6	6 11.8	2 3.9	2 3.9
	百間小学校区	58 100.0	24 41.4	13 22.4	9 15.5	8 13.8	6 10.3
	東小学校区	34 100.0	14 41.2	11 32.4	6 17.6	3 8.8	5 14.7
	笠原小学校区	32 100.0	12 37.5	6 18.8	4 12.5	2 6.3	1 3.1

		自己啓発のた め	学校の授業や 企業での奉仕 活動として	活動に参加し ている人から 誘われた	その他	特に理由はな い	無回答
全体		29 15.8	36 19.7	52 28.4	9 4.9	14 7.7	2 1.1
年 令 別	18～29歳	4 21.1	5 26.3	3 15.8	- -	3 15.8	- -
	30～39歳	3 20.0	6 40.0	4 26.7	- -	1 6.7	- -
	40～49歳	2 8.7	3 13.0	6 26.1	1 4.3	2 8.7	- -
	50～59歳	4 14.8	9 33.3	10 37.0	1 3.7	2 7.4	- -
	60～69歳	7 16.7	4 9.5	13 31.0	5 11.9	1 2.4	- -
	70歳以上	9 15.8	9 15.8	16 28.1	2 3.5	5 8.8	2 3.5
	性 別	男性	18 19.4	16 17.2	26 28.0	4 4.3	10 10.8
女性		11 12.4	20 22.5	26 29.2	5 5.6	4 4.5	- -
小 学 校 区 別	須賀小学校区	8 15.7	10 19.6	19 37.3	5 9.8	3 5.9	- -
	百間小学校区	8 13.8	14 24.1	19 32.8	2 3.4	5 8.6	1 1.7
	東小学校区	5 14.7	4 11.8	8 23.5	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	笠原小学校区	8 25.0	7 21.9	5 15.6	1 3.1	4 12.5	- -

※ボランティア活動に「2. 参加したことがない」方にお聞きします

問 19-3 あなたが、ボランティア活動に参加していない理由は何ですか。
(すべてに○)

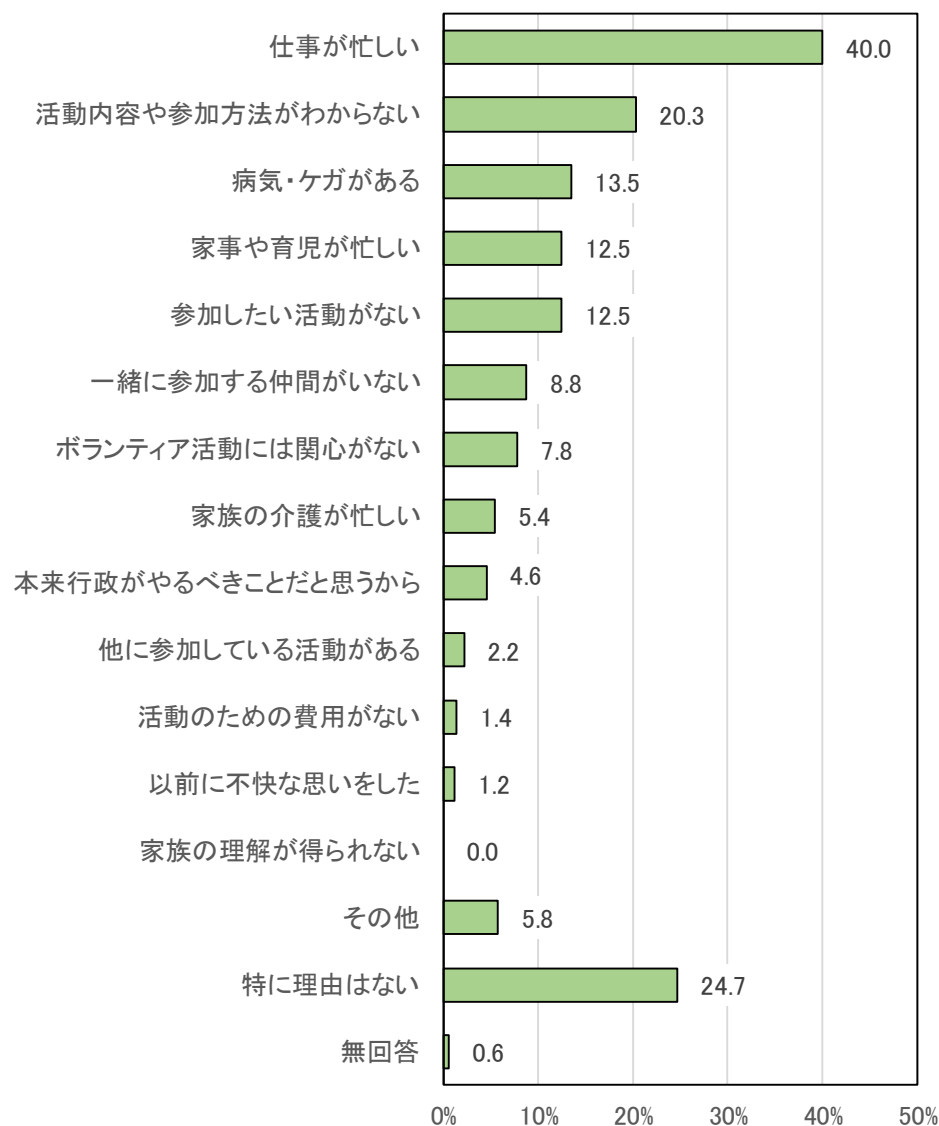
ボランティア活動に「参加したことがない」と答えた方に、その理由を聞いたところ、回答者全体では、「仕事が忙しい」(40.0%)が最も多く、次いで「活動内容や参加方法がわからない」(20.3%)、「病気・ケガがある」(13.5%)、「家事や育児が忙しい」と「参加したい活動がない」(12.5%)となっています。

年齢別の割合をみると、60代まではすべて「仕事が忙しい」が最も多くなっていますが、70歳以上は「病気・ケガがある」(23.8%)が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「仕事が忙しい」が最も多くなっています。

■ボランティア活動に不参加の理由

(n=502)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	参加したい活動がない	活動内容や参加方法がわからない	仕事が忙しい	家事や育児が忙しい	家族の介護が忙しい	他に参加している活動がある	家族の理解が得られない	活動のための費用がない
全体		502 100.0	63 12.5	102 20.3	201 40.0	63 12.5	27 5.4	11 2.2	- -	7 1.4
年齢別	18～29歳	41 100.0	9 22.0	8 19.5	15 36.6	3 7.3	- -	2 4.9	- -	- -
	30～39歳	72 100.0	12 16.7	14 19.4	42 58.3	27 37.5	2 2.8	1 1.4	- -	1 1.4
	40～49歳	77 100.0	7 9.1	23 29.9	42 54.5	17 22.1	2 2.6	- -	- -	2 2.6
	50～59歳	74 100.0	8 10.8	12 16.2	43 58.1	8 10.8	7 9.5	- -	- -	2 2.7
	60～69歳	110 100.0	10 9.1	24 21.8	48 43.6	3 2.7	9 8.2	5 4.5	- -	1 0.9
	70歳以上	126 100.0	16 12.7	21 16.7	11 8.7	5 4.0	7 5.6	3 2.4	- -	1 0.8
	性別	男性	225 100.0	26 11.6	52 23.1	109 48.4	19 8.4	7 3.1	6 2.7	- -
	女性	274 100.0	36 13.1	49 17.9	92 33.6	44 16.1	20 7.3	5 1.8	- -	3 1.1
小学校区別	須賀小学校区	141 100.0	18 12.8	25 17.7	50 35.5	19 13.5	7 5.0	4 2.8	- -	- -
	百間小学校区	167 100.0	18 10.8	38 22.8	73 43.7	18 10.8	9 5.4	4 2.4	- -	5 3.0
	東小学校区	93 100.0	12 12.9	25 26.9	46 49.5	17 18.3	8 8.6	2 2.2	- -	2 2.2
	笠原小学校区	81 100.0	11 13.6	12 14.8	27 33.3	9 11.1	2 2.5	- -	- -	- -

		病気・ケガがある	ボランティア活動には関心がない	以前に不快な思いをした	一緒に参加する仲間がない	本来行政がやるべきことだと思うから	その他	特に理由はない	無回答
全体		68 13.5	39 7.8	6 1.2	44 8.8	23 4.6	29 5.8	124 24.7	3 0.6
年齢別	18～29歳	2 4.9	9 22.0	- -	3 7.3	4 9.8	1 2.4	13 31.7	- -
	30～39歳	2 2.8	7 9.7	- -	5 6.9	1 1.4	2 2.8	13 18.1	- -
	40～49歳	9 11.7	4 5.2	1 1.3	8 10.4	3 3.9	1 1.3	15 19.5	- -
	50～59歳	6 8.1	7 9.5	1 1.4	3 4.1	4 5.4	4 5.4	16 21.6	1 1.4
	60～69歳	18 16.4	5 4.5	2 1.8	10 9.1	6 5.5	3 2.7	29 26.4	- -
	70歳以上	30 23.8	7 5.6	2 1.6	15 11.9	5 4.0	18 14.3	38 30.2	2 1.6
	性別	男性	21 9.3	22 9.8	2 0.9	15 6.7	15 6.7	9 4.0	59 26.2
	女性	46 16.8	17 6.2	4 1.5	28 10.2	8 2.9	20 7.3	65 23.7	2 0.7
小学校区別	須賀小学校区	17 12.1	10 7.1	1 0.7	15 10.6	5 3.5	4 2.8	37 26.2	1 0.7
	百間小学校区	26 15.6	14 8.4	4 2.4	14 8.4	10 6.0	8 4.8	41 24.6	- -
	東小学校区	10 10.8	8 8.6	- -	7 7.5	5 5.4	8 8.6	15 16.1	- -
	笠原小学校区	10 12.3	5 6.2	- -	8 9.9	1 1.2	8 9.9	28 34.6	1 1.2

問20 今後参加したいボランティア活動

問20 今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか。
(すべてに○)

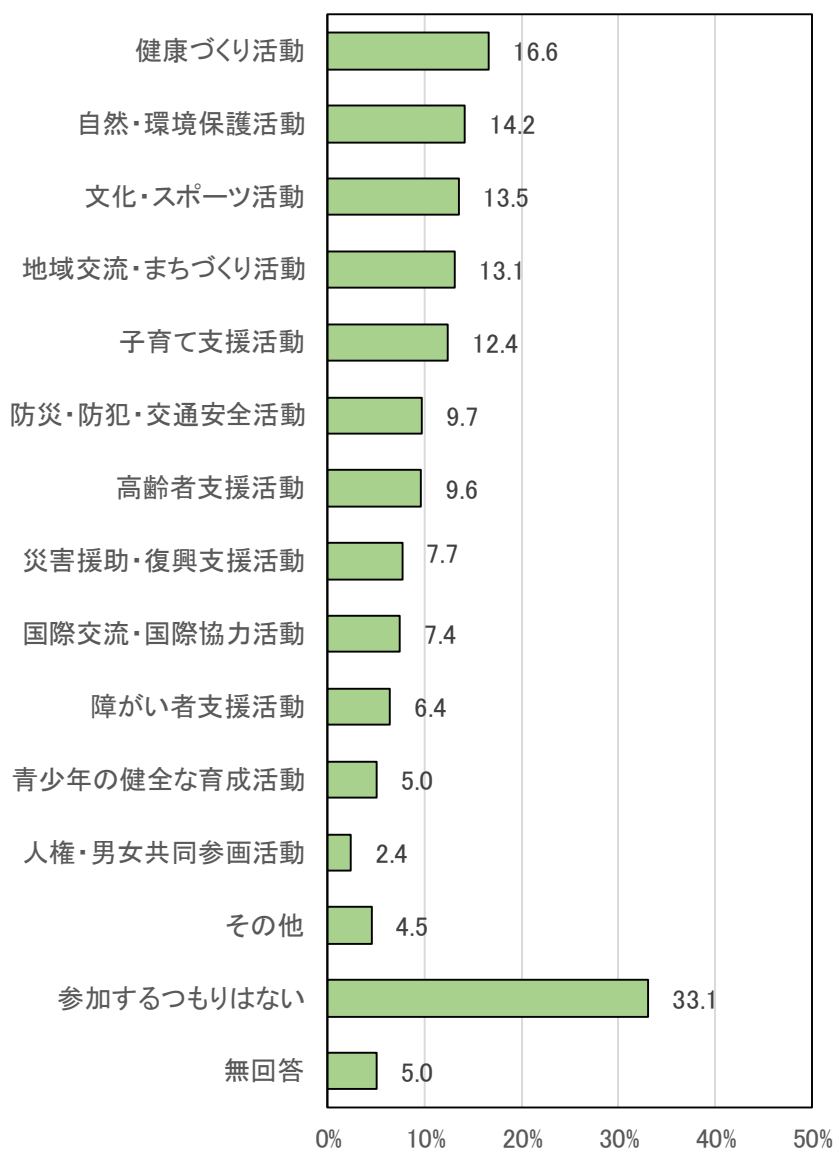
回答者全体では、「健康づくり活動」(16.6%)が最も多く、次いで「自然・環境保護活動」(14.2%)、「文化・スポーツ活動」(13.5%)、「地域交流・まちづくり活動」(13.1%)、「子育て支援活動」(12.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳と40～49歳は「文化・スポーツ活動」、30～39歳は「子育て支援活動」、50～59歳は「自然・環境保護活動」、60～69歳は「地域交流・まちづくり活動」、70歳以上は「健康づくり活動」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、笠原小学校区は「自然・環境保護活動」、他の学区は「健康づくり活動」が最も多くなっています。

■今後参加したいボランティア活動

(n=753)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校さい區別クロス集

		合計	子育て支援活動	青少年の健全な育成活動	障がい者支援活動	高齢者支援活動	健康づくり活動	自然・環境保護活動	文化・スポーツ活動
全体		753	93	38	48	72	125	107	102
		100.0	12.4	5.0	6.4	9.6	16.6	14.2	13.5
年齢別	18～29歳	63	14	7	4	2	7	10	16
		100.0	22.2	11.1	6.3	3.2	11.1	15.9	25.4
	30～39歳	96	27	6	5	3	6	16	13
		100.0	28.1	6.3	5.2	3.1	6.3	16.7	13.5
	40～49歳	112	14	5	7	9	14	14	21
		100.0	12.5	4.5	6.3	8.0	12.5	12.5	18.8
	50～59歳	105	12	5	6	11	12	22	12
	100.0	11.4	4.8	5.7	10.5	11.4	21.0	11.4	
60～69歳	168	15	6	15	20	32	28	20	
	100.0	8.9	3.6	8.9	11.9	19.0	16.7	11.9	
70歳以上	205	10	8	11	27	53	17	19	
	100.0	4.9	3.9	5.4	13.2	25.9	8.3	9.3	
性別	男性	347	28	19	13	29	58	44	59
		100.0	8.1	5.5	3.7	8.4	16.7	12.7	17.0
女性	400	64	18	33	43	66	63	41	
	100.0	16.0	4.5	8.3	10.8	16.5	15.8	10.3	
小学校区別	須賀小学校区	213	23	7	16	16	35	25	25
		100.0	10.8	3.3	7.5	7.5	16.4	11.7	11.7
	百間小学校区	245	32	16	14	26	44	35	38
		100.0	13.1	6.5	5.7	10.6	18.0	14.3	15.5
	東小学校区	137	18	8	7	12	23	20	16
	100.0	13.1	5.8	5.1	8.8	16.8	14.6	11.7	
笠原小学校区	123	17	5	8	14	18	25	16	
	100.0	13.8	4.1	6.5	11.4	14.6	20.3	13.0	

		人権・男女共同参画活動	防災・防犯・交通安全活動	地域交流・まちづくり活動	国際交流・国際協力活動	災害援助・復興支援活動	その他	参加するつもりはない	無回答
全体		18	73	99	56	58	34	249	38
		2.4	9.7	13.1	7.4	7.7	4.5	33.1	5.0
年齢別	18～29歳	3	5	5	9	5	-	22	-
		4.8	7.9	7.9	14.3	7.9	-	34.9	-
	30～39歳	2	4	12	10	4	4	33	5
		2.1	4.2	12.5	10.4	4.2	4.2	34.4	5.2
	40～49歳	1	10	11	14	9	6	37	6
		0.9	8.9	9.8	12.5	8.0	5.4	33.0	5.4
	50～59歳	2	13	16	8	13	3	37	3
	1.9	12.4	15.2	7.6	12.4	2.9	35.2	2.9	
60～69歳	6	21	31	10	19	4	44	4	
	3.6	12.5	18.5	6.0	11.3	2.4	26.2	2.4	
70歳以上	4	20	24	4	8	17	75	19	
	2.0	9.8	11.7	2.0	3.9	8.3	36.6	9.3	
性別	男性	13	49	57	21	41	13	115	14
		3.7	14.1	16.4	6.1	11.8	3.7	33.1	4.0
女性	5	24	41	34	16	21	133	23	
	1.3	6.0	10.3	8.5	4.0	5.3	33.3	5.8	
小学校区別	須賀小学校区	8	24	25	9	19	13	74	7
		3.8	11.3	11.7	4.2	8.9	6.1	34.7	3.3
	百間小学校区	4	22	35	16	19	11	82	14
		1.6	9.0	14.3	6.5	7.8	4.5	33.5	5.7
	東小学校区	1	15	16	14	7	5	38	9
	0.7	10.9	11.7	10.2	5.1	3.6	27.7	6.6	
笠原小学校区	3	10	19	13	10	2	42	6	
	2.4	8.1	15.4	10.6	8.1	1.6	34.1	4.9	

⑤ 地域での防災について

問21 防災に対する日ごろの取り組み、災害などの緊急時の対応

問 21 防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について
お答えください。(それぞれ1つに○)

- ①災害時の避難場所を知っていますか
- ②お住まいの地域に自主防災組織*があることを知っていますか
- ③地域の自主防災組織に入っていますか
- ④日ごろから地域の防災訓練に参加していますか
- ⑤あなたのまわりに、災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な人はいますか

*自主防災組織：町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織

① 災害時の避難場所を知っていますか

回答者全体では、「はい」が80.9%に対して「いいえ」が8.1%となっており、避難場所の認知度は高いといえます。

年齢別の割合をみると、18～29歳の「はい」は61.9%ですが、年齢が上がるに従って割合が多くなっています。

性別の割合をみると、女性の方が4.6ポイント多くなっています。

小学校区別の割合をみると、すべての学区で8割近くが「はい」と回答しています。

② お住まいの地域に自主防災組織があることを知っていますか

回答者全体では、「はい」が45.4%に対して「いいえ」が33.6%となっており、自主防災組織の認知度は5割未満となっています。

年齢別の割合をみると、40代までは「いいえ」が「はい」を上回っていますが、50代より上の年齢では「はい」が「いいえ」を上回っています。

性別の割合をみると、男女ともに「はい」が「いいえ」を上回っています。

小学校区別の割合をみると、東小学校区のみ「いいえ」が「はい」を上回っています。

③ 地域の自主防災組織に入っていますか

回答者全体では、「はい」が21.9%に対して「いいえ」が55.4%となっており、自主防災組織への加入率は、認知度のさらに半分以下となっています。

年齢別の割合をみると、年齢が上がるに従って「はい」の割合が多くなっており、70歳以上は3割を超えています。

性別の割合をみると、「はい」は女性の方が4.2ポイント多くなっています。

小学校区別の割合をみると、笠原小学校区のみ「はい」が2割を下回っています。

④ 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか

回答者全体では、「はい」が21.0%に対して「いいえ」が71.4%となっており、防災訓練の参加率は約2割となっています。

2-2 調査の結果

年齢別の割合をみると、年齢が上がるに従って「はい」の割合が多くなっており、70歳以上は3割を超えています。

性別の割合をみると、「はい」は女性の方が3.2ポイント多くなっています。

小学校区別の割合をみると、百閒小学校区と笠原小学校区で「はい」が2割を下回っています。

⑤ あなたのまわりに、災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な人はいますか

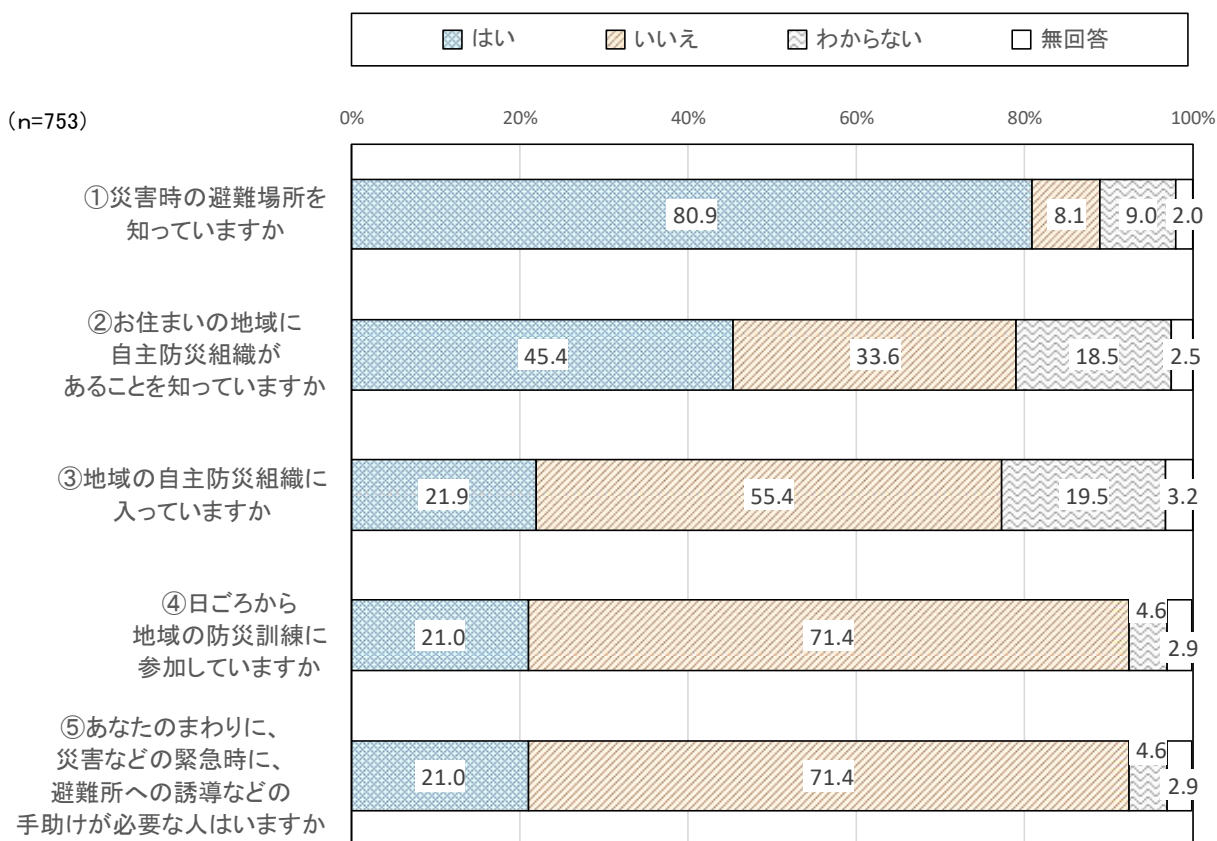
回答者全体では、「はい」が21.0%に対して「いいえ」が71.4%となっており、約2割の方が、自身の周りに避難所への誘導などの手助けが必要な人がいると答えています。

年齢別の割合をみると、年齢が上がるに従って「はい」の割合が多くなっており、70歳以上は3割を超えています。

性別の割合をみると、「はい」は女性の方が2.5ポイント多くなっています。

小学校区別の割合をみると、「はい」は笠原小学校区が最も少なく、2割を下回っています。

■防災に対する日ごろの取り組み、災害などの緊急時の対応



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

①災害時の避難場所を知っていますか

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		753	609	61	68	15
		100.0	80.9	8.1	9.0	2.0
年齢別	18～29歳	63	39	13	11	-
		100.0	61.9	20.6	17.5	-
	30～39歳	96	69	16	9	2
		100.0	71.9	16.7	9.4	2.1
	40～49歳	112	90	8	12	2
		100.0	80.4	7.1	10.7	1.8
	50～59歳	105	88	9	8	-
	100.0	83.8	8.6	7.6	-	
60～69歳	168	143	9	14	2	
	100.0	85.1	5.4	8.3	1.2	
70歳以上	205	177	6	14	8	
	100.0	86.3	2.9	6.8	3.9	
性別	男性	347	272	37	32	6
		100.0	78.4	10.7	9.2	1.7
	女性	400	332	24	36	8
		100.0	83.0	6.0	9.0	2.0
小学校区別	須賀小学校区	213	177	17	16	3
		100.0	83.1	8.0	7.5	1.4
	百間小学校区	245	199	16	25	5
		100.0	81.2	6.5	10.2	2.0
	東小学校区	137	115	8	13	1
		100.0	83.9	5.8	9.5	0.7
	笠原小学校区	123	95	14	9	5
		100.0	77.2	11.4	7.3	4.1

②お住まいの地域に自主防災組織があることを知っていますか

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		753	342	253	139	19
		100.0	45.4	33.6	18.5	2.5
年齢別	18～29歳	63	8	34	20	1
		100.0	12.7	54.0	31.7	1.6
	30～39歳	96	21	56	18	1
		100.0	21.9	58.3	18.8	1.0
	40～49歳	112	36	52	22	2
		100.0	32.1	46.4	19.6	1.8
	50～59歳	105	48	37	20	-
	100.0	45.7	35.2	19.0	-	
60～69歳	168	96	45	25	2	
	100.0	57.1	26.8	14.9	1.2	
70歳以上	205	131	28	34	12	
	100.0	63.9	13.7	16.6	5.9	
性別	男性	347	154	129	58	6
		100.0	44.4	37.2	16.7	1.7
	女性	400	186	123	80	11
		100.0	46.5	30.8	20.0	2.8
小学校区別	須賀小学校区	213	115	53	41	4
		100.0	54.0	24.9	19.2	1.9
	百間小学校区	245	112	88	38	7
		100.0	45.7	35.9	15.5	2.9
	東小学校区	137	51	55	29	2
		100.0	37.2	40.1	21.2	1.5
	笠原小学校区	123	53	44	22	4
		100.0	43.1	35.8	17.9	3.3

2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

③地域の自主防災組織に入っていますか

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		753	165	417	147	24
		100.0	21.9	55.4	19.5	3.2
年 令 別	18～29歳	63	2	37	21	3
		100.0	3.2	58.7	33.3	4.8
	30～39歳	96	8	57	30	1
		100.0	8.3	59.4	31.3	1.0
	40～49歳	112	14	67	27	4
		100.0	12.5	59.8	24.1	3.6
	50～59歳	105	24	60	21	-
	100.0	22.9	57.1	20.0	-	
60～69歳		168	50	89	25	4
		100.0	29.8	53.0	14.9	2.4
70歳以上		205	65	106	23	11
		100.0	31.7	51.7	11.2	5.4
性 別	男性	347	68	216	53	10
		100.0	19.6	62.2	15.3	2.9
女性		400	95	198	94	13
		100.0	23.8	49.5	23.5	3.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213	48	123	35	7
		100.0	22.5	57.7	16.4	3.3
	百間小学校区	245	56	134	49	6
		100.0	22.9	54.7	20.0	2.4
	東小学校区	137	33	74	28	2
	100.0	24.1	54.0	20.4	1.5	
笠原小学校区		123	21	68	28	6
		100.0	17.1	55.3	22.8	4.9

④日ごろから地域の防災訓練に参加していますか

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		753	158	538	35	22
		100.0	21.0	71.4	4.6	2.9
年 令 別	18～29歳	63	1	57	5	-
		100.0	1.6	90.5	7.9	-
	30～39歳	96	7	81	7	1
		100.0	7.3	84.4	7.3	1.0
	40～49歳	112	11	92	6	3
		100.0	9.8	82.1	5.4	2.7
	50～59歳	105	20	77	8	-
	100.0	19.0	73.3	7.6	-	
60～69歳		168	48	112	3	5
		100.0	28.6	66.7	1.8	3.0
70歳以上		205	70	117	6	12
		100.0	34.1	57.1	2.9	5.9
性 別	男性	347	67	255	17	8
		100.0	19.3	73.5	4.9	2.3
女性		400	90	280	18	12
		100.0	22.5	70.0	4.5	3.0
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213	52	144	11	6
		100.0	24.4	67.6	5.2	2.8
	百間小学校区	245	46	185	8	6
		100.0	18.8	75.5	3.3	2.4
	東小学校区	137	34	94	8	1
	100.0	24.8	68.6	5.8	0.7	
笠原小学校区		123	20	93	4	6
		100.0	16.3	75.6	3.3	4.9

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

⑤あなたのまわりに、災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な人はいますか

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		753 100.0	158 21.0	538 71.4	35 4.6	22 2.9
年齢別	18～29歳	63 100.0	6 9.5	22 34.9	35 55.6	- -
	30～39歳	96 100.0	13 13.5	34 35.4	47 49.0	2 2.1
	40～49歳	112 100.0	22 19.6	35 31.3	53 47.3	2 1.8
	50～59歳	105 100.0	26 24.8	36 34.3	43 41.0	- -
	60～69歳	168 100.0	42 25.0	54 32.1	69 41.1	3 1.8
	70歳以上	205 100.0	71 34.6	46 22.4	77 37.6	11 5.4
	性別	男性	347 100.0	79 22.8	113 32.6	148 42.7
女性		400 100.0	101 25.3	112 28.0	176 44.0	11 2.8
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	64 30.0	56 26.3	88 41.3	5 2.3
	百間小学校区	245 100.0	53 21.6	79 32.2	108 44.1	5 2.0
	東小学校区	137 100.0	36 26.3	37 27.0	63 46.0	1 0.7
	笠原小学校区	123 100.0	23 18.7	42 34.1	52 42.3	6 4.9

2-2 調査の結果

問22 個人の情報を地域で共有する必要性

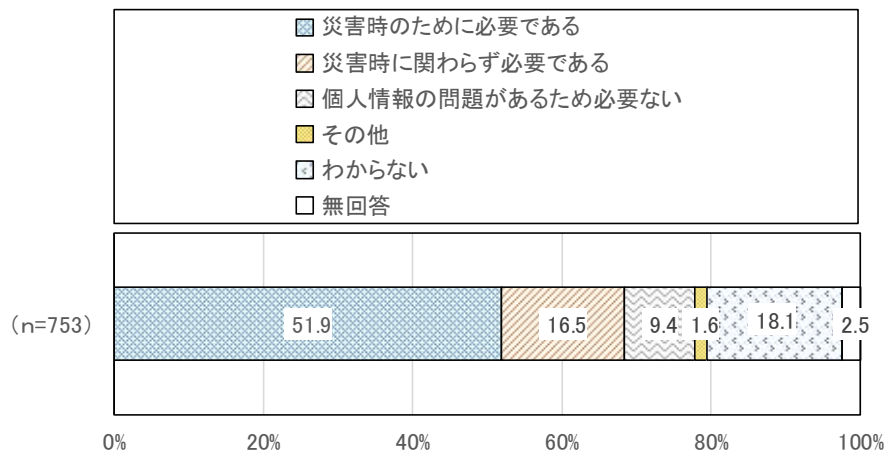
問 22 災害時の支援や安否確認のために、プライバシーの保護に配慮しながら、個人の情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

回答者全体では「災害時のために必要である」(51.9%)が最も多く、次いで「災害時に関わらず必要である」(16.5%)、「個人情報の問題があるため必要ない」(9.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「災害時のために必要である」が最も多くなっています

小学校区別の割合は、すべての学区で「災害時のために必要である」が最も多くなっています。

■個人の情報を地域で共有する必要性



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	災害時のために必要である	災害時に関わらず必要である	個人情報の問題があるため必要ない	その他	わからない	無回答
全体		753 100.0	391 51.9	124 16.5	71 9.4	12 1.6	136 18.1	19 2.5
年齢別	18~29歳	63 100.0	34 54.0	2 3.2	12 19.0	2 3.2	12 19.0	1 1.6
	30~39歳	96 100.0	54 56.3	9 9.4	15 15.6	4 4.2	13 13.5	1 1.0
	40~49歳	112 100.0	67 59.8	13 11.6	12 10.7	1 0.9	16 14.3	3 2.7
	50~59歳	105 100.0	61 58.1	11 10.5	3 2.9	2 1.9	28 26.7	- -
	60~69歳	168 100.0	95 56.5	40 23.8	15 8.9	1 0.6	16 9.5	1 0.6
	70歳以上	205 100.0	79 38.5	47 22.9	14 6.8	2 1.0	51 24.9	12 5.9
	性別	男性	347 100.0	174 50.1	56 16.1	43 12.4	7 2.0	59 17.0
女性		400 100.0	215 53.8	66 16.5	28 7.0	5 1.3	76 19.0	10 2.5
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	108 50.7	44 20.7	21 9.9	2 0.9	33 15.5	5 2.3
	百間小学校区	245 100.0	126 51.4	36 14.7	21 8.6	5 2.0	51 20.8	6 2.4
	東小学校区	137 100.0	74 54.0	17 12.4	19 13.9	2 1.5	22 16.1	3 2.2
	笠原小学校区	123 100.0	70 56.9	19 15.4	7 5.7	3 2.4	20 16.3	4 3.3

問23 災害時に住民同士が協力し合うために必要なこと

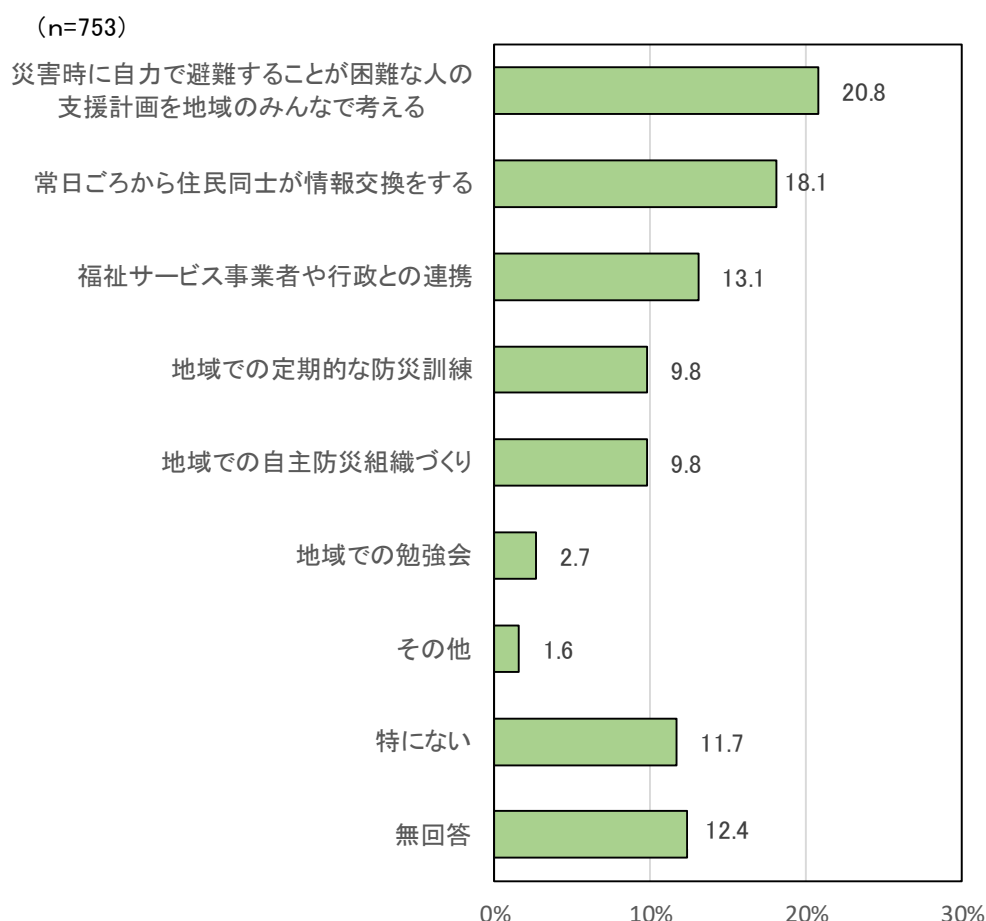
問 23 災害時に住民同士が協力し合うためには、どのようなことが必要だと思いますか。(1つに〇)

回答者全体では、「災害時に自力で避難することが困難な人の支援計画を地域のみみんなで考える」(20.8%)が最も多く、次いで「常日ごろから住民同士が情報交換をする」(18.1%)、「福祉サービス事業者や行政との連携」(13.1%)、「地域での定期的な防災訓練」と「地域での自主防災組織づくり」(9.8%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳は「福祉サービス事業者や行政との連携」、30～39歳は「常日ごろから住民同士が情報交換をする」と「福祉サービス事業者や行政との連携」、40～49歳は「常日ごろから住民同士が情報交換をする」、50代以上は「災害時に自力で避難することが困難な人の支援計画を地域のみみんなで考える」とが最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「災害時に自力で避難することが困難な人の支援計画を地域のみみんなで考える」が最も多くなっています。

■災害時に住民同士が協力し合うために必要なこと



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	災害時に自力で避難することが困難な人の支援計画を地域のみんで考える	地域での自主防災組織づくり	地域での定期的な防災訓練	常日ごろから住民同士が情報交換をする
全体		753 100.0	157 20.8	74 9.8	74 9.8	136 18.1
年齢別	18～29歳	63 100.0	8 12.7	5 7.9	5 7.9	10 15.9
	30～39歳	96 100.0	11 11.5	10 10.4	11 11.5	16 16.7
	40～49歳	112 100.0	20 17.9	12 10.7	11 9.8	24 21.4
	50～59歳	105 100.0	27 25.7	9 8.6	9 8.6	19 18.1
	60～69歳	168 100.0	38 22.6	19 11.3	17 10.1	31 18.5
	70歳以上	205 100.0	53 25.9	19 9.3	20 9.8	35 17.1
	性別	男性	347 100.0	66 19.0	36 10.4	35 10.1
女性		400 100.0	90 22.5	38 9.5	38 9.5	72 18.0
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	43 20.2	23 10.8	21 9.9	43 20.2
	百間小学校区	245 100.0	50 20.4	25 10.2	24 9.8	39 15.9
	東小学校区	137 100.0	32 23.4	14 10.2	11 8.0	29 21.2
	笠原小学校区	123 100.0	28 22.8	10 8.1	12 9.8	19 15.4

		地域での勉強会	福祉サービス事業者や行政との連携	その他	特にない	無回答
全体		20 2.7	99 13.1	12 1.6	88 11.7	93 12.4
年齢別	18～29歳	1 1.6	14 22.2	3 4.8	12 19.0	5 7.9
	30～39歳	4 4.2	16 16.7	1 1.0	20 20.8	7 7.3
	40～49歳	2 1.8	15 13.4	4 3.6	11 9.8	13 11.6
	50～59歳	2 1.9	13 12.4	-	15 14.3	11 10.5
	60～69歳	8 4.8	22 13.1	3 1.8	13 7.7	17 10.1
	70歳以上	3 1.5	19 9.3	1 0.5	17 8.3	38 18.5
	性別	男性	8 2.3	44 12.7	9 2.6	50 14.4
女性		12 3.0	55 13.8	3 0.8	38 9.5	54 13.5
小学校区別	須賀小学校区	7 3.3	20 9.4	2 0.9	28 13.1	26 12.2
	百間小学校区	6 2.4	38 15.5	7 2.9	26 10.6	30 12.2
	東小学校区	1 0.7	21 15.3	2 1.5	16 11.7	11 8.0
	笠原小学校区	5 4.1	15 12.2	1 0.8	14 11.4	19 15.4

問24 見守りや災害時の安否確認等をする支援体制

問 24 ご近所の支援が必要な高齢者などに対して、見守りや災害時の安否確認等をする支援体制は整っていますか。(1つに〇)

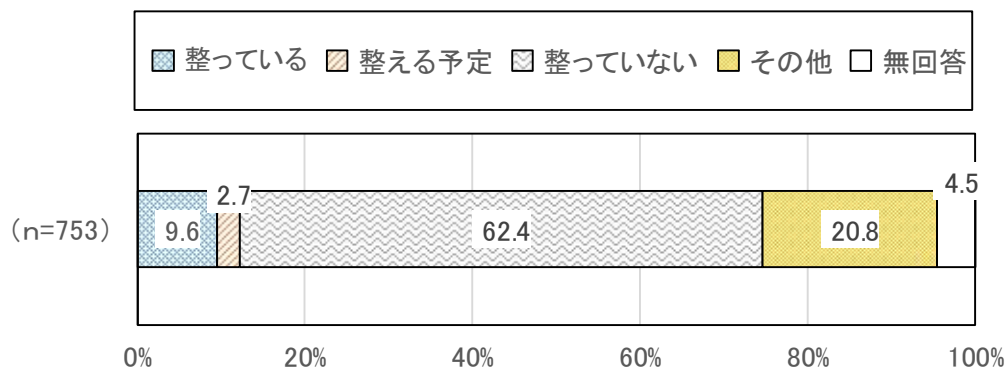
回答者全体では、「整っていない」(62.4%)が最も多く、次いで「その他」(20.8%)、「整っている」(9.6%)、「整える予定」(2.7%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「整っていない」が最も多くなっており、6割を超えています。

性別の割合をみると、「整っていない」は男性の方が女性より13.7ポイント多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「整っていない」が最も多くなっています。

■見守りや災害時の安否確認等をする支援体制



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	整っている	整える予定	整っていない	その他	無回答
全体		753	72	20	470	157	34
		100.0	9.6	2.7	62.4	20.8	4.5
年齢別	18~29歳	63	4	2	40	17	-
		100.0	6.3	3.2	63.5	27.0	-
	30~39歳	96	2	4	61	25	4
		100.0	2.1	4.2	63.5	26.0	4.2
	40~49歳	112	5	4	70	29	4
		100.0	4.5	3.6	62.5	25.9	3.6
	50~59歳	105	13	1	68	23	-
	100.0	12.4	1.0	64.8	21.9	-	
年齢別	60~69歳	168	23	3	102	35	5
		100.0	13.7	1.8	60.7	20.8	3.0
	70歳以上	205	25	5	127	28	20
	100.0	12.2	2.4	62.0	13.7	9.8	
性別	男性	347	29	9	242	58	9
		100.0	8.4	2.6	69.7	16.7	2.6
性別	女性	400	43	10	224	99	24
		100.0	10.8	2.5	56.0	24.8	6.0
小学校区別	須賀小学校区	213	28	7	122	50	6
		100.0	13.1	3.3	57.3	23.5	2.8
	百間小学校区	245	18	5	164	45	13
		100.0	7.3	2.0	66.9	18.4	5.3
	東小学校区	137	5	3	92	34	3
	100.0	3.6	2.2	67.2	24.8	2.2	
小学校区別	笠原小学校区	123	21	4	68	21	9
		100.0	17.1	3.3	55.3	17.1	7.3

⑥ 福祉のまちづくりについて

問25 「福祉サービス」に関する情報の入手先

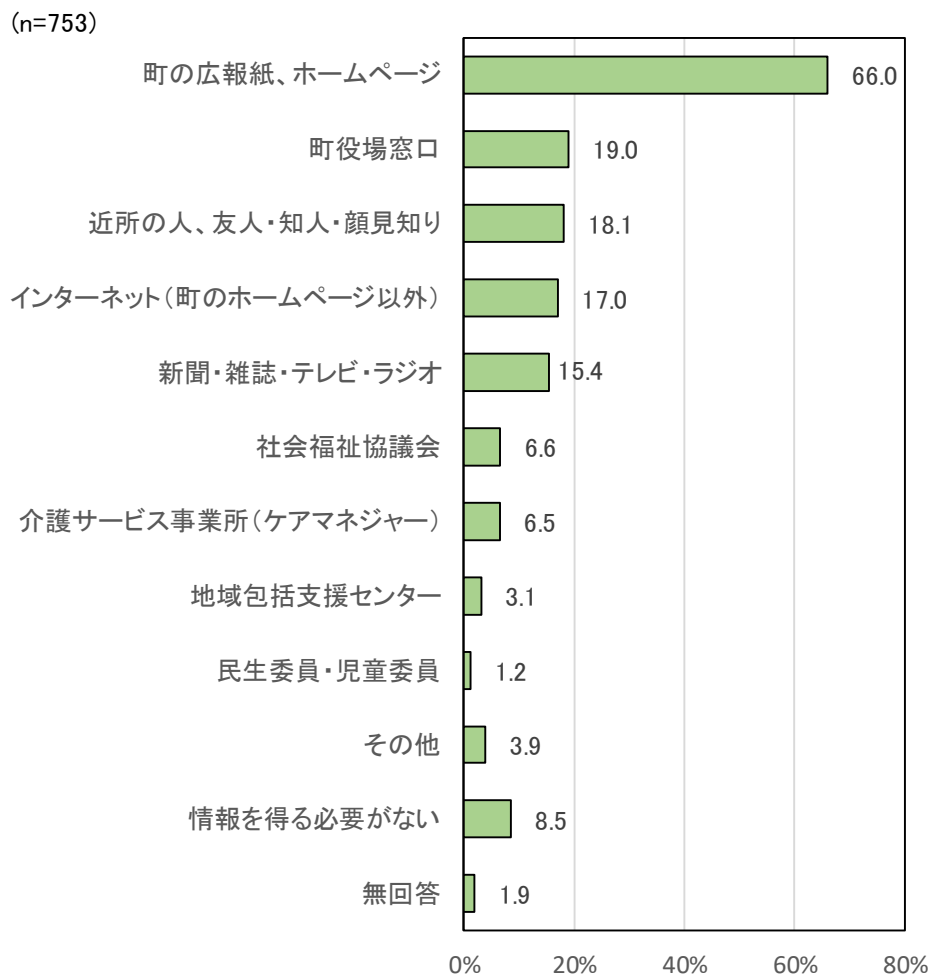
問 25 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(すべてに○)

回答者全体では、「町の広報紙、ホームページ」(66.0%)が最も多く、次いで「町役場窓口」(19.0%)、「近所の人、友人・知人・顔見知り」(18.1%)、「インターネット(町のホームページ以外)」(17.0%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(15.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「町の広報紙、ホームページ」が最も多くなっていますが、18~29歳は「情報を得る必要がない」(30.2%)が2番目に多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「町の広報紙、ホームページ」が最も多く、6割を超えています。

■ 「福祉サービス」に関する情報の入手先



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	町役場窓口	町の広報紙、 ホームページ	社会福祉協議 会	民生委員・児 童委員	地域包括支援 センター	介護サービス 事業所（ケア マネジャー）
全体		753 100.0	143 19.0	497 66.0	50 6.6	9 1.2	23 3.1	49 6.5
年 令 別	18～29歳	63 100.0	5 7.9	24 38.1	2 3.2	- -	- -	- -
	30～39歳	96 100.0	17 17.7	58 60.4	1 1.0	1 1.0	1 1.0	- -
	40～49歳	112 100.0	14 12.5	79 70.5	4 3.6	- -	2 1.8	3 2.7
	50～59歳	105 100.0	17 16.2	74 70.5	5 4.8	- -	3 2.9	9 8.6
	60～69歳	168 100.0	36 21.4	129 76.8	20 11.9	2 1.2	9 5.4	16 9.5
	70歳以上	205 100.0	52 25.4	132 64.4	17 8.3	6 2.9	8 3.9	21 10.2
	性 別	男性	347 100.0	69 19.9	210 60.5	21 6.1	3 0.9	5 1.4
女性		400 100.0	72 18.0	284 71.0	28 7.0	6 1.5	18 4.5	27 6.8
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	46 21.6	137 64.3	18 8.5	2 0.9	9 4.2	13 6.1
	百間小学校区	245 100.0	51 20.8	168 68.6	20 8.2	5 2.0	8 3.3	22 9.0
	東小学校区	137 100.0	16 11.7	96 70.1	6 4.4	- -	3 2.2	5 3.6
	笠原小学校区	123 100.0	21 17.1	80 65.0	5 4.1	1 0.8	2 1.6	8 6.5

		近所の人、友 人・知人・顔 見知り	新聞・雑誌・ テレビ・ラジ オ	インターネット （町のホー ムページ以 外）	その他	情報を得る必 要がない	無回答
全体		136 18.1	116 15.4	128 17.0	29 3.9	64 8.5	14 1.9
年 令 別	18～29歳	6 9.5	10 15.9	14 22.2	4 6.3	19 30.2	- -
	30～39歳	13 13.5	5 5.2	22 22.9	2 2.1	15 15.6	2 2.1
	40～49歳	13 11.6	12 10.7	26 23.2	7 6.3	9 8.0	3 2.7
	50～59歳	9 8.6	17 16.2	22 21.0	4 3.8	10 9.5	- -
	60～69歳	34 20.2	21 12.5	31 18.5	6 3.6	8 4.8	1 0.6
	70歳以上	61 29.8	51 24.9	12 5.9	6 2.9	3 1.5	7 3.4
	性 別	男性	49 14.1	53 15.3	59 17.0	15 4.3	39 11.2
女性		86 21.5	63 15.8	68 17.0	14 3.5	25 6.3	6 1.5
小 学 校 区 別	須賀小学校区	49 23.0	44 20.7	34 16.0	8 3.8	20 9.4	3 1.4
	百間小学校区	39 15.9	39 15.9	42 17.1	9 3.7	10 4.1	5 2.0
	東小学校区	26 19.0	21 15.3	29 21.2	5 3.6	17 12.4	1 0.7
	笠原小学校区	18 14.6	11 8.9	18 14.6	5 4.1	15 12.2	4 3.3

2-2 調査の結果

問26 成年後見制度について

問 26 あなたは、「成年後見制度」を利用していますか。または今後利用したいと
 思いますか。(1つに○)

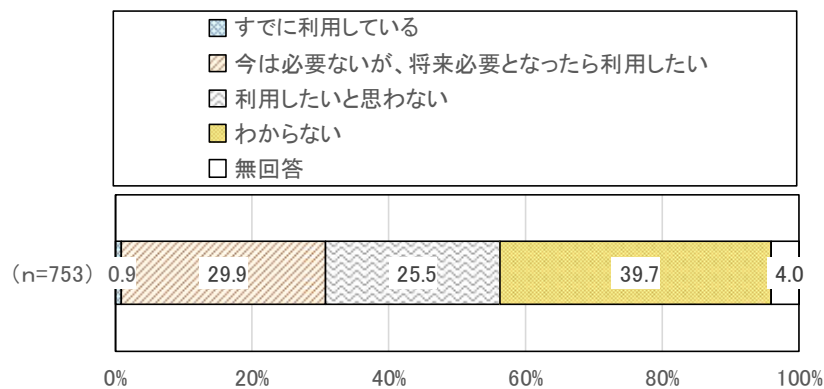
※成年後見制度…判断能力が不自由な人の介護、福祉サービスを利用するための手続きや預貯金の財産管理を代わりに行ったり、悪質商法の契約から守ったりしてくれる「成年後見人」を家庭裁判所が選任し、本人を支援する制度です。

「わからない」(39.7%)を除くと、回答者全体では、「今は必要ないが、将来必要となったら利用したい」(29.9%)が最も多く、次いで「利用したいと思わない」(25.5%)、「すでに利用している」(0.9%)となっています。

年齢別の割合をみると、50代までは「今は必要ないが、将来必要となったら利用したい」が最も多く、60代以上では「利用したいと思わない」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「今は必要ないが、将来必要となったら利用したい」が最も多くなっています。

■成年後見制度の利用意向



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	すでに利用している	今は必要ないが、将来必要となったら利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		753 100.0	7 0.9	225 29.9	192 25.5	299 39.7	30 4.0
年齢別	18~29歳	63 100.0	- -	22 34.9	12 19.0	28 44.4	1 1.6
	30~39歳	96 100.0	1 1.0	26 27.1	19 19.8	48 50.0	2 2.1
	40~49歳	112 100.0	- -	39 34.8	26 23.2	45 40.2	2 1.8
	50~59歳	105 100.0	1 1.0	38 36.2	19 18.1	44 41.9	3 2.9
	60~69歳	168 100.0	4 2.4	50 29.8	56 33.3	51 30.4	7 4.2
	70歳以上	205 100.0	1 0.5	50 24.4	58 28.3	83 40.5	13 6.3
	性別	男性	347 100.0	1 0.3	113 32.6	87 25.1	139 40.1
女性		400 100.0	6 1.5	112 28.0	103 25.8	158 39.5	21 5.3
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	- -	66 31.0	58 27.2	82 38.5	7 3.3
	百間小学校区	245 100.0	3 1.2	74 30.2	60 24.5	96 39.2	12 4.9
	東小学校区	137 100.0	1 0.7	42 30.7	36 26.3	53 38.7	5 3.6
	笠原小学校区	123 100.0	2 1.6	30 24.4	28 22.8	59 48.0	4 3.3

問27 ボランティアなどの助け合い、支え合い活動を活発にしていくために大切なこと

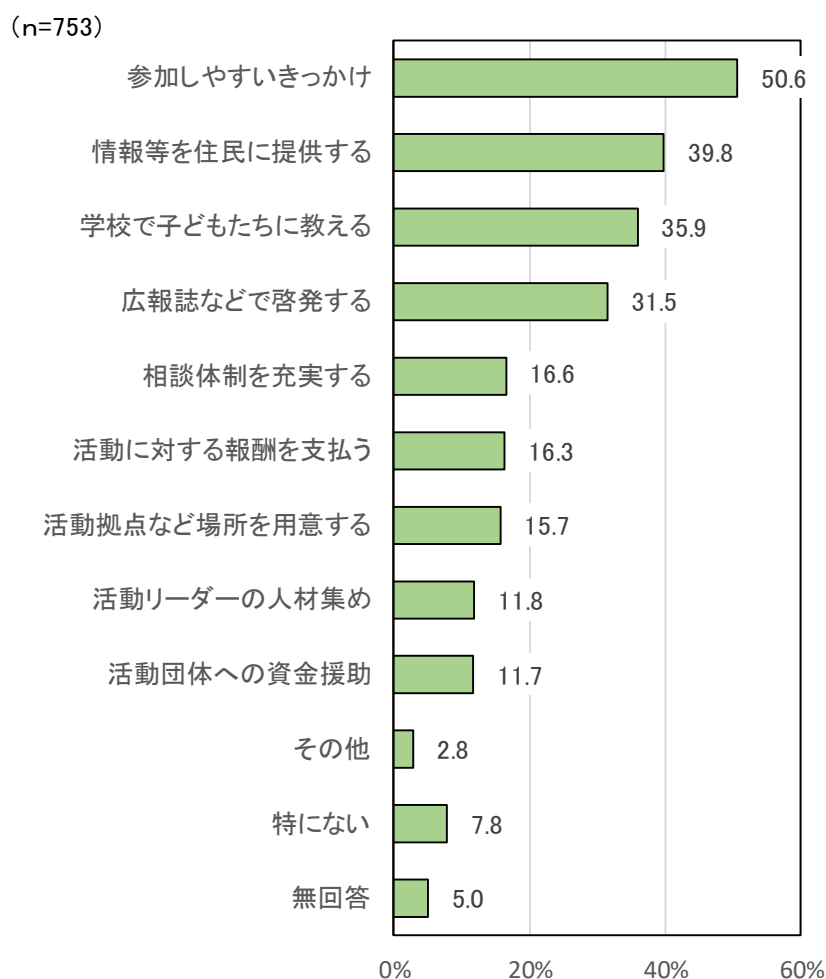
問 27 ボランティアなどの助け合い、支え合い活動を活発にしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(すべてに○)

回答者全体では、「参加しやすいきっかけ」(50.6%)が最も多く、次いで「情報等を住民に提供する」(39.8%)、「学校で子どもたちに教える」(35.9%)、「広報誌などで啓発する」(31.5%)、「相談体制を充実する」(16.6%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「参加しやすいきっかけ」が最も多くなっており、特に30代までの比較的若い層では、6割を超えています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「参加しやすいきっかけ」が最も多く、約5割となっています。

■ ボランティアなどの助け合い、支え合い活動を活発にしていくために大切なこと



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	学校で子ども たちに教える	広報誌などで 啓発する	情報等を住民 に提供する	相談体制を充 実する	参加しやすい きっかけ	活動拠点など 場所を 用意する
全体		753 100.0	270 35.9	237 31.5	300 39.8	125 16.6	381 50.6	118 15.7
年 令 別	18～29歳	63 100.0	29 46.0	13 20.6	17 27.0	9 14.3	38 60.3	4 6.3
	30～39歳	96 100.0	43 44.8	21 21.9	34 35.4	8 8.3	60 62.5	9 9.4
	40～49歳	112 100.0	51 45.5	35 31.3	45 40.2	14 12.5	61 54.5	17 15.2
	50～59歳	105 100.0	36 34.3	35 33.3	50 47.6	24 22.9	55 52.4	20 19.0
	60～69歳	168 100.0	61 36.3	62 36.9	72 42.9	33 19.6	80 47.6	29 17.3
	70歳以上	205 100.0	49 23.9	70 34.1	81 39.5	36 17.6	87 42.4	38 18.5
性 別	男性	347 100.0	125 36.0	100 28.8	123 35.4	53 15.3	166 47.8	47 13.5
	女性	400 100.0	143 35.8	135 33.8	175 43.8	71 17.8	214 53.5	70 17.5
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	75 35.2	63 29.6	81 38.0	42 19.7	103 48.4	26 12.2
	百間小学校区	245 100.0	86 35.1	76 31.0	100 40.8	41 16.7	133 54.3	55 22.4
	東小学校区	137 100.0	54 39.4	48 35.0	56 40.9	17 12.4	68 49.6	10 7.3
	笠原小学校区	123 100.0	47 38.2	42 34.1	51 41.5	15 12.2	64 52.0	20 16.3

		活動団体への 資金援助	活動に対する 報酬を支払う	活動リーダー の人材集め	その他	特にない	無回答
全体		88 11.7	123 16.3	89 11.8	21 2.8	59 7.8	38 5.0
年 令 別	18～29歳	8 12.7	13 20.6	5 7.9	3 4.8	4 6.3	1 1.6
	30～39歳	11 11.5	17 17.7	7 7.3	3 3.1	5 5.2	1 1.0
	40～49歳	8 7.1	25 22.3	12 10.7	4 3.6	5 4.5	4 3.6
	50～59歳	16 15.2	22 21.0	14 13.3	2 1.9	7 6.7	5 4.8
	60～69歳	25 14.9	26 15.5	18 10.7	3 1.8	13 7.7	8 4.8
	70歳以上	20 9.8	20 9.8	32 15.6	6 2.9	25 12.2	17 8.3
性 別	男性	41 11.8	58 16.7	41 11.8	16 4.6	35 10.1	11 3.2
	女性	47 11.8	65 16.3	46 11.5	5 1.3	24 6.0	25 6.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	23 10.8	35 16.4	25 11.7	7 3.3	18 8.5	6 2.8
	百間小学校区	36 14.7	50 20.4	36 14.7	5 2.0	18 7.3	17 6.9
	東小学校区	9 6.6	22 16.1	8 5.8	5 3.6	8 5.8	5 3.6
	笠原小学校区	14 11.4	10 8.1	15 12.2	3 2.4	10 8.1	7 5.7

問28 生活が困窮したときに利用したいサービス

問 28 あなたは、生活が困窮したときにどのようなサービスを利用したいと思いますか。(3つまでに○)

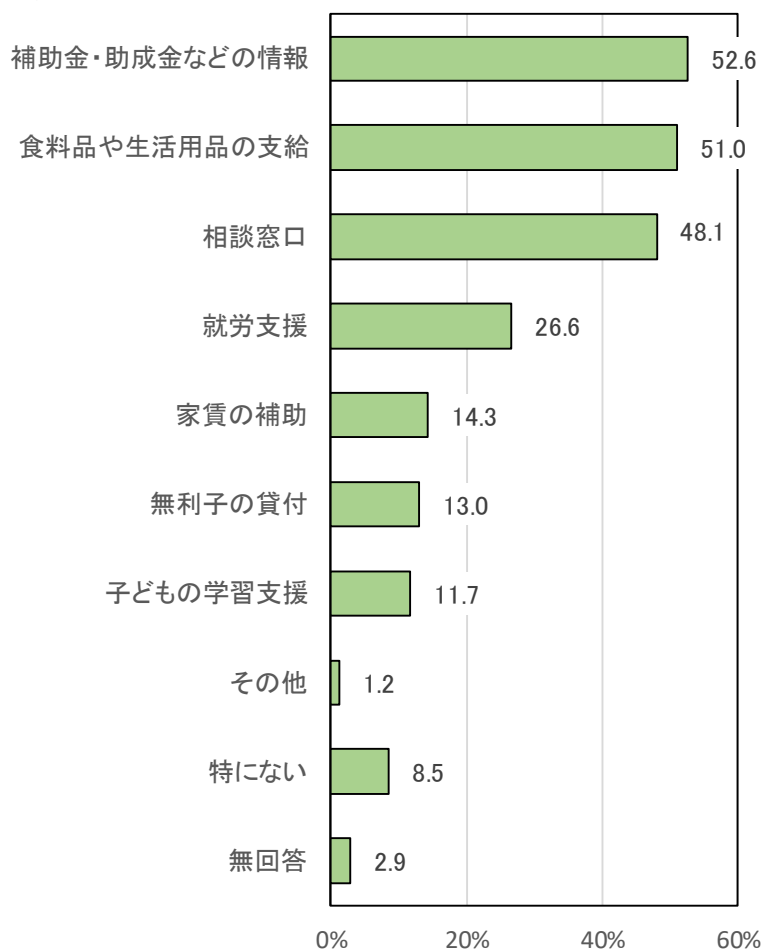
回答者全体では、「補助金・助成金などの情報」(52.6%)が最も多く、次いで「食料品や生活用品の支給」(51.0%)、「相談窓口」(48.1%)、「就労支援」(26.6%)、「家賃の補助」(14.3%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳・50～59歳・70歳以上は「食料品や生活用品の支給」、30～39歳・40～49歳は・60～69歳は「補助金・助成金などの情報」が最も多くなっています。

小学校区別の割合は、須賀小学校区は「食料品や生活用品の支給」、他の3学区は「補助金・助成金などの情報」が最も多くなっています。

■生活が困窮したときに利用したいサービス

(n=753)



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	相談窓口	無利子の貸付	食料品や生活用品の支給	家賃の補助	就労支援
全体		753 100.0	362 48.1	98 13.0	384 51.0	108 14.3	200 26.6
年齢別	18～29歳	63 100.0	23 36.5	14 22.2	37 58.7	18 28.6	28 44.4
	30～39歳	96 100.0	30 31.3	18 18.8	50 52.1	34 35.4	33 34.4
	40～49歳	112 100.0	52 46.4	16 14.3	60 53.6	25 22.3	45 40.2
	50～59歳	105 100.0	57 54.3	16 15.2	56 53.3	13 12.4	44 41.9
	60～69歳	168 100.0	88 52.4	13 7.7	89 53.0	11 6.5	37 22.0
	70歳以上	205 100.0	111 54.1	20 9.8	92 44.9	7 3.4	13 6.3
	性別	男性	347 100.0	157 45.2	55 15.9	172 49.6	43 12.4
女性		400 100.0	202 50.5	42 10.5	211 52.8	65 16.3	95 23.8
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	102 47.9	31 14.6	119 55.9	27 12.7	51 23.9
	百間小学校区	245 100.0	125 51.0	34 13.9	125 51.0	29 11.8	63 25.7
	東小学校区	137 100.0	65 47.4	15 10.9	67 48.9	21 15.3	39 28.5
	笠原小学校区	123 100.0	54 43.9	13 10.6	62 50.4	25 20.3	37 30.1

		子どもの学習支援	補助金・助成金などの情報	その他	特にない	無回答
全体		88 11.7	396 52.6	9 1.2	64 8.5	22 2.9
年齢別	18～29歳	7 11.1	34 54.0	- -	2 3.2	1 1.6
	30～39歳	38 39.6	56 58.3	1 1.0	2 2.1	1 1.0
	40～49歳	27 24.1	61 54.5	1 0.9	6 5.4	2 1.8
	50～59歳	7 6.7	54 51.4	- -	9 8.6	3 2.9
	60～69歳	7 4.2	99 58.9	1 0.6	15 8.9	4 2.4
	70歳以上	2 1.0	91 44.4	6 2.9	29 14.1	9 4.4
	性別	男性	40 11.5	175 50.4	6 1.7	32 9.2
女性		48 12.0	219 54.8	3 0.8	31 7.8	14 3.5
小学校区別	須賀小学校区	26 12.2	105 49.3	4 1.9	21 9.9	4 1.9
	百間小学校区	23 9.4	129 52.7	2 0.8	17 6.9	9 3.7
	東小学校区	20 14.6	78 56.9	1 0.7	9 6.6	4 2.9
	笠原小学校区	17 13.8	65 52.8	1 0.8	13 10.6	3 2.4

問29 効果的な地域福祉を推進していくために重要なこと

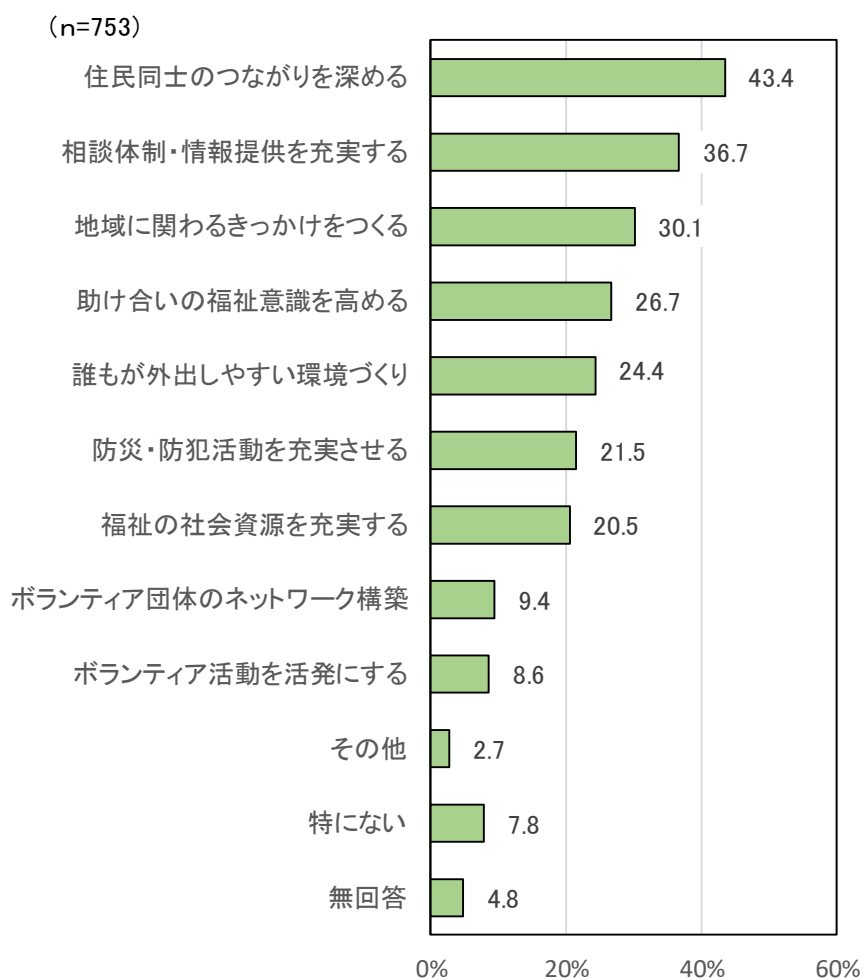
問 29 効果的な地域福祉を推進していくために重要なことは何だと思えますか。
(すべてに○)

回答者全体では、「住民同士のつながりを深める」(43.4%)が最も多く、次いで「相談体制・情報提供を充実する」(36.7%)、「地域に関わるきっかけをつくる」(30.1%)、「助け合いの福祉意識を高める」(26.7%)、「誰もが外出しやすい環境づくり」(24.4%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳は「住民同士のつながりを深める」と「地域に関わるきっかけをつくる」、30～39歳は「地域に関わるきっかけをつくる」、と40～49歳と50～59歳は「相談体制・情報提供を充実する」、60～69歳と70歳以上は「住民同士のつながりを深める」というように、年齢ごとに最も多い回答が分かれています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「住民同士のつながりを深める」が最も多くなっています。

■効果的な地域福祉を推進していくために重要なこと



2-2 調査の結果

■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	住民同士の つながりを 深める	誰もが外出 しやすい環 境づくり	防災・防犯 活動を充実 させる	地域に関わ るきっかけ をつくる	助け合いの 福祉意識を 高める	ボランティ ア活動を活 発にする
全体		753 100.0	327 43.4	184 24.4	162 21.5	227 30.1	201 26.7	65 8.6
年 令 別	18～29歳	63 100.0	23 36.5	15 23.8	14 22.2	23 36.5	10 15.9	7 11.1
	30～39歳	96 100.0	30 31.3	32 33.3	12 12.5	39 40.6	15 15.6	6 6.3
	40～49歳	112 100.0	42 37.5	26 23.2	27 24.1	39 34.8	34 30.4	13 11.6
	50～59歳	105 100.0	38 36.2	15 14.3	21 20.0	32 30.5	29 27.6	8 7.6
	60～69歳	168 100.0	82 48.8	49 29.2	44 26.2	36 21.4	43 25.6	12 7.1
	70歳以上	205 100.0	110 53.7	47 22.9	44 21.5	58 28.3	70 34.1	19 9.3
	性 別	男性	347 100.0	155 44.7	76 21.9	71 20.5	102 29.4	94 27.1
女性		400 100.0	168 42.0	108 27.0	91 22.8	124 31.0	107 26.8	27 6.8
小 学 校 区 別	須賀小学校区	213 100.0	103 48.4	61 28.6	41 19.2	62 29.1	57 26.8	16 7.5
	百間小学校区	245 100.0	101 41.2	57 23.3	51 20.8	74 30.2	67 27.3	26 10.6
	東小学校区	137 100.0	62 45.3	31 22.6	34 24.8	43 31.4	37 27.0	8 5.8
	笠原小学校区	123 100.0	49 39.8	28 22.8	30 24.4	43 35.0	34 27.6	13 10.6

		福祉の社会 資源を充実 する	相談体制・ 情報提供を 充実する	ボランティ ア団体の ネットワー ク構築	その他	特にない	無回答
全体		154 20.5	276 36.7	71 9.4	20 2.7	59 7.8	36 4.8
年 令 別	18～29歳	11 17.5	18 28.6	7 11.1	3 4.8	8 12.7	1 1.6
	30～39歳	18 18.8	23 24.0	8 8.3	3 3.1	12 12.5	2 2.1
	40～49歳	29 25.9	45 40.2	10 8.9	2 1.8	7 6.3	3 2.7
	50～59歳	24 22.9	53 50.5	18 17.1	3 2.9	7 6.7	4 3.8
	60～69歳	40 23.8	70 41.7	13 7.7	4 2.4	10 6.0	7 4.2
	70歳以上	32 15.6	65 31.7	14 6.8	5 2.4	15 7.3	17 8.3
	性 別	男性	67 19.3	110 31.7	33 9.5	12 3.5	38 11.0
女性		87 21.8	164 41.0	36 9.0	8 2.0	21 5.3	25 6.3
小 学 校 区 別	須賀小学校区	41 19.2	69 32.4	16 7.5	10 4.7	19 8.9	5 2.3
	百間小学校区	50 20.4	99 40.4	27 11.0	5 2.0	15 6.1	16 6.5
	東小学校区	30 21.9	52 38.0	11 8.0	1 0.7	9 6.6	4 2.9
	笠原小学校区	27 22.0	40 32.5	12 9.8	4 3.3	12 9.8	8 6.5

問30 これからも宮代町に住み続けたい気持ちはあるか

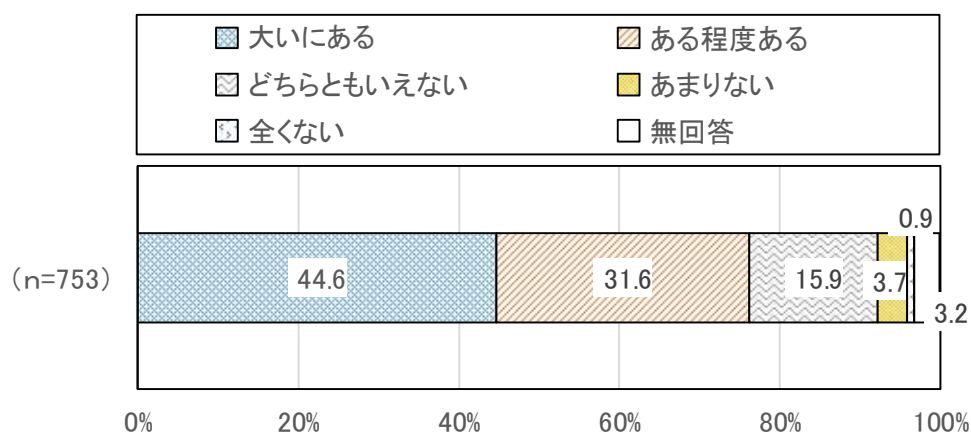
問30 あなたは、これからも宮代町に住み続けたい気持ちはありますか。
(1つに〇)

回答者全体では、「大いにある」(44.6%)が最も多く、次いで「ある程度ある」(31.6%)、「どちらともいえない」(15.9%)、「あまりない」(3.7%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「大いにある」が最も多くなっており、特に70歳以上では5割を超えています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「大いにある」が4割を超えています。

■これからも宮代町に住み続けたい気持ちはあるか



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	大いにある	ある程度ある	どちらともいえない	あまりない	全くない	無回答
全体		753	336	238	120	28	7	24
		100.0	44.6	31.6	15.9	3.7	0.9	3.2
年齢別	18~29歳	63	20	24	12	5	2	-
		100.0	31.7	38.1	19.0	7.9	3.2	-
	30~39歳	96	41	35	18	1	-	1
		100.0	42.7	36.5	18.8	1.0	-	1.0
	40~49歳	112	48	42	14	4	2	2
		100.0	42.9	37.5	12.5	3.6	1.8	1.8
	50~59歳	105	44	31	21	5	1	3
	100.0	41.9	29.5	20.0	4.8	1.0	2.9	
60~69歳	168	65	60	30	6	2	5	
		100.0	38.7	35.7	17.9	3.6	1.2	3.0
	70歳以上	205	116	46	25	7	-	11
	100.0	56.6	22.4	12.2	3.4	-	5.4	
性別	男性	347	156	110	58	11	5	7
		100.0	45.0	31.7	16.7	3.2	1.4	2.0
女性	400	176	128	62	17	2	15	
		100.0	44.0	32.0	15.5	4.3	0.5	3.8
小学校区別	須賀小学校区	213	93	66	39	9	1	5
		100.0	43.7	31.0	18.3	4.2	0.5	2.3
	百間小学校区	245	104	74	45	8	4	10
		100.0	42.4	30.2	18.4	3.3	1.6	4.1
	東小学校区	137	61	53	15	5	-	3
	100.0	44.5	38.7	10.9	3.6	-	2.2	
笠原小学校区	123	62	34	16	5	2	4	
	100.0	50.4	27.6	13.0	4.1	1.6	3.3	

⑦ 民生委員・児童委員について

問31 民生委員・児童委員を知っているか

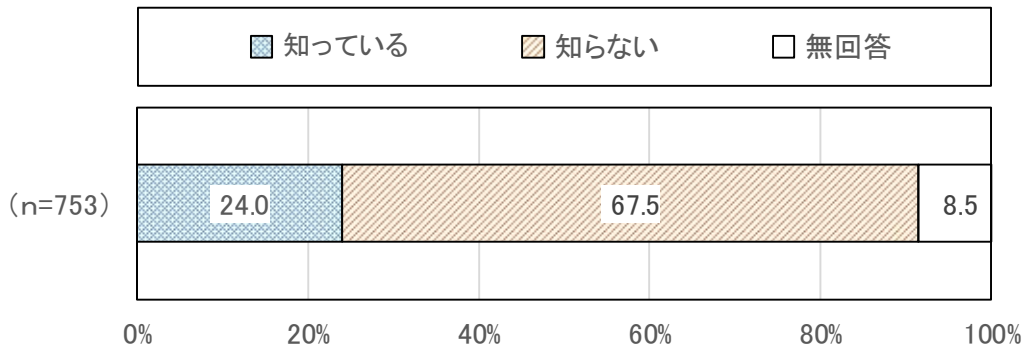
問 31 あなたは、住んでいる地区の民生委員・児童委員を知っていますか。
(1つに〇)

回答者全体では、「知っている」が24.0%に対して、「知らない」は67.5%と、「知らない」が40ポイント以上多くなっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「知らない」の方が多くなっていますが、年齢が高くなるにつれてその割合は少なくなっています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「知らない」が6割を超えています。

■ 民生委員・児童委員を知っているか



■ 年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	知っている	知らない	無回答
全体		753	181	508	64
		100.0	24.0	67.5	8.5
年齢別	18~29歳	63	6	54	3
		100.0	9.5	85.7	4.8
	30~39歳	96	10	78	8
		100.0	10.4	81.3	8.3
	40~49歳	112	16	84	12
		100.0	14.3	75.0	10.7
	50~59歳	105	26	73	6
	100.0	24.8	69.5	5.7	
60~69歳		168	55	105	8
		100.0	32.7	62.5	4.8
	70歳以上	205	68	112	25
	100.0	33.2	54.6	12.2	
性別	男性	347	74	252	21
		100.0	21.3	72.6	6.1
	女性	400	106	253	41
		100.0	26.5	63.3	10.3
小学校区別	須賀小学校区	213	65	129	19
		100.0	30.5	60.6	8.9
	百間小学校区	245	55	171	19
		100.0	22.4	69.8	7.8
	東小学校区	137	29	97	11
	100.0	21.2	70.8	8.0	
	笠原小学校区	123	24	88	11
		100.0	19.5	71.5	8.9

※民生委員・児童委員を「1. 知っている」方にお聞きします

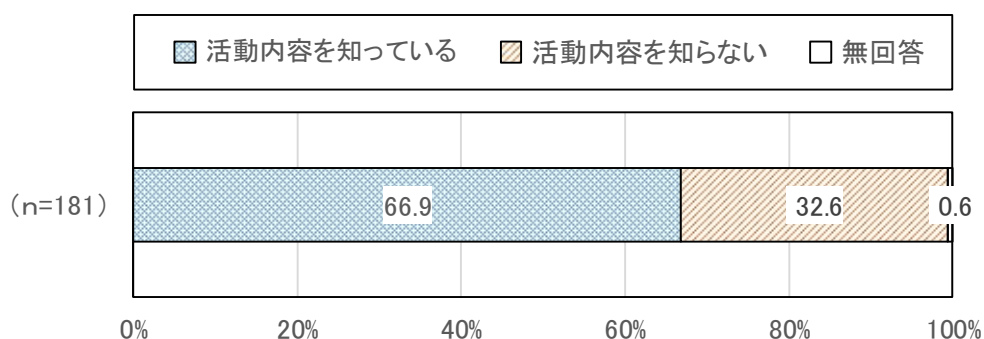
問 31-1 あなたは民生委員・児童委員の活動内容について知っていますか。
(1つに○)

民生委員・児童委員を「知っている」方に、活動内容を知っているかを聞いたところ、「活動内容を知っている」は66.9%に対して、「活動内容を知らない」は32.6%と、「知っている」が34.3ポイント多くなっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳は「活動内容を知っている」は3割程度ですが、30代以上の年齢になると、6割を超えています。

小学校区別の割合は、すべての学区で「活動内容を知っている」は6割を超えています。

■民生委員・児童委員の活動内容について知っているか



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	活動内容を 知っている	活動内容を 知らない	無回答
全体		181	121	59	1
		100.0	66.9	32.6	0.6
年齢別	18～29歳	6	2	4	-
		100.0	33.3	66.7	-
	30～39歳	10	7	3	-
		100.0	70.0	30.0	-
	40～49歳	16	11	5	-
		100.0	68.8	31.3	-
	50～59歳	26	16	10	-
	100.0	61.5	38.5	-	
60～69歳		55	38	16	1
		100.0	69.1	29.1	1.8
	70歳以上	68	47	21	-
	100.0	69.1	30.9	-	
性別	男性	74	45	29	-
		100.0	60.8	39.2	-
	女性	106	75	30	1
		100.0	70.8	28.3	0.9
小学校区別	須賀小学校区	65	45	20	-
		100.0	69.2	30.8	-
	百間小学校区	55	35	19	1
		100.0	63.6	34.5	1.8
	東小学校区	29	20	9	-
	100.0	69.0	31.0	-	
	笠原小学校区	24	16	8	-
		100.0	66.7	33.3	-

⑧ 宮代町社会福祉協議会について

問32 社会福祉協議会のサービスを知っているか

問 32 以下の社会福祉協議会のサービスの中で、あなたが知っているものはありますか。(すべてに〇)

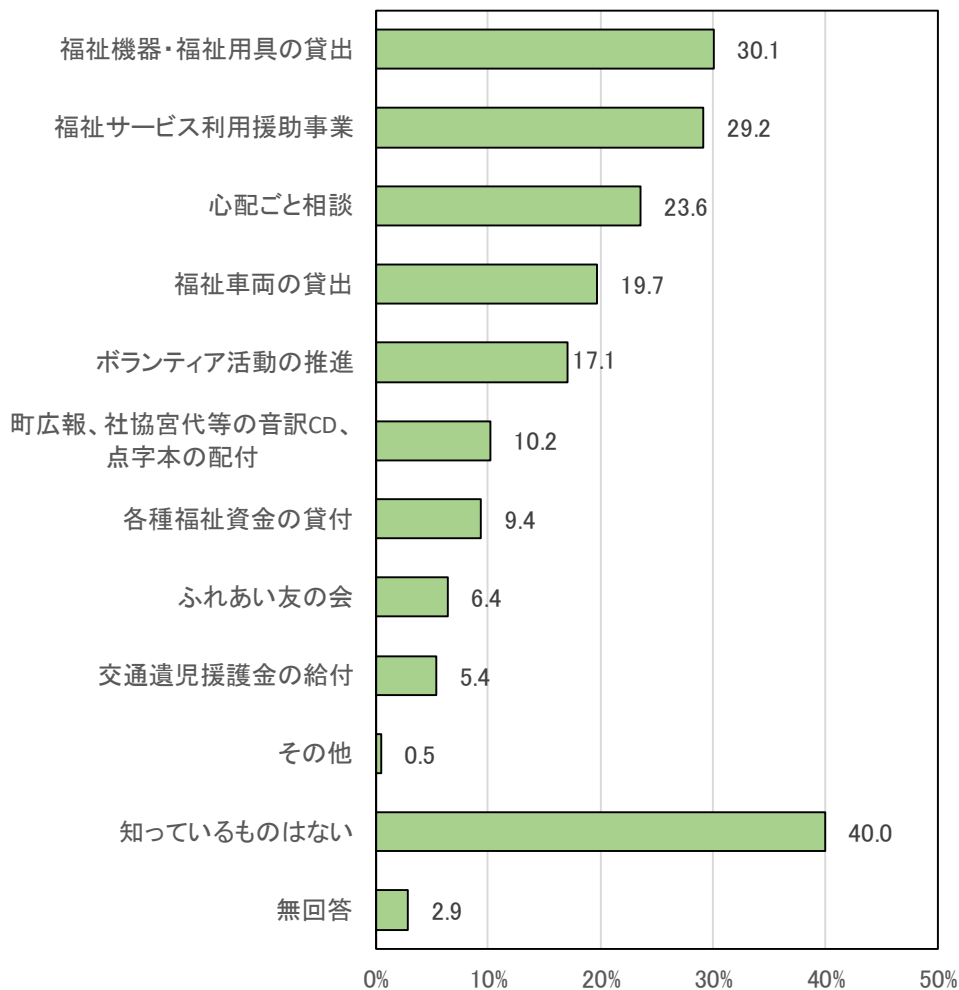
回答者全体では、「福祉機器・福祉用具の貸出」(30.1%)が最も多く、次いで「福祉サービス利用援助事業」(29.2%)、「心配ごと相談」(23.6%)、「福祉車両の貸出」(19.7%)、「ボランティア活動の推進」(17.1%)となっています。

年齢別の割合をみると、18～29歳・40～49歳・50～59歳は「福祉サービス利用援助事業」、30～39歳・60～69歳・70歳以上は「福祉機器・福祉用具の貸出」と、年齢ごとに最も多い回答が分かれています。

小学校区別の割合は、百間小学校区が「福祉機器・福祉用具の貸出」で、他の学区は「福祉サービス利用援助事業」が最も多くなっています。

■社会福祉協議会のサービスを知っているか

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	福祉サービス利用援助事業	心配ごと相談	ボランティア活動の推進	各種福祉資金の貸付	福祉車両の貸出	福祉機器・福祉用具の貸出
全体		753 100.0	220 29.2	178 23.6	129 17.1	71 9.4	148 19.7	227 30.1
年齢別	18～29歳	63 100.0	12 19.0	4 6.3	8 12.7	3 4.8	4 6.3	3 4.8
	30～39歳	96 100.0	13 13.5	7 7.3	7 7.3	9 9.4	12 12.5	14 14.6
	40～49歳	112 100.0	32 28.6	23 20.5	15 13.4	10 8.9	18 16.1	27 24.1
	50～59歳	105 100.0	30 28.6	22 21.0	17 16.2	8 7.6	18 17.1	27 25.7
	60～69歳	168 100.0	67 39.9	62 36.9	39 23.2	25 14.9	46 27.4	70 41.7
	70歳以上	205 100.0	65 31.7	59 28.8	42 20.5	16 7.8	48 23.4	85 41.5
	性別	男性	347 100.0	78 22.5	52 15.0	52 15.0	26 7.5	58 16.7
女性		400 100.0	141 35.3	125 31.3	76 19.0	45 11.3	88 22.0	139 34.8
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	70 32.9	54 25.4	39 18.3	23 10.8	49 23.0	69 32.4
	百間小学校区	245 100.0	73 29.8	67 27.3	50 20.4	27 11.0	54 22.0	85 34.7
	東小学校区	137 100.0	39 28.5	32 23.4	16 11.7	10 7.3	20 14.6	34 24.8
	笠原小学校区	123 100.0	34 27.6	18 14.6	21 17.1	7 5.7	19 15.4	28 22.8

		ふれあい友の会	町広報、社協宮代等の音訳CD、点字本の配付	交通遺児援助金の給付	その他	知っているものはない	無回答
全体		48 6.4	77 10.2	41 5.4	4 0.5	301 40.0	22 2.9
年齢別	18～29歳	6 9.5	8 12.7	1 1.6	-	38 60.3	-
	30～39歳	5 5.2	4 4.2	2 2.1	-	63 65.6	-
	40～49歳	7 6.3	10 8.9	5 4.5	2 1.8	53 47.3	3 2.7
	50～59歳	4 3.8	8 7.6	4 3.8	-	52 49.5	1 1.0
	60～69歳	11 6.5	28 16.7	12 7.1	-	41 24.4	5 3.0
	70歳以上	15 7.3	19 9.3	16 7.8	2 1.0	54 26.3	12 5.9
性別	男性	20 5.8	26 7.5	12 3.5	3 0.9	177 51.0	11 3.2
	女性	28 7.0	50 12.5	28 7.0	1 0.3	124 31.0	9 2.3
小学校区別	須賀小学校区	23 10.8	25 11.7	14 6.6	1 0.5	82 38.5	7 3.3
	百間小学校区	19 7.8	26 10.6	18 7.3	1 0.4	86 35.1	8 3.3
	東小学校区	4 2.9	14 10.2	5 3.6	-	63 46.0	2 1.5
	笠原小学校区	2 1.6	12 9.8	-	2 1.6	57 46.3	2 1.6

2-2 調査の結果

問33 社会福祉協議会の事業を知っているか

問 33 以下の社会福祉協議会の事業の中で、あなたが知っているものはありますか。(すべてに○)

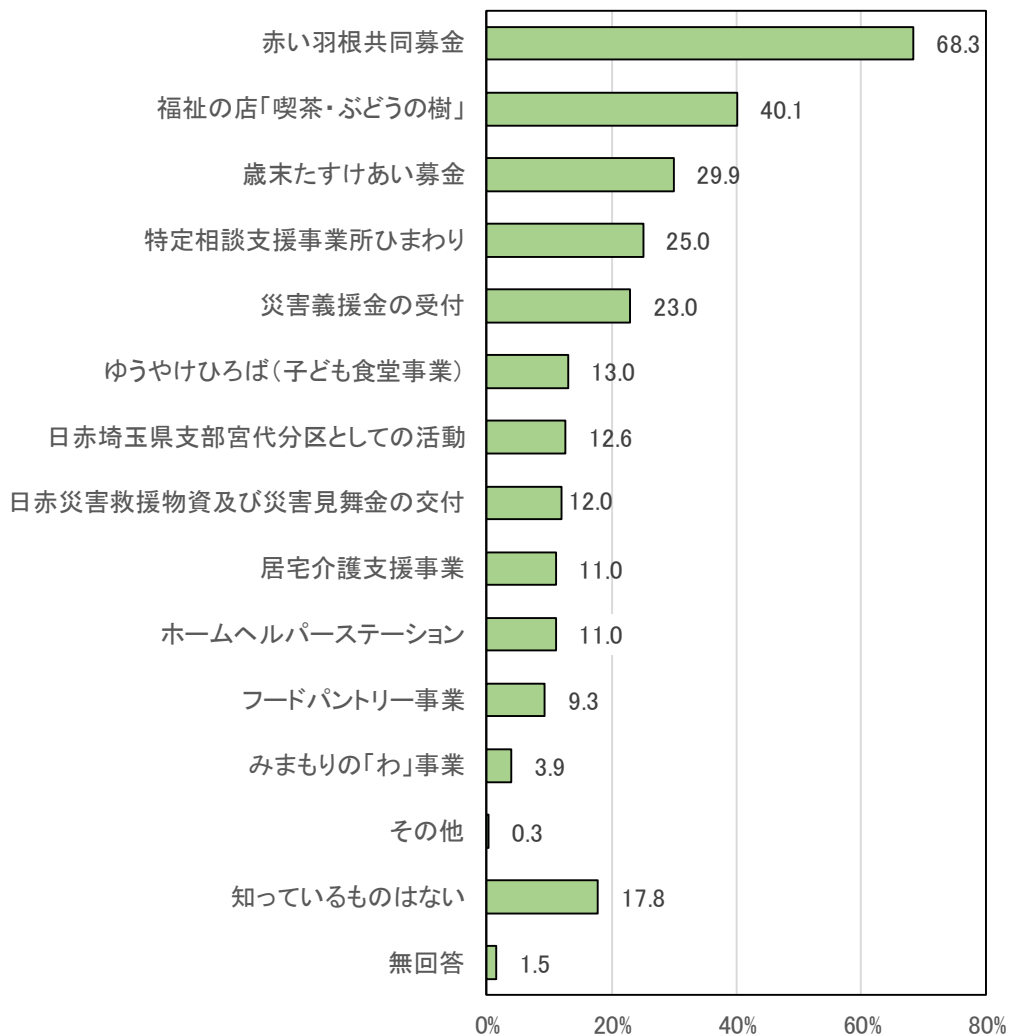
回答者全体では、「赤い羽根共同募金」(68.3%)が最も多く、次いで『福祉の店「喫茶・ぶどうの樹」』(40.1%)、「歳末たすけあい募金」(29.9%)、「特定相談支援事業所ひまわり」(25.0%)、「災害義援金の受付」(23.0%)となっています。

年齢別の割合をみると、すべての年齢で「赤い羽根共同募金」が最も多くなっています。『福祉の店「喫茶・ぶどうの樹」』は、50代以上の4割以上が「知っている」と回答しています。

小学校区別の割合は、すべての学区で7割近い方が「赤い羽根共同募金」と回答しています。

■社会福祉協議会の事業を知っているか

(n=753)



■年齢別・性別・小学校区別クロス集計

		合計	災害義援金の受付	日赤災害救援物資及び災害見舞金の交付	日赤埼玉県支部宮代分区分としての活動	歳末たすけあい募金	赤い羽根共同募金	ゆうやけひろば(子ども食堂事業)	福祉の店「喫茶・ぶどうの樹」
全体		753 100.0	173 23.0	90 12.0	95 12.6	225 29.9	514 68.3	98 13.0	302 40.1
年齢別	18~29歳	63 100.0	9 14.3	5 7.9	4 6.3	9 14.3	41 65.1	6 9.5	15 23.8
	30~39歳	96 100.0	10 10.4	- -	2 2.1	13 13.5	50 52.1	18 18.8	30 31.3
	40~49歳	112 100.0	22 19.6	12 10.7	11 9.8	21 18.8	62 55.4	19 17.0	40 35.7
	50~59歳	105 100.0	25 23.8	13 12.4	13 12.4	35 33.3	74 70.5	9 8.6	42 40.0
	60~69歳	168 100.0	52 31.0	28 16.7	32 19.0	66 39.3	127 75.6	21 12.5	81 48.2
	70歳以上	205 100.0	54 26.3	31 15.1	33 16.1	78 38.0	157 76.6	25 12.2	93 45.4
	性別	男性	347 100.0	69 19.9	33 9.5	39 11.2	88 25.4	222 64.0	25 7.2
女性		400 100.0	103 25.8	56 14.0	56 14.0	134 33.5	289 72.3	73 18.3	202 50.5
小学校区別	須賀小学校区	213 100.0	46 21.6	24 11.3	26 12.2	61 28.6	154 72.3	30 14.1	84 39.4
	百間小学校区	245 100.0	70 28.6	34 13.9	35 14.3	81 33.1	166 67.8	22 9.0	106 43.3
	東小学校区	137 100.0	31 22.6	19 13.9	18 13.1	37 27.0	92 67.2	24 17.5	48 35.0
	笠原小学校区	123 100.0	20 16.3	9 7.3	14 11.4	39 31.7	83 67.5	20 16.3	55 44.7

		特定相談支援事業所ひまわり	ホームヘルパーステーション	居宅介護支援事業	みまもりの「わ」事業	フードパントリー事業	その他	知っているものはない	無回答
全体		188 25.0	83 11.0	83 11.0	29 3.9	70 9.3	2 0.3	134 17.8	11 1.5
年齢別	18~29歳	9 14.3	1 1.6	1 1.6	- -	7 11.1	- -	15 23.8	1 1.6
	30~39歳	19 19.8	4 4.2	4 4.2	3 3.1	14 14.6	- -	30 31.3	- -
	40~49歳	18 16.1	12 10.7	15 13.4	3 2.7	11 9.8	1 0.9	30 26.8	1 0.9
	50~59歳	29 27.6	12 11.4	12 11.4	4 3.8	9 8.6	- -	18 17.1	- -
	60~69歳	61 36.3	27 16.1	23 13.7	10 6.0	15 8.9	- -	18 10.7	2 1.2
	70歳以上	51 24.9	26 12.7	28 13.7	8 3.9	14 6.8	1 0.5	23 11.2	6 2.9
	性別	男性	50 14.4	25 7.2	33 9.5	9 2.6	21 6.1	2 0.6	81 23.3
女性		136 34.0	57 14.3	50 12.5	19 4.8	49 12.3	- -	53 13.3	3 0.8
小学校区別	須賀小学校区	51 23.9	31 14.6	24 11.3	5 2.3	22 10.3	1 0.5	37 17.4	4 1.9
	百間小学校区	72 29.4	27 11.0	33 13.5	13 5.3	15 6.1	- -	41 16.7	3 1.2
	東小学校区	27 19.7	12 8.8	12 8.8	5 3.6	16 11.7	- -	27 19.7	1 0.7
	笠原小学校区	33 26.8	10 8.1	13 10.6	4 3.3	14 11.4	- -	20 16.3	1 0.8

第3章 資料編

3 資料編

障がい福祉に関するアンケート調査 調査票

しょう ふくし かん
障がい福祉に関する
アンケート調査
ちようさ

ちようさ きようりよく ねが
— アンケート調査ご協力のお願い —

みな ひごろ まちぎょうせい きようりよく まこと
皆さまには、日頃より町行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、みやしろまちでは、しょうがい者の福祉サービスを計画的に進めていくために、しょうがい者施策の基本的な目標を定めるしょうがい者基本計画と、しょうがい福祉サービスを推進するための目標を定めるしょうがい福祉計画を、同時に策定することとなりました。

つきましては、その基礎資料として、しょうがいのある人(子どもを含む)の生活実態やご意見、ご要望をお聞きするアンケート調査を実施することになりました。

今回の調査は、身体障害者手帳、療育手帳、せいしんしょうがいがいしゃほけんふくしてちよう していなんびょういりょう じゆきゆうしやしやう ち ひと きようりよく ねが
受給者証をお持ちの人に、ご協力をお願いしています。

いそが せん ちようさ しゆし りかい ちようさ きようりよく
お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきませう、よろしくお願ひいたします。

なお、この調査は無記名で実施し、お答えいただいた内容は、統計的に処理しますので、こじん じやうほう とくてい いっさい おも あんしん だにゆう
個人の情報が特定されることは一切ありません。思ったままを安心してご記入ください。

れいわ ねん がつ
令和4年11月

みやしろまち
宮代町

— ご記入にあたってのお願い —

1. 調査票の「あなた」とは、調査票をお送りしたあて名の方をいいます。
2. 調査票は、なるべくご本人がご記入・ご回答ください。ただし、ご本人の記入・回答が困難な場合は、主に介護されている方が、ご本人と相談するなどして、ご本人の立場に立ってお答えください。

※ 視覚障がいのある人へ

このアンケート調査につきまして、記入が困難な場合は、下記担当課までお問い合わせください。記入に必要なご支援をいたします。

あわせて、恐縮ですが、介助や支援をされている方のご協力もお願いいたします。

3. 最初の設問から順番に、1つずつお答えください。なお、一部の人だけに答えいただく設問もありますので、その場合は説明文や矢印などにしたがってください。
4. お答えは、あてはまるものの番号を○で囲んだり、設問の指定する方法でご回答ください。「その他」については、できるだけ具体的な内容を（ ）内に記入してください。
5. お答えの数は、設問ごとに「1つに○」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってください。
6. 「ご自由にお書きください」の欄には、その設問についてあなたの思ったことを何でもご自由にお書きください。
7. 調査対象の方の年齢は、令和4年11月1日現在で記入してください。
8. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）にそのまま調査票を入れて、令和4年11月30日（水）までにご投かんください。
9. ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

みやしろまち ふくしか ふくしえんたんどう
宮代町 福祉課 福祉支援担当

電 話 0480-34-1111 (内線326)

FAX 0480-34-3396

しょう ふくし かん
障がい福祉に関する
アンケート調査
ちようさ

宮代町

しょう ぶくし かん ちようき
障がい福祉に関するアンケート調査

① あなたご自身について

と
問1 この調査票を記入された人はどなたですか。(1つに○)

1. 本人がご自身で記入
2. 本人の意思を「代筆」で記入
3. 家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入

と
問1で「2. 本人の意思を「代筆」で記入」または「家族や介助者等が本人の意向を汲み取って代わりに記入」と答えた人におたずねします。

と
問1-1 記入された方とご本人との関係について、あてはまる方に○をしてください。

1. ご家族
2. その他 ()

と
問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

と
問3 令和4年11月1日現在の、あなたの年齢はいくつですか。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 0歳～就学前 | 2. 就学後～17歳 | 3. 18～19歳 | 4. 20～29歳 |
| 5. 30～39歳 | 6. 40～49歳 | 7. 50～59歳 | 8. 60～64歳 |
| 9. 65～74歳 | 10. 75歳以上 | | |

障がい福祉に関するアンケート調査

問4 あなたにはどのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|---|------------------|
| 1. 身体障がい | → | 問4-1 (1) ~ (2) へ |
| 2. 知的障がい | → | 問4-2 へ |
| 3. 精神障がい | → | 問4-3 (1) ~ (5) へ |
| 4. 指定難病医療受給者 | → | 問5 へ |

問4で「1. 身体障がい」と答えた人におたずねします。

問4-1 (1) あなたにはどのような障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 肢体不自由 |
| →具体的な部位はどこですか。(あてはまるものすべてに○) |
| 【 1. 上肢(手・腕) 2. 下肢(脚) 3. 体幹(手・腕を除く上半身) |
| 4. 脳原性運動機能障がい(上肢機能障がい) |
| 5. 脳原性運動機能障がい(移動機能障がい) 】 |
| 2. 内部障がい |
| →具体的な部位はどこですか。(あてはまるものすべてに○) |
| 【 1. 心臓 2. じん臓 3. 呼吸器 4. ぼうこうまたは直腸 |
| 5. 小腸 6. 免疫 7. 肝臓 】 |
| 3. 視覚障がい |
| 4. 聴覚または平衡機能の障がい |
| 5. 音声・言語またはそしゃく機能の障がい |

問4-1 (2) 「身体障害者手帳」の等級はどれですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 4級 | 5. 5級 | 6. 6級 |

(身体障がいの他にも障がいがある人は次のページへお進みください)

しょうがいふくしにかんするアンケート調査

② 生活の場について

ぜんいん
全員におたずねします。

問5 あなたの現在の生活環境はどれですか。(1つに○)

1. 自宅 → 問5-1 (1) ~ (2) へ
2. グループホーム・生活ホーム → 問6へ
3. 施設や病院に入所・入院している → 問5-2へ
4. その他 () → 問6へ

問5で「1. 自宅」と答えた人におたずねします。

問5-1 (1) あなたは今、どこで暮らしていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 持ち家 (家族の持ち家も含む) | 2. 公営住宅 |
| 3. 民間アパート、借家 | 4. 社宅・会社の寮 |
| 5. その他 () | |

問5-1 (2) あなたといっしょに住んでいる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-----------|-------------|------|-------------------|
| 1. 夫・妻 | 2. 父 | 3. 母 | 4. 子ども (子の夫・妻を含む) |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 祖父母 | 7. 孫 | 8. 親せき |
| 9. ひとり暮らし | 10. その他 () | | |

問5で「3. 施設や病院に入所・入院している」と答えた人におたずねします。

問5-2 あなたが今、利用している施設はどれですか。(1つに○)

1. 障害者総合支援法における施設入所支援
2. 介護保険法における介護保険施設
3. 病院
4. その他 ()

つぎ すす
(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

全員におたずねします。

問6 あなたは今後（10年以内で）、どこに住みたいですか。（1つに○）

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| 1. 町内 | 2. 町外（近隣） | 3. 町外（こだわらない） |
| 4. その他（ | ） | 5. わからない |

問7 あなたはどのような暮らし方をしたいですか。（1つに○）

1. 今までと同じように暮らしたい
2. 一人暮らしをしたい
3. 今は一緒に暮らしていない家族と一緒に暮らしたい（結婚等により新しい家族と一緒に暮らす場合も含む）
4. グループホーム等で暮らしたい
5. 施設で暮らしたい
6. その他（
7. わからない

③ サービスの利用について

問8 あなたは介護保険法の要介護認定を受けていますか。（1つに○）

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない | 3. わからない |
|----------|-----------|----------|

※要介護認定とは「介護が必要な状態であるか、どのくらい必要なか」を判定し、「介護が必要な状態です」と認定されると介護サービスを利用できるようになります。
 各種障害者手帳を所持している方や難病に該当する場合であっても、サービスの種類によって、要介護認定を受けている方は介護保険制度が優先となります。

障がい福祉に関するアンケート調査

障害者総合支援法では、次の4種類の福祉サービスがあります。

1. 訪問系サービス（在宅で訪問を受けるサービス）
2. 日中活動系サービス（日中に施設を利用するサービス）
3. 居住系サービス（夜間における住まいの場を利用するサービス）
4. 地域生活支援事業（県や市町村が地域の実情に応じて行うサービス）

これらのサービスについて、全員におたずねします。

問9 あなたは、次のサービスを現在利用していますか。
 また、現在利用しているか、していないか、今後利用したいかをおたずねします。
 （あてはまるものすべてに○）

1. 訪問系サービス（在宅で訪問を受けるサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用している	現在利用していない	今後利用したい
(1) 居宅介護 (ホームヘルプサービス)	自宅で、入浴、トイレ、食事などの支援を受けられる。	1	2	3
(2) 重度訪問介護	重度の肢体不自由者が、入浴、トイレ、食事などの支援を受けられる。	1	2	3
(3) 同行援護	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する人が、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)、移動の援護等の外出支援を受けられる。	1	2	3
(4) 行動援護	行動障がいのある知的障がい者や精神障がい者が、外出するときの危険回避や移動介護などの支援を受けられる。	1	2	3
(5) 重度障害者等 包括支援	常に介護を必要とする障がいのある人が、居宅介護などのサービスをいくつか組み合わせたものを利用できる。	1	2	3

(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

問9-1(1) 訪問系サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業者の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. その他()
11. 訪問系サービスの提供状況に満足している

問9-1(2) 訪問系サービスについて、あなたがお考えになっていることがありましたら、ご自由にお書きください。

障がい福祉に関するアンケート調査

2. 日中活動系サービス（日中に施設を利用するサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用 している	現在利用 していない	今後利用 したい
(1) 短期入所 (ショートステイ)	介助者の病気などのときに、施設へ短期間入所して、入浴、トイレ、食事などの支援を受けられる。	1	2	3
(2) 生活介護	常に介護を必要とする障がいのある人が、日中に施設などで介護を受けたり創作的活動などを行ったりすることができる。	1	2	3
(3) 療養介護	医療を必要とする障がいのある人が、病院などで機能訓練や介護などを受けられる。	1	2	3
(4) 自立訓練 (機能訓練)	自立した生活ができるように、身体機能を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(5) 自立訓練 (生活訓練)	自立した生活ができるように、生活能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(6) 就労移行支援	就労を希望する障がいのある人が、就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(7) 就労継続支援	一般就労が難しい障がいのある人が、就労の機会を活用し、生産活動を通じて知識や能力を向上させるための訓練を受けられる。	1	2	3
(8) 就労定着 支援	一般就労に移行した人に、就労に伴う生活面の課題に対応するための支援を行います。	1	2	3
(9) 児童発達支援	障がいのある児童が、通所により、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を受けられる。	1	2	3
(10) 医療型児童 発達支援	上肢、下肢又は体幹の機能の障がいのある児童が、通所により、治療及び日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練を受けられる。	1	2	3

(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

3. 居住系サービス（夜間における住まいの場を利用するサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用 している	現在利用 していない	今後利用 したい
(1) 共同生活援助 (グループホーム)	地域での生活に支障のない障がいの ある人が、共同生活するための住居 で日常生活の支援を受けて生活する。	1	2	3
(2) 施設入所支援	夜間に、施設で入浴、トイレ、食事 などの介護を受けて生活する。	1	2	3
(3) 自立生活援助	ひとり暮らしに必要な理解力・生活力等 を補うため、定期的な居宅訪問や随時 の対応により日常生活における課題 を把握し、必要な支援を受けられる。	1	2	3

問9-3(1) 居住系サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）
と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業者の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他（ ）
12. 居住系サービスの提供状況に満足している

問9-3(2) 居住系サービスについて、あなたがお考えになっていることが
ありましたら、ご自由にお書きください。

（次のページへお進みください）

障がい福祉に関するアンケート調査

4. 地域生活支援事業（県や市町村が地域の実情に応じて行うサービス）

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用している	現在利用していない	今後利用したい
(1) 相談支援事業	障がいのある人が相談をすることができ、必要な情報や権利擁護などの援助を受けられる。	1	2	3
(2) コミュニケーション支援事業	意思疎通を図ることに支障のある障がいのある人が、手話通訳者などを派遣してもらうことができる。	1	2	3
(3) 日常生活用具給付等事業	重度障がいのある人が、日常生活に必要な用具の給付や貸し出しを受けられる。	1	2	3
(4) 移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人が、外出するときの移動支援を受けられる。	1	2	3
(5) 地域活動支援センター	障がいのある人が創作的活動や生産活動を行い、社会との交流を進めることができる。	1	2	3
(6) 在宅重度障がい者等訪問入浴サービス事業	自力での入浴が困難な障がいのある人が、移動入浴車を利用して入浴することができる。	1	2	3
(7) 就職支度金支給事業	福祉施設の利用者が、就職などの自立をするときに就職支度金の給付を受けられる。	1	2	3
(8) 知的障がい者職親委託事業	知的障がいのある人が、指導訓練を行う人（職親）から生活指導や就労訓練を受けられる。	1	2	3
(9) 日中一時支援事業	障がいのある人が日中活動の場で過ごすことにより、障がい者の家族が一時的な休息をとることができる。	1	2	3
(10) 紙おむつ支給事業	在宅で排せつ介助が必要な障がいのある人が、紙おむつの購入費用の助成を受けられる。	1	2	3

障がい福祉に関するアンケート調査

サービス名	サービス内容	あてはまるものすべてに○		
		現在利用している	現在利用していない	今後利用したい
(11) 福祉タクシー利用 料金・自動車燃料費 助成事業	障がいのある人が、タクシー利用料金やガソリン経費の助成を受けられる。	1	2	3
(12) 社会参加促進事業	スポーツ・レクリエーション活動、芸術・文化講座、点字や朗読テープによる広報等の提供、手話・要約筆記・点訳・朗読奉仕員の養成、自動車運転免許取得費用・自動車改造費用の助成を受けられる。	1	2	3
(13) 地域移行支援	施設や病院から地域生活へ移行するために必要な住居や日中活動の確保、各種手続きや生活に関する必要な支援を受けられる。	1	2	3
(14) 地域定着支援	一人暮らしや障がい者のみの世帯の人を対象に、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急時には必要な支援を受けられる。	1	2	3

問9-4(1) 地域生活支援事業について、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）と思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 利用できる回数や日数を増やす | 2. 利用したいサービスを受けやすくする |
| 3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする | |
| 4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする | |
| 5. 利用できる事業者の数を増やす | |
| 6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える | |
| 7. サービス利用料を安くする | 8. サービスの質をよくする |
| 9. サービスについての情報提供を増やす | |
| 10. 利用者同士がサービスを利用しやすい環境をつくる | |
| 11. その他（ ） | |
| 12. 地域生活支援事業の提供状況に満足している | |

(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

問9-4 (2) 地域生活支援事業について、あなたがお考えになっていることがありましたら、ご自由にお書きください。

問10 福祉サービスや制度についての情報を、あなたは主にどこから入手することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 家族・親せき | 2. 行政窓口(町役場・保健センターなど) |
| 3. 社会福祉協議会 | 4. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 5. 相談支援事業所・地域生活支援センター | 6. 通所・通学先 |
| 7. ホームヘルパー | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. 医師・看護師・医療関係者 | 10. 障がい者団体 |
| 11. ボランティア | 12. 友人・知人 |
| 13. 広報誌・ポスター | 14. テレビ・ラジオ |
| 15. 新聞 | 16. インターネット |
| 17. その他() | 18. 情報を得る手段がない |

問11 福祉サービスや制度についての情報のうち、あなたが特に必要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障がいのある人が利用できるサービスや制度とその内容
 2. 施設の空き状況や待機者に関する情報
 3. サービス事業者の所在地や事業内容
 4. サービス事業者の特徴やサービスの質の評価
 5. 利用料に関する情報
 6. 手続きに関する情報
 7. その他()
 8. 特にない

④ 保育・教育について

全員におたずねします。

問12 あなたは現在、通園・通学をしていますか。(1つに○)

1. 幼稚園 → 問12-1～2へ
2. 保育園 → 問12-1～2へ
3. 特別支援学校(盲学校・ろう学校含む) → 問12-1～2へ
4. 小・中学校(特別支援学級) → 問12-1～2へ
5. 小・中学校(普通学級) → 問12-1～2へ
6. 高校・大学・短大・専門学校 → 問12-1～2へ
7. その他() → 問12-1～2へ
8. 通園・通学していない → 問13へ

問12で「1. 幼稚園」「2. 保育園」「3. 特別支援学校(盲学校・ろう学校含む)」「4. 小・中学校(特別支援学級)」「5. 小・中学校(普通学級)」「6. 高校・大学・短大・専門学校」「7. その他」と答えた人におたずねします。

問12-1 あなたが通園・通学先に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就学・進路相談体制の充実
2. 能力や障がいの状態に応じた指導
3. 教材の充実
4. トイレなどの施設の整備
5. 普通学級への受け入れの促進
6. 周りの子どもとの交流機会の増加
7. 医療的なケアを受けられる体制
8. その他()
9. 特にない

(次のページへお進みください)

しょう ふくし かん しょうさ
障がい福祉に関するアンケート調査

と
問12-2 あなたは今後、どのような進路を希望していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. きぎょう いっぱんしゅうろう
企業などでの一般就労
2. しょう ひと こよう おお じぎょうしょ しゅうろう
障がいのある人の雇用が多い事業所での就労
3. しよくいん しどういん しどう う しゅうろう
職員など指導員の指導を受けながらの就労
4. いっぱんしゅうろう む くんれん しせつ つうしょ
一般就労に向けた訓練ができる施設への通所
5. いっぱんしゅうろう もくてき しせつ つうしょ
一般就労を目的としない施設への通所
6. しんたいきのう くんれん しせつ つうしょ
身体機能の訓練ができる施設への通所
7. じりつ む くんれん しせつ つうしょ
自立に向けた訓練ができる施設への通所
8. しょうぎょうくんれんこう つうがく
職業訓練校への通学
9. だいがく せんもんがっこう しんがく
大学や専門学校への進学
10. じたく しごと
自宅での仕事
11. いりょうでき う しせつ りよう
医療的なケアを受けられる施設の利用
12. にゅうしょしせつ りよう
入所施設の利用
13. その他 ()
14. まだわからない

障がい福祉に関するアンケート調査

問13で「2. 働いていない」と答えた人におたずねします。

問13-3 あなたは現在、働いていないのはどのような理由ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 幼少、または在学中である | 2. 高齢である |
| 3. 障がいなどで仕事ができない | 4. リハビリ、または職業訓練中である |
| 5. 通勤手段がない | 6. 就職先がない |
| 7. 障がいのある人の求人がない | 8. 仕事をする必要がない |
| 9. 働きたくない | 10. 就業先から辞めさせられた |
| 11. その他 () | |

現在、働いている人も働いていない人もお答えください。

問14 あなたは今後(将来)、働きたいですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 働きたい → 問14-1~3へ | 2. 働きたくない → 問15へ |
| 3. わからない → 問15へ | |

問14で「1. 働きたい」と答えた人におたずねします。

問14-1 あなたはどのようなところで働きたいですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 一般企業で働きたい | 2. 就労継続支援A型事業所で働きたい |
| 3. 就労継続支援B型事業所で働きたい | 4. 内職・自営業の手伝いをしたい |
| 5. その他 () | |

※就労継続支援A型事業所…65歳未満の障がいのある人に、社員として雇用契約をし、就労の機会を提供する事業所。以前の福祉工場から変更したところが多い。

※就労継続支援B型事業所…年齢や体力の面で就労が難しい障がいのある人に、就労の機会を提供する事業所。以前の通所授産施設や小規模作業所から変更したところが多い。

問14-2 あなたはどのような種類の仕事をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 事務の仕事 | 2. 販売・接客の仕事 |
| 3. 製造の仕事 | 4. 農林水産関係の仕事 |
| 5. コンピューター関係の仕事 | 6. 医療・福祉・教育関係の仕事 |
| 7. その他 () | 8. わからない |

問14-3 あなたはどのように働きたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 正社員 | 2. アルバイト、パート |
| 3. 自営業、または自営業の手伝い | 4. 内職など自宅でできる仕事 |
| 5. その他 (|) 6. わからない |

現在働いている人も働いていない人も、お答えください。

問15 あなたが働く上で、どのような条件が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 職場が自宅から近い | |
| 2. 通勤手段がある | |
| 3. 障がいのある人を積極的に雇用している | |
| 4. 障がいに合った仕事である | |
| 5. 障がいに合わせて勤務時間・日数が調整できる | |
| 6. 障がいに配慮した設備が整っている | |
| 7. 賃金が妥当である | |
| 8. 障がいに対する職場の理解がある | |
| 9. 仕事に慣れるまで適切な指導が受けられる | |
| 10. 就労相談や就労訓練が充実している | |
| 11. 一般企業で働く訓練の機会が充実している | |
| 12. その他 (|) |
| 13. 特にない | |

(次のページへお進みください)

しょう がい ふくし かん に関する アンケート 調査
障がい福祉に関するアンケート調査

⑥ 経済状況について

ぜんいん
全員におたずねします。

問16 あなたが生活していくうえでの主な収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 本人の給料・賃金・工賃 | 2. 本人の自営・家事手伝いによる収入 |
| 3. 本人の年金・手当・恩給 | 4. 本人の財産からの収入(家賃・利子・不動産など) |
| 5. 親の収入 | 6. 配偶者の収入 |
| 7. 子どもの収入 | 8. 生活保護 |
| 9. その他() | |

問17 あなたは公的年金や手当(生活保護費を除く)を受けていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 年金を受けている → 問17-1へ 2. 手当を受けている → 問17-2へ
3. どちらも受けていない

問17で「1. 年金を受けている」と答えた人におたずねします。

問17-1 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 障害基礎年金 | 2. 障害厚生年金 |
| 3. 障害共済年金 | 4. 心身障害者扶養共済年金 |
| 5. 老齢基礎年金・老齢厚生年金・老齢共済年金 | |
| 6. その他の国民年金・厚生年金・老齢年金 | |

問17で「2. 手当を受けている」と答えた人におたずねします。

問17-2 あなたが受けているものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 特別障害者手当 | 2. 障害児福祉手当 | 3. 特別児童扶養手当 |
| 4. 在宅重度心身障害者手当 | 5. その他の手当 | |

⑦ がいしゅつ 外出について

ぜんいん
全員におたずねします。

問18 あなたが外出をする（仕事を含む）日数はどのくらいですか。（1つに○）

1. ほとんど毎日 → 問18-1～3へ 2. 週に3～4回 → 問18-1～3へ
 3. 週に1～2回 → 問18-1～3へ 4. 月に1～2回くらい → 問18-1～3へ
 5. 年に数回くらい → 問18-1～3へ 6. 外出しない・外出できない → 問19へ

問18で「1. ほとんど毎日」「2. 週に3～4回」「3. 週に1～2回」「4. 月に1～2回くらい」「5. 年に数回くらい」と答えた人におたずねします。

問18-1 あなたは主にどのようなことで外出をしますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 施設や学校などへの通所・通学 2. 仕事
 3. 受診・リハビリ 4. 買い物
 5. 趣味・遊び 6. 公共機関や銀行での手続き
 7. その他（ ）

問18-2 あなたは外出するときは、主にどのような手段を使いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 徒歩 2. 車いす 3. 電動車いす
 4. 自転車・オートバイ 5. 家族が運転する車 6. 自分で運転する車
 7. その他（ ）

問18-3 あなたはひとりで外出しますか。それとも、外出するときは誰かの介助を必要としますか。（あてはまるものすべてに○）

1. ひとりで外出できる 2. 家族が介助する
 3. 友人・知人が介助す 4. 近所の人が介助する
 5. ホームヘルパーが介助する 6. 無償ボランティアが介助する
 7. 有償ボランティアが介助する 8. その他（ ）

（次のページへお進みください）

障がい福祉に関するアンケート調査

外出をする人もしない人も、お答えください。

問19 あなたが外出できない理由、または外出するときに困ることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 健康上や体力的に自信がない | 2. 介助・支援を頼める人がいない |
| 3. 周囲の目が気になる | 4. お金の計算や支払いができない |
| 5. 道路や歩道が通りにくい | 6. 建物や施設が、段差があるなど利用しにくい |
| 7. バスなどの交通機関が少ない | 8. 障がい者用の駐車場が少ない |
| 9. 障がい者用のトイレが少ない | 10. 外出する気力がない |
| 11. 出かけるところがない | 12. その他 () |
| 13. 特になし | |

⑧ 悩みごとや相談について

全員におたずねします。

問20 あなたは障がいに気づいてから診断を受けて、障がいを受け入れるまでの過程で苦しかった(つらかった)のはどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や周囲の理解が得られないこと
2. 症状に対してどのように対応していかわからなかったこと
3. 孤立感
4. 障がいについての知識がなかったこと
5. 他人と比較してしまうこと
6. 相談先がわからなかったこと
7. 診断後のフォローアップがなかったこと
8. 世間体
9. 障がいがあることを受け入れること自体ができなかったこと(できないこと)
10. 生活費などお金について困ったこと
11. その他 ()
12. 特に苦しい(つらい)と思ったことはない

問21 あなたは現在、誰かに相談したい悩みごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 健康のこと | 2. 障がいのこと |
| 3. 福祉サービスのこと | 4. 生活費のこと |
| 5. 金銭管理のこと | 6. 仕事のこと |
| 7. 住まいのこと | 8. 人づきあいのこと |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

問22 あなたは悩みや困ったことを誰に(どこに)相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 同居の家族・親せき | 2. 同居以外の家族・親せき |
| 3. 町役場 | 4. 保健センター |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 7. 相談支援事業所・地域生活支援センター | |
| 8. 福祉施設の職員 | 9. ホームヘルパー |
| 10. 民生委員・児童委員 | 11. 通園・通学先の先生 |
| 12. 医師・看護師・医療関係者 | 13. 障がい者団体の人 |
| 14. ボランティア | 15. 友人・知人 |
| 16. 地域包括支援センター | |
| 17. その他 () | |
| 18. 相談できる人(場所)がない | 19. 相談することは特にない |

問23 相談をしやすいするには、あなたにとって、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. いつでも相談に応じてくれる | 2. 信頼できる人に相談できる |
| 3. 障がいに応じた専門的な相談ができる | 4. 身近な場所で相談できる窓口がある |
| 5. 電話・ファックスで相談ができる | |
| 6. インターネットや電子メールで相談ができる | |
| 7. ちょっとしたことでも相談に応じてくれる | |
| 8. その他 () | |

(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

問24 成年後見制度を利用していますか。または今後利用したいと思いますか。（1つに○）

1. すでに利用している
2. 今は必要ないが、将来必要となったら利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

※成年後見制度…判断能力が不自由な人の介護、福祉サービスを利用するための手続きや預貯金の財産管理を代わりに行ったり、悪質商法の契約から守ったりしてくれる「成年後見人」を家庭裁判所が選任し、本人を支援する制度です。

⑨ 地域生活について

全員におたずねします。

問25 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。（1つに○）

1. 大変住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. あまり住みよくない
4. 住みにくい
5. わからない

問26 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 普段から親しいつきあいをしている | 2. 行事のあるときはつきあう |
| 3. 会えばあいさつをする程度 | 4. ほとんどつきあいはない |

問27 あなたは今、地域の人に支えられていると思いますか。（1つに○）

1. 支えられていると思う
2. どちらかというと思われていると思う
3. どちらともいえない
4. どちらかというと思われていると思わない
5. 支えられていると思わない

問28 町民が障がいのある人への理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校での福祉教育を充実させる
2. 障がいのある人もない人も、ともに参加するイベントを開催する
3. 障がいや障がい者問題に関する講演会や学習会などを開催する
4. 企業が積極的に福祉活動に関わる
5. マスコミを通じて、障がいのある人の生活をもっとよく知ってもらう
6. 町から、障がいや障がいのある人に対する理解を呼びかける
7. 障がいのある人が自立する努力をして、積極的に社会参加する
8. その他 ()
9. わからない
10. 理解を深めてもらう必要はない

問29 あなたは最近1年間に、地域の活動に参加したことがありますか。
また、今後参加してみたい地域の活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

	あてはまるものすべてに○		
	最近1年間に 参加した	最近1年間は 参加していない	今後参加 してみたい
1. 趣味などのサークル活動	1	2	3
2. スポーツやレクリエーション	1	2	3
3. 地域の行事やイベントなどの交流 事業	1	2	3
4. 講座や講演会	1	2	3
5. 障がい者団体の活動	1	2	3
6. ボランティア活動	1	2	3
7. その他	ある場合は、ここにお書きください。		

(次のページへお進みください)

障がい福祉に関するアンケート調査

問30 障がいのある人が地域の活動に積極的に参加するためには、あなたにとって、何が必要
 だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 魅力的な行事やイベントの充実 | 2. 利用しやすい施設への改善 |
| 3. 移動のための手段（車両や介助者）の確保 | |
| 4. 参加を補助するボランティアなどの育成 | 5. 家族の積極性 |
| 6. 障がいのある人自身の積極性 | 7. 広報や福祉教育の充実 |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 特にない | |

問31 あなたが今後、ボランティアに頼みたい支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 話し相手 | 2. 外出時の付き添い |
| 3. 外出時の送り迎え | 4. 家事の手伝い |
| 5. 家族が外出したときの介助 | 6. 家や庭の手入れ |
| 7. 買い物や手続きの代行 | 8. 本や情報誌などの点訳や朗読 |
| 9. 学習・趣味活動などの相手や介助 | |
| 10. スポーツ・レクリエーション活動の相手や介助 | |
| 11. 行事やイベント参加への手助け | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特にない | |

問32 おおむねこの1年（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の間に障がいがあるために差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。（1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. よくある | 2. 時々ある | 3. ほとんどない | 4. まったくない |
|---------|---------|-----------|-----------|

問33 あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（1つに○）

- | |
|---------------------------|
| 1. 知っていて、内容も知っている |
| 2. 知ってはいたが、内容については理解していない |
| 3. 知らなかった |

障がい福祉に関するアンケート調査

問37 災害の情報や緊急の連絡のため、あなたはどんな通信方法が必要ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 固定電話 | 2. 携帯電話 |
| 3. ファックス | 4. パソコン (インターネットや電子メール) |
| 5. 災害援護者による連絡 | 6. 防災無線 |
| 7. その他 () | |

問38 地域の自主組織などに、住所や氏名、身体の状態などの個人情報を登録し、災害時に避難誘導や情報伝達の支援を受ける制度を町は実施していますが、あなたは利用していますか。

(1つに○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 利用している → 問39へ | 2. 利用していない → 問38-1へ |
|------------------|---------------------|

問38で「2. 利用していない」と答えた人におたずねします。

問38-1 あなたが現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 個人情報なので、教えたくない。 |
| 2. 家族と同居しているので、利用する必要がない。 |
| 3. 利用することで、周りの人に迷惑をかけたくない。 |
| 4. 制度を知らなかった。 |
| 5. 対象ではなかった。 |
| 6. その他 () |

⑪ 希望・要望について

全員におたずねします。

問39 あなたは障がいのある人に対する支援として、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障がいや病気の早期発見や初期段階での支援の充実
2. 的確な診断ができる専門医の確保
3. 診断後のわかりやすく具体的な指導やフォローアップの充実
4. 家族や周囲への障がいに関する教育の充実
5. 障がいに関する適切な情報の提供
6. 相談窓口の充実、専門性の向上
7. 当事者や家族への心理カウンセリングの充実
8. ピアカウンセリング※の充実
9. 医療・保健・福祉・教育・就労などの関係機関の連携の強化
10. ホームヘルプサービスや一時預かり支援（ショートステイ・日中一時支援事業・生活サポートなど）の充実
11. 就学・学校教育に関する支援の充実
12. 放課後・余暇活動の場の整備
13. 障がい者スポーツの充実
14. 就労支援（ジョブコーチを含む）、職業訓練の充実
15. 福祉や教育の現場などに対する障がいに関する情報提供や研修の充実
16. 広く町民への障がいに関する理解の促進
17. その他（ ）
18. 特になし

※ピアカウンセリング…同じような環境や悩みをもつ人同士が、対等な立場で同じ仲間として話を聞き合うこと。

（次のページへお進みください）

地域福祉に関するアンケート調査 調査票

宮代町 地域福祉計画策定のための アンケート調査

－ アンケート調査ご協力をお願い －

皆さまには、日頃より町行政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、宮代町では、社会福祉法に基づく地域福祉計画を作成するにあたって、地域の実情から課題を見つけ、取り組みを進めるために、町民の皆さまからのアンケート調査を実施することになりました。

これは、町民の皆さまが日ごろ社会福祉に感じていることや、これからの地域に必要なと感じていることなどをうかがい、地域福祉を計画的に進めていくための基礎資料となるものです。

今回の調査は、住民基本台帳から各年代別に均等に300名ずつ、合計で1,800名の方を抽出し、郵送にて調査票をお送りし、ご協力をお願いしています。

お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、この調査は無記名で実施し、お答えいただいた内容は、統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。思ったままを安心してご記入ください。

令和4年11月

宮代町

－ ご記入にあたってのお願い －

1. ご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
2. ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
3. 回答する○の数は設問によって異なりますので、()内の断り書きに従い、ご記入ください。
4. 「その他」と回答した場合は()に具体的な内容をお書きください。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)にそのまま調査票を入れて、令和4年12月14日(水)までにご投かんください。

【お問い合わせ先】

宮代町 福祉課

電話 0480-34-1111 (内線328)

FAX 0480-34-3396

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

① あなたご自身について

問1 令和4年11月1日現在の、あなたの年齢はいくつですか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 |
| 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

問2 あなたの性別は次のうちどちらですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問3 どの小学校区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 須賀小学校区 | 2. 百間小学校区 |
| 3. 東小学校区 | 4. 笠原小学校区 |

問4 宮代町に住んで何年になりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上 | |

問5 あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 会社員(派遣・契約社員を含む) | 2. 経営者・会社役員等 |
| 3. 自営業(農業を含む) | 4. 公務員・団体職員 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. 家事専業(主婦・主夫) |
| 9. その他 () | |

問6 現在の世帯構成は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 単身世帯(1人住まい) | 2. 1世代世帯(夫婦のみ) |
| 3. 2世代世帯(親と子ども) | 4. 3世代世帯(親と子どもと孫) |
| 5. その他 () | |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

② 地域のつながりについて

問7 あなたが、地域の人のつながりを深める上で重要な機会となっていると思うものは何ですか。(すべてに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 町内会・自治会の活動 | 2. 子ども会の活動 |
| 3. 老人会の活動 | 4. お祭りなどの地区の行事 |
| 5. 公園などの清掃活動 | 6. 防犯活動・防災訓練 |
| 7. その他 () | |
| 8. 特にない | 9. わからない |

問8 あなたは、毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(すべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後のこと |
| 3. 育児に関すること | 4. 子どもの教育や将来のこと |
| 5. 介護に関すること | 6. 収入や生活費などの経済的なこと |
| 7. 近所づきあいに関すること | 8. 家族や親戚の人間関係のこと |
| 9. 地域の治安に関すること | 10. 災害に関すること |
| 11. 外出と移動に関すること | |
| 12. その他 () | |
| 13. 特にない | |

問9 あなたは日常生活で不安や悩みを、誰(どこ)に相談しますか。(すべてに○)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族 | 2. 親戚 |
| 3. 友人・知人 | 4. 職場の同僚・上司 |
| 5. 近所の人 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 医師・医療機関 | 8. 介護サービス事業所(ケアマネジャー) |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. 地域包括支援センター |
| 11. 町役場 | |
| 12. その他 () | |
| 13. 相談する人がいない | 14. どこにも相談するつもりはない |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問10 あなたが近所の人にしてもらいたいことはどのようなことですか。(すべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. 趣味などの話し相手 |
| 3. 買い物の手伝い | 4. ごみ出し |
| 5. 外出の手助け | 6. 家の前などの掃除 |
| 7. 短時間の子どもの預かり | 8. 子どもの送り迎え |
| 9. 子どもの通学路の見守り | 10. 高齢者等の介護 |
| 11. 緊急時の手助け | 12. その他 () |
| 13. 特にない | |

問11 お住まいの地域で問題と感じていることはありますか。(すべてに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 地域行事の衰退 | 2. 役員のなり手不足 |
| 3. 住民同士の交流不足 | 4. 買い物や異動手段 |
| 5. 防犯・治安・風紀 | 6. 非常時の協力体制 |
| 7. 地域に子どもが少ない | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

問12 あなたは、地域活動(町内会・自治会、子ども会など、主にあなたのお住まいの地域を対象とした活動)に参加していますか。(1つだけに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 参加している ⇒問12-1~3へ | 2. 参加していない ⇒問12-4へ |
|---------------------|--------------------|

※地域活動に「1. 参加している」方にお聞きします

問12-1 あなたは、どのような地域活動に参加していますか。(すべてに○)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 町内会・自治会活動 | 2. 地域行事への参加(スポーツ大会、祭りなど) |
| 3. 防災活動(避難訓練など) | 4. 交通安全・防犯活動(防犯パトロールなど) |
| 5. 清掃・美化活動 | 6. 子どもの健全育成活動(子ども会、スポ少など) |
| 7. 老人クラブ活動 | 8. 募金への協力活動 |
| 9. スポーツや趣味・学習活動 | 10. 健康づくりや介護予防活動 |
| 11. 高齢者等に対する福祉活動 | 12. その他 () |

問12-2 あなたは、それらの地域活動にどの程度参加していますか。(1つだけに○)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 週に2~3回以上 | 2. 週に1回程度 | 3. 月に1回程度 |
| 4. 年に2~3回程度 | 5. 年に1回程度 | 6. その他 () |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問12-3 あなたが、地域活動に参加した理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 地域や社会に貢献したい | 2. 自分の能力や経験等を活かしたい |
| 3. 新しい仲間づくりをしたい | 4. 余暇を有効に活用したい |
| 5. 自己啓発のため | 6. 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい |
| 7. 役回りで仕方なく | 8. 活動に参加している人から誘われた |
| 9. その他 () | 10. 特に理由はない |

※地域活動に「2. 参加していない」方にお聞きします

問12-4 あなたが、地域活動に参加していない理由は何ですか。(すべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 参加したい活動がない | 2. 活動内容や参加方法がわからない |
| 3. 仕事が忙しい | 4. 家事や育児が忙しい |
| 5. 家族の介護が忙しい | 6. 他に参加している活動がある |
| 7. 家族の理解が得られない | 8. 活動のための費用がない |
| 9. 病気・ケガがある | 10. 地域活動には関心がない |
| 11. 一緒に参加する仲間がいない | 12. 本来行政がやるべきことだと思うから |
| 13. 以前に不快な思いをした | 14. その他 () |
| 15. 特に理由はない | |

◎すべての方にお聞きします

問13 あなたは今後、地域活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. できれば参加したい |
| 3. あまり参加したいとは思わない | 4. まったく参加したいとは思わない |
| 5. わからない | |

③ 地域での助け合い、支え合いについて

問14 住民同士がお互いに助け合える地域とは、どの範囲だと思えますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. ご近所 | 2. 町内会や自治会 |
| 3. 小学校区 | 4. 町内全域 |
| 5. その他 () | |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問15 どの程度のご近所付き合いがありますか。(1つに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 訪問し合う | 2. 立ち話をする |
| 3. あいさつをする | 4. 付き合いはない |

問16 ご近所付き合いについてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 助け合って暮らす | 2. あいさつしたり協力したりする |
| 3. あいさつ程度 | 4. あまりしたくない |

問17 お住まいの地域で困っているご家庭があった場合に必要と考えられることはありますか。(すべてに○)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 見守りや声かけ | 2. 話し相手 | 3. 買い物の手伝い |
| 4. ごみ出し | 5. 身の回りの手伝い | 6. 草取りや庭の掃除 |
| 7. 散歩の付き添い | 8. 医療機関の送り迎え | 9. 施設等の送り迎え |
| 10. 子どもの預かり | 11. 緊急時の手助け | |
| 12. その他 () | | |
| 13. 特にない | | |

問18 お住まいの地域で困っているご家庭があった場合に、あなたが実際に手助けできると思うことはありますか。(すべてに○)

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 見守りや声かけ | 2. 話し相手 | 3. 買い物の手伝い |
| 4. ごみ出し | 5. 身の回りの手伝い | 6. 草取りや庭の掃除 |
| 7. 散歩の付き添い | 8. 医療機関の送り迎え | 9. 施設等の送り迎え |
| 10. 子どもの預かり | 11. 緊急時の手助け | |
| 12. その他 () | | |
| 13. 特にない | | |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

◎すべての方にお聞きします

問20 今後、どのようなボランティア活動に参加したいですか。(すべてに○)

1. 子育て支援活動	2. 青少年の健全な育成活動
3. 障がい者支援活動	4. 高齢者支援活動
5. 健康づくり活動	6. 自然・環境保護活動
7. 文化・スポーツ活動	8. 人権・男女共同参画活動
9. 防災・防犯・交通安全活動	10. 地域交流・まちづくり活動
11. 国際交流・国際協力活動	12. 災害援助・復興支援活動
13. その他 ()	
14. 参加するつもりはない	

⑤ 地域での防災について

問21 防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ	わからない
①災害時の避難場所を知っていますか	1	2	3
②お住まいの地域に自主防災組織※があることを知っていますか	1	2	3
③地域の自主防災組織に入っていますか	1	2	3
④日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	3
⑤あなたのまわりに、災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要な人はいますか	1	2	3

※自主防災組織：町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織

問22 災害時の支援や安否確認のために、プライバシーの保護に配慮しながら、個人の情報を地域で共有する必要性が高まっていますが、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

1. 災害時のために必要である	2. 災害時に関わらず必要である
3. 個人情報の問題があるため必要ない	4. その他 ()
5. わからない	

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問23 災害時に住民同士が協力し合うためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(1つに○)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 災害時に自力で避難することが困難な人の支援計画を地域のみんなで考える | |
| 2. 地域での自主防災組織づくり | 3. 地域での定期的な防災訓練 |
| 4. 常日ごろから住民同士が情報交換をする | 5. 地域での勉強会 |
| 6. 福祉サービス事業者や行政との連携 | |
| 7. その他 () | |
| 8. 特にない | |

問24 ご近所の支援が必要な高齢者などに対して、見守りや災害時の安否確認等をする
支援体制は整っていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 整っている | 2. 整える予定 | 3. 整っていない |
| 4. その他 () | | |

⑥ 福祉のまちづくりについて

問25 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(すべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 町役場窓口 | 2. 町の広報紙、ホームページ |
| 3. 社会福祉協議会 | 4. 民生委員・児童委員 |
| 5. 地域包括支援センター | 6. 介護サービス事業所（ケアマネジャー） |
| 7. 近所の人、友人・知人・顔見知り | 8. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 9. インターネット（町のホームページ以外） | |
| 10. その他 () | |
| 11. 情報を得る必要がない | |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問26 あなたは、「成年後見制度」を利用していますか。または今後利用したいと思いませんか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. すでに利用している | 4. わからない |
| 2. 今は必要ないが、将来必要となったら利用したい | |
| 3. 利用したいと思わない | |

※成年後見制度

判断能力が不自由な人の介護、福祉サービスを利用するための手続きや預貯金の財産管理を代わりに行ったり、悪質商法の契約から守ったりしてくれる「成年後見人」を家庭裁判所が選任し、本人を支援する制度です。

問27 ボランティアなどの助け合い、支え合い活動を活発にしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(すべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 学校で子どもたちに教える | 2. 広報誌などで啓発する |
| 3. 情報等を住民に提供する | 4. 相談体制を充実する |
| 5. 参加しやすいきっかけ | 6. 活動拠点など場所を用意する |
| 7. 活動団体への資金援助 | 8. 活動に対する報酬を支払う |
| 9. 活動リーダーの人材集め | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特にない | |

問28 あなたは、生活が困窮したときにどのようなサービスを利用したいと思いませんか。(3つまでに○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 相談窓口 | 2. 無利子の貸付 |
| 3. 食料品や生活用品の支給 | 4. 家賃の補助 |
| 5. 就労支援 | 6. 子どもの学習支援 |
| 7. 補助金・助成金などの情報 | |
| 8. その他 () | |
| 9. 特にない | |

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

問29 効果的な地域福祉を推進していくために重要なことは何だと思いますか。

(すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 住民同士のつながりを深める | 2. 誰もが外出しやすい環境づくり |
| 3. 防災・防犯活動を充実させる | 4. 地域に関わるきっかけをつくる |
| 5. 助け合いの福祉意識を高める | 6. ボランティア活動を活発にする |
| 7. 福祉の社会資源を充実する | 8. 相談体制・情報提供を充実する |
| 9. ボランティア団体のネットワーク構築 | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特にない | |

問30 あなたは、これからも宮代町に住み続けたい気持ちはありますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1. 大いにある | 2. ある程度ある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりない | 5. 全くない | |

⑦ 民生委員・児童委員について

問31 あなたは、住んでいる地区の民生委員・児童委員を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 知っている⇒問31-1へ | 2. 知らない⇒問32へ |
|-----------------|--------------|

※民生委員・児童委員を「1. 知っている」方にお聞きします

問31-1 あなたは民生委員・児童委員の活動内容について知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 活動内容を知っている | 2. 活動内容を知らない |
|---------------|--------------|

※民生委員・児童委員ってどんな人？

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。

宮代町 地域福祉に関するアンケート調査

⑧ 宮代町社会福祉協議会について

問3 2 以下の社会福祉協議会のサービスの中で、あなたが知っているものはありますか。
(すべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 福祉サービス利用援助事業 | 2. 心配ごと相談 |
| 3. ボランティア活動の推進 | 4. 各種福祉資金の貸付 |
| 5. 福祉車両の貸出 | 6. 福祉機器・福祉用具の貸出 |
| 7. ふれあい友の会 | 8. 町広報、社協宮代等の音訳CD、点字本の配付 |
| 9. 交通遺児援護金の給付 | |
| 10. その他 () | |
| 11. 知っているものはない | |

問3 3 以下の社会福祉協議会の事業の中で、あなたが知っているものはありますか。
(すべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 災害義援金の受付 | 2. 日赤災害救援物資及び災害見舞金の交付 |
| 3. 日赤埼玉県支部宮代分区としての活動 | |
| 4. 歳末たすけあい募金 | 5. 赤い羽根共同募金 |
| 6. ゆうやけひろば(子ども食堂事業) | 7. 福祉の店「喫茶・ぶどうの樹」 |
| 8. 特定相談支援事業所ひまわり | 9. ホームヘルパーステーション |
| 10. 居宅介護支援事業 | 11. みまもりの「わ」事業 |
| 12. フードパントリー事業 | |
| 13. その他 () | |
| 14. 知っているものはない | |

問3 4 宮代町社会福祉協議会についてあなたがお考えになっていることがありましたら、
ご自由にお書きください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

宮代町
障がい福祉に関するアンケート
地域福祉に関するアンケート
調査結果報告書

発行 宮代町 福祉課
発行日 令和5年3月
住所 〒345-8504
埼玉県南埼玉郡宮代町笠原 1-4-1
TEL 0480-34-1111（代表）
Fax 0480-34-3396